

令和3年度

主要施策成果報告書

豊橋市

地方自治法第233条第5項の規定により、令和3年度一般会計および特別会計における主要な施策の成果について、その概要を次のとおり報告いたします。

目 次

I	決算の概要	
1.	概 況	3
2.	各会計決算集計表	6
3.	各基金年度末現在高	8
4.	各会計地方債年度末現在高	9
5.	職員の状況	10
6.	財政指標の状況（普通会計）	10
7.	「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく指標	10
II	一般会計	
1.	歳入の状況	12
2.	歳出の状況	18
3.	主要な施策の成果	37
	総 務 費	37
	民 生 費	97
	衛 生 費	147
	労 働 費	189
	農 林 水 産 業 費	194
	商 工 費	211
	土 木 費	227
	消 防 費	268
	教 育 費	275
	災 害 復 旧 費	335
III	特別会計	
	競 輪 事 業	337
	国民健康保険事業	339
	総合動植物公園事業	342
	公共駐車場事業	345
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	346
	後期高齢者医療	347

(注) 各項目の数値は表示単位未満を四捨五入で処理しているため、合計と内訳の数値が一致しない場合があります。

I 決算の概要

1. 概況

令和3年度は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、ワクチン接種の進展や国による「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」の実施により、景気は緩やかな持ち直し基調であったが、年度末には原油価格・物価高騰等による景気の下振れリスクが顕在化し始めてきた。

本市においては、幾度にもわたる補正予算により感染症対策に全力で取り組む一方で、新しい学校給食センター建設による共同調理場再整備事業など臨時的な財政需要の増加があり、財政運営を取り巻く環境は依然として予断を許さない状況であった。

このような状況のなかで、「私たちがつくる 未来をつくる」を基本理念とした、第6次豊橋市総合計画の初年度として、8つの目指すまちの姿の実現に向けて分野別計画を推進するとともに、本市の最重要課題ともいえる人口減少対策に、分野横断的に取り組むため、まちづくり戦略に基づく施策を重点的に取り組んだ。

(1) 分野別計画に基づく主な取り組み

○ 豊かな人間性を備え、未来を創る人が育つまち

子育て・教育環境づくりとして、国が実施している幼児教育・保育の無償化に加えて市独自に行っている保育料等の軽減について、無償化世帯を第2子の一部まで拡大するとともに、私立高等学校等の授業料に対する市の上乗せ助成額を増額するなど、子育て世帯の経済的な負担軽減を図った。

また、児童生徒全員に1台ずつ配備されたタブレット端末を活用し、多様な学習活動を実現する「とよはし版GIGAスクール」を推進したほか、放課後の新たな学びの場である「のびるん de スクール」の開設小学校を12校へ拡大した。さらに、駅前大通二丁目地区のemCAMPUS EAST内に、世界を広げ、まちづくりに繋げる知と交流の創造拠点として、新たに「まちなか図書館」を開館した。

○ 活力みなぎり、はつらつと働けるまち

市内店舗での消費喚起に加え、感染症対策としてのキャッシュレス推進を図るため、プレミアム付電子商品券「TOYOPay」を発行したほか、飲食店などが新たな事業に業態転換をする際の設備導入費用や、換気や非接触のための感染症対策備品の購入費用への助成を行うとともに、新たに市内にサテライトオフィスを設置する市外事業者に対して、オフィスの開設・運営に係る費用への助成を行った。

農業分野では、担い手確保のため、経営を継承した農業者の経営発展に向けた取り組みを支援する助成制度を新たに創設するとともに、食鳥処理場の処理能力向上のため、処理施設及び環境保全施設の整備費用への助成を行った。

○ 命の安全、心の安心が確保されたまち

防災・減災対策として、大型台風や地震などによる大規模災害に備え、河川の浚渫を集中的に実施するとともに、水位把握の必要性が高い中小河川において、Webサイトでリアルタイムに水位を確認できる水位計を設置したほか、事前避難対象地域の住民への防災ラジオの無償貸与や、指定避難所である全小中学校の体育館、地区市民館、校区市民館にWi-Fi環境を整備した。

消防救急体制の強化として、救急活動体制の維持及び救急活動時における救急隊員の適切な感染症対策を図るため、感染防止衣などの対策資器材を拡充した。

○ みんなで支え合い、笑顔で健やかに暮らせるまち

健康づくりの推進として、働く女性を対象にオンライン形式の運動習慣化プログラムを実施したほか、AIを搭載した健康管理アプリを活用したモデル事業を通じて、生活習慣の改善効果や課題の検証を行った。

地域福祉の充実として、様々な事情により支援が届いていない世帯等に対して、伴走型の支援により各分野の支援機関へ繋げるとともに、地域住民の相談に対し適切な情報提供を行う体制を強化するため、豊橋市総合福祉センター内に「福祉相談サポートセンター」を開設した。

○ 互いを尊重し合い、心豊かに暮らせるまち

性別や国籍によらず、誰もが個性や能力を発揮し、いきいきと暮らせる環境を整えるため、LGBT等性的少数者のパートナーシップ制度を開始するとともに、外国人市民向けに、知りたい情

報を多言語で得ることのできる Web サイト「ぼけとよ」を開設した。

また、スポーツによるまちの魅力と活力の創出のため、市外の学校部活動や企業のクラブなどのスポーツ団体を対象に、本市スポーツ施設でのスポーツ合宿等の宿泊費に対する助成制度を新たに創設したほか、資料の展示・保存環境や来館者の鑑賞環境及び利便性の向上のため、美術博物館のリニューアルに着手した。

○ 魅力にあふれ、いきいきとにぎわいあるまち

まちなかの活性化として、駅前大通二丁目地区の市街地再開発事業に対する助成を行い、商業施設やオフィス、「まちなか図書館」などが入った東棟や賑わいを創出する新たな回遊拠点として「まちなか広場」が完成したほか、豊橋駅西口駅前地区では、民間事業者が行う優良建築物等整備事業に対し助成を行った。

のんほいパークの魅力向上として、動物の飼育環境と展示効果の向上のため、ガバメントクラウドファンディングを活用し、チンパンジー舎の改修などを行った。

○ 自然と共生し、地球環境を大切にすまち

脱炭素社会の実現に向けて再生可能エネルギーの導入促進や効率的な利用を推進するための調査・分析を行うとともに、エネルギーの地産地消を推進するため、次世代自動車等を活用したイベントを実施したほか、市民館等を対象にした PPA 事業に着手した。

資源循環の推進として、まだ食べられる食品が捨てられてしまう状況を把握するため、市内事業者を対象に事業系食品ロスの実態調査を実施したほか、マイボトル・マイカップの利用を促すため、給水器設置費用への助成を行った。

○ 暮らしの基盤が整った、便利で快適なまち

交通環境の充実として、豊橋初の東名高速道路インターチェンジとなる「豊橋新城スマート IC (仮称)」の新規事業化の採択を受け、早期開通を目指し、詳細設計に着手したほか、太平洋岸自転車道が「ナショナルサイクルルート」に指定されたことから、ゲートウェイである道の駅「とよはし」において、サイクリイベントの実施やサイクリストの受入体制を強化した。

住宅環境の整備として、子育て世帯から高齢者まで幅広いニーズに対応した、西口住宅 2 号棟の建設を進めた。

○ その他

地方創生の取り組みでは、本市の魅力を発信し、移住者を呼び込むため、オンラインでの移住相談や移住ホームページを充実したほか、産学官連携によるスマートシティ実現に向けて、スマートシティフォーラムを開催した。また、ICT の活用により、オンライン申請等を充実することで市民サービスの向上を図るとともに、業務効率化やテレワーク環境整備により、働き方改革を推進した。

(2) 一般会計の決算

歳入 1,495 億 861 万円に対し、歳出は 1,434 億 9,539 万円で、歳入歳出の差引額（形式収支）は 60 億 1,321 万円となった。このうち翌年度へ繰り越すべき財源 7 億 9,301 万円を差し引いた実質収支は 52 億 2,021 万円となり、前年度と比較して 4 億 8,210 万円増加した。また、26 億 2,000 万円を財政調整基金へ繰り入れることとした。

○ 歳入の状況

市税決算額は 640 億 6,105 万円で、前年度と比較して 2.4%、15 億 7,537 万円の減となった。市税のうち個人市民税は、株式譲渡所得の増はあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響等による給与所得や営業等所得などの減により 3.2% の減となったほか、法人市民税は、前年度に徴収猶予の特例制度の適用を受けた分の納付があったことによる増はあったものの、税制改正による法人税制の税率引下げや新型コロナウイルス感染症の影響による運輸・通信関連などの減により 0.9% の減となった。固定資産税は、評価替えに伴う経年減価や中小事業者コロナ減収特例の影響などにより 3.6% の減となった。市たばこ税は、10 月からの税率引上げの影響により 6.1% の増となった。事業所税は、前年度に申告期限及び納付期限の延長制度の適用を受けた分の納付があったことにより 6.4% の増となった。

また、交付金等については、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の皆増などにより地方特例交付金が 2.4 倍、7 億 3,987 万円増の 12 億 7,588 万円となったほか、株式等譲渡所得割交付金が 63.4%、2 億 873 万円増の 5 億 3,776 万円、法人事業税交付金が 2.0 倍、3 億 9,107 万円増の 7 億 7,463 万円、地方消費税交付金が 8.9%、7 億 3,159 万円増の 89 億 3,129 万円となった。

地方交付税は、普通交付税が平成30年度以来3年ぶりに15億35万円交付されたほか、特別交付税は、前年度と比較して4.3倍、3億8,515万円増の5億324万円となった。

国庫支出金は、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業や新型コロナウイルスワクチン接種事業などが増となったものの、特別定額給付金給付事業の皆減のほか、GIGAスクール構想に係るコンピュータ活用事業や校内通信ネットワーク整備事業の減などにより、前年度と比較して46.4%、308億92万円減の356億4,658万円となった。

県支出金は、産地基幹施設等支援事業などが増となったものの、新型コロナウイルス感染症対策協力金交付事業の皆減や市街地再開発事業の減などにより、前年度と比較して4.4%、4億9,204万円減の106億5,678万円となった。

繰入金は、新型コロナウイルス感染症対策基金繰入が皆増となったものの、財政調整基金繰入の皆減などにより、前年度と比較して88.2%、16億2,276万円減の2億1,637万円となった。

市債は、斎場整備事業や市街地再開発事業の減があったものの、PFI事業による共同調理場再整備事業の皆増や建築工事が本格化したまちなか図書館整備事業の増などにより、前年度と比較して10.1%、9億6,140万円増の104億8,570万円となった。

○ 歳出の状況

人件費は211億5,249万円で、定期昇給による増があったものの、新陳代謝に伴う職員給等の減や退職者数の減などにより、前年度と比較して1.0%、2億2,413万円の減となった。

物件費は205億7,054万円で、タブレット型端末配備に係るコンピュータ活用事業の減があったものの、新型コロナウイルスワクチン接種に係る予防接種事業の増などにより、前年度と比較して1.5%、2億9,778万円の増となった。

扶助費は365億4,257万円で、訓練等給付事業や障害児通所支援給付事業の増などにより、前年度と比較して3.6%、12億7,815万円の増となった。

補助費等は178億8,428万円で、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業の皆増や子育て世帯への臨時特別給付金給付事業などが増となったものの、特別定額給付金給付事業や愛知県・豊橋市新型コロナウイルス感染症対策協力金交付事業の皆減などにより、前年度と比較して63.0%、303億9,182万円の減となった。

普通建設事業費は222億9,406万円で、リニューアルに着手した美術博物館整備事業の皆増や共同調理場再整備事業で増となったものの、斎場整備事業の皆減や駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発等事業の減などにより、前年度と比較して1.1%、2億4,509万円の減となった。

公債費は90億2,500万円で、前年度と比較して1.6%、1億4,349万円の増となった。

繰出金は135億3,099万円で、下水道事業などで減となったものの、後期高齢者医療や病院事業などで増となったことにより、前年度と比較して0.7%、1億31万円の増となった。

以上のことから、歳出合計では前年度対比18.0%、314億2,191万円の減となった。

なお、歳出予算総額が1,597億9,555万円であったのに対し、歳出決算額との差額163億16万円から翌年度繰越額88億4,841万円を除いた不用額は、負担金、補助及び交付金の21億9,571万円、委託料の12億131万円をはじめとして、一般会計全体で74億5,175万円となった。

(3) 特別会計の決算

決算規模は6会計の合計で歳入701億5,550万円、歳出668億2,693万円で、歳入歳出の差引額は33億2,857万円となった。

(4) 財政指標

経常収支比率は、扶助費や補助費等への充当額の増により経常経費充当一般財源等は増加したものの、普通交付税の皆増や地方消費税交付金などの増により経常一般財源収入が増加したため、前年度の87.6%から87.2%へと0.4ポイント改善した。

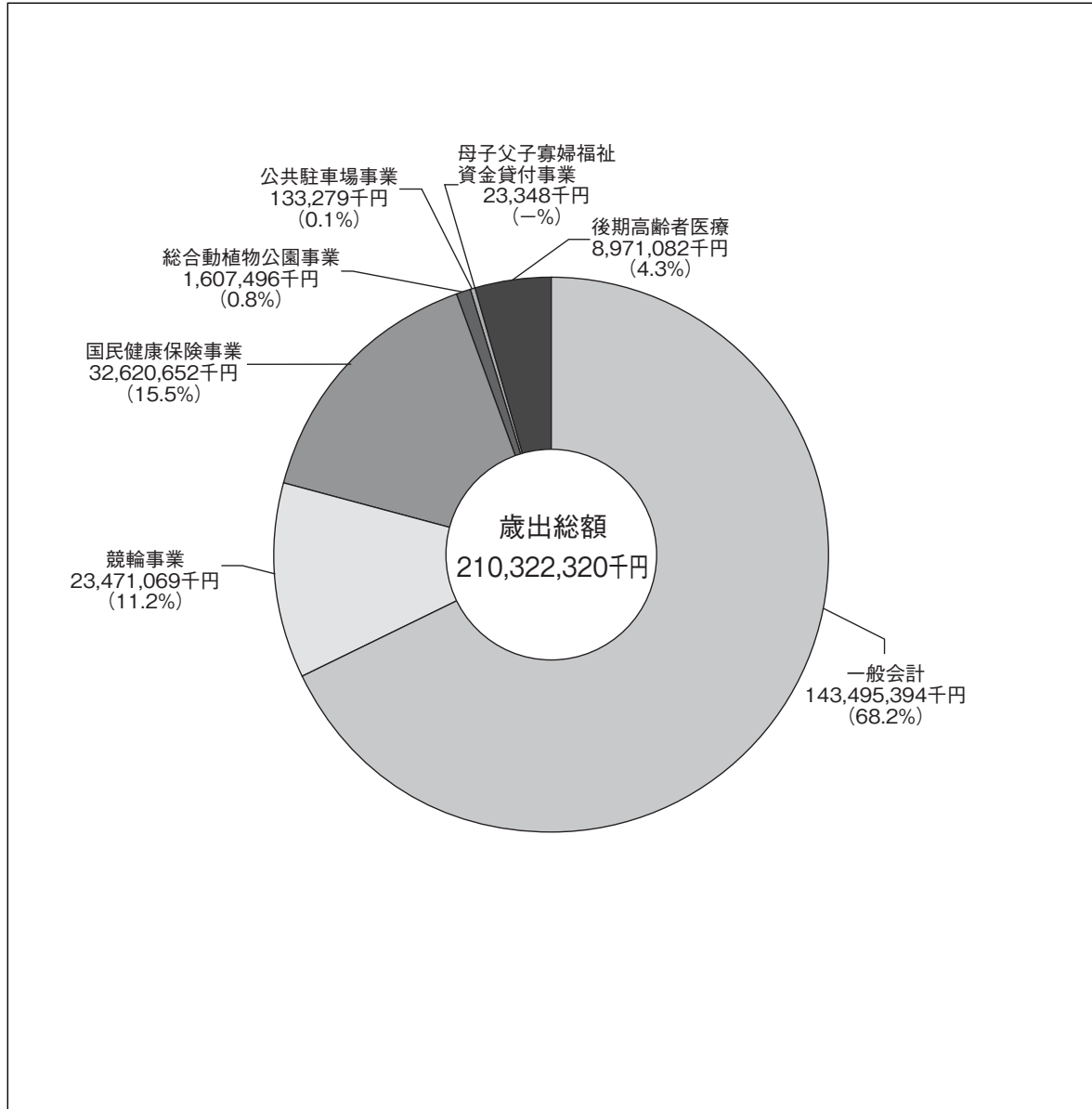
また、実質公債費比率は、前年度の3.8%と同じ値であった。将来負担比率は、公営企業等繰入見込額の減に加え、財政調整基金などの基金残高の増などにより、前年度の42.4%から33.3%へと9.1ポイント改善した。いずれも早期健全化基準等を大きく下回っているものの、引き続き、歳出の見直しと財源確保に取り組むとともに、将来負担の適正化を見据えた財政運営に努めていく。

2. 各会計決算集計表

単位：千円

会 計 名	最終予算額	決 算 額			翌年度に 繰越すべ き財源	翌年度繰 上充用額	実質収支額 (差引純繰越額)	
		歳 入	歳 出	差引額				
一 般 会 計	159,795,550	149,508,607	143,495,394	6,013,213	793,006	0	5,220,207	
特 別 会 計	競 輪 事 業	24,466,000	24,211,945	23,471,069	740,876	0	0	740,876
	国民健康保険事業	33,756,044	35,176,225	32,620,652	2,555,573	0	0	2,555,573
	総合動植物公園事業	1,749,525	1,607,496	1,607,496	0	0	0	0
	公共駐車場事業	137,000	133,279	133,279	0	0	0	0
	母子父子寡婦福祉資金 貸付事業	31,000	44,024	23,348	20,676	0	0	20,676
	後期高齢者医療	9,292,000	8,982,529	8,971,082	11,447	0	0	11,447
小 計	69,431,569	70,155,499	66,826,926	3,328,573	0	0	3,328,573	
合 計	229,227,119	219,664,106	210,322,320	9,341,786	793,006	0	8,548,780	

各会計決算集計表（歳出）



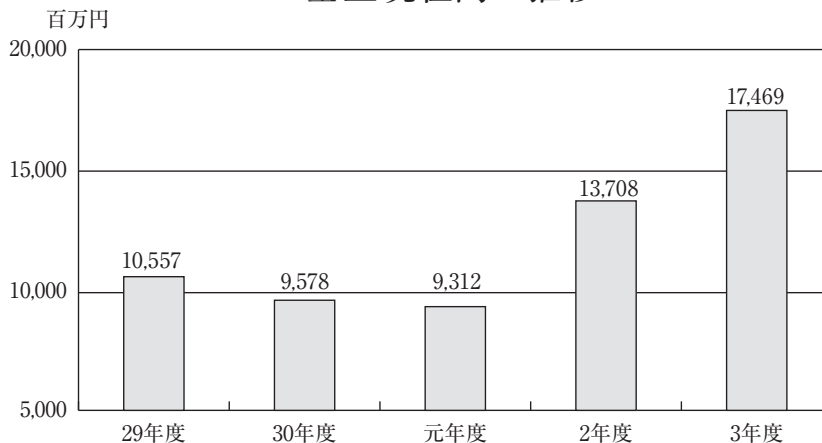
3. 各基金年度末現在高

単位：千円

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一 般 会 計	財 政 調 整 基 金	5,140,932	6,010,677	5,261,195	5,298,163	7,673,704
	減 債 基 金	371,105	363,196	355,273	347,475	339,741
	新型コロナウイルス感染症対策基金	—	—	—	215,130	110,000
	ふ る さ と 基 金	27,071	30,300	43,934	79,820	82,967
	公 共 施 設 等 整 備 基 金	—	322,927	532,479	866,188	1,120,838
	文 化 振 興 基 金	37,772	37,877	38,380	38,621	38,637
	丸山薫現代詩振興基金	—	—	10,000	10,005	9,357
	体 育 振 興 基 金	38,630	38,630	38,630	38,630	38,630
	市 民 協 働 推 進 基 金	17,014	17,175	17,104	16,877	16,643
	福 祉 振 興 基 金	222,552	222,652	222,752	229,858	230,158
	河 原 福 祉 基 金	56,562	53,495	48,817	42,976	40,375
	高齢者福祉・医療振興基金	—	—	—	—	224,377
	環 境 活 動 振 興 基 金	2,989	2,761	2,233	1,715	3,257
	森 林 環 境 譲 与 税 基 金	—	—	15,389	49,961	81,601
	未 来 産 業 支 援 基 金	—	—	—	2,609,770	2,607,398
	つつじが丘校区地域振興基金	—	176,782	176,850	176,924	177,058
	地域公共交通活性化基金	2,792	2,947	3,102	3,258	3,414
	教 育 振 興 基 金	27,937	28,118	28,603	28,812	28,919
	豊橋市立野依小学校等環境整備基金	—	—	—	—	171,003
	小・中学校読書活動振興基金	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
司 文 庫 基 金	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	
星野眞吾・高畑郁子美術振興基金	401,494	404,519	411,796	415,904	406,618	
特 別 会 計	競 輪 事 業 財 政 調 整 基 金	586,666	586,763	586,990	587,235	587,678
	競 輪 事 業 施 設 等 整 備 基 金	299,854	103,291	352,486	1,107,981	1,923,651
	国民健康保険事業財政調整基金	836	836	837	500,973	501,352
	豊橋総合動植物公園整備基金	30,498	34,936	40,905	49,767	65,275
	公 共 駐 車 場 事 業 基 金	351,875	409,690	394,625	249,774	244,018
	介護保険給付費等準備基金	2,210,786	—	—	—	—
土 地 開 発 基 金	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	
収 入 印 紙 購 入 基 金	—	—	—	12,000	12,000	
合 計	10,557,365	9,577,572	9,312,379	13,707,816	17,468,670	

※年度末現在高については出納整理期間における収入、支出を含んだ数値を記載している。また、会計等については、令和3年度に経理した区分である。

基金現在高の推移



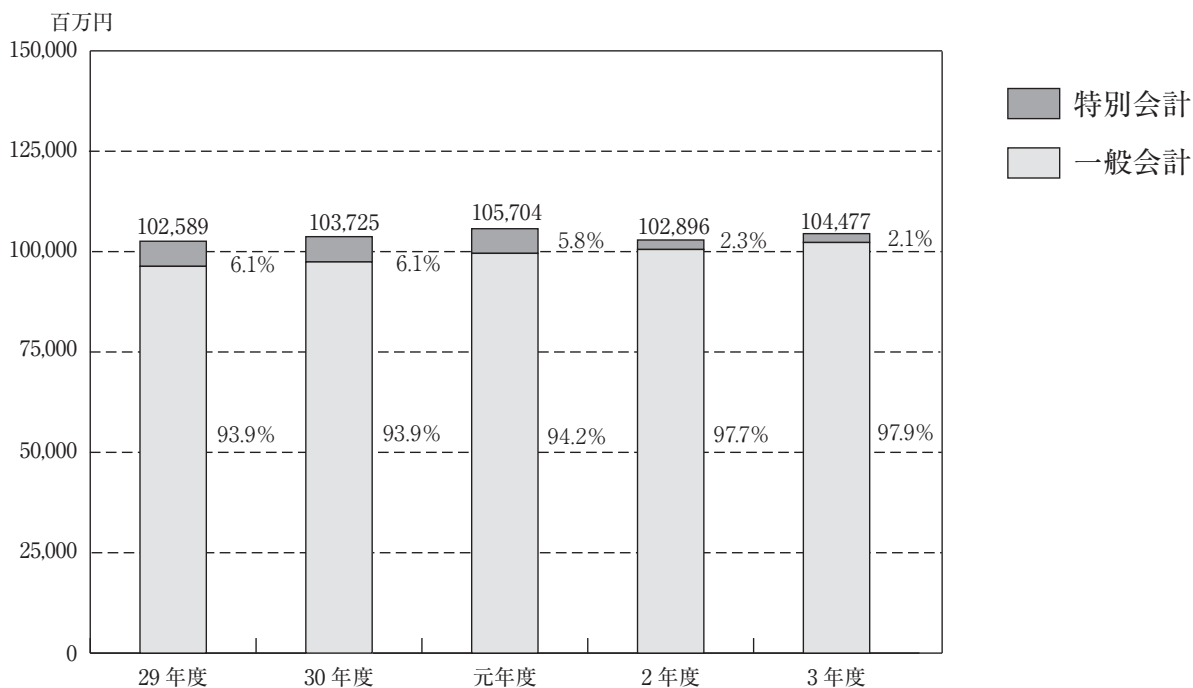
4. 各会計地方債年度末現在高

単位：千円

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一 般 会 計		96,331,947	97,424,904	99,565,585	100,534,827	102,272,793
特 別 会 計	総 合 動 植 物 公 園 事 業	1,799,014	1,960,607	2,006,311	2,297,443	2,153,987
	公 共 駐 車 場 事 業	53,281	16,059	0	0	0
	地 域 下 水 道 事 業	4,332,111	4,251,189	4,060,015	—	—
	母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 事 業	72,338	72,338	71,924	63,698	50,094
小 計		6,256,744	6,300,193	6,138,250	2,361,141	2,204,081
合 計		102,588,691	103,725,097	105,703,835	102,895,968	104,476,874

※地域下水道事業特別会計は、令和2年度より企業会計（下水道事業会計）へ移行

地方債現在高の推移



5. 職員の状況

単位：人

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般会計	2,101	2,138	2,156	2,166	2,179
特別会計	145	114	114	107	110
合計	2,246	2,252	2,270	2,273	2,289

職員数は4月1日現在

6. 財政指標の状況（普通会計）

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
経常収支比率（%）	88.0	87.3	88.5	87.6	87.2	
自主財源比率（%）	62.0	62.3	60.6	45.1	51.4	
財政力指数	単年度	0.989	0.991	0.998	1.012	0.974
	3か年平均	0.984	0.990	0.993	1.000	0.995

7. 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく指標

〔健全化判断比率〕

単位：%

区 分	早期健全化基準 (本市における基準)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実質赤字比率	11.25以下	実質赤字額なし (5.63)	実質赤字額なし (3.90)	実質赤字額なし (5.02)	実質赤字額なし (6.40)	実質赤字額なし (6.96)
連結実質赤字比率	16.25以下	実質赤字額なし (30.36)	実質赤字額なし (24.63)	実質赤字額なし (25.32)	実質赤字額なし (27.27)	実質赤字額なし (33.64)
実質公債費比率	25.0以下	4.4	3.8	3.7	3.8	3.8
将来負担比率	350.0以下	46.6	49.9	50.8	42.4	33.3

() は黒字比率を記載

※算定誤りにより令和元、2年度の将来負担比率を訂正

〔資金不足比率〕

単位：%

区 分	経営健全化基準	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
水道事業会計	20.0以下	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし
下水道事業会計		資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし
病院事業会計		資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし
総合動植物公園事業特別会計		資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし
地域下水道事業特別会計		資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	—	—

Ⅱ 一 般 会 計

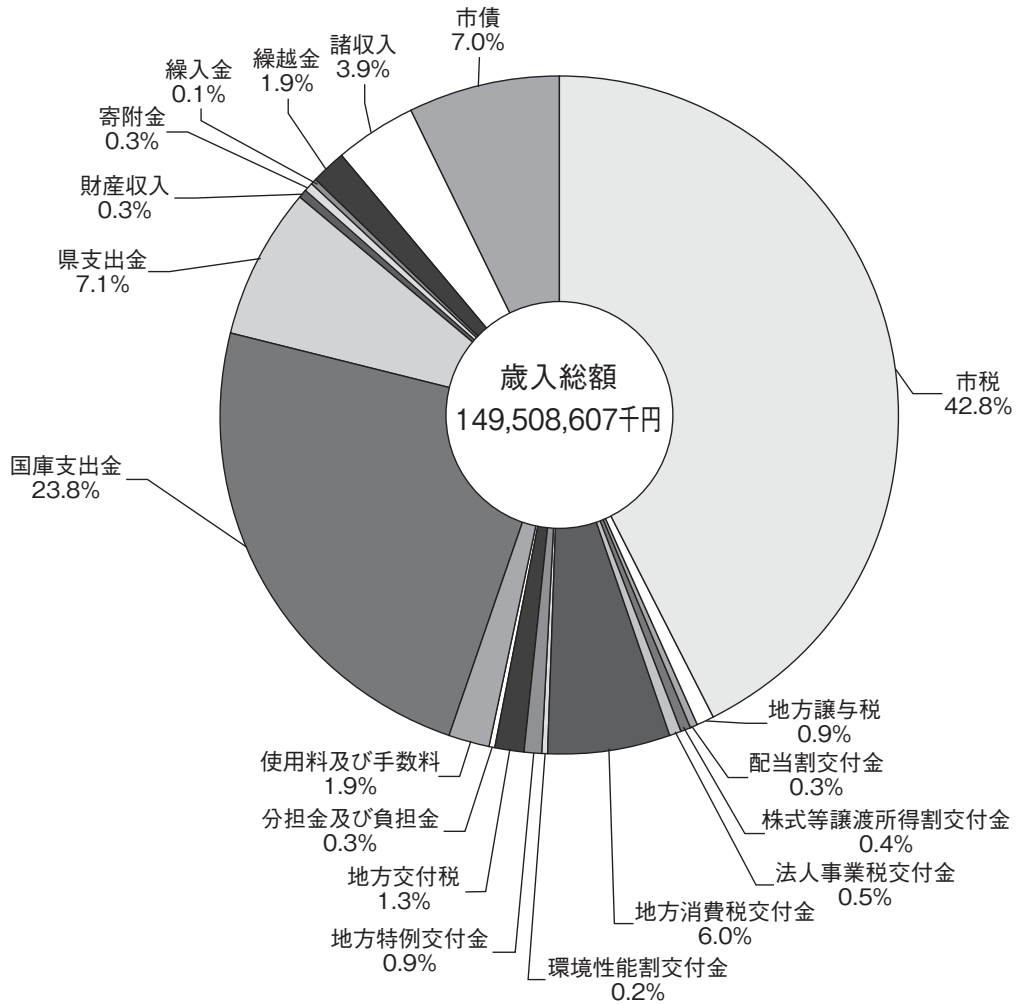
1. 歳入の状況

一般会計款別決算状況（歳入）

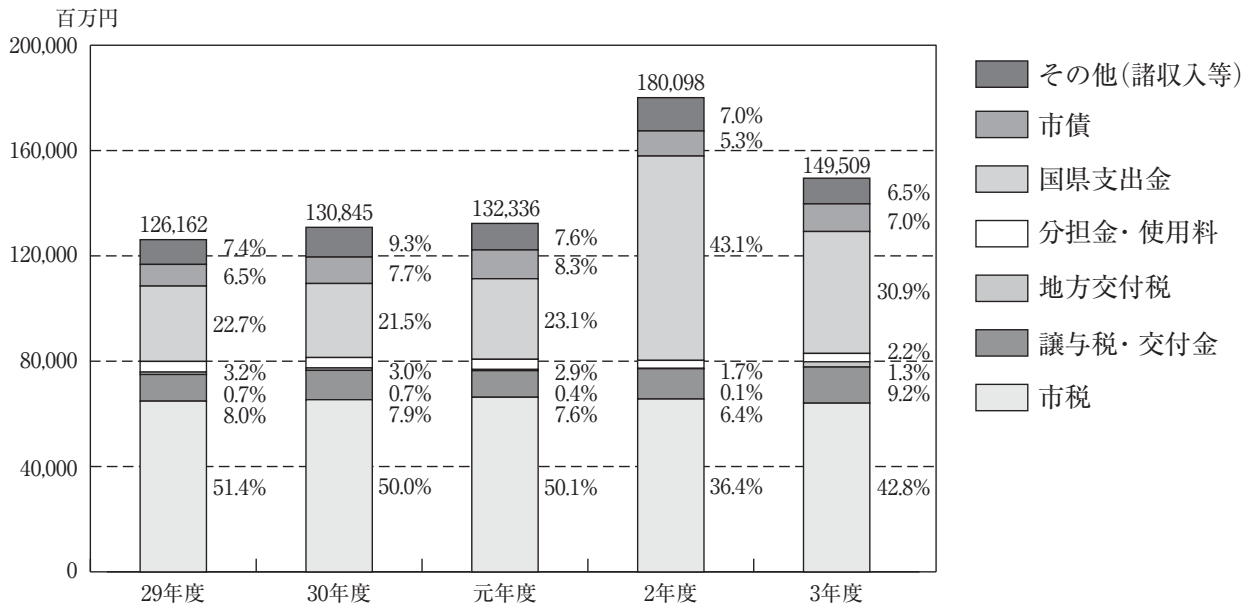
単位：千円、%

区 分	令和2年度			令和3年度		
	決算額	構成比	伸率	決算額	構成比	伸率
1 市 税	65,636,420	36.4	△ 1.0	64,061,053	42.8	△ 2.4
2 地 方 譲 与 税	1,351,199	0.8	△ 1.0	1,378,213	0.9	2.0
3 利 子 割 交 付 金	59,328	—	10.7	38,455	—	△ 35.2
4 配 当 割 交 付 金	347,636	0.2	△ 6.7	471,290	0.3	35.6
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	329,027	0.2	71.0	537,758	0.4	63.4
6 法 人 事 業 税 交 付 金	383,560	0.2	皆増	774,627	0.5	2.0倍
7 地 方 消 費 税 交 付 金	8,199,697	4.6	22.7	8,931,289	6.0	8.9
8 自 動 車 取 得 税 交 付 金	0	—	皆減	19	—	皆増
9 環 境 性 能 割 交 付 金	243,810	0.1	2.2倍	234,556	0.2	△ 3.8
10 国 有 提 供 施 設 等 金 所 在 市 助 成 交 付 金	1,164	—	△ 71.0	3,866	—	3.3倍
11 地 方 特 例 交 付 金	536,008	0.3	△ 39.1	1,275,881	0.9	2.4倍
12 地 方 交 付 税	118,090	0.1	△ 74.7	2,003,590	1.3	17.0倍
13 交 通 安 全 対 策 金 特 別 交 付 金	74,246	—	9.2	72,370	—	△ 2.5
14 分 担 金 及 び 負 担 金	360,208	0.2	△ 52.1	391,954	0.3	8.8
15 使 用 料 及 び 手 数 料	2,679,722	1.5	△ 13.5	2,781,737	1.9	3.8
16 国 庫 支 出 金	66,447,501	36.9	3.2倍	35,646,582	23.8	△ 46.4
17 県 支 出 金	11,148,816	6.2	13.6	10,656,779	7.1	△ 4.4
18 財 産 収 入	512,852	0.3	52.2	382,263	0.3	△ 25.5
19 寄 附 金	128,229	0.1	82.0	502,805	0.3	3.9倍
20 繰 入 金	1,839,128	1.0	△ 16.6	216,373	0.1	△ 88.2
21 繰 越 金	2,080,620	1.2	17.9	2,810,491	1.9	35.1
22 諸 収 入	8,096,236	4.5	41.8	5,850,958	3.9	△ 27.7
23 市 債	9,524,300	5.3	△ 12.8	10,485,700	7.0	10.1
合 計	180,097,797	100	36.1	149,508,607	100	△ 17.0

一般会計款別決算状況（歳入）



款別決算状況の推移

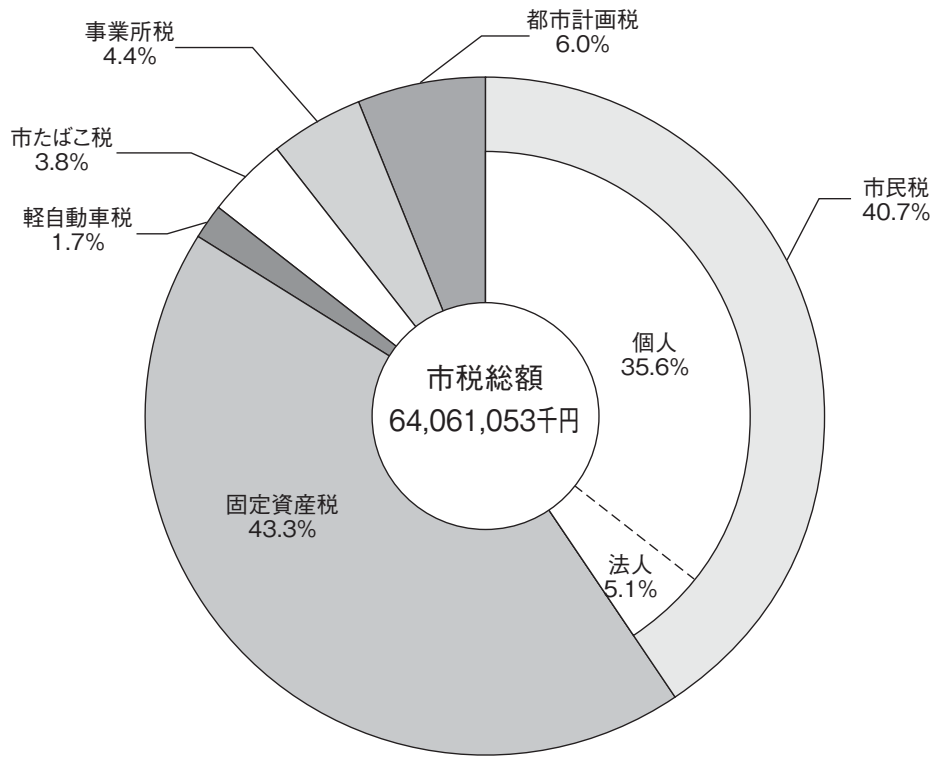


市 税 決 算 状 況

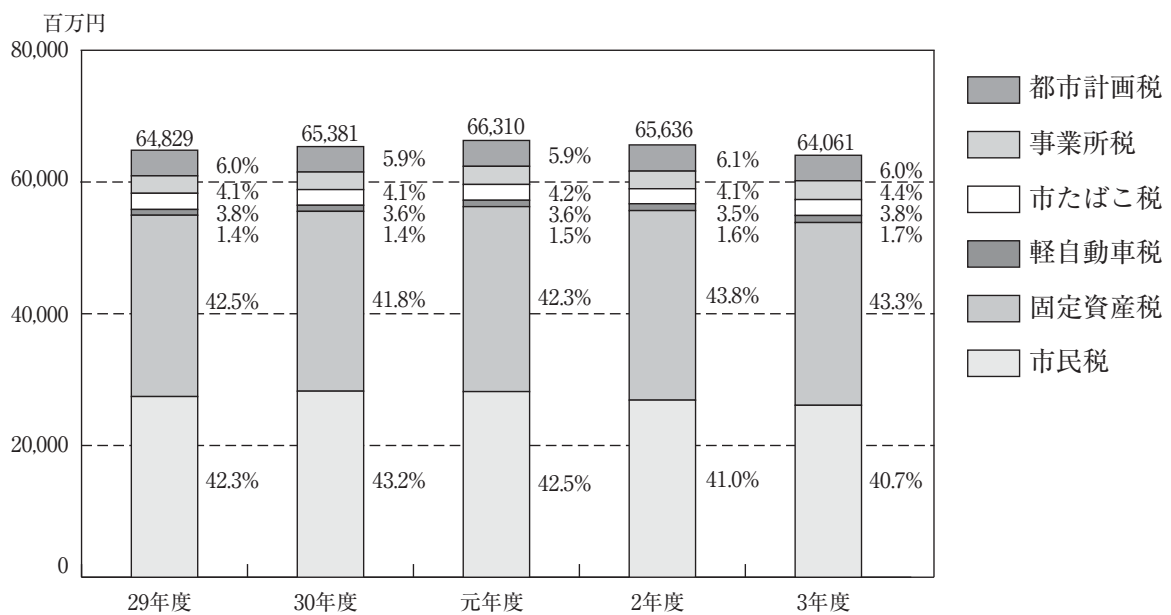
単位：千円、%

区 分	令和2年度			令和3年度		
	決算額	構成比	伸率	決算額	構成比	伸率
1 市 民 税	26,888,044	41.0	△ 4.6	26,103,895	40.7	△ 2.9
(1) 個 人	23,565,869	35.9	△ 0.5	22,810,773	35.6	△ 3.2
(2) 法 人	3,322,174	5.1	△ 26.3	3,293,123	5.1	△ 0.9
2 固 定 資 産 税	28,774,950	43.8	2.5	27,743,544	43.3	△ 3.6
3 軽 自 動 車 税	1,035,576	1.6	6.5	1,071,844	1.7	3.5
4 市 た ば こ 税	2,277,080	3.5	△ 5.0	2,415,275	3.8	6.1
5 事 業 所 税	2,680,218	4.1	△ 2.6	2,850,665	4.4	6.4
6 都 市 計 画 税	3,980,415	6.1	1.4	3,875,685	6.0	△ 2.6
7 鉦 産 税	137	—	△ 9.1	143	—	4.4
合 計	65,636,420	100	△ 1.0	64,061,053	100	△ 2.4

市税決算状況



市税決算状況の推移



目的税（事業所税、都市計画税）の充当状況

単位：千円

区 分	主 な 事 業	決算額	財 源 内 訳					
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	事業所税 都市計画税	
							事業所税	都市計画税
保育所、社会福祉施設等整備	・法人保育所・認定こども園整備費補助金 ・保健所・保健センター管理運営事業 など	935,332	429,008	162,100	0	344,244	163,236	0
火葬場整備	・斎場整備事業	192,647	0	145,500	0	47,147	22,358	0
廃棄物処理施設等整備	・余熱利用施設管理運営事業 ・ごみ焼却処理事業 ・豊橋田原ごみ処理施設整備事業 など	1,295,031	27,459	0	33,647	1,233,925	304,330	592,200
道路・橋梁、河川等整備	・弥生町線整備事業 ・道路舗装事業 ・橋梁長寿命化事業 など	2,265,837	254,363	1,020,500	56,676	934,298	417,626	53,700
公園整備	・街区公園等整備事業 など	322,368	82,957	117,000	1,910	120,501	6,110	107,900
市街地整備	・駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発等事業 ・牟呂坂津土地区画整理事業 ・柳生川南部土地区画整理推進事業 など	2,535,878	1,337,039	778,000	86,470	334,369	2,860	328,700
下水道整備	・雨水処理等負担金 ・下水道建設改良事業出資金 など	1,529,076	0	0	0	1,529,076	124,176	1,404,900
消防・防災施設等整備	・防災備蓄品等整備事業 ・消防署所施設管理事業 など	370,152	21,673	260,500	0	87,979	41,721	0
教育・文化施設整備	・本郷中学校校舎改造事業 ・まちなか図書館整備事業 ・美術博物館改修事業 など	3,010,411	142,047	1,572,100	26	1,296,238	462,354	414,719
公債費	・都市計画事業債等に係る元利償還金	3,485,959	0	0	0	3,485,959	1,163,361	1,032,900
徴税費	・課税事務費 など	1,097,414	628,159	0	50,636	418,619	142,533	0
合 計		17,040,107	2,922,706	4,055,700	229,364	9,832,337	2,850,665	3,935,019

森林環境譲与税の充当状況

単位：千円

区 分	主 な 事 業	決算額	財 源 内 訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	森林環境譲与税
森林環境整備	・森林環境整備推進事業費 ・森林環境譲与税基金積立金	37,121	0	0	0	37,121	37,121
合 計		37,121	0	0	0	37,121	37,121

地方消費税交付金（消費税率引上げ分）の充当状況

消費税率が引き上げられたことに伴う地方消費税交付金の増収分の充当状況については、次のとおりです。

（歳入） 7款1項1目 地方消費税交付金

決算額 8,931,289 千円

うち、社会保障財源分 5,007,553 千円

（歳出） 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

単位：千円

区 分	主 な 事 業	決 算 額	財 源 内 訳			
			国県支出金	そ の 他	一 般 財 源	うち、 引上げ分の 地方消費税
社会福祉	障害者福祉事業	11,646,127	7,587,824	1,436	4,056,867	814,328
	高齢者福祉事業	963,776	333,951	0	629,825	126,424
	児童福祉事業	20,532,611	11,786,306	809,456	7,936,849	1,593,149
	母子父子福祉事業	1,407,183	504,661	0	902,522	181,161
	生活保護事業	3,658,558	2,688,495	52,012	918,051	184,279
小 計		38,208,255	22,901,237	862,904	14,444,114	2,899,341
社会保険	国民健康保険事業	2,204,059	1,261,300	0	942,759	189,238
	介護保険事業	2,698,208	0	0	2,698,208	541,607
	高齢者医療事業	4,290,383	633,223	0	3,657,160	734,095
小 計		9,192,650	1,894,523	0	7,298,127	1,464,940
保健衛生	病院事業	1,250,971	0	0	1,250,971	251,105
	疾病予防対策事業	4,527,694	2,570,196	24,971	1,932,527	387,913
	医療提供体制確保事業	37,475	0	16,284	21,191	4,254
小 計		5,816,140	2,570,196	41,255	3,204,689	643,272
合 計		53,217,045	27,365,956	904,159	24,946,930	5,007,553

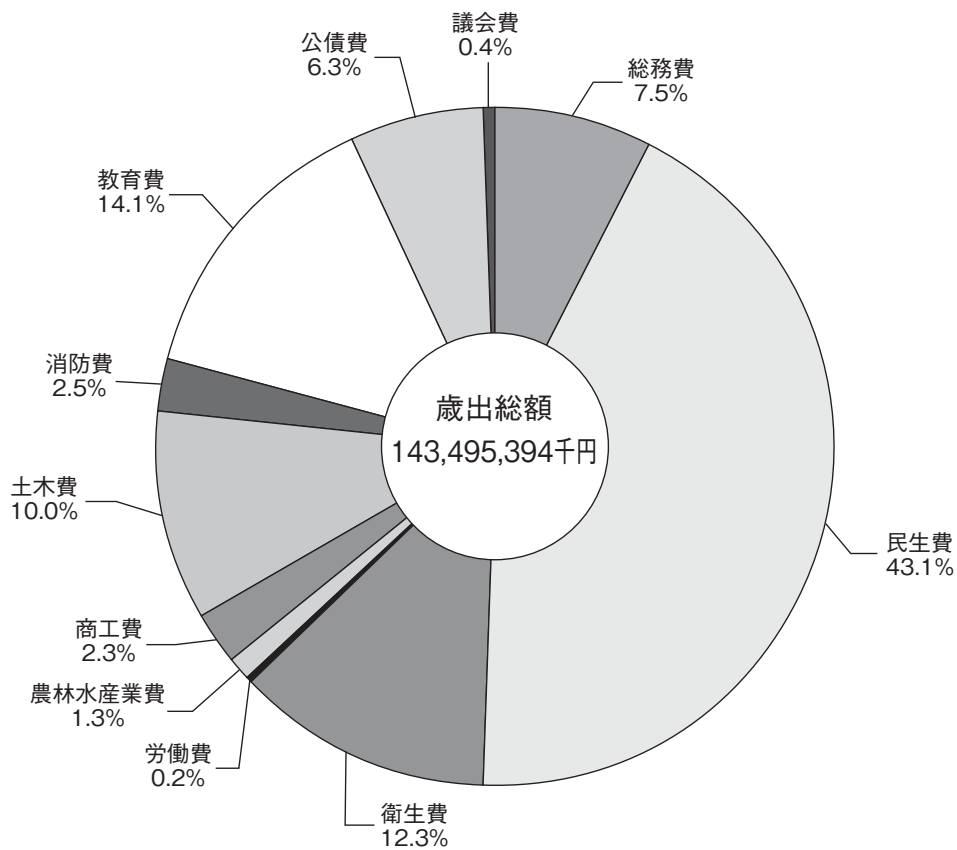
2. 歳出の状況

一般会計款別決算状況（歳出）

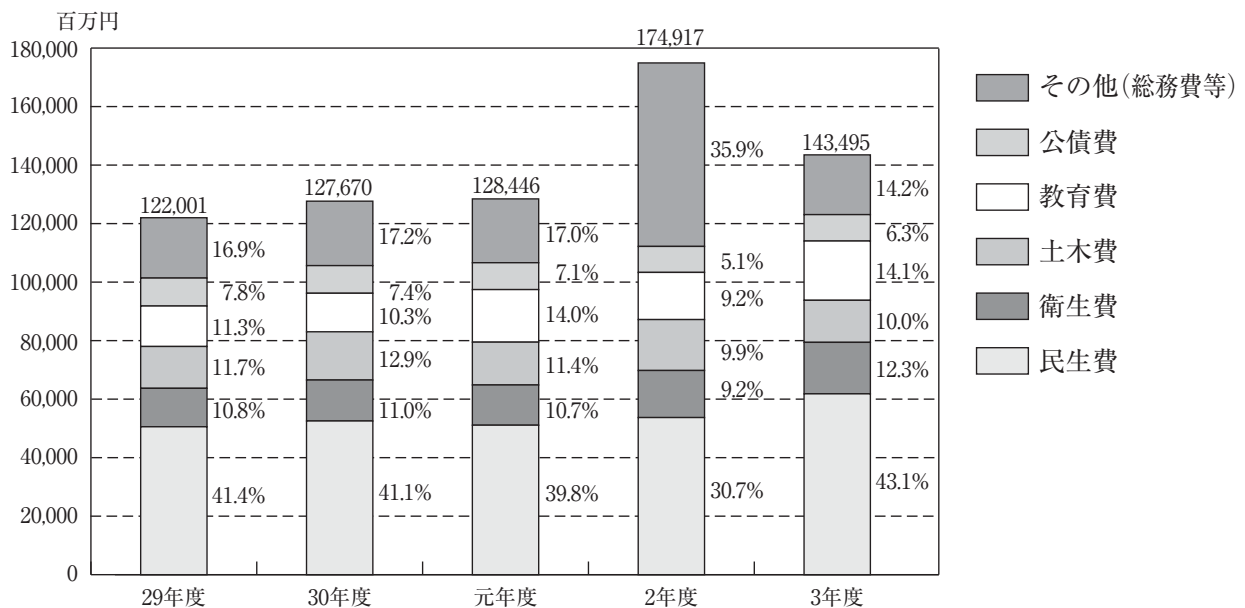
単位：千円、%

区 分	令和2年度			令和3年度		
	決算額	構成比	伸率	決算額	構成比	伸率
1 議 会 費	613,360	0.4	△ 2.2	635,891	0.4	3.7
2 総 務 費	49,491,488	28.3	4.3倍	10,813,171	7.5	△ 78.2
3 民 生 費	53,703,915	30.7	5.1	61,807,895	43.1	15.1
4 衛 生 費	16,093,399	9.2	17.0	17,602,812	12.3	9.4
5 労 働 費	272,100	0.2	37.3	217,817	0.2	△ 19.9
6 農 林 水 産 業 費	1,674,435	1.0	△ 24.3	1,826,867	1.3	9.1
7 商 工 費	6,986,026	4.0	2.0倍	3,288,481	2.3	△ 52.9
8 土 木 費	17,402,953	9.9	18.9	14,376,068	10.0	△ 17.4
9 消 防 費	3,664,941	2.1	△ 2.3	3,635,599	2.5	△ 0.8
10 教 育 費	16,116,833	9.2	△ 10.3	20,259,015	14.1	25.7
11 災 害 復 旧 費	16,348	—	27.1	6,776	—	△ 58.6
12 公 債 費	8,881,508	5.1	△ 3.2	9,025,003	6.3	1.6
合 計	174,917,306	100	36.2	143,495,394	100	△ 18.0

一般会計款別決算状況（歳出）



款別決算状況の推移

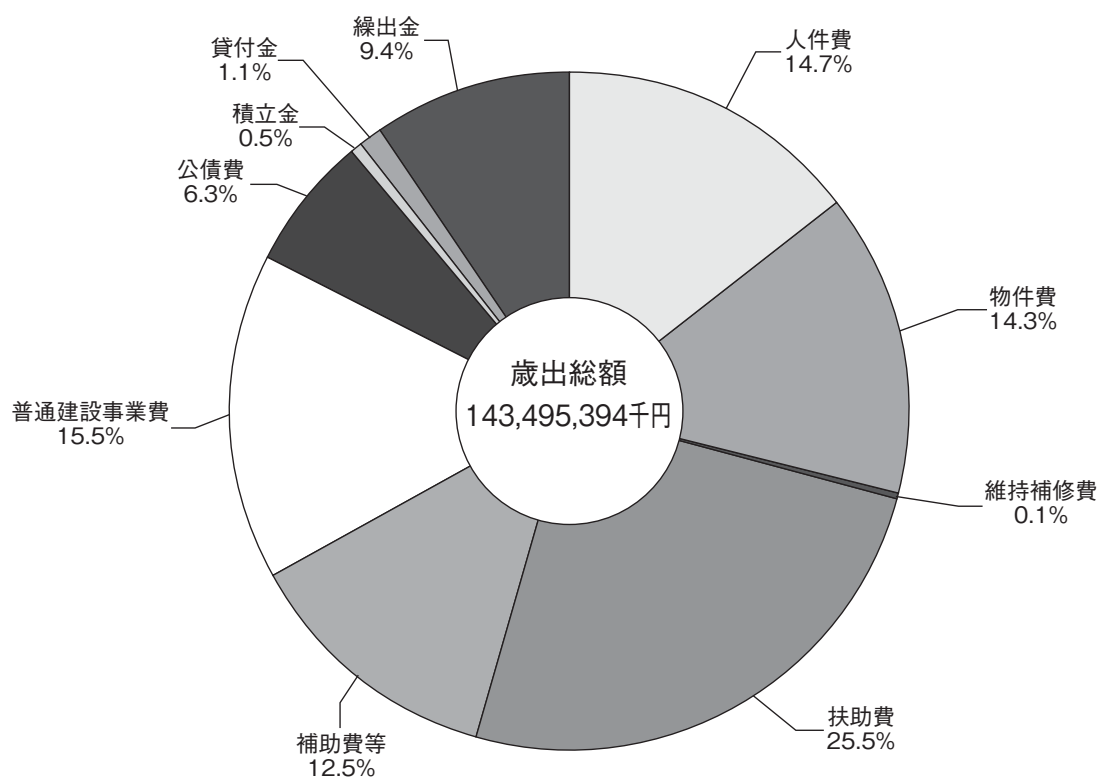


一般会計性質別決算状況（歳出）

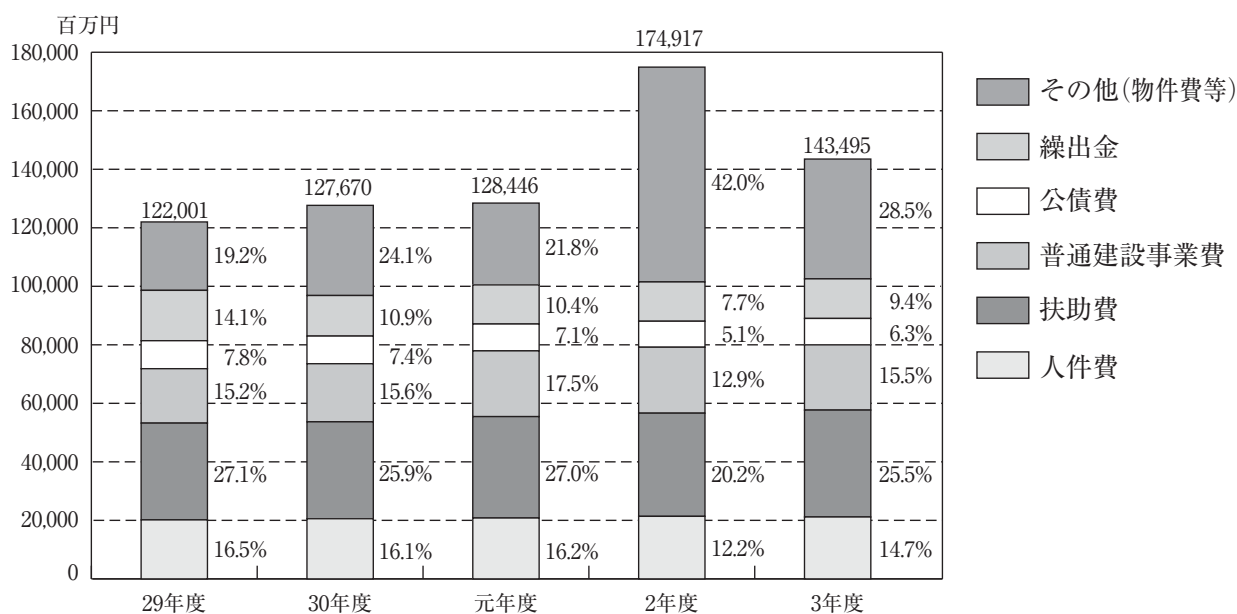
単位：千円、%

区 分	令和2年度			令和3年度			
	決算額	構成比	伸率	決算額	構成比	伸率	
1 人 件 費	21,376,617	12.2	2.8	21,152,490	14.7	△ 1.0	
2 物 件 費	20,272,760	11.6	13.0	20,570,543	14.3	1.5	
3 維 持 補 修 費	113,708	0.1	7.4	91,841	0.1	△ 19.2	
4 扶 助 費	35,264,414	20.1	1.7	36,542,568	25.5	3.6	
5 補 助 費 等	48,276,101	27.6	5.8倍	17,884,280	12.5	△ 63.0	
6 普 通 建 設 事 業 費	22,539,151	12.9	0.3	22,294,062	15.5	△ 1.1	
内 訳	補 助 事 業 費	11,560,499	6.6	10.3	9,472,701	6.6	△ 18.1
	単 独 事 業 費	10,450,720	6.0	△ 9.3	12,305,026	8.6	17.7
	県 営 事 業 負 担 金	527,932	0.3	13.4	516,335	0.4	△ 2.2
7 災 害 復 旧 事 業 費	16,348	—	27.1	6,776	—	△ 58.6	
8 公 債 費	8,881,508	5.1	△ 3.2	9,025,003	6.3	1.6	
9 積 立 金	3,305,528	1.9	11.3倍	774,045	0.5	△ 76.6	
10 投 資 及 び 出 資 金	17,000	—	56.7倍	300	—	△ 98.2	
11 貸 付 金	1,423,500	0.8	5.5	1,622,500	1.1	14.0	
12 繰 出 金	13,430,671	7.7	0.5	13,530,986	9.4	0.7	
合 計	174,917,306	100	36.6	143,495,394	100	△ 18.0	

一般会計性質別決算状況（歳出）



性質別決算状況の推移

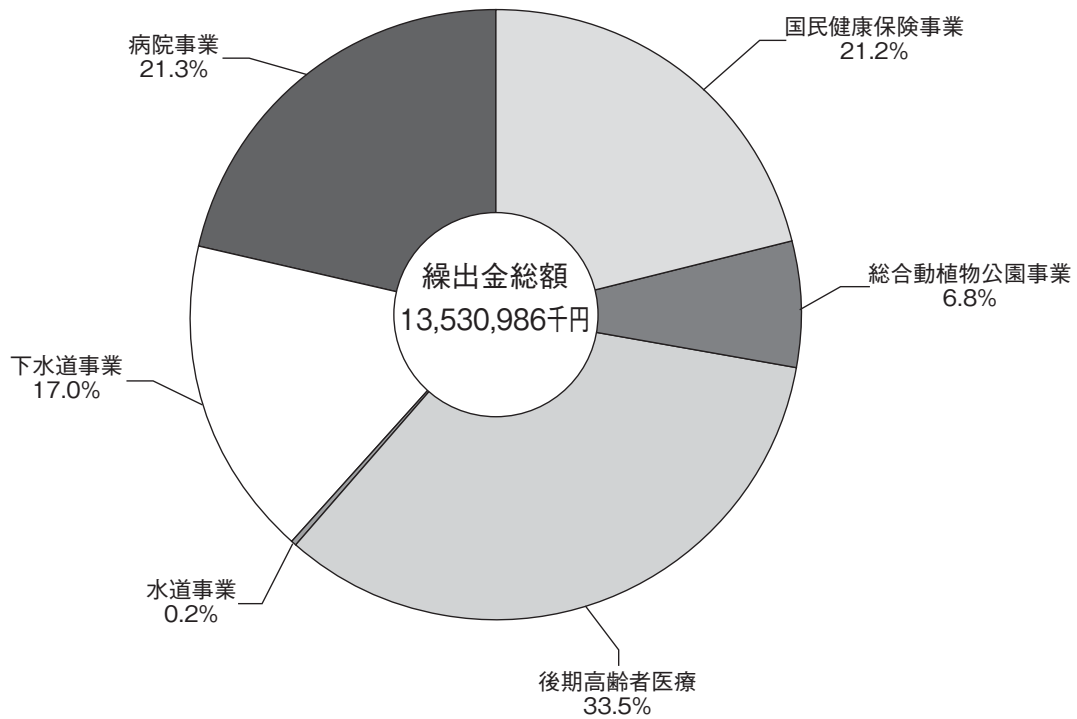


他会計への繰出金決算状況

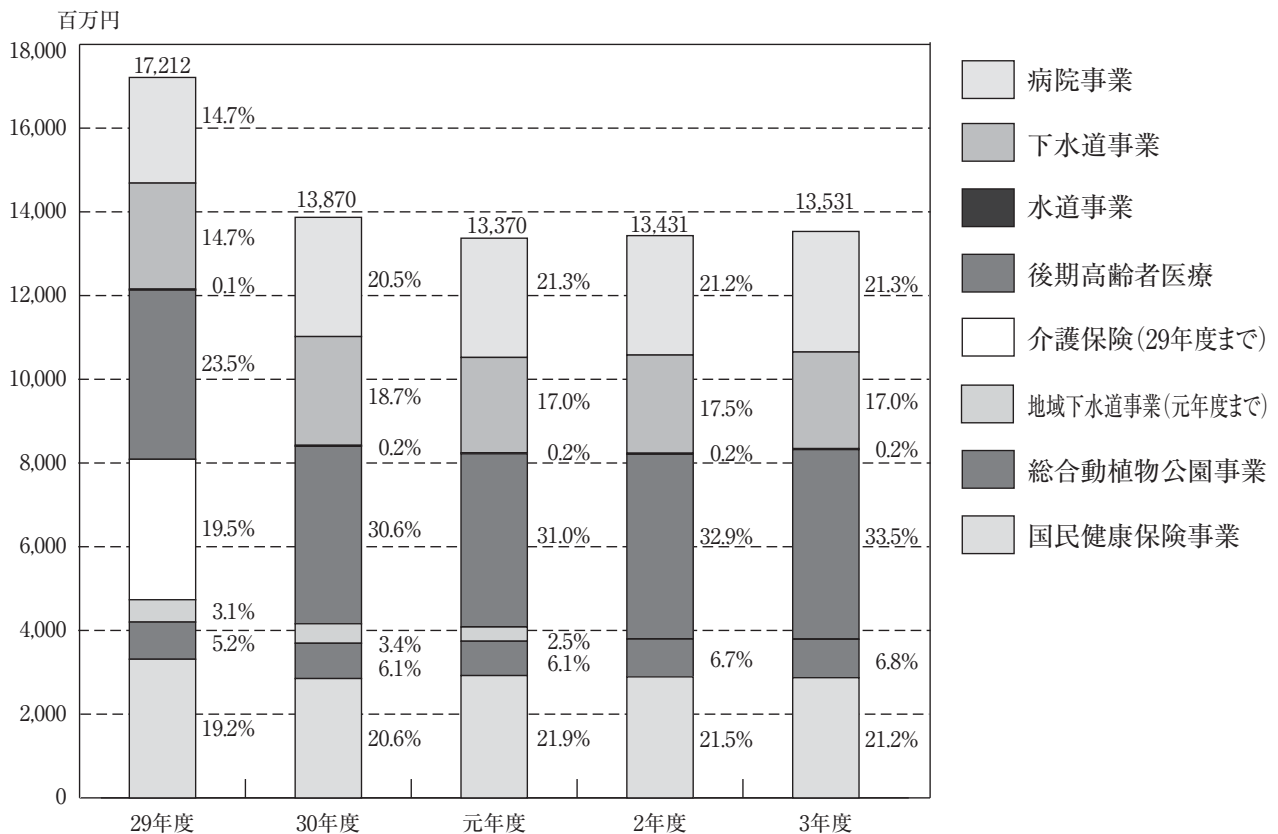
単位：千円、%

区 分		令和2年度			令和3年度		
		決算額	構成比	伸率	決算額	構成比	伸率
特別 会計	国民健康保険事業	2,890,639	21.5	△ 1.1	2,870,677	21.2	△ 0.7
	総合動植物公園事業	902,998	6.7	9.9	918,291	6.8	1.7
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	139	—	△ 5.1	92	—	△ 33.6
	後期高齢者医療	4,414,846	32.9	6.7	4,530,805	33.5	2.6
	小 計	8,208,622	61.1	△ 0.1	8,319,864	61.5	1.4
企 業 会 計	水道事業	24,666	0.2	0.5	24,801	0.2	0.5
	児童手当費負担金	6,028	—	10.1	6,338	—	5.1
	消火栓設置等負担金	18,638	0.1	△ 2.3	18,463	0.1	△ 0.9
	下水道事業	2,344,764	17.5	3.0	2,306,801	17.0	△ 1.6
	雨水処理等負担金	1,635,451	12.2	△ 9.3	1,664,847	12.3	1.8
	児童手当費負担金	7,290	0.1	△ 4.9	6,827	0.1	△ 6.3
	下水道建設改良事業出資金	98,434	0.7	△ 14.4	87,814	0.6	△ 10.8
	バイオマス利活用センター負担金	354,817	2.6	0.9	338,814	2.5	△ 4.5
	分流式下水道等負担金	247,287	1.8	皆増	208,499	1.5	△ 15.7
	使用料改定負担緩和特例措置補助金	1,485	—	皆増	—	—	皆減
	病院事業	2,852,619	21.2	0.1	2,879,519	21.3	0.9
	病院運営事業費負担金	559,744	4.2	△ 3.1	559,255	4.1	△ 0.1
	救命救急センター運営費負担金	373,519	2.8	1.8	378,320	2.8	1.3
	空床確保費負担金	204,757	1.5	△ 1.5	209,291	1.5	2.2
	保健衛生行政経費負担金	93,315	0.7	△ 20.1	104,105	0.8	11.6
企業債償還金等負担金	1,557,017	11.6	1.6	1,557,017	11.5	0.0	
児童手当費負担金	46,268	0.3	△ 1.2	49,972	0.4	8.0	
建設改良費出資金	18,000	0.1	皆増	21,560	0.2	19.8	
小 計	5,222,050	38.9	1.4	5,211,122	38.5	△ 0.2	
合 計	13,430,671	100	0.5	13,530,986	100	0.7	

繰出金決算状況



繰出金決算状況の推移



新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
1 款 議会費	29,040	0	0	0	29,040
①議会運営事務費	29,040	0	0	0	29,040
2 款 総務費	267,731,034	220,951,110	212,469,000	7,783,050	38,996,874
①新型コロナウイルス感染症対策基金 積立金	8,161,550	0	0	6,161,550	2,000,000
②職員採用事務費	62,400	0	0	0	62,400
③庁舎管理事務費	120,215,724	103,587,000	103,587,000	0	16,628,724
④未来創生戦略事業費	858,000	771,000	771,000	0	87,000
⑤行政情報管理システム管理運営事業費	5,782,062	5,196,000	5,196,000	0	586,062
⑥ICT利活用推進事業費	13,675,172	12,292,000	12,292,000	0	1,383,172
⑦個人市民税課税事務費	1,128,416	1,014,000	1,014,000	0	114,416
⑧窓口センター施設管理運営事業費	2,791,810	2,509,000	2,509,000	0	282,810
⑨文化がみえるまちづくり事業費	127,050	0	0	0	127,050
⑩市民文化会館管理事業費	0	0	0	0	0
⑪西川芸能練習場管理事業費	0	0	0	0	0
⑫三の丸会館管理事業費	0	0	0	0	0
⑬ライフポートとよはし管理事業費	594,000	0	0	0	594,000
⑭公会堂管理事業費	77,000	0	0	0	77,000
⑮穂の国とよはし芸術劇場管理事業費	11,906,000	5,752,000	5,752,000	0	6,154,000
⑯アイプラザ豊橋管理事業費	3,263,000	2,900,000	2,900,000	0	363,000
⑰総合運動場管理運営事業費	683,000	0	0	0	683,000
⑱地区体育館管理運営事業費	372,000	334,000	334,000	0	38,000
⑲トレーニングセンター管理運営事業費	49,000	0	0	0	49,000
⑳総合体育館管理運営事業費	417,000	374,000	374,000	0	43,000
㉑屋内プール・アイスアリーナ管理運 営事業費	22,183,000	19,942,000	19,942,000	0	2,241,000
㉒スポーツを活用したまちづくり事業費	755,205	678,000	678,000	0	77,205

対策の決算状況

単位：円

区 分	実績及び成果	
	令和2年度	令和3年度
Web会議システムの導入	—	Web会議システムの導入
新型コロナウイルス感染症対策基金積立金	215,129,781円	8,161,550円
採用試験における感染防止対策	採用試験会場の増設及び消毒委託	採用試験会場の増設及び消毒委託
市役所内の感染症対策環境整備 空調設備修繕 市役所内サテライトオフィスの整備	アクリル板等資材購入 1,341,604円 — —	アクリル板等の購入 959,024円 9台 114,268,000 地下1階改装工事等
豊橋市新型コロナ通知システム	豊橋市新型コロナ通知システムの導入	豊橋市新型コロナ通知システムの運用
チャットサービス利用料 テレワーク用PC賃借料 無線化作業 無線化機器	—	75台 140ライセンス 1,761,540円 3,113,000 907,522
テレワーク用スマートフォン導入 Web会議システム導入 庁内無線化等ネットワーク再編プロジェクト管理等委託 テレワーク用PC購入	— 2,712,000円 9,482,000 —	6台 166,703円 1,128,519 4,899,950 100台 7,480,000
住民税申告における感染防止対策	HP上で申告書作成機能の提供、申告時の順番待ち受付システムの導入	HP上で申告書作成機能の提供、申告時の順番待ち受付システムの増台
空調設備修繕 感染症対策環境整備	— 消毒液等の購入 33,922円	4施設 2,761,000円 消毒液等の購入 30,810
ストリートピアノ管理事業費	—	消毒等の清掃委託
指定管理者支援補助金	2,207,000円	0円
指定管理者支援補助金	382,000円	0円
指定管理者支援補助金	1,079,000円	0円
指定管理者支援補助金	2,048,000円	594,000円
指定管理者支援補助金	1,413,000円	77,000円
指定管理者支援補助金	14,069,000円	11,906,000円
指定管理者支援補助金	22,365,000円	3,263,000円
指定管理者支援補助金	7,438,000円	683,000円
指定管理者支援補助金	3,971,580円	372,000円
指定管理者支援補助金	518,810円	49,000円
指定管理者支援補助金	4,454,610円	417,000円
指定管理者支援補助金	36,509,000円	22,183,000円
スポーツ合宿等支援事業補助金	—	10件 755,205円

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
㉓スポーツによる共生・交流促進事業費	100,000	0	0	0	100,000
㉔校区市民館管理運営事業費	40,040,219	35,995,000	35,995,000	0	4,045,219
㉕市民センター管理運営事業費	1,479,000	614,000	614,000	0	865,000
㉖外国人相談事業費	9,200,000	6,813,000	6,813,000	1,621,500	765,500
㉗相談支援事業費	9,804,387	9,517,000	2,546,000	0	287,387
㉘男女共同参画センター管理運営事業費	2,037,800	1,808,000	1,778,000	0	229,800
㉙危機管理対策事業費	10,029,382	9,016,000	9,016,000	0	1,013,382
㉚東三河広域連合消費生活事業負担金	297,626	267,000	267,000	0	30,626
㉛その他	1,641,231	1,572,110	91,000	0	69,121
3 款 民生費	9,338,879,504	9,282,233,858	562,541,000	0	56,645,646
①総合福祉センター管理運営事業費	3,190,000	2,867,000	2,867,000	0	323,000
②障害福祉サービス継続支援事業補助金	8,737,000	7,984,000	6,691,000	0	753,000
③障害福祉サービス感染症対策事業費	272,448	244,000	244,000	0	28,448
④介護ロボット等導入支援事業補助金	1,526,000	1,474,000	457,000	0	52,000
⑤障害者福祉会館管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑥住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費	2,468,598,300	2,468,598,300	0	0	0
⑦特別養護老人ホーム管理運営事業費	1,474,120	1,275,000	1,275,000	0	199,120
⑧介護サービス提供体制確保事業補助金	58,285,000	56,480,000	16,053,000	0	1,805,000
⑨介護保険施設等整備事業補助金	5,030,000	5,030,000	0	0	0
⑩切れ目のない子育て支援事業費	451,130	427,565	202,000	0	23,565
⑪子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費（切れ目のない子育て支援費）	234,084,047	234,084,047	0	0	0
⑫公立保育所等管理運営事業費	11,934,885	10,932,000	9,464,000	0	1,002,885
⑬法人保育所・認定こども園通常保育事業費	52,373,000	49,800,000	22,881,000	0	2,573,000
⑭私立幼稚園運営費補助金	3,855,280	3,465,000	3,465,000	0	390,280

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果	
	令和2年度	令和3年度
アスリートによるオンライン講座開催回数	—	1回 29人
空調設備修繕 ICT環境の整備	— —	36館 28,240,135円 49 11,800,084
指定管理者支援補助金	3,108,000円	1,479,000円
ブラジル人向けメンタルヘルス相談件数	1,555件	1,081件
生理用品の配布 女性のつながりサポート事業	— —	1,500袋 509,332円 SNSやまちかど保健室での相談、訪問支援等
空調設備修繕 男性の家事・育児への参画意識高揚を図るセミナー	1台 1,265,000円 —	1台 1,977,800円 2回 32人
避難所の感染防止用品購入	—	プライバシー保護テント、プラスチックガウン、 ニトリル手袋、避難所受付用パーテーション
オンライン消費生活相談等事業負担金	544,662円	297,626円
市有施設の感染症対策環境整備	消毒液等の消耗品購入 1,926,860円	消毒液等の消耗品購入 1,641,231円
空調設備修繕	—	2台 3,190,000円
サービス継続支援事業補助件数 抗原検査キット等購入補助件数 感染対策物品等購入補助件数	3事業所 366,000円 — —	4事業所 1,293,000円 64 2,379,000 90 5,065,000
CO2モニターの配布	—	72事業所 272,448円
補助金	1事業所 854,000円	1事業所 1,526,000円
指定管理者支援補助金	—	0円
職員人件費 給付世帯数 事務費	— — —	時間外勤務手当 1,562,679円 24,202世帯 2,420,200,000 46,835,621
感染症対策用陰圧ブース購入 感染症対策環境整備 リモート面会の実施	— — —	2セット 1,320,000円 消耗品購入 100,000 286件 54,120
感染対策物品等購入補助件数 自費検査補助件数 抗原検査キット等購入補助件数 緊急時介護人材確保・職場環境復旧等支援件数	— — — 27事業所 22,663,000円	208事業所 13,331,000円 3 383,000 109 4,144,000 34 40,427,000
新型コロナウイルス感染拡大防止対策費補助金	3事業所 9,244,000円	2事業所 5,030,000円
子育て応援事業	—	会場分散型による子育て応援フェスの開催
職員人件費 給付人数 事務費	— — —	時間外勤務手当等 2,578,127円 4,393人 219,650,000 11,855,920
感染症対策環境整備 空調設備修繕 一時預かり事業の体制強化	消毒液、非接触体温計等の購入 4,967,872円 — —	消毒液、非接触体温計等の購入 2,714,567円 2園 7,623,000 会計年度任用職員(日額等) 1,597,318
感染対策物品等購入補助件数 抗原検査キット等購入補助件数 オンライン環境整備費補助金	83施設 58,221,000円 — —	68施設 37,900,000円 42 10,573,000 50 3,900,000
感染対策物品等購入補助件数 抗原検査キット等購入補助件数 オンライン環境整備費補助金	— — —	17施設 1,626,280円 11 1,519,000 9 710,000

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
⑮子育て環境総合支援事業費	1,690,260	1,364,000	1,027,000	0	326,260
⑯交通児童館管理運営事業費	1,910,800	1,632,000	1,452,000	0	278,800
⑰こども未来館施設管理事業費	12,024,600	8,437,000	8,437,000	0	3,587,600
⑱児童育成事業費	1,567,560	1,460,000	902,000	0	107,560
⑲法人保育所等地域子ども・子育て支援事業費	2,563,000	2,539,000	458,000	0	24,000
⑳新生児臨時特別給付金給付事業費	9,400,000	8,450,000	8,450,000	0	950,000
㉑ひとり親家庭等自立支援事業費	233,381	221,000	105,000	0	12,381
㉒母子生活支援施設入所事業費	232,000	183,000	183,000	0	49,000
㉓子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費（ひとり親家庭等支援費）	181,651,361	181,651,361	0	0	0
㉔子どもの貧困対策事業費	9,880,991	9,730,991	0	0	150,000
㉕子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費	5,727,672,123	5,727,672,123	0	0	0
㉖豊橋市子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費	519,291,843	476,046,000	476,046,000	0	43,245,843
㉗生活保護扶助事業費	0	0	0	0	0
㉘生活困窮者自立支援事業費	120,662	90,000	0	0	30,662
㉙新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業費	17,596,471	17,596,471	0	0	0
⑳その他	3,233,242	2,500,000	1,882,000	0	733,242
4 款 衛生費	3,478,065,390	3,122,676,274	184,066,000	113,376,331	242,012,785
①共通事務費（疾病対策費）	2,312,000	2,210,000	890,000	0	102,000
②予防接種事業費	2,336,892,995	2,336,721,395	0	0	171,600

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果	
	令和2年度	令和3年度
児童福祉施設等感染症防止対策相談支援 C O 2 モニターの配布	— —	医師によるオンライン相談支援 528,572円 153施設 1,161,688
指定管理者支援補助金 空調設備修繕 感染症対策環境整備	798,000円 — —	516,000円 3台 1,196,800 消毒液等の購入 198,000
抗原検査キット購入 指定管理者支援補助金	— 23,568,000円	20個 28,600円 11,996,000
抗原検査キット等購入補助件数 つどいの広場感染症対策環境整備 ファミリーサポートセンター感染症対策環境整備	— 消毒液等の購入 1,499,817円 —	3施設 620,000円 消毒液等の購入 647,634 消毒液等の購入 299,926
感染症対策費補助金 地域子育て支援センターの感染症対策環境整備 病児保育の感染症対策環境整備	2施設 852,080円 消毒液等の購入 2,000,000 1施設 63,000	7施設 1,230,000円 消毒液やオンライン環境対応機器等の購入 1,240,000 1施設 93,000
給付人数	2,350人 235,000,000円	94人 9,400,000円
ひとり親家庭等学習・生活支援事業	オンライン上で支援できるよう、タブレット端末等を導入	オンライン上での支援体制の強化
抗原検査キット等購入補助件数 感染症対策物品等購入補助件数	— 1施設 500,000円	1施設 132,000円 1 100,000
職員人件費 給付人数 事務費	— — —	時間外勤務手当 647,760円 3,508人 175,400,000 5,603,601
フードバンク活動支援事業補助金 支援対象児童等への食事の提供	— —	1団体 300,000円 弁当配付 2,288食
職員人件費 給付人数 事務費	— — —	時間外勤務手当 492,293円 57,099人 5,709,870,000 17,309,830
給付人数 事務費	— —	5,166人 516,600,000円 2,691,843
保護施設等衛生管理体制確保支援件数	—	0件
学習・生活支援人数 就労準備支援人数	— —	88人 6
職員人件費 給付人数 事務費	— — —	時間外勤務手当 775,845円 151人 15,540,000 1,280,626
感染症対策に係る人件費 市有施設の感染症対策環境整備	— 消毒液等の消耗品及び備品購入 2,144,008円	時間外勤務手当 64,476円 消毒液等の消耗品及び備品購入 3,168,766
保健衛生システム改修委託料	—	がん検診等の結果をマイナポータルで閲覧 できるよう、保健衛生システムの改修を実施
新型コロナウイルス（臨時） 集団接種運営事務費 集団接種に係る路線バスの増便 集団接種タクシー移動支援補助金 休診日・休日ワクチン接種開設協力金 集団接種医師派遣協力金 コールセンターの体制強化 外国人ワクチン接種支援事業費 新型コロナウイルスワクチン接種準備費	— — — — — — — — 1,2回目ワクチン接種に向けて体制を準備	接種人数 延 632,934人 集団接種の運営 30,092,371円 集団接種会場へ往來するバスを増便 4,447,419 286件 171,600 2 37,761,200 0 ワクチン接種円滑化を図るためコールセンターの体制を確保 外国人の相談等支援するため窓口体制を確保 3回目ワクチン接種に向けて体制を準備

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
③感染症予防対策事業費	758,418,675	529,414,000	7,758,000	101,646,331	127,358,344
④結核・感染症医療給付事業費	69,929,531	52,447,148	0	11,730,000	5,752,383
⑤妊産婦保健事業費	2,433,050	2,249,000	1,034,000	0	184,050
⑥愛知県医療従事者応援金負担金	149,355,000	126,424,000	126,424,000	0	22,931,000
⑦新型コロナウイルス感染症回復患者 転院受入協力金	1,071,000	0	0	0	1,071,000
⑧新型コロナウイルス感染症自宅療養 者支援事業費	28,304,640	25,445,000	25,445,000	0	2,859,640
⑨営業施設等指導事業費	135,850	122,000	122,000	0	13,850
⑩試験検査事業費	448,800	245,000	0	0	203,800
⑪環境にやさしいライフスタイル推進 事業費	1,540,000	1,462,000	692,000	0	78,000
⑫病院事業会計繰出金	21,560,000	19,382,000	19,382,000	0	2,178,000
⑬その他	105,663,849	26,554,731	2,319,000	0	79,109,118
5 款 労働費	12,414,640	10,239,320	9,721,000	0	2,175,320
①雇用確保安定事業費	12,414,640	10,239,320	9,721,000	0	2,175,320
6 款 農林水産業費	44,888,698	40,354,000	40,354,000	0	4,534,698
①農業団体等利子補給補助金	1,372,698	1,234,000	1,234,000	0	138,698
②農業経営収入保険加入促進補助金	27,405,000	24,637,000	24,637,000	0	2,768,000
③農業人材確保環境整備事業費	16,111,000	14,483,000	14,483,000	0	1,628,000
7 款 商工費	1,007,431,107	372,482,000	344,482,000	561,100,000	73,849,107
①商業振興事業費	21,180,000	6,882,000	6,882,000	1,100,000	13,198,000
②中小企業感染症対策事業費	2,299,990	2,067,000	2,067,000	0	232,990
③プレミアム付電子商品券事業費	115,331,978	106,511,000	78,511,000	0	8,820,978
④がんばる商店等感染症対策強化支援 補助金	89,615,000	80,563,000	80,563,000	0	9,052,000

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果	
	令和2年度	令和3年度
自宅療養者等医療提供事業補助金 PCR検査等提供医療機関公表協力金 PCR検査センターの運営等 自宅療養者配食サービスの提供 受診・相談センターの運営 医療機関におけるPCR検査等の実施 高齢者入所施設等職員へのスクリーニング検査の実施 パルスオキシメーターによる健康観察強化 自宅療養者への健康観察体制強化 自宅療養者の受診等搬送支援 クラスタ早期探知のための検査キット購入	検査件数 延 11,459件 提供食数 延 3,370食 受診・相談センターを運営 PCR検査センターの運営やPCR検査を実施 高齢者入所施設等職員へスクリーニング検査を実施 パルスオキシメーターによる自宅療養者の健康観察を実施	164件 68,270,000円 4医療機関 160,000 検査件数 延 69,223件 提供食数 延 65,056食 受診・相談センターを運営 PCR検査センターの運営やPCR検査を実施 高齢者入所施設等職員へスクリーニング検査を実施 パルスオキシメーターによる自宅療養者の健康観察を実施 自宅療養者への健康観察体制を強化 自宅療養者の受診等搬送支援を実施 クラスタ早期探知のための検査キットを購入
医療給付費	23件 17,480,222円	24件 69,914,531円
里帰り困難妊産婦育児等支援事業 分娩前ウイルス検査費補助金 感染妊産婦寄り添い支援事業	利用日数 延 167日 補助交付者数 33人 利用者数 0	利用日数 延 397日 補助交付者数 9人 利用者数 26
愛知県が実施する医療従事者応援金負担金	1件 72,685,000円	2件 149,355,000円
転院受入協力金	—	3件 1,071,000円
医師往診体制強化協力金 薬剤師往診体制強化協力金 診療体制確保協力金	—	6件 16,380,000円 6 11,924,640 0 0
飲食店等における換気の見える化事業の実施	空気環境測定の実施施設数 42施設	空気環境測定の実施施設数 127施設
試験検査事業費	—	PCR検査用安全キャビネットの定期メンテナンス
事業系食品ロス等実態調査業務委託	—	市内の食品関連事業者から排出される事業系食品ロスの実態を把握
建設改良事業出資金	感染症対策にかかる器械備品の購入	感染症病棟整備に伴う基本及び実施設計業務
感染症対策に係る人件費 市有施設の感染症防止対策	時間外勤務手当等 46,471,625円 消毒液等の消耗品及び備品購入 10,930,590	時間外勤務手当等 102,780,154円 消毒液等の消耗品及び備品購入 2,883,695
雇用維持助成金 雇用調整助成金申請等手数料補助金 中小企業採用戦略支援事業費	68件 35,456,000円 211 15,838,000 —	48件 7,936,000円 45 3,442,000 伴走支援参加企業数 2社
補助金	42件 510,079円	51件 1,372,698円
補助金	—	314件 27,405,000円
認定新規就農者特別支援補助金	—	12件 16,111,000円
飲食店業態転換支援補助金 業態転換チャレンジ応援補助金 がんばる商店街共同事業応援補助金	—	12事業者 5,466,000円 18 15,605,000 1 109,000
感染症対策セミナーの開催	受講者数 57人	受講者数 62人
プレミアム付電子商品券	—	販売セット数 87,936セット 流通額 439,680,000円
補助金	—	1,307店舗 89,615,000円

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
⑤消費回復事業特別支援補助金	35,029,000	29,087,000	29,087,000	0	5,942,000
⑥制度融資資金預託金	560,000,000	0	0	560,000,000	0
⑦制度融資関係事業費	148,048,762	124,842,000	124,842,000	0	23,206,762
⑧共通駐車券事業補助金	0	0	0	0	0
⑨宿泊施設感染症対策等特別支援補助金	27,926,000	17,890,000	17,890,000	0	10,036,000
⑩旅行者等誘客活動特別支援補助金	5,334,000	2,222,000	2,222,000	0	3,112,000
⑪その他	2,666,377	2,418,000	2,418,000	0	248,377
8 款 土木費	126,490,750	112,877,000	112,877,000	0	13,613,750
①豊橋駅東口自転車等駐車場管理運営事業費	41,000	0	0	0	41,000
②公共交通活性化事業費	889,750	0	0	0	889,750
③公共交通対策事業費	125,560,000	112,877,000	112,877,000	0	12,683,000
9 款 消防費	29,819,814	24,300,000	24,300,000	0	5,519,814
①消防署所施設管理事業費	3,519,221	3,163,000	3,163,000	0	356,221
②救急高度化事業費	23,638,193	21,137,000	21,137,000	0	2,501,193
③その他	2,662,400	0	0	0	2,662,400
10 款 教育費	419,089,845	351,517,550	243,028,100	0	67,572,295
①教育活動支援事業費	1,904,161	1,711,000	1,711,000	0	193,161
②コンピュータ活用事業費	66,388,464	60,328,000	60,328,000	0	6,060,464
③くすのき特別支援学校管理事業費	58,898,400	55,924,000	26,475,000	0	2,974,400
④くすのき特別支援学校教育活動事業費	9,157,966	6,570,000	2,354,000	0	2,587,966
⑤市立高等学校教育活動事業費	17,414,956	14,292,600	7,137,600	0	3,122,356
⑥家政高等専修学校教育活動事業費	1,814,583	1,000,000	100,000	0	814,583
⑦自然史博物館施設管理事業費	12,320,000	11,075,000	11,075,000	0	1,245,000
⑧視聴覚教育センター施設管理事業費	18,526,270	16,654,000	16,654,000	0	1,872,270

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果			
	令和2年度		令和3年度	
補助金	—		39イベント	35,029,000円
経営安定資金融資件数	58件	364,000,000円	30件	210,200,000円
信用保証料補助金	756件	157,328,025円	884件	118,902,662円
経営安定資金特別対策補助金	84	5,818,700	29	2,045,300
愛知県経済環境適応資金特別対策補助金	464	42,981,600	307	27,100,800
補助金	1件	2,470,000円	—	
補助金	—		20件	27,926,000円
補助金	—		15件	5,334,000円
感染症対策に係る人件費	会計年度任用職員(日額等) 2,533,833円		会計年度任用職員(日額等) 2,666,377円	
指定管理者支援補助金	27,000円		41,000円	
ウォーキングイベント実施回数	—		12回	889,750円
路線バス事業者感染症対策助成金	67系統	43,550,000円	69系統	68,560,000円
鉄軌道事業者感染症対策助成金	—	—	46両	41,200,000
タクシー事業者運行維持助成金	4事業者	15,850,000円	4事業者	15,800,000
リモート講習会等体制整備	—		Web会議システムの導入 タブレット端末等の整備	666,811円 2,852,410
救急活動における感染症対策強化	感染防止衣等の購入 —	12,957,480円	感染防止衣等の購入 感染性廃棄物収集運搬・処理業務委託料	23,512,760円 125,433
感染症対策に係る人件費	特殊勤務手当	1,623,300円	特殊勤務手当	2,662,400円
小中学校修学旅行キャンセル料補助金	0校	0円	18校	1,904,161円
学習用コンピュータ・タブレット費	タブレット端末の購入	1,986,681,400円	—	—
コンピュータネットワークシステム費	タブレット端末運用保守委託料 ネットワーク環境整備	2,116,400 3,093,050	タブレット端末運用保守委託料 ネットワーク環境整備	25,396,800円 40,991,664
スクールバスの増便	6路線	45,302,400円	6路線	58,898,400円
スクールバス介護員報酬	会計年度任用職員(日額等)	4,944,450円	会計年度任用職員(日額等)	4,832,100円
感染症対策環境整備	消毒液等の消耗品及び備品購入	5,419,000	消毒液等の消耗品及び備品購入	3,602,437
修学旅行キャンセル料補助金	0校	0	1校	4,248
学習用コンピュータ・タブレット費	タブレット端末の購入	13,118,600	—	—
コンピュータネットワークシステム費	タブレット端末運用保守委託料 ネットワーク環境整備	28,600 38,925	タブレット端末運用保守委託料 ネットワーク環境整備	343,200 375,981
学習用コンピュータ費	—	—	タブレット端末の購入	14,867,600円
感染症対策環境整備	消毒液等の消耗品及び備品購入	4,520,083円	消毒液等の消耗品及び備品購入	2,252,180
修学旅行キャンセル料補助金	1校	213,948	1校	295,176
感染症対策環境整備	消毒液等の消耗品及び備品購入	3,052,198円	消毒液等の消耗品及び備品購入	1,802,083円
修学旅行キャンセル料補助金	—	—	1校	12,500
空調設備修繕	—	—	3台	11,770,000円
感染症対策環境整備	消毒液等の消耗品購入	33,480円	映像演出システム非接触化	550,000
空調設備修繕	—	—	1台	18,205,000円
感染症対策環境整備	—	—	消毒液等の消耗品及び備品購入	321,270

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
⑨小学校校舎等改修事業費	14,557,600	14,500,000	14,500,000	0	57,600
⑩中学校校舎等改修事業費	13,695,000	13,600,000	13,600,000	0	95,000
⑪地区市民館管理運営事業費	37,676,478	37,370,000	33,870,000	0	306,478
⑫民営児童クラブ運営事業費	17,706,144	16,914,000	7,036,000	0	792,144
⑬郷土・司文庫等図書業務費	2,500,000	2,247,000	2,247,000	0	253,000
⑭学校健康診断事業費	2,913,042	2,618,000	2,618,000	0	295,042
⑮共同調理場運営事業費	31,177,500	31,177,500	31,177,500	0	0
⑯その他	112,439,281	65,536,450	12,145,000	0	46,902,831
一般会計 合計	14,724,839,822	13,537,631,112	1,733,838,100	682,259,381	504,949,329

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果			
	令和2年度		令和3年度	
トイレ大規模改造工事	—	—	1校	14,557,600円
トイレ大規模改造工事	—	—	1校	13,695,000円
ウェブキャスト環境の整備 空調設備修繕	1館	— 2,538,800円	21館 9	7,994,078円 29,682,400
感染症対策費補助金 ICT化推進事業費補助金 CO2モニターの配布	42クラブ	— — 16,070,000円	40クラブ 36 41	10,885,000円 6,666,000 155,144
図書館デジタルアーカイブ業務委託	215点	— 2,500,000円	87点	2,500,000円
抗原検査キット購入費 市立学校児童生徒心電図検査等業務委託料	— —	— —	75校 77	511,104円 2,401,938
空調設備改修工事	—	—	1場	31,177,500円
市有施設の感染症対策環境整備	消毒液等の消耗品及び備品購入	250,100,702円	消毒液等の消耗品及び備品購入	112,439,281円

一般会計節別不用額状況（歳出）

単位：千円、%

区 分	令和2年度						令和3年度					
	最終予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	構成比	不用率	最終予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	構成比	不用率
1 報 酬	2,795,599	2,626,341	0	169,258	2.0	6.1	2,767,666	2,644,020	1,063	122,583	1.6	4.4
2 給 料	8,684,456	8,423,338	0	261,118	3.0	3.0	8,642,297	8,466,398	0	175,899	2.4	2.0
3 職員手当等	7,735,265	7,470,359	0	264,906	3.1	3.4	7,344,322	7,169,027	720	174,575	2.3	2.4
4 共 済 費	3,488,354	3,310,666	0	177,688	2.1	5.1	3,396,153	3,285,087	56	111,010	1.5	3.3
5 災害補償費	2,062	2,061	0	1	—	0.1	4,642	2,340	0	2,302	—	49.6
6 恩給及び 退職年金	3,347	3,346	0	2	—	0.0	3,347	2,952	0	395	—	11.8
7 報 償 費	401,166	343,712	0	57,454	0.7	14.3	444,591	380,346	0	64,245	0.9	14.5
8 旅 費	183,047	96,667	0	86,380	1.0	47.2	168,260	90,773	50	77,437	1.0	46.0
9 交 際 費	4,020	1,115	0	2,905	—	72.3	4,020	1,455	0	2,565	—	63.8
10 需 用 費	3,820,798	3,309,431	31,630	479,737	5.5	12.7	3,631,381	3,307,839	50,990	272,552	3.7	7.6
11 役 務 費	1,055,198	888,911	21,660	144,627	1.7	14.0	1,093,284	998,158	8,313	86,813	1.2	8.0
12 委 託 料	19,489,745	17,337,715	748,215	1,403,816	16.2	7.5	21,582,151	20,280,846	99,995	1,201,310	16.1	5.6
13 使 用 料 及び賃借料	1,723,302	1,672,643	0	50,659	0.6	2.9	2,205,220	1,918,914	1,304	285,002	3.8	12.9
14 工事請負費	15,194,982	9,910,936	4,590,379	693,667	8.0	6.5	16,266,322	9,355,747	6,297,911	612,663	8.2	6.1
15 原 材 料 費	40,000	36,833	0	3,167	—	7.9	39,928	36,391	0	3,537	—	8.9
16 公 有 財 産 購 入 費	7,455,228	3,200,590	4,208,438	46,200	0.5	1.4	5,380,427	5,246,378	104,189	29,860	0.4	0.6
17 備品購入費	3,024,611	2,818,916	85,470	120,225	1.4	4.1	765,469	694,334	50,270	20,865	0.3	2.9
18 負担金、補助 及び交付金	60,083,462	56,940,058	941,847	2,201,557	25.4	3.7	28,404,119	24,013,871	2,194,541	2,195,707	29.5	8.4
19 扶 助 費	29,727,223	28,390,053	0	1,337,170	15.4	4.5	30,263,086	29,424,959	0	838,127	11.2	2.8
20 貸 付 金	1,914,018	1,423,500	0	490,518	5.7	25.6	2,119,500	1,622,500	0	497,000	6.7	23.4
21 補償、補填 及び賠償金	741,621	505,608	142,865	93,149	1.1	15.6	632,899	511,478	39,006	82,415	1.1	13.9
22 償還金、利子 及び割引料	9,527,316	9,443,486	0	83,830	1.0	0.9	9,852,952	9,727,935	0	125,017	1.7	1.3
23 投 資 及 び 出 資 金	17,000	17,000	0	0	—	0.0	300	300	0	0	—	0.0
24 積 立 金	3,309,550	3,305,528	0	4,022	—	0.1	787,912	774,045	0	13,867	0.2	1.8
25 寄 附 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 公 課 費	8,590	7,822	0	768	—	8.9	8,845	8,317	0	528	—	6.0
27 繰 出 金	13,891,004	13,430,671	0	460,333	5.3	3.3	13,956,458	13,530,986	0	425,472	5.7	3.0
28 予 備 費	30,000	0	0	30,000	0.3	100	30,000	0	0	30,000	0.4	100
合 計	194,350,963	174,917,306	10,770,503	8,663,153	100	4.7	159,795,550	143,495,394	8,848,409	7,451,747	100	4.9

※不用率＝不用額／（最終予算額－翌年度繰越額）

3. 主要な施策の成果

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2 款 総 務 費	8,594,377,898	982,074,902	84,300,000	403,697,529	7,124,305,467
1 項 総 務 管 理 費	5,196,706,237	131,052,347	0	331,094,268	4,734,559,622
3 目 人 事 管 理 費	126,044,324	0	0	4,311,989	121,732,335

1 人事管理事業費 95,613,565 円 (人事課)

[総括]

「豊橋市人材育成基本方針」に基づき、有為な人材を確保するため、首都圏在住の学生等を対象に東京で採用試験を実施したほか、採用困難職種の職員確保のため、新たに技術職・専門職の通年インターンシップを開始した。職員研修では、新規採用職員向けに豊橋の歴史を学び未来を考える講義を取り入れ、本市についてより理解が深められるよう努めるなど、職員の育成に取り組んだ。このほか、庁内障害者ワークステーションについて、保健所及び市民病院に出張所を新たに設けることで、各職場の業務の負担軽減や障害者雇用の促進を図った。今後も、職員がやりがいを持ち、前向きな姿勢で業務に取り組めるよう、「個と組織」の強化に向けた行政体制の整備を継続的に進めていく。

[実績及び成果]

(1) 職員採用事務費 3,113,901 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
	1次試験受験者数	採用者数	1次試験受験者数	採用者数
事務職・技術職	372人	55人	627人	52人
専門職	210	24	65	21
経験者等	69	5	48	3
労務職	116	13	258	15
合 計	767	97	998	91

(2) 人事給与管理事務費 33,852,454 円

(3) 職員研修費 16,785,317 円

(ア) 市単独研修 12,236,140 円

[階層別研修]

区 分	令和2年度	令和3年度
研修内容についての理解度	4.1	4.3
現在の業務における有益度	4.0	4.2
将来の業務における有益度	4.1	4.3

※研修受講者による5段階評価の平均値

例示 5：完全に理解できた→1：理解できなかった

※階層別研修は、新規採用職員から管理職までの各階層に必要な基本的な知識、能力を習得させることを目的として実施する研修である。

(イ) 派遣研修 2,939,689 円

区 分	令和2年度	令和3年度
研修内容についての理解度	4.4	4.3
現在の業務における有益度	4.5	4.7
自己の能力開発に対しての有益度	4.3	4.7

※研修受講者による5段階評価の平均値

例示 5：完全に理解できた→1：理解できなかった

※主な派遣先（国内）中央省庁、愛知県、田原市、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、市町村職員中央研修所、全国建設研修センター、愛知県市町村振興協会研修センター、早稲田大学マニフェスト研究所 等

(ウ) 自己啓発支援補助金 1,609,488 円

区 分	令和2年度		令和3年度		比 較
	人員またはグループ	金 額	人員またはグループ	金 額	
自己研修補助金	92人	1,438,512円	98人	1,609,488円	6.5%
自主研究グループ活動支援補助金	2グループ	46,050	—	—	—
計	—	1,484,562	—	1,609,488	—

※自己啓発支援補助金は、自己の能力開発を図り、行政効率の向上に資するために実施する自己研修に対する経費の補助である。

※人員は研修受講修了者の数である。

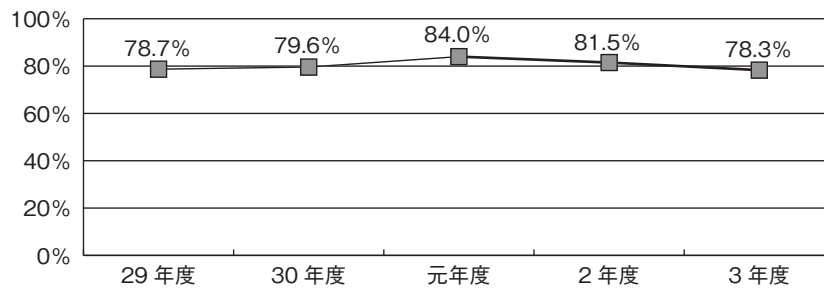
(4) 庁内障害者ワークステーション運営事業費 41,861,893 円

業 務 内 容	令和2年度	令和3年度
	依頼所属数：73 課	依頼所属数：91 課
印刷、製本、ホチキス止め	325件	378件
封入封緘、紙折り作業	235	320
シール貼り、ゴム印押し	99	115
簡易なデータ入力、スキャニング	50	25
シュレッダー作業、ごみ回収	181	300
その他の簡易な作業	302	391
合 計	1,192	1,529

[指 標]

指 標 名：人材育成・活用の推進に向けた職場成熟度

指標説明：職場環境に関するアンケートにおいて、職場の現状について肯定的な回答をした割合



※職場環境に関するアンケートは、階層別研修の受講者を対象に6分野（職場管理、人間関係、やりがい感、改革推進度、人材育成、働きかけ度）32項目で実施し、指標は全32項目の平均割合

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 広報広聴費 〈多様なメディアの特性を活かした情報共有の推進〉	80,228,836	847,000	0	6,754,629	72,627,207

1 広報事業費 74,202,669 円 (広報広聴課)

[総括]

広報紙やホームページ、ケーブルテレビ、ラジオ放送など様々な媒体を活用し、広く情報を発信してきた。令和3年度は、発信手段を拡大するため、新たにデジタルサイネージなどでの二次活用が可能な30秒の広報映像を制作し、ケーブルテレビで放送するとともに、市ホームページのアクセス増加を踏まえ、トップページデザインをリニューアルした。今後も、各種広報媒体の特性を活かし、迅速・正確な広報活動に努めていく。

[実績及び成果]

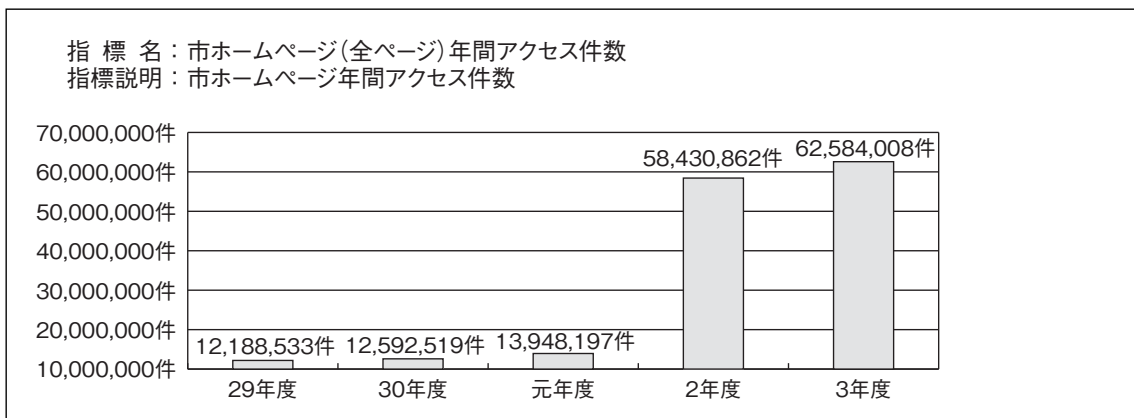
(1) 活字等広報事業費 38,349,341 円

区 分	令和2年度	令和3年度
広 報 と よ は し	月1回発行	月1回発行
多言語デジタルブック配信(広報とよはし)	月1回配信	月1回配信
点字広報とよはし	月1回発行	月1回発行
声の広報とよはし	月1回発行	月1回発行
ライフスタイルブック	1回発行	—

(2) 電波等広報事業費 35,853,328 円

区 分	令和2年度	令和3年度
ラ ジ オ 広 報	やしの実FM	やしの実FM
テ レ ビ 広 報	ティーズ	ティーズ
イ ン タ ー ネ ッ ト 広 報	ホームページ・インターネットラジオ	ホームページ・インターネットラジオ

[指 標]



2 広聴事業費

4,463,122 円（広報広聴課）

[総括]

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部まちづくり出前講座の実施を見送った。その一方で「地域懇談会」を見直し、「地域と市長のまちづくり懇談会」として2年間で全小学校区での開催をめざして各校区で順次開催することにより、多くの市民の声を聴くことができた。今後も、市民の声を市政に活かすため、多様化する市民ニーズを的確に把握していく。

[実績及び成果]

(1) 調査広聴事業費 1,571,520 円

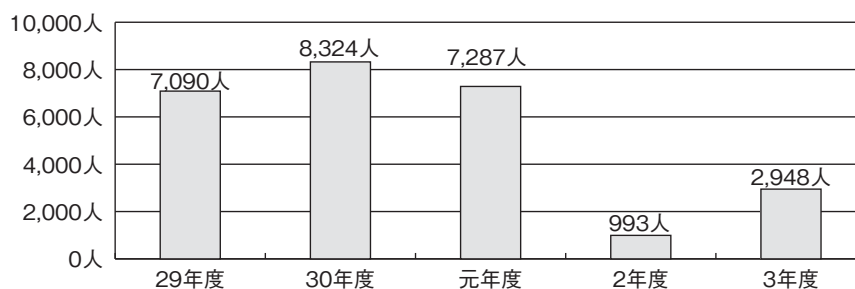
区分	令和2年度	令和3年度
市民意識調査	有効回収数2,553件 回収率51.1%	有効回収数2,525件 回収率50.5%

(2) 広聴活動事業費 2,891,602 円

区分	令和2年度	令和3年度
市政懇談会	女性と市長の懇談会 4人参加 中学生まちづくり委員会 実施見送り	女性と市長の懇談会 5人参加 中学生まちづくり委員会 22人参加
地域と市長のまちづくり懇談会	実施見送り	若者と市長の意見交換会 3回実施 22人参加
市長への手紙	94通	18回実施 203人参加
市民のメールボックス	1,576件	92通
まちづくり出前講座	38回実施 993人参加	1,619件
		84回実施 2,948人参加

[指標]

指標名：まちづくり出前講座の参加者数
 指標説明： /



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 企 画 費	22,330,634	771,000	0	1,032,500	20,527,134

1 総合計画推進事業費 364,634 円 (政策企画課)

[総括]

令和2年度に策定した「第6次豊橋市総合計画」を推進するための具体的な事業計画を明らかにするため、実施計画を策定した。また、総合計画の進行管理において、行政評価を分析重視の仕組みとし、事業改善や効果的な事業選択ができるよう改善した。今後も目指すまちの姿の実現に向け、限られた行政資源の適正な配分を行いながら、総合計画に基づくまちづくりを進めていく。

[実績及び成果]

(1) 政策推進事業費 364,634 円

内 容	令和2年度		令和3年度	
	実施計画の策定		実施計画の策定	

2 地方創生推進事業費 9,568,006 円 (政策企画課)

[総括]

令和2年度に策定した第6次豊橋市総合計画のまちづくり戦略(第2期豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略)に基づき、女性と若者に力点を置き人口減少対策に分野を横断して取り組んだ。

また、滞在人口等分析ツールを導入し対象エリアの人流の調査・分析を行ったほか、ソーシャルメディアを用いて首都圏向けに「豊橋の住みよさをPRする動画」の広告掲載を実施した。

[実績及び成果]

(1) 総合戦略推進事業費 5,091,006 円

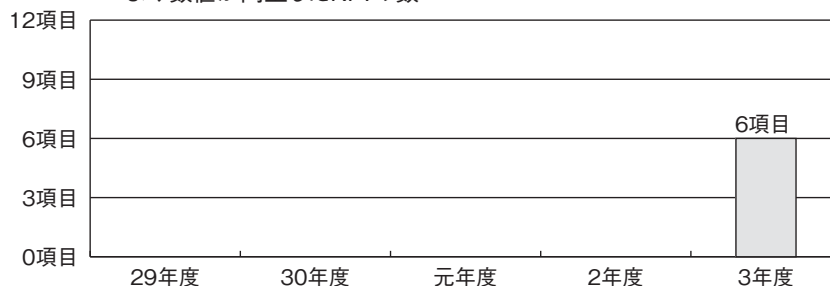
区 分	令和2年度		令和3年度	
交付金採択件数	地方創生推進交付金	4件	地方創生推進交付金	3件

(2) 大学研究活動費補助金 4,477,000 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
豊橋技術科学大学	3件	3,800,000円	4件	3,853,000円
愛知大学	2	1,000,000	—	
豊橋創造大学	1	200,000	2	624,000

[指標]

指標名：現況値より向上した個別戦略のKPI数
 指標説明：個別戦略で設定したKPI(重要業績評価指標)12項目のうち、現況値(2019年度)より数値が向上したKPIの数



3 未来創生戦略事業費

2,294,127 円（政策企画課）

[総括]

少子・高齢化などの社会環境の変化により複雑化・多様化する行政課題に迅速かつ適切に対応するための庁内型シンクタンクとして、政策立案に向けた基礎調査等を行い政策研究レターを発行したほか、政策推進アドバイザー等を活用し職員向け研修会を実施した。

[実績及び成果]

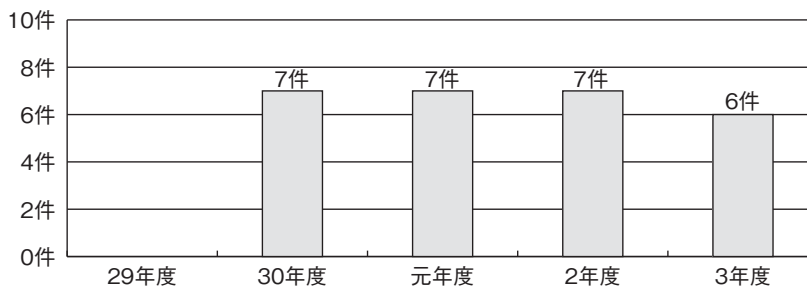
(1) 未来創生戦略事業費

2,294,127 円

区 分	令和2年度	令和3年度
政策研究等実施件数	<ul style="list-style-type: none"> ・個人研究 2件 - テーマ：豊橋市の魅力 SDGs の認知度 ・研修会 2回 - テーマ：政策・事業づくり SDGs ・その他 3件 - 内容：豊橋市新型コロナ通知システムの設置 託児付きコワーキングスペースの開設（実証） 滞在人口分析（実証） 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人研究 1件 - テーマ：滞在人口等分析 ・研修会 3回 - テーマ：政策・事業づくり スマートシティ ・その他 2件 - 内容：YouTube 広告掲載効果の分析 豊橋市新型コロナ通知システムの設置
発行物	<ul style="list-style-type: none"> ・政策研究レター 1回 ・SDGs 通信 1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・政策研究レター 1回 ・SDGs 通信 1回 ・滞在人口等分析情報 10回

[指標]

指標名：政策研究等実施件数
 指標説明：個人研究、グループ研究および講演会実施件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11 目 まちのブランド化推進費 <まちのブランド化の推進>	20,317,611	4,561,500	0	58,600	15,697,511

1 まちのブランド化推進事業費 20,317,611 円 (政策企画課・秘書課・広報広聴課・観光プロモーション課)

[総括]

豊橋の住みやすさを当事者目線で発信するため、移住者のインタビュー動画を制作し配信を行った。また、市民の愛着度、自慢度を高めるため郷土の偉人を取り上げた「豊橋の偉人」カードを作成し、キーワードラリーイベントを開催した。

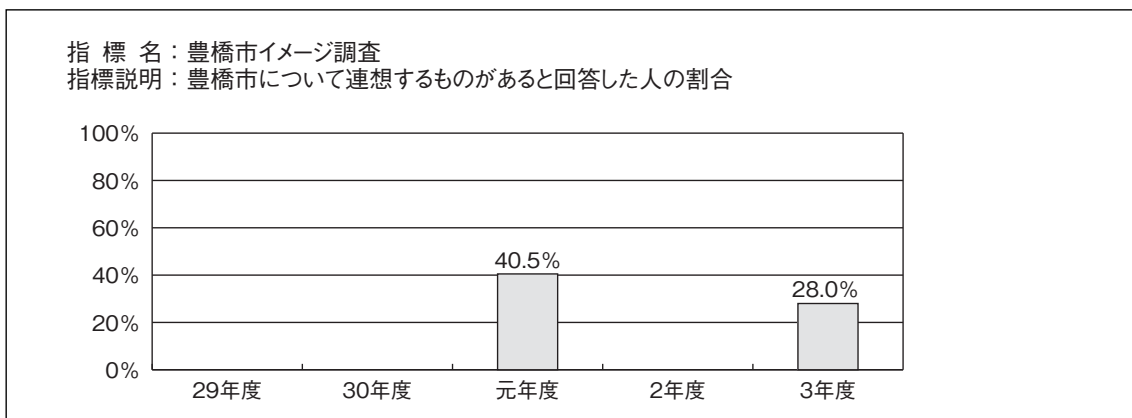
連続テレビ小説「エール」を活用した地域間交流のシンボルとして、福島市でも設置しているエールポストを豊橋公園に設置し、福島市との交流を図った。

[実績及び成果]

(1) まちのブランド化推進事業費 20,317,611 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	<ul style="list-style-type: none"> 古関金子さんの時代体験イベント、作曲体験イベント等の実施 花のステージ「エール」の設置 「エール」物産展の開催 路面電車ラッピング広告の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 移住者のインタビュー動画の制作 豊橋の偉人を紹介するキーワードラリーの開催 エールポストの設置 「エール」展の開催 ロケ地をテーマとした作曲イベント ロケ地動画の作成
ええじゃないか豊橋推進会議の開催 開催回数 4回	ええじゃないか豊橋推進会議の開催 開催回数 1回	
シティプロモーション事業補助金 補助件数 2件 400,000円	シティプロモーション事業補助金 補助件数 4件 600,000円	
シティプロモーション認定事業 認定件数 12件	シティプロモーション認定事業 認定件数 7件	

[指 標]



※令和元年度は、「豊橋市」と聞いて、具体的な観光地や名産品などの中から連想するものを選択させる設問であったのに対し、令和3年度は「環境に優しいまち」や「歴史や文化のまち」などの中からまちの全体イメージを選択させる設問としている。

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
12目 豊橋のファンづくり費 <豊橋のファンづくり>	17,724,478	0	0	1,554,188	16,170,290

1 豊橋のファンづくり活動事業費 17,724,478円 (政策企画課・広報広聴課・観光プロモーション課・首都圏活動センター)
[総括]

映画やドラマなど豊橋ロケ作品を活用して、本市の魅力を発信するとともに、若者向けラジオ番組「DOEE RADIO」や大運動会、コンサート等のイベントでDOEEを活用した若者向けのプロモーションを行った。

首都圏活動センターでは、東三河ゆかりの首都圏在住者で構成する「ほの国東三河応援倶楽部」会員へのメールマガジン等による情報発信を行うとともに、総会を開催し、情報交換など会員との懇親を深めた。また、東京事務所を持つ他自治体と連携しPRイベントを実施したほか、東三河広域連合による期間限定アンテナショップの広報支援など、関係課と連携したプロモーション活動に取り組んだ。

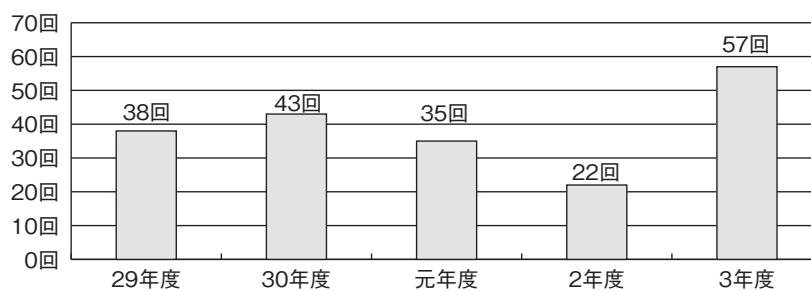
[実績及び成果]

(1) ファンづくり活動事業費 2,290,335円 (政策企画課・広報広聴課・観光プロモーション課)

内 容	令和2年度	令和3年度
	<ul style="list-style-type: none"> 若者向け豊橋PR番組「DOEE RADIO」の放送 ええじゃないか豊橋伝播隊DOEEの活動支援 首都圏の街頭ビジョンでのプロモーションの実施 映画やドラマなど豊橋ロケ作品のサポートや魅力発信 	<ul style="list-style-type: none"> 若者向け豊橋PR番組「DOEE RADIO」の放送 ええじゃないか豊橋伝播隊DOEEの活動支援 映画やドラマなど豊橋ロケ作品のサポートや魅力発信

[指 標]

指 標 名：市外でのシティプロモーション活動回数(物産展・イベント等)
指標説明： //



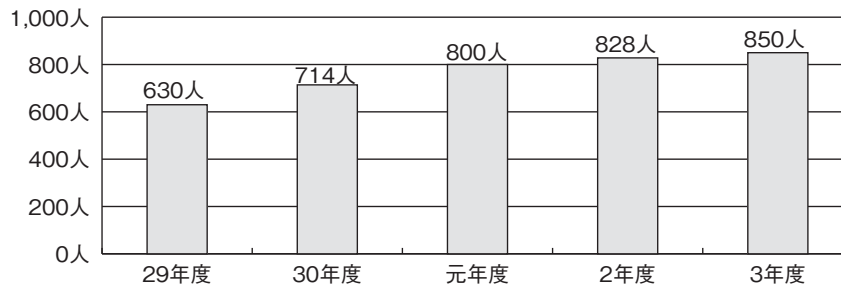
(2) 首都圏活動事業費

15,434,143 円（首都圏活動センター）

区分	令和2年度	令和3年度
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ほの国東三河応援倶楽部 総会及び市政報告会 新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ※応援倶楽部会員数：828名（3.31現在） ・中央省庁、民間企業等からの情報収集 ・関係課と連携した省庁への要望活動 ・首都圏における農産物プロモーション支援（関係課支援） ・東海地域東京事務所連携イベントによる観光プロモーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほの国東三河応援倶楽部 総会及び市政報告会 〈開催日〉 11.25 〈出席者〉 ふるさと大使、愛知県選出の国会議員、 応援倶楽部会員など108名出席 ※応援倶楽部会員数：850名（3.31現在） ・中央省庁、民間企業等からの情報収集 ・関係課と連携した省庁への要望活動 ・首都圏における農産物プロモーション支援（関係課支援） ・東海地域東京事務所連携イベントによる観光プロモーション ・中核市東京事務所との連携による「中核市フェア」開催を通じたプロモーション活動

[指 標]

指 標 名：「ほの国東三河応援倶楽部」の会員数
 指標説明：「ほの国東三河応援倶楽部」へ入会した人の総数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
13目 広域連携費	74,772,298	0	0	0	74,772,298

1 広域行政推進事業費 74,772,298円 (政策企画課)

[総括]

東三河広域連合において、「ほの国こどもパスポート事業」を引き続き行い、住民交流のさらなる促進を図ったほか、東京都吉祥寺における期間限定ブランドショップの開設による販売調査や東三河物産展（イオンモールナゴヤドーム前店、イオン浜松市野店）を開催し東三河のブランド力向上を図った。今後も地方分権の流れや複雑多様化する広域的課題に対応するため、関係市町村との連携事業を実施するとともに、住民の広域連携への意識の高揚を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 広域行政推進事務費 1,425,594円

区 分	令和2年度	令和3年度
豊川水系総合開発促進期成同盟会要望実施回数	2回	2回

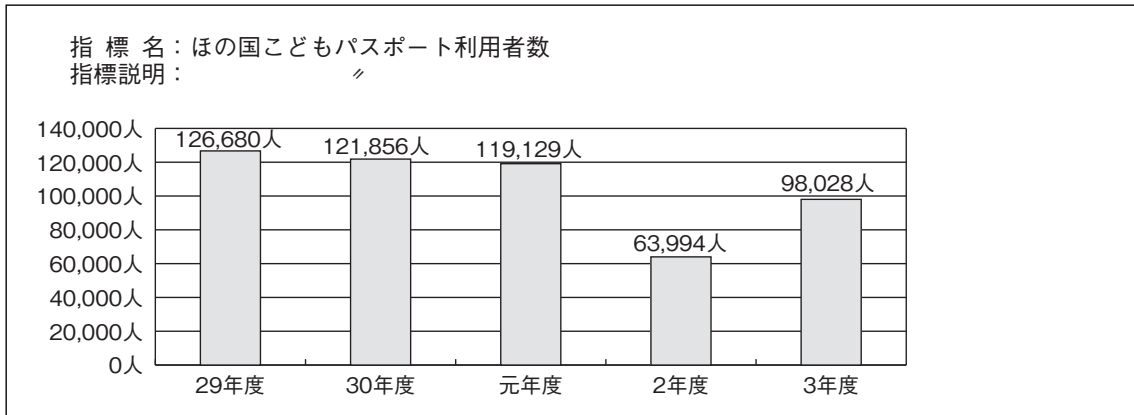
(2) 東三河広域連合管理負担金 63,924,264円

負 担 金	令和2年度	令和3年度
	63,764,264円	63,924,264円

(3) 東三河広域連合広域行政推進事業負担金 9,422,440円

負 担 金	令和2年度	令和3年度
	11,082,318円	9,422,440円

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
14目 水資源対策費 ＜治山・治水対策の充実＞	25,480,172	0	0	0	25,480,172

1 設楽ダム水源地域整備事業費 16,506,108 円 (政策企画課)

[総括]

水源地域対策特別措置法に基づく設楽ダム水源地域整備事業に対し負担金を支出した。今後も引き続き、長年渇水や洪水被害に悩む東三河下流地域の被害軽減のため、国・県・関係市町村と連携して設楽ダムの建設促進を図る。

[実績及び成果]

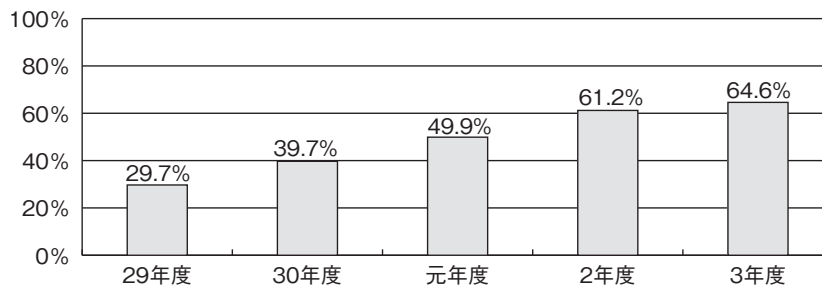
(1) 設楽ダム水源地域整備事業負担金 16,506,108 円

負 担 金	令和2年度	令和3年度
		55,170,170 円

[指標]

指標名：設楽ダム水源地域整備事業進捗率

指標説明：当該年度までの累計負担額／豊橋市の総負担額(平成21年度～令和8年度)



2 豊川水源基金費 8,974,064 円 (政策企画課)

[総括]

水源地域対策特別措置法に基づく設楽ダム水源地域整備事業を補完して行われる設楽ダム水源地域対策事業に対し負担金を支出した。また、豊川水系における水源林整備を推進するため「第9期水源林対策事業基本計画」(令和3年度から令和7年度)に基づき、公益財団法人豊川水源基金に対し負担金を支出した。今後も引き続き、水源地域の振興や水源林保全を図るため、国・県・関係市町村と連携した効果的な事業推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 設楽ダム水源地域対策事業負担金 5,064 円

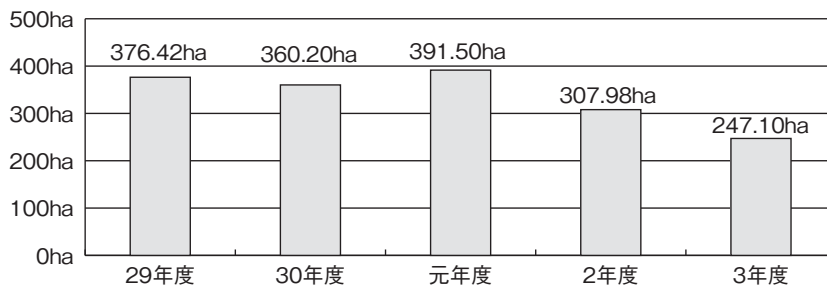
負 担 金	令和2年度	令和3年度
		33,600,906 円

(2) 水源林地域対策事業負担金 8,969,000 円

負 担 金	令和2年度	令和3年度
		8,960,000 円

[指 標]

指 標 名：水源林地地域整備面積
指 標 説 明：下刈り・除間伐面積



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
15 目 情報システム整備拡充費	769,425,697	20,786,232	0	847,700	747,791,765

1 行政事務情報化推進事業費 713,404,298 円 (情報企画課)

[総括]

行政サービスの維持・向上を図るため、各業務システムの番号制度対応などの改修のほか、共通基盤システムの機器更新に伴うデータ移行作業を行った。また、無線化に対応した本庁舎のネットワーク機器の更新を進めた。今後も、システムの最適化と安定稼働に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 行政情報管理システム管理運営事業費 362,833,795 円

内 容	令和2年度	令和3年度
行政情報端末数	2,230台	2,260台

(2) 住民情報システム管理運営事業費 265,536,103 円

内 容	令和2年度	令和3年度
住民情報端末数	128台	126台

(3) 電子計算システム開発事業費 85,034,400 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	福祉システム、税総合システム等 8件	共通基盤システム、税総合システム 等 13件

2 行政デジタル推進事業費 29,727,124 円 (行政デジタル推進室)

[総括]

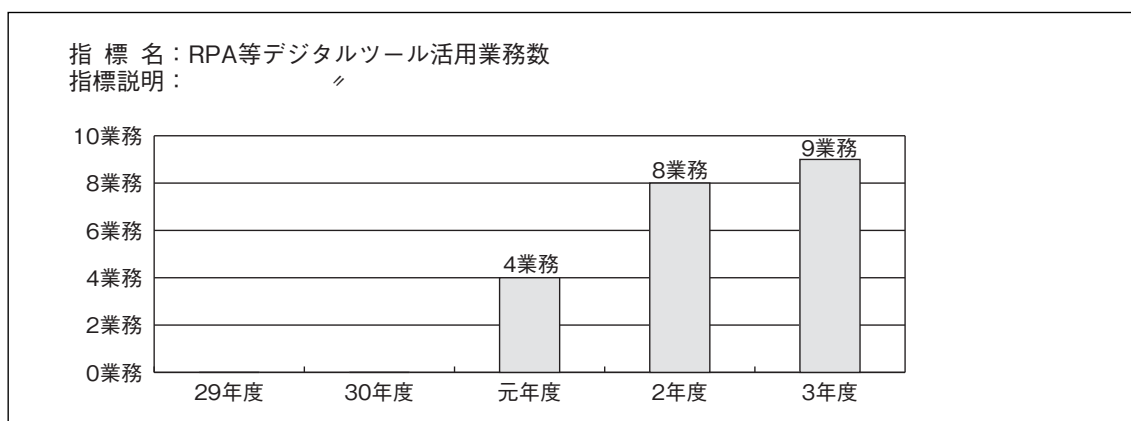
行政の生産性を高めるため、RPAを活用して業務の自動化や効率化を図った。また、職員のICTリテラシーを高めるため、RPAのシナリオ内製化に向けた研修や、デジタル・トランスフォーメーションに関するセミナー等を実施した。このほか、デジタル・ワークスタイルの実現及びコロナ禍における業務継続性の確保のため、テレワーク環境の整備を進めた。今後も、職員デジタル人材の育成とデジタル化による業務改善や働き方改革を推進する。

[実績及び成果]

(1) ICT利活用推進事業費 29,727,124 円

内 容	令和2年度	令和3年度
職員デジタル人材の育成	・RPA研修受講者数 8人	・RPA研修受講者数 53人 ・テーマ別研修(DXセミナー)受講者数 63人 ・職員デジタル人材育成プレ研修受講者数 28人

[指標]



3 地域情報化推進事業費 21,961,144 円（行政デジタル推進室）

[総括]

地域サービス及び行政サービスにおける情報のデジタル化を推進するため、「あいち電子自治体推進協議会」の共同事業において、施設予約システムやあいち電子申請・届出システム、電子調達システムの安定稼働に努めたほか、観光・防災 Wi-Fi ステーション（公衆無線 LAN）の光回線化を進め、地域における通信環境を向上させた。今後も、市民ニーズに合ったサービスを提供できるよう、愛知県や県内市町村と連携し、電子自治体推進のための事業に取り組んでいく。

[実績及び成果]

- (1) 情報発信基盤等整備事業費 10,547,508 円

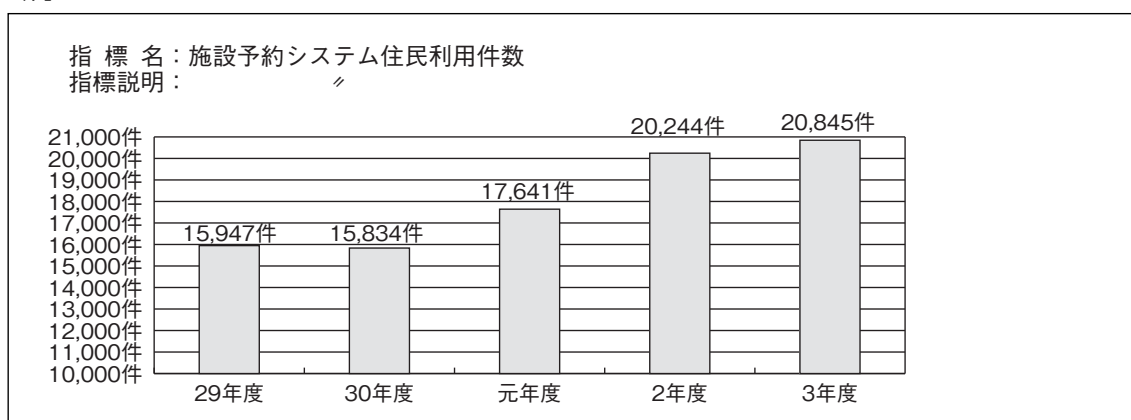
〔公衆無線 LAN〕

設置箇所数	令和2年度	令和3年度
	18箇所	18箇所

- (2) 自治体共同情報化推進事業費 11,413,636 円

あいち電子自治体 推進協議会負担金	令和2年度	令和3年度
	11,550,242 円	11,393,996 円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 徴 税 費	1,269,568,383	629,173,205	0	50,635,754	589,759,424
4目 納 税 費	99,956,391	0	0	399,278	99,557,113

1 納税事務費 72,938,575 円 (納税課)

[総括]

納期内納付の徹底と滞納者及び滞納額の減少を目的として、口座振替の加入推進、公平かつ的確迅速な収納整理及び滞納整理に努めた。特に休日開庁・休日臨時電話相談、市税コールセンターにおける現年度滞納者に対する催告を行うとともに、納付機会のさらなる拡大を図るため5月より新たに PayPay 納付、10月からは au PAY、d 払い、J-Coin Pay 納付を開始した。また、平成 28 年度から引き続き東三河広域連合徴収課へ職員 4 名を派遣するとともに、徴収困難案件を移管し、積極的な滞納整理を実施した。市税全体の収入率は、厳しい納税環境の中においても前年度比で 0.8 ポイント増となった。今後も収入率の向上に向け適切な徴収事務に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 啓発事業費 440,030 円

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度
口 座 振 替 加 入 率	36.8%	36.4%

(2) 収納整理事務費 9,820,080 円

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度
督 促 状 発 付 件 数	81,540件	78,206件
コ ン ビ ニ 納 付 件 数	181,603	180,713
ク レ ジ ッ ト カ ー ド 納 付 件 数	4,584	3,810
電 子 決 済 納 付 件 数	1,359	12,359
市税コールセンターによる架電件数	26,362	24,428

(3) 滞納整理事務費 28,083,274 円

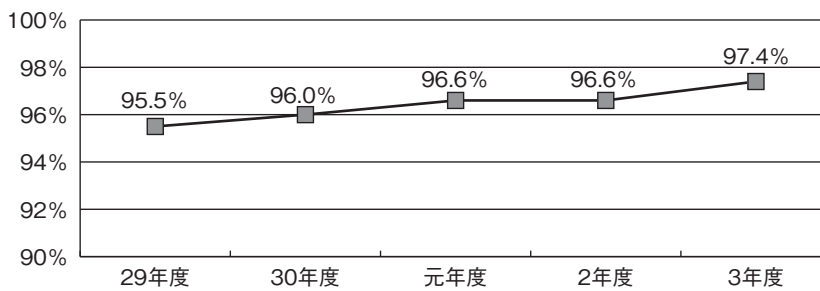
区 分	令和 2 年度	令和 3 年度
差 押 件 数	2,642件	2,834件
差 押 期 別 件 数	39,225期	47,728期
公 売 に よ る 換 価 件 数 (出 資 金 等 含 む)	3件	34件

(4) 東三河広域連合滞納整理事業負担金 34,595,191 円

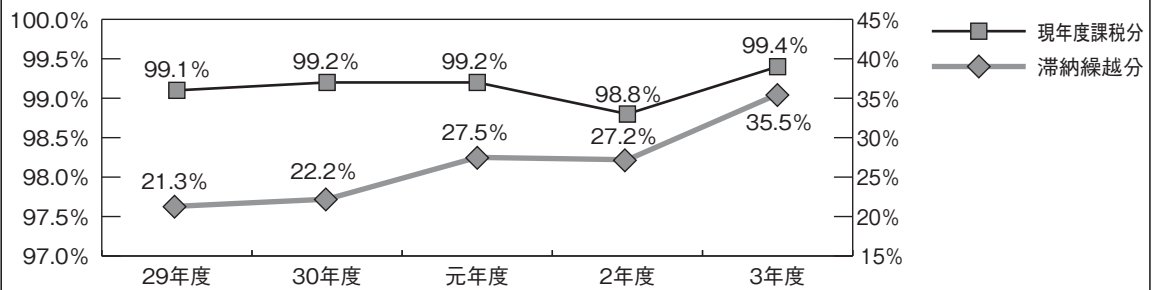
負 担 金	令和 2 年度	令和 3 年度
	38,434,395円	34,595,191円

[指標]

指標名：市税収入率(全体)
 指標説明：収入額／調定額



指標名：市税収入率(現年度課税分、滞納繰越分)
 指標説明：収入額／調定額



科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項	戸 籍 住 民 基 本 台 帳 費	843,902,035	226,799,335	0	111,148,938	505,953,762
1目	戸 籍 住 民 基 本 台 帳 費	828,737,685	226,191,335	0	111,148,938	491,397,412

1 戸籍住民基本台帳等サービス事務費 339,394,391 円 (市民課・国保年金課)

[総括]

戸籍法、住民基本台帳法、印鑑条例等に基づく届出受付や証明書類の交付などの窓口事務を行った。また、証明窓口の土曜開庁及び死亡に伴う遺族の手続きを支援する対面型個別相談窓口「おくやみコーナー」を運用するとともに、証明書のコンビニ交付サービスを促進し、市民サービスの充実に努めた。加えて、マイナンバーカードの取得促進のため、マイナンバー窓口の土曜開庁及び地区市民館や商業施設等への出張申請受付を継続的に実施したほか、新たに被保険者証利用の登録支援を行った。今後も親切、丁寧な対応を心掛け、迅速かつ正確な事務を行う。

[実績及び成果]

(1) 証明交付事務費 302,520,454 円

実施項目		令和2年度	令和3年度	比較
戸 籍 関 係		65,721件	60,391件	△ 8.1%
住 民 基 本 台 帳 関 係		99,058	94,562	△ 4.5
印 鑑 登 録 関 係		26,691	22,869	△14.3
そ の 他 証 明 関 係		2,040	2,179	6.8
マイナンバーカード交付関係		50,516	51,973	2.9
コンビニ 交付関係	戸 籍 関 係	1,763	3,455	96.0
	住 民 基 本 台 帳 関 係	9,005	16,381	81.9
	印 鑑 登 録 関 係	6,216	10,879	75.0
計		261,010	262,689	0.6

(2) 届出受付事務費 1,023,601 円

実施項目		令和2年度	令和3年度	比較
戸 籍 関 係		11,360件	11,652件	2.6%
住 民 基 本 台 帳 関 係		22,322	21,383	△ 4.2
印 鑑 登 録 関 係		6,946	6,557	△ 5.6
火 埋 葬 許 可 関 係		2,403	2,593	7.9
計		43,031	42,185	△ 2.0

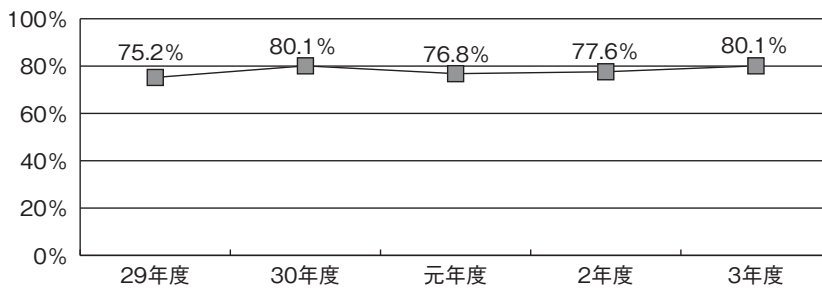
(3) 台帳記録事務費 35,850,336 円

実施項目		令和2年度	令和3年度	比較
戸 籍 関 係		13,023件	13,333件	2.4%
住 民 基 本 台 帳 関 係		94,023	92,611	△ 1.5
印 鑑 登 録 関 係		22,957	22,282	△ 2.9
身 上 調 査 関 係		3,218	2,762	△14.2
相 続 税 法 関 係		3,798	4,058	6.8
計		137,019	135,046	△ 1.4

[指 標]

指 標 名：窓口サービス満足度

指標説明：市民課の全体的な印象について、満足及びやや満足と回答した件数／窓口サービスアンケート調査件数



2 窓口センターサービス事務費 66,852,075 円（市民課）

[総括]

市内8か所の窓口センターにおいて、戸籍法、住民基本台帳法、印鑑条例等に基づく届出受付や証明書類の交付事務とともに、国民健康保険、国民年金関係の届出受付、税務関係の証明書類の交付、火埋葬許可証の交付等の窓口事務を行った。なお、豊橋駅前開発ビルから emCAMPUS EAST への駅前窓口センター移転については、窓口事務を休止することなく円滑に実施した。今後も引き続き関係各課の事務を幅広く取り扱うことで、身近な市役所として利便性の一層の向上を図る。

[実績及び成果]

(1) 証明交付事務費 40,063,042 円

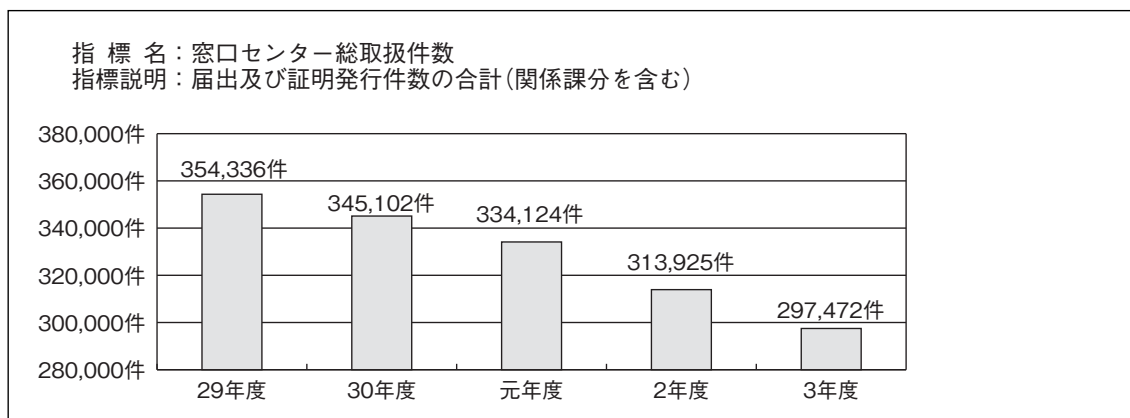
実施項目	令和2年度	令和3年度	比較
戸籍関係	36,811件	37,155件	0.9%
住民基本台帳関係	99,862	93,759	△ 6.1
印鑑登録関係	78,828	66,698	△15.4
税務証明関係	46,410	48,413	4.3
その他証明関係	1,745	1,785	2.3
計	263,656	247,810	△ 6.0

(2) 届出受付事務費 438,125 円

実施項目	令和2年度	令和3年度	比較
戸籍関係	3,487件	3,429件	△ 1.7%
住民基本台帳関係	9,569	9,102	△ 4.9
印鑑登録関係	8,441	7,665	△ 9.2
火埋葬許可関係	1,442	1,446	0.3
国民健康保険関係	7,431	7,194	△ 3.2
国民年金関係	3,223	2,966	△ 8.0
福祉関係	15,672	16,936	8.1
学校関係	121	93	△23.1
大きなごみ証紙関係	883	831	△ 5.9
計	50,269	49,662	△ 1.2

(3) 施設管理運営事業費 26,350,908 円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 戸籍住民諸費	15,164,350	608,000	0	0	14,556,350

1 一般旅券事業費 14,556,350円 (市民課)

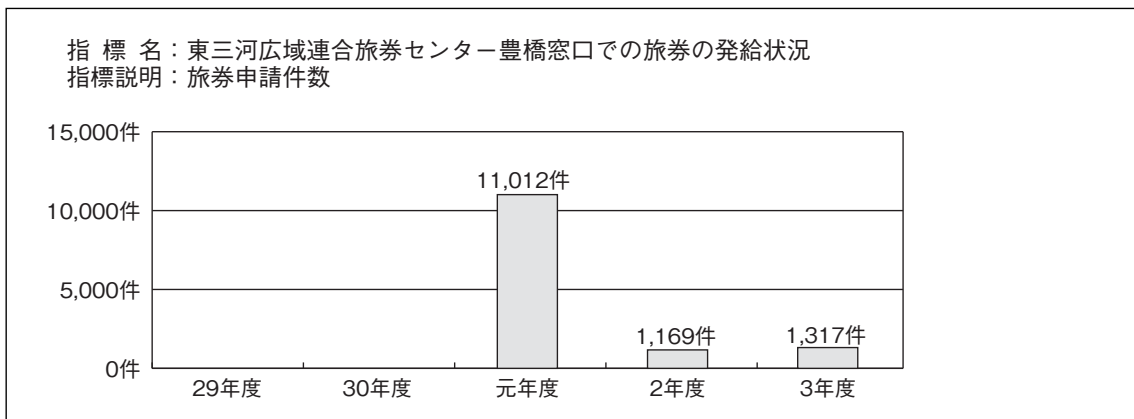
[総括]

令和元年度から都道府県の法定受託事務である一般旅券の発給事務の一部を、東三河広域連合を受皿として権限移譲を受け、東三河8市町村のいずれの窓口でも一般旅券の発給申請等を行った。令和3年度は前年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症拡大前となる令和元年度の取扱件数を下回ったが、今後も構成市町村及び愛知県と連携し、迅速かつ正確な事務処理を行う。

[実績及び成果]

(1) 東三河広域連合旅券事務負担金 14,556,350円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6項 文化 振 興 費	918,201,802	26,602,000	0	941,031	890,658,771
2目 芸術文化振興費 〈個性あふれる芸術文化によるまちの魅力向上、芸術文化の幅広い分野への展開〉	149,311,908	17,950,000	0	0	131,361,908

1 文化創造活動事業費 146,864,277 円 (「文化のまち」づくり課)

[総 括]

豊橋文化振興財団は、穂の国とよはし芸術劇場を拠点として、芸術文化の創造発信及び市民の鑑賞機会の充実を図っており、令和3年度は高校生と創る演劇「ミライハ」や、市民と創造する演劇「『階層』～チェルフィッチュの〈映像演劇〉の手法による～」等を上演した。また、アーティストが一定期間豊橋市内に滞在しながら創作活動を行うアーティストインレジデンス事業では、YouTubeを活用した成果発表会等を実施した。今後も質の高い芸術文化に触れることのできる機会を充実するとともに、本市の芸術文化作品や取り組みを市内外に向けて発信していく。

[実績及び成果]

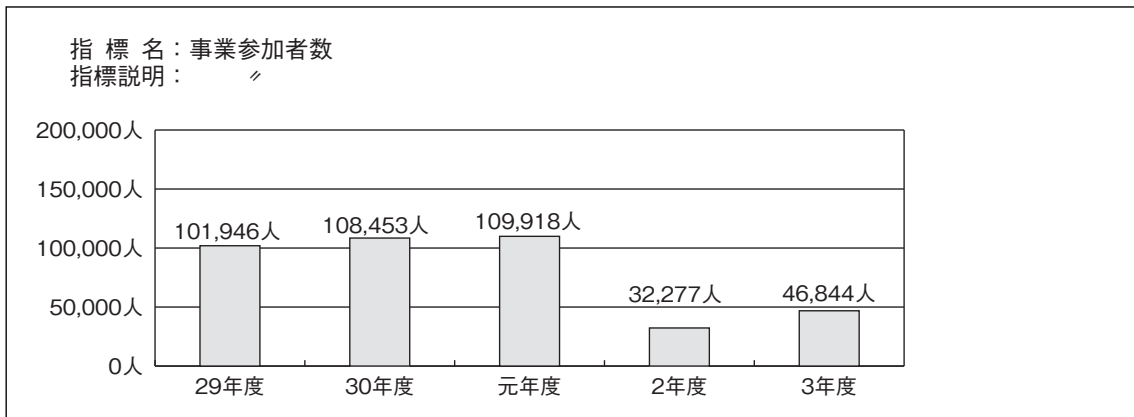
(1) 豊橋文化振興財団補助金 144,864,277 円

内 容	令和2年度	令和3年度
		155,112,386 円 (参加者 32,062 人)

(2) アートによる魅力発信事業費 2,000,000 円

内 容	令和2年度	令和3年度
		アーティスト4団体、26人(参加者延 215人)

[指 標]

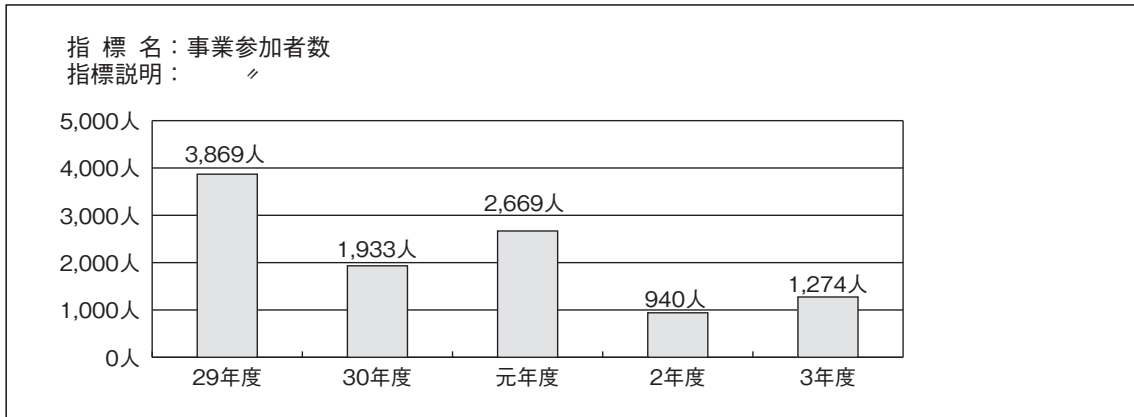


2 文化がみえるまちづくり事業費 2,447,631 円（「文化のまち」づくり課）

[総括]

小中学生を対象にアーティストによるアウトリーチやワークショップを行う芸術文化体験普及事業は、新型コロナウイルス感染症の影響から一部の学校では未実施となったものの、感染症対策を講じながら多くの児童、生徒に参加してもらうことができた。また、令和2年度から豊橋駅東西自由連絡通路に設置したストリートピアノの維持管理を行い、音楽を通じた人々の交流やまちの魅力を発信した。今後もさまざまな分野と連携した芸術文化活動を展開していく。

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 芸術文化推進費 ＜芸術文化を支える人づくり、 豊かな芸術文化の未来への継承＞	692,810,669	8,652,000	0	941,031	683,217,638

1 文化推進事業費 7,438,048 円 (「文化のまち」づくり課)

[総括]

豊橋青少年オーケストラキャンプは新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったものの、代替として、ライブポートとよはしのコンサートホールにて、市内中学校の音楽系部活動が練習する機会を設けた。また、豊橋ゆかりの詩人丸山薫の詩に触れ、詩を書く機会を提供するとともに、詩を身近に感じ親しむ文化を広げていくため、全国の小学生、中学生、高校生を対象とした新たな現代詩賞「帆・ランプ・鷗」賞を創設した。今後も文化活動団体や教育機関等と連携して人材育成や顕彰等の取り組みを行っていく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋青少年オーケストラキャンプ事業補助金 0円

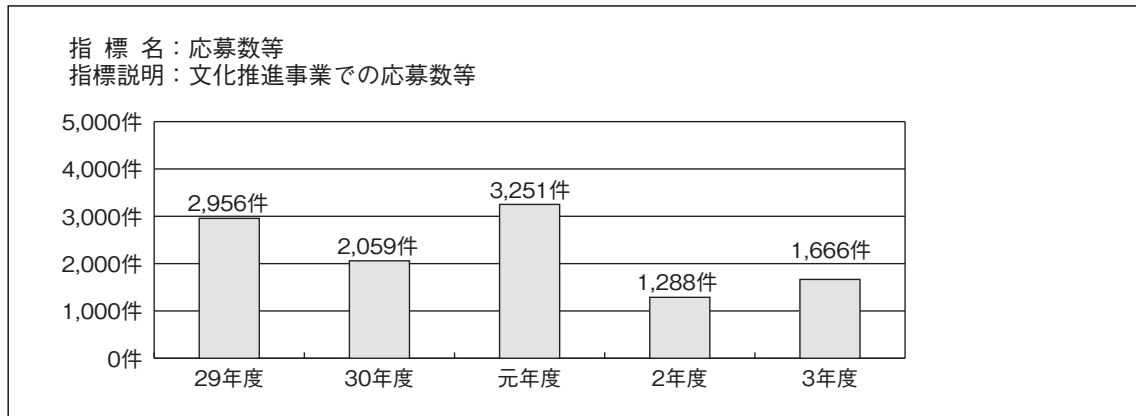
内 容	令和2年度	令和3年度
		1,363,344 円 (参加者 0 人)

(2) 文芸文化事業費 7,267,065 円

項 目	令和2年度	令和3年度	比 較
丸 山 薫 賞 対 象 数	200作品	212作品	6.0%
丸山薫「帆・ランプ・鷗」賞応募数	—	223作品	皆増
文 芸 応 募 数	1,088作品	1,231作品	13.1%

(3) 文化振興表彰事業費 170,983 円

[指 標]



2 文化施設管理事業費

680,793,620 円（「文化のまち」づくり課）

〔総括〕

文化施設（7施設）について、指定管理者及びPFI事業者による適正な管理運営を行った。令和3年度は令和2年度に比べ利用者数は増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響から、感染症流行前の水準までの回復には至っていない。そのため、指定管理者へ利用料金の減少やアルコール消毒液などの感染防止対策経費に対し、指定管理者支援補助金を交付した。今後も必要となる修繕や維持保全を行うとともに、指定管理者の自主的な経営努力を促し、利用者が安全・快適に利用できるよう努めていく。

〔実績及び成果〕

(1) 市民文化会館管理事業費 53,314,739 円

利用状況	令和2年度	令和3年度	比較（利用人員）
ホール	98件 延 13,307人	139件 延 20,871人	56.8%
会議室	1,391 延 19,201	1,661 延 29,033	51.2
展示室	162 延 13,607	292 延 25,890	90.3
リハール室	196 延 8,663	208 延 14,392	66.1
合計	1,847 延 54,778	2,300 延 90,186	64.6

(2) 西川芸能練習場管理事業費 1,406,998 円

利用状況	令和2年度	令和3年度	比較（利用人員）
ホール	88件 延 2,330人	102件 延 3,614人	55.1%
楽屋	23 延 576	29 延 960	66.7
合計	111 延 2,906	131 延 4,574	57.4

(3) 三の丸会館管理事業費 15,102,120 円

利用状況	令和2年度	令和3年度	比較（利用人員）
茶室	90件 延 903人	126件 延 1,154人	27.8%
和室	139 延 2,141	227 延 4,876	2.3倍
立礼茶席	延 6,867	延 8,082	17.7%
合計	229 延 9,911	353 延 14,112	42.4

(4) ライフポートとよはし管理事業費 139,547,062 円

利用状況	令和2年度	令和3年度	比較（利用人員）
コンサートホール	109件 延 15,622人	114件 延 19,790人	26.7%
中ホール	145 延 11,435	210 延 16,303	42.6
合計	254 延 27,057	324 延 36,093	33.4

(5) 公会堂管理事業費 27,203,094 円

利用状況	令和2年度	令和3年度	比較（利用人員）
大ホール	72件 延 13,770人	137件 延 24,666人	79.1%

(6) 穂の国とよはし芸術劇場管理事業費 358,208,486 円

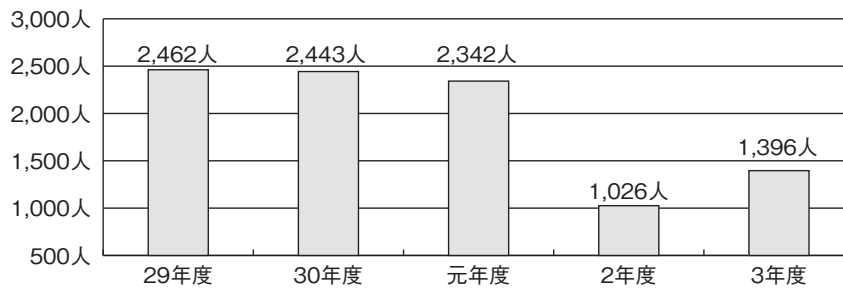
利用状況	令和2年度	令和3年度	比較(利用人員)
主ホール	136件 延 32,720人	206件 延 58,115人	77.6%
アートスペース	187 延 11,950	257 延 22,200	85.8
創造活動室	1,196 延 9,374	1,349 延 11,809	26.0
研修室	427 延 5,594	490 延 8,641	54.5
交流スクエア等	延 19,069	延 23,033	20.8
合計	1,946 延 78,707	2,302 延123,798	57.3

(7) アイプラザ豊橋管理事業費 86,011,121 円

利用状況	令和2年度	令和3年度	比較(利用人員)
講堂	44件 延 22,905人	94件 延 66,148人	2.9倍
小ホール	217 延 14,695	259 延 20,943	42.5%
会議・和室	3,975 延 34,781	4,164 延 37,991	9.2
実習・調理実習・多目的室	3,034 延 25,186	3,701 延 29,906	18.7
体育室	1,449 延 13,785	1,625 延 16,969	23.1
学習・図書室	延 16,350	延 19,153	17.1
合計	8,719 延127,702	9,843 延191,110	49.7

[指標]

指標名：1日当たりの利用者数
 指標説明：延べ利用者数／開館日数



3 文化活動支援事業費

4,579,001 円（「文化のまち」づくり課）

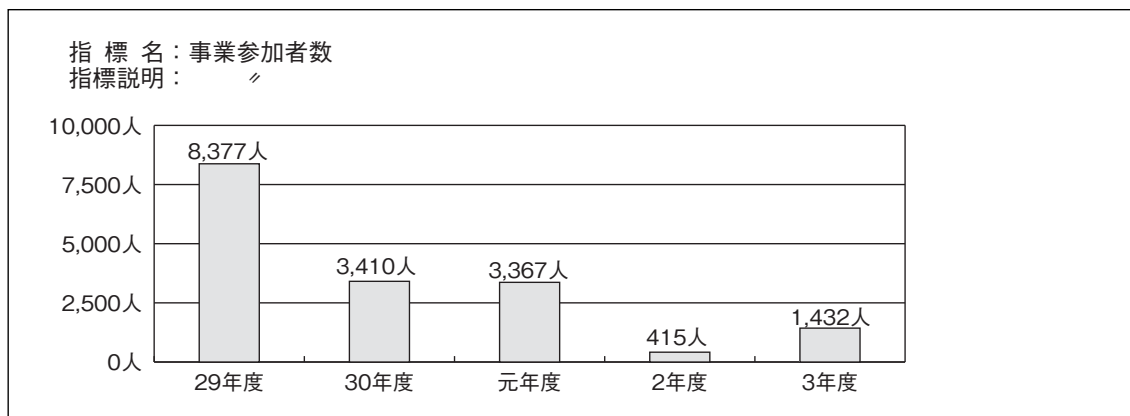
[総括]

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業もあった一方で、豊橋素人歌舞伎保存会では3年ぶり、吉田文楽保存会では2年ぶりに定期公演を再開することができ、多くの市民の参加、鑑賞の機会を得ることができた。また、市の指定無形民俗文化財である「鮑海人形浄瑠璃」の保存継承のきっかけとして、令和3年度より太夫や三味線を体験する伝統芸能後継者育成事業を新たに実施した。今後もこの地域で育まれた芸術文化を担う芸術文化活動団体を支援していく。

[実績及び成果]

区 分	令和2年度	令和3年度
(1) 豊橋交響楽団補助金	1,800,000円	1,800,000円
(2) 豊橋素人歌舞伎保存会補助金	0	1,300,000
(3) 吉田文楽保存会補助金	0	450,000
(4) 郷土関係出版物補助金	171,000	136,000
(5) 全国凧揚げ大会開催事業補助金	188,576	36,586
(6) 三遠南信ふるさと歌舞伎交流大会負担金	0	0
(7) 穂の国2020特別演奏会負担金	0	224,440
(8) 伝統芸能後継者育成事業費	—	631,975
計	2,159,576	4,579,001

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7項 スポーツ振興費	848,666,322	21,328,000	84,300,000	16,235,756	726,802,566
2目 スポーツ参加促進費 <スポーツへの参加促進>	12,516,807	0	0	0	12,516,807

1 スポーツ推進事業費 12,516,807円 (「スポーツのまち」づくり課)

[総括]

令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、地域スポーツ行事やイベントの多くが中止となった。一方で、感染予防対策を行いながら3年ぶりとなる穂の国・豊橋ハーフマラソンを開催し、市民のスポーツ活動への参加促進を図った。今後も市民がスポーツをする機会を増やし、市民一人ひとりが生涯を通じてスポーツ活動を行うための体制づくりと、生涯スポーツに対する意識高揚を図っていく。

[実績及び成果]

(1) スポーツ少年団活動事業補助金 810,000円

補 助 金	令和2年度		令和3年度	
		131団体	810,000円	129団体

(2) スポーツ活動推進事業費 4,480,600円

(ア) 行事開催

区 分	令和2年度			令和3年度		
	開催日	会 場	参加人数	開催日	会 場	参加人数
スポーツフェスタ	11月	石巻運動広場 ※一部のみ開催	延 397人	6月～11月	石巻運動広場ほか ※一部のみ開催	延 865人
豊橋みなの シティマラソン	—	—	0	—	—	0
渥美半島駅伝競走大会	—	—	0	—	—	0
穂の国・豊橋ハーフマラソン	3.28	豊橋公園発着 ※1縮小開催	2,551	3.27	豊橋公園発着 ※2縮小開催	2,511
FUN NIGHT RUN	—	—	0	—	—	0

※1 クォーターマラソンとオンラインハーフマラソンの2種目による代替イベント

※2 ハーフマラソンとオンラインハーフマラソンの2種目による縮小開催

(イ) 豊橋市「スポーツのまち」づくり推進市民委員会

開 催 回 数	令和2年度		令和3年度	
		3回		1回

※令和2年度は、豊橋市「スポーツのまち」づくり推進計画策定市民委員会を設置

(3) 市民スポーツ祭事業補助金 411,207円

補 助 金	令和2年度		令和3年度	
		16種目	350,457円	19種目

(4) 市町村対抗駅伝競走大会参加補助金 0円

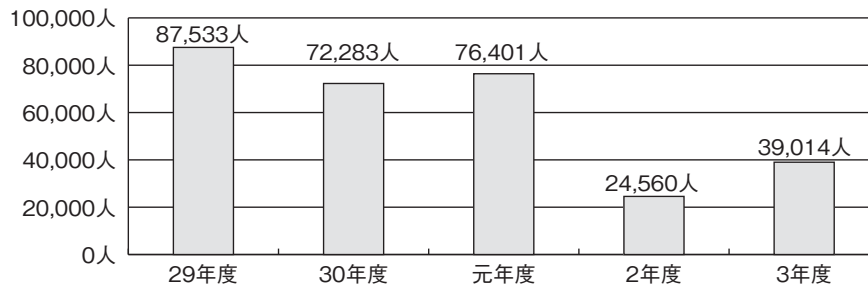
補 助 金	令和2年度		令和3年度	
		0円		0円

(5) スポーツ推進委員活動事業費 6,815,000 円

スポーツ推進委員	令和 2 年度		令和 3 年度	
	112名	6,715,000円	112名	6,720,000円

[指 標]

指 標 名：市内スポーツイベント参加者(プロスポーツ観戦含む)
指標説明： //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 スポーツ環境づくり費 <スポーツ環境の充実>	702,706,697	20,650,000	84,300,000	16,235,756	581,520,941

1 スポーツ活動振興事業費 84,223,486 円 (「スポーツのまち」づくり課)

[総括]

スポーツ活動の振興を図るため、引き続き学校体育施設を市民へ開放したほか、開放に関する情報を迅速に伝えるため、一斉メール配信サービスを開始し、利用者の利便性の向上を図った。また、スポーツの普及発展に貢献した市民を顕彰し、スポーツへの関心や本市に対する愛着心を醸成するとともに、全国大会等出場者へ激励金を支給した。

[実績及び成果]

(1) 学校体育施設開放運営事業費 31,659,096 円

開放施設 市立小・中学校、特別支援学校、県立高校 計82校

[利用状況]

区 分	令 和 2 年 度			令 和 3 年 度		
	体育館	運動場	計	体育館	運動場	計
バレーボール	延152,693人	一人	152,693人	延159,734人	一人	159,734人
剣 道	延 52,230	—	52,230	延 49,536	—	49,536
空 手	延 22,951	—	22,951	延 29,604	—	29,604
野 球	—	延108,098	108,098	—	延123,866	123,866
ソフトボール	—	延 18,066	18,066	—	延 21,313	21,313
卓 球	延 6,452	—	6,452	延 7,301	—	7,301
バドミントン	延 29,814	—	29,814	延 34,687	—	34,687
サ ッ カ ー	—	延194,617	194,617	—	延230,046	230,046
バスケットボール	延117,135	—	117,135	延142,115	—	142,115
ソフトバレー	延 82,353	—	82,353	延 84,879	—	84,879
インディアカ	延 16,671	—	16,671	延 15,733	—	15,733
そ の 他	延 73,862	延 12,740	86,602	延 93,550	延 21,952	115,502
計	554,161	333,521	887,682	617,139	397,177	1,014,316

(2) 豊橋市体育協会補助金 44,753,264 円

補 助 金	令和2年度	令和3年度
	44,013,240円	44,753,264円

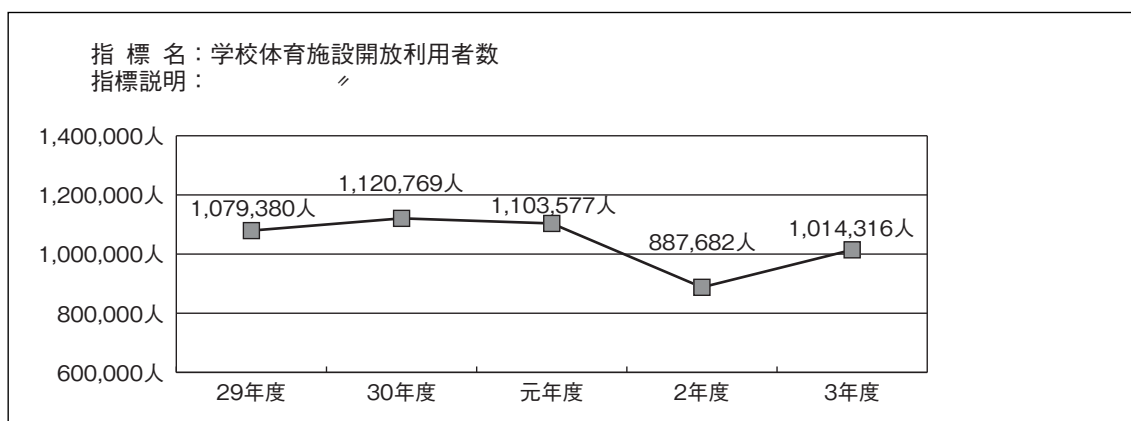
(3) 日本港湾福利厚生協会補助金 6,300,000 円

補 助 金	令和2年度	令和3年度
	プール延利用者数 20,013人 6,300,000円	プール延利用者数 29,647人 6,300,000円

(4) スポーツ活動顕彰事業費 1,511,126 円

区 分	令和2年度	令和3年度
ス ポ ー ツ 賞	2名	1名
ス ポ ー ツ 奨 励 賞	3	3
ス ポ ー ツ 特 別 賞	1	4

[指標]



2 スポーツ施設管理運営事業費 618,483,211 円（「スポーツのまち」づくり課）

[総括]

スポーツ施設の長寿命化を図るため、飯村地区体育館の大規模改修工事に着手した。また万場調整池庭球場の人工芝を張り替えるなど施設の整備充実を図った。今後も施設の改修、整備を計画的かつ効率的に行い、市民が快適にスポーツに親しめるよう施設の充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 総合運動場管理運営事業費 74,522,291 円

[利用状況]

<総合運動場>

区 分	令和2年度		令和3年度		比較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
豊橋球場	195日	18,822人	198日	20,522人	9.0%
東田球場	150	12,893	179	15,562	20.7
陸上競技場	268	37,190	305	64,849	74.4
硬式庭球場	249	9,110	255	10,929	20.0
軟式庭球場	230	22,985	239	30,901	34.4
計	—	101,000	—	142,763	41.3

<市民プール>

区 分	令和2年度		令和3年度		比較 (延利用人員)
	延利用人員	1日平均	延利用人員	1日平均	
大人	3,470人	57人	4,611人	69人	32.9%
小・中学生	3,344	55	5,626	84	68.2
幼児	2,076	34	2,388	36	15.0
団体	0	—	0	—	—
計	8,890	146	12,625	189	42.0

区 分	令和2年度	令和3年度	比較
開場日数	61日	67日	9.8%
1日の最高入場者数	412人	583人	41.5

<武道館>

区 分	令和2年度		令和3年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
柔 道 場	263日	10,602人	297日	13,835人	30.5%
剣 道 場	253	7,668	308	12,024	56.8
弓 道 場	270	11,755	308	14,458	23.0
相 撲 場	86	999	96	925	△ 7.4
ト レ ー ニ ン グ 室	265	14,284	308	13,957	△ 2.3
計	—	45,308	—	55,199	21.8

[施設整備]

内 容	令和2年度	令和3年度
	陸上競技場走路張替工事 陸上競技場備品更新(棒高跳び用マットほか) 武道館底部・外部階段補修修繕 豊橋公園硬式庭球場修繕	

(2) 地区体育館管理運営事業費 168,330,506 円

(ア) 飯村地区体育館大規模改修工事 98,060,000 円

2 年継続事業の初年度 総事業費 270,000,000 円

構 造	内 容	延床面積
鉄筋コンクリート造 平家建	屋上防水改修、外壁改修、内装改修	1,350 m ²

[利用状況]

区 分	令和2年度		令和3年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
前 田 南	265日	30,392人	308日	34,834人	14.6%
新 栄	265	21,404	308	24,922	16.4
牛 川	265	25,223	308	26,980	7.0
草 間	265	31,231	308	37,156	19.0
飯 村	265	25,794	308	28,047	8.7
下 五 井	265	20,593	308	24,996	21.4
浜 道	265	26,842	308	32,751	22.0
二 川	265	26,428	308	28,682	8.5
石 卷	265	22,274	308	25,553	14.7
大 清 水	265	32,221	308	42,811	32.9
計	—	262,402	—	306,732	16.9

[施設整備]

内 容	令和2年度	令和3年度
	牛川地区体育館埋設給水管漏水修繕	

(3) トレーニングセンター管理運営事業費 8,740,325 円

〔利用状況〕

区 分	令和2年度		令和3年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
競 技 場	264日	10,384人	308日	12,209人	17.6%
ト レ ー ニ ン グ 室	234	532	253	625	17.5
和 室	59	169	40	144	△14.8
調 理 室	0	0	2	13	皆増
研 修 室 ・ 集 会 室	251	3,432	298	3,650	6.4
テ ニ ス コ ー ト 等	172	3,817	179	3,414	△10.6
計	—	18,334	—	20,055	9.4

〔施設整備〕

内 容	令和2年度	令和3年度
	トレーニングセンター内側溝修繕 バスケットボールゴール装置修繕	—

(4) グリーンスポーツセンター管理運営事業費 9,231,516 円

〔利用状況〕

区 分	令和2年度		令和3年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
テ ニ ス コ ー ト	221日	4,575人	248日	5,076人	11.0%
多 目 的 広 場	268	17,033	295	15,149	△11.1
キ ャ ン プ 場	15	76	8	43	△43.4
パ タ ー ゴ ル フ	122	1,691	150	2,019	19.4
グリーンスポーツハウス	41	269	55	294	9.3
計	—	23,644	—	22,581	△ 4.5

(5) 岩田総合球技場管理運営事業費 64,120,325 円

〔利用状況〕

区 分	令和2年度		令和3年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
市 民 球 場	154日	17,945人	186日	26,679人	48.7%
市 民 球 技 場	51	6,589	75	16,005	2.4倍
市 民 庭 球 場	267	40,512	306	44,969	11.0%
市 民 ク ラ ブ ハ ウ ス	121	3,362	154	3,561	5.9
計	—	68,408	—	91,214	33.3

〔施設整備〕

内 容	令和2年度	令和3年度
	豊橋市民球場非常用発電機更新 豊橋市民球場非常用放送設備更新	豊橋市民球場非常用放送設備修繕

(6) 運動広場管理運営事業費 24,235,937 円

〔利用状況〕

区 分	令和2年度		令和3年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
高師緑地青少年広場	278日	22,150人	293日	24,803人	12.0%
明 海 広 場	120	16,742	118	16,686	△ 0.3
明 海 少 年 広 場	118	35,430	152	40,230	13.5
高 山 広 場	240	6,560	257	6,415	△ 2.2
向 山 運 動 広 場	240	14,762	269	16,571	12.3
石 巻 運 動 広 場	211	58,911	266	66,655	13.1
臨 海 運 動 広 場	146	16,063	198	20,717	29.0
レクリエーション広場	249	18,115	271	19,870	9.7
計	—	188,733	—	211,947	12.3

(7) 総合体育館管理運営事業費 85,565,232 円

〔利用状況〕

〈総合体育館〉

区 分		令和2年度		令和3年度		比 較 (延利用人員)
		利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
競 技 場	スポーツ	229日	50,039人	318日	89,535人	78.9%
	そ の 他	5	246	311	4,611	18.7倍
卓 球 室		265	6,344	309	7,684	21.1%
会 議 室		64	3,056	321	3,683	20.5
研 修 室		61	2,786	321	2,730	△ 2.0
計		—	62,471	—	108,243	73.3

〈総合スポーツ公園サッカー場〉

区 分	令和2年度		令和3年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
総合スポーツ公園サッカー場	233日	19,345人	309日	28,548人	47.6%

〔施設整備〕

内 容	令和2年度	令和3年度
	給水加圧ポンプ取替修繕 空調設備中央監視装置修繕 喫茶室室外機ファン修繕 男女更衣室排煙窓修繕	

(8) 万場調整池庭球場管理運営事業費 29,246,622 円

〔利用状況〕

区 分	令和 2 年度		令和 3 年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
テ ニ ス コ ー ト	234日	9,211人	297日	11,227人	21.9%

〔施設整備〕

内 容	令和 2 年度		令和 3 年度	
		土留め設置工事		人工芝張替工事

(9) 屋内プール・アイスアリーナ管理運営事業費 154,490,457 円

〔利用状況〕

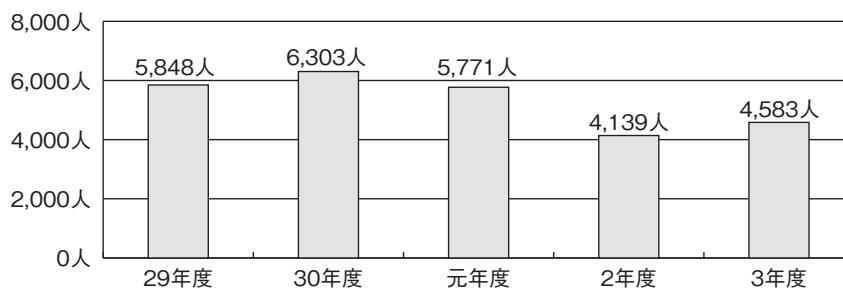
区 分	令和 2 年度		令和 3 年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
屋 内 プ ー ル	106日	20,624人	113日	23,869人	15.7%
ア イ ス ア リ ー ナ	162	29,736	189	44,327	49.1
ト レ ー ニ ン グ 室	262	25,206	314	32,854	30.3
会 議 室	168	4,405	320	6,401	45.3
計	—	79,971	—	107,451	34.4

〔施設整備〕

内 容	令和 2 年度		令和 3 年度	
		入退場システム修繕 ブラインクーラー修繕		ボイラー 1 号機修繕

〔指 標〕

指 標 名：全スポーツ施設 1 日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開場・開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 スポーツ活用推進費 ＜スポーツによるまちの魅力と活力の創出＞	24,628,464	678,000	0	0	23,950,464

1 スポーツを活用したまちづくり事業費 755,205 円（「スポーツのまち」づくり課）

[総括]

合宿等を目的に豊橋に宿泊する市外のスポーツ団体等を誘致するため、宿泊費の助成制度を新たに創設し、本市施設の平日利用の促進と飲食業や宿泊業等地域経済の活性化を図った。

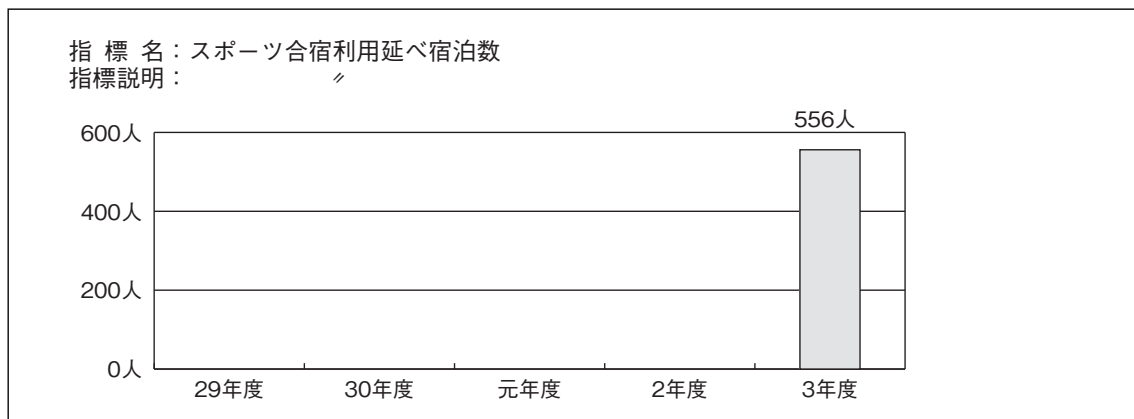
[実績及び成果]

(1) スポーツを活用したまちづくり事業費 755,205 円

(ア) スポーツ合宿等支援事業補助金 755,205 円

補 助 金	令和2年度	令和3年度
		—

[指標]



2 スポーツ大会誘致事業費 23,647,259 円（「スポーツのまち」づくり課）

[総括]

「みる」スポーツの機会を創出しスポーツへの関心を高めるためプロ野球ウエスタン・リーグ公式戦を誘致したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2年連続で中止となった。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会応援事業では、市内で聖火リレーを開催し、オリンピックの機運を醸成したほか、リトアニア共和国ゴールボール代表及びドイツ連邦共和国テコンドー代表選手団へのメッセージ動画等の送付やオンラインによる交流を実施した。

[実績及び成果]

(1) 各種スポーツ大会誘致促進事業補助金 0 円

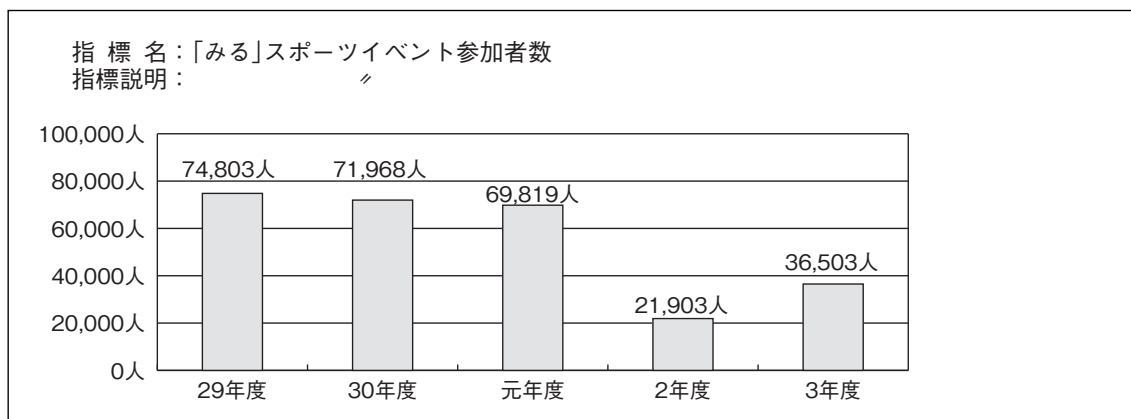
(ア) プロ野球ウエスタンリーグ公式戦開催補助金 0 円

補 助 金	令和2年度	令和3年度
		0円

(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会応援事業費 23,647,259 円

ホストタウン相手国とのオンライン交流回数	令和2年度	令和3年度
		1回

[指 標]



3 スポーツによる共生・交流促進事業費 226,000 円（「スポーツのまち」づくり課）

[総 括]

とよはしスポーツアンバサダーの高田真希選手によるオンラインスクールやパラリンピアンの中木克勝選手によるトーク、レッスンイベントを開催するなど、本市ゆかりのアスリートとスポーツを通じた交流を行い、市民へスポーツを身近に感じてもらう機会を提供した。

また、パラスポーツを通じた共生社会の理解促進を図るため、令和2年度に引き続きゴールボールの出前講座を実施したほか、小学生を対象に日本財団主催の「あすチャレスクール」を実施した。

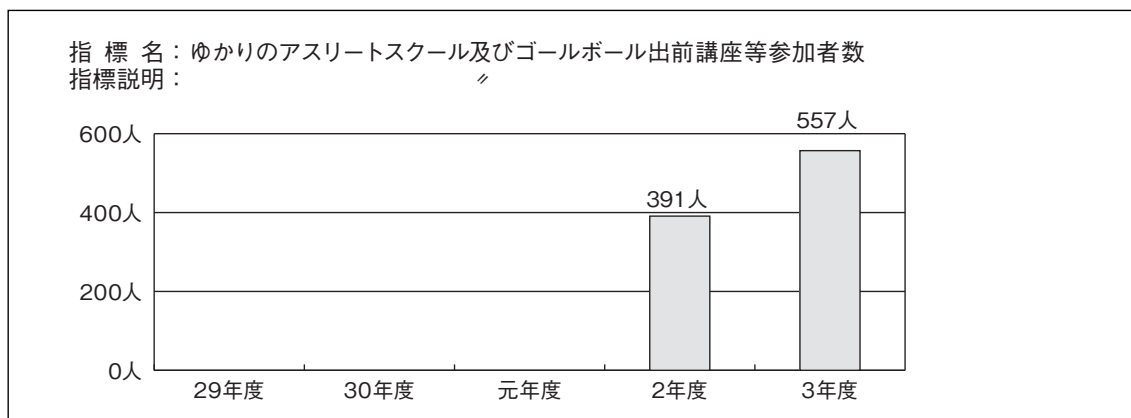
[実績及び成果]

(1) スポーツによる共生・交流促進事業費 226,000 円

(ア) オリパラレガシー体感プロジェクト 226,000 円

出前講座開催回数	令和2年度	令和3年度
	5回	6回

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9項 総務諸費	1,374,891,506	120,610,097	53,900,000	46,690,119	1,153,691,290
1目 地域コミュニティ活動費 <地域コミュニティ活動の促進>	397,302,717	35,995,000	3,500,000	36,232,531	321,575,186

1 地域コミュニティ推進事業費 126,273,686 円 (市民協働推進課)

[総括]

自治会(地域)の自主性を高め、活動の活性化を図ることを目的として、各校区及び町自治会に対してコミュニティ活動交付金を交付した。また、コミュニティ活動に利用する備品整備に対し助成を行った。一方で新型コロナウイルス感染症の影響で、まちづくり講習会は2年連続で中止となった。ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた地域コミュニティ活動を模索・支援するとともに、地域の主体的なまちづくりの推進に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 自治連合会活動事業費 121,273,686 円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
コミュニティ活動交付金(校区自治会)	11,302,400円	11,302,400円	0.0%
コミュニティ活動交付金(町自治会)	110,256,820	109,936,720	△ 0.3
自治連合会活動推進費	22,950	34,566	50.6
計	121,582,170	121,273,686	△ 0.3

(2) 地域コミュニティ支援事業費 0 円

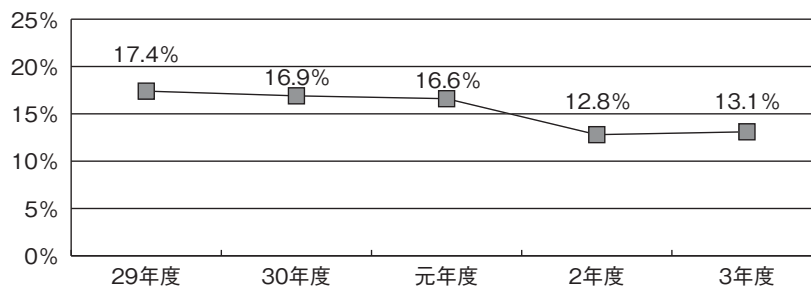
	令和2年度	令和3年度
まちづくり講習会参加者数	—	—

(3) コミュニティ推進事業補助金 5,000,000 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
	対象校区	事業内容	対象校区	事業内容
内 容	新 川	印刷機、テント等	大 清 水	印刷機、テント等
	津 田	印刷機、テーブル等	鷹 丘	ガス発電機、 デジタル簡易無線機等
補 助 金	5,000,000円		5,000,000円	

[指 標]

指 標 名：校区市民館の地域コミュニティによる利用率
 指標説明：自治会等地域コミュニティ利用回数／利用者別利用回数合計



2 校区市民館管理運営事業費 188,330,822 円（市民協働推進課）

[総括]

新型コロナウイルス感染症による校区市民館利用制限の緩和などから施設利用者数は令和2年度に比べ104,289人増となった。また、LED照明器具取替修繕8館、空調設備取替修繕36館、屋上等防水改修工事を1館で実施するなど、施設設備の老朽化に対応したほか、インターネット整備を49館で実施するなど、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた新たな取組みを進め校区市民館の機能を高めた。今後は整備したインターネットを活用し校区市民館の情報発信を行うなどの利用促進に努め、地域コミュニティ活動のより一層の活性化を図る。

[実績及び成果]

(1) 校区市民館管理運営事業費（50館） 188,330,822円

区 分	令和2年度		令和3年度		比 較 (延利用人員)
	件 数	延利用人員	件 数	延利用人員	
	件	人	件	人	%
東 田	1,033	16,588	1,210	18,503	11.5
松 葉	586	10,639	665	11,849	11.4
津 田	279	10,027	328	12,598	25.6
磯 辺	333	4,530	419	5,157	13.8
大 崎	298	7,314	360	8,731	19.4
鷹 丘	392	5,789	476	7,367	27.3
下 条	481	21,785	561	28,820	32.3
多 米	692	11,990	789	14,522	21.1
旭	760	17,757	829	20,433	15.1
谷 川	213	9,556	270	12,128	26.9
花 田	491	8,870	583	10,989	23.9
高 師	574	7,003	719	8,419	20.2
野 依	577	15,586	721	18,969	21.7
植 田	782	11,522	887	13,155	14.2
牛 川	980	27,452	1,185	38,772	41.2
西 郷	250	14,404	409	18,270	26.8
石 巻	269	4,902	274	4,867	△ 0.7
石巻（金田分館）	361	4,596	436	5,657	23.1
小 沢	139	7,530	213	11,024	46.4
豊 南	146	4,992	288	6,761	35.4
賀 茂	341	11,101	379	12,318	11.0
芦 原	499	7,989	613	11,029	38.1
岩 田	585	9,606	668	13,494	40.5
豊	521	6,920	630	7,883	13.9
大 村	561	10,098	631	10,600	5.0
幸	478	9,684	567	12,892	33.1
福 岡	912	11,730	993	14,314	22.0
栄	1,026	13,298	1,135	14,319	7.7
嵩 山	520	20,761	706	23,959	15.4
二 川	711	20,768	705	13,314	△35.9

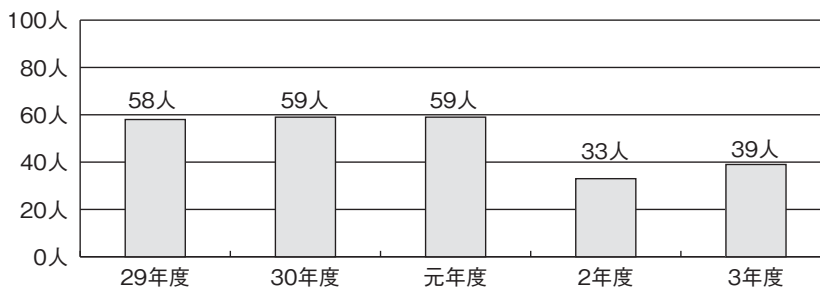
区 分	令和2年度		令和3年度		比 較 (延利用人員) %
	件 数	延利用人員	件 数	延利用人員	
高 根	297	4,739	278	4,553	△ 3.9
老 津	594	19,981	645	21,166	5.9
下 地	355	9,774	612	14,432	47.7
牟 呂	782	11,392	918	12,642	11.0
吉 田 方	556	10,502	510	11,053	5.2
天 伯	674	11,617	748	13,316	14.6
大 清 水	996	15,835	1,092	16,682	5.3
向 山	688	10,509	807	11,625	10.6
玉 川	523	15,717	757	22,501	43.2
細 谷	184	5,694	265	8,032	41.1
飯 村	953	12,421	1,025	12,809	3.1
富 士 見	710	15,515	786	18,462	19.0
中 野	692	11,556	749	11,726	1.5
八 町	515	10,486	589	13,302	26.9
二 川 南	631	17,570	682	18,929	7.7
汐 田	820	15,562	881	18,197	16.9
松 山	480	11,381	473	12,251	7.6
つつじが丘	834	13,110	1,025	14,784	12.8
新 川	860	14,936	1,038	18,943	26.8
前 芝	496	7,729	603	8,584	11.1
計	28,430	590,813	33,132	695,102	17.7

(ア) LED照明器具取替修繕（高師始め8館） 6,551,600円

(イ) 屋上等防水改修工事（幸） 3,900,600円

[指 標]

指 標 名：校区市民館1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／(開館日数×市民館数)



3 地域集会所建設支援事業費

20,540,000 円（市民協働推進課）

[総括]

地域住民の心のふれあい及び連帯意識の促進を図るため、令和3年度は、2地区に対して地域集会所の建設にかかる費用の一部を助成した。また、地域コミュニティ活動の安全安心を確保することを目的とし、令和3年度よりバリアフリー改修にかかる費用の一部助成を開始し、3地区に対して助成した。今後も希望する地域に対し支援していく。

[実績及び成果]

- (1) 地域集会所建設費補助金 19,500,000 円

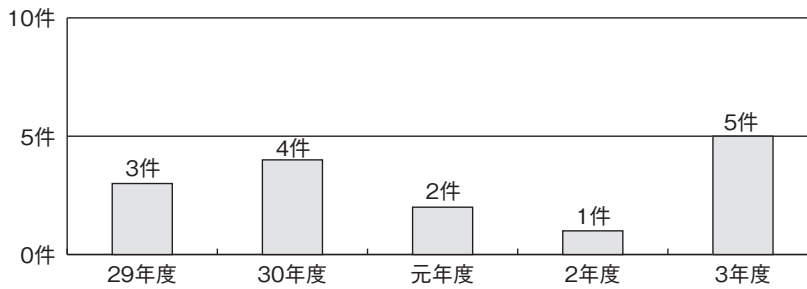
助成地区	令和2年度	令和3年度
	1地区(弥生町)	2地区(曲尺手町、八通町)

- (2) 地域集会所バリアフリー改修費補助金 1,040,000 円

助成地区	令和2年度	令和3年度
	—	3地区(山田町、花中町二区、東向山町三区)

[指標]

指標名：地域集会所建設費等補助件数
 指標説明：年度ごとの建設費、耐震改修費及びバリアフリー改修費の補助件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 市民活動支援費 <市民活動への支援>	84,994,234	614,000	0	1,484,719	82,895,515

1 市民活動推進事業費 5,833,980 円 (市民協働推進課)

[総括]

市民活動中の事故を幅広く補償する市民活動総合補償制度や講座の開催など市民活動の活性化のための支援を行った。市民協働推進補助金の交付件数は増加しており、特に若者向けの「わかば補助金」については、高校生の団体からの申請が増えるなど、広がりを見せている。

[実績及び成果]

(1) 市民活動支援事業費 4,792,980 円

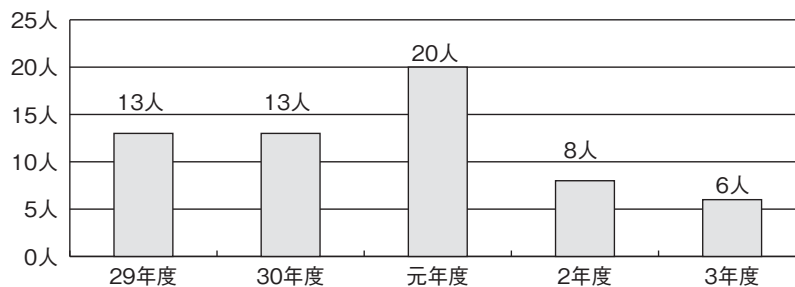
区 分	令和2年度	令和3年度
市民協働推進審議会	年間開催数4回	年間開催数5回
市民活動プラザ登録団体数	457団体	463団体
各種人材育成講座等の開催	12種、39講座、参加人員1,285人	13種、59講座、参加人員1,687人
東三河市民活動情報サイトへのアクセス数	23,299件	30,742件
市民活動総合補償制度事故対象件数	傷害10件 賠償1件	傷害13件 賠償2件

(2) 市民協働推進補助金 1,041,000 円

区 分	令和2年度	令和3年度
市民活動スタート支援(つつじ)補助金	3団体 148,000円	3団体 137,000円
市民活動ネクスト支援(くすのき)補助金	3 632,000	2 520,000
市民活動若者支援(わかば)補助金	2 200,000	6 384,000

[指標]

指標名：市民活動プラザ1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数/開館日数



2 市民センター管理運営事業費 34,705,895 円（市民協働推進課）

[総括]

新型コロナウイルス感染症による利用制限が緩和したことから令和2年度に比べ施設利用者は増加した。また、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えたオンライン会議の研修を行うなど、新しい生活様式に合わせた市民活動の支援を行った。SNS（Instagram）による発信も新たに始め、情報発信を強化した。今後も指定管理者の持つノウハウを活かした講座、相談事業を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 市民センター管理運営事業費 34,705,895 円

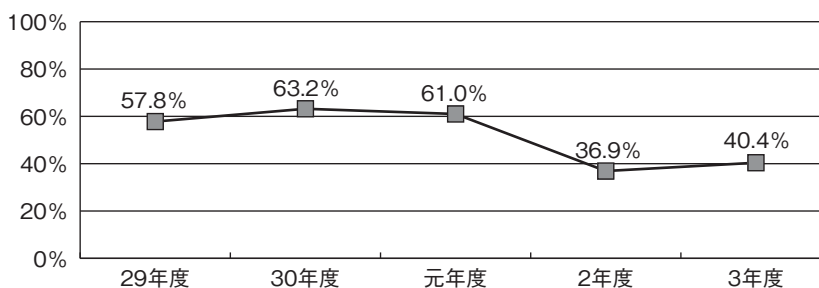
[利用状況]

区 分	令和2年度		令和3年度		比 較 (延利用人員)
	利用件数	延利用人員	利用件数	延利用人員	
第1ミーティングルーム	278件	1,882人	392件	2,866人	52.3%
第2ミーティングルーム	377	2,513	369	2,638	5.0
第3ミーティングルーム	217	1,329	252	1,772	33.3
第4ミーティングルーム	248	1,645	373	2,596	57.8
小 会 議 室	400	6,046	487	8,604	42.3
中 会 議 室	358	14,810	404	18,128	22.4
大 会 議 室	308	18,487	378	23,542	27.3
多 目 的 ホ ール	233	15,444	328	20,958	35.7
合 計	2,419	62,156	2,983	81,104	30.5
開 館 日 数	273日		308日		—

[指 標]

指 標 名：市民センター会議室利用率

指標説明：利用件数／(部屋数 × 利用可能日数 × 3区分) ※3区分は、貸出単位で午前、午後、夜間



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 若者活躍支援費 <若者活躍の支援と機会の充実>	5,399,625	0	0	0	5,399,625

1 若者政策提案事業費 5,399,625 円 (市民協働推進課)

[総括]

豊橋の将来を担う若者が自分たちの住みたくなるまちの実現に向け、議論やワークショップを通して、豊橋の未来を創るための政策を提案する「豊橋わかば議会」を開催し、2つの提案を事業化へつなげることができた。

また、提案した事業へ参加した先輩若者委員がその経験を伝えるため、若者委員と意見交換を行った。今後、「豊橋わかば議会」に参加した若者がどのようにまちづくりに関わったのか調査し、事業の効果検証を行っていく。

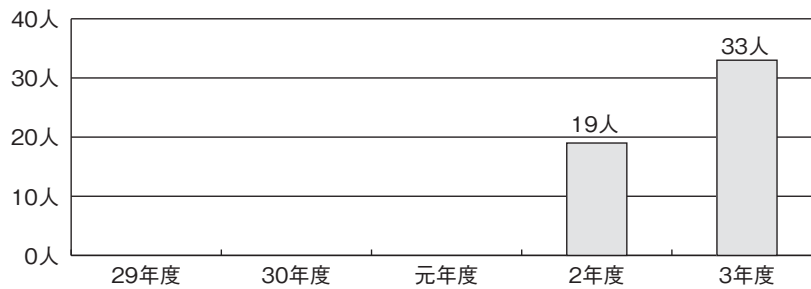
[実績及び成果]

(1) 若者政策提案事業費 5,399,625 円

区 分	令和2年度	令和3年度
豊橋わかば議会参加者数	延 273人	延 276人

[指標]

指標名：わかば議会、提案事業に関わった若者委員の数
 指標説明：若者委員の人数と提案事業に参加した先輩若者委員の人数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 国際連携費 <国際連携の推進>	78,662,317	0	0	26,220	78,636,097

1 友好提携交流事業費 24,526円 (多文化共生・国際課)

[総括]

令和3年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症まん延防止による水際対策で出入国ができなかったことから対面での交流ができなかったものの、8月にドイツ・ヴォルフスブルク市とのパートナーシティ協定締結10周年を記念し、市長及び議長をはじめ、豊橋日独協会会長なども参加したオンライン式典を開催し、友好関係を深めた。今後は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら対面での交流も実施していく。

[実績及び成果]

(1) 友好・姉妹都市交流事業費 0円

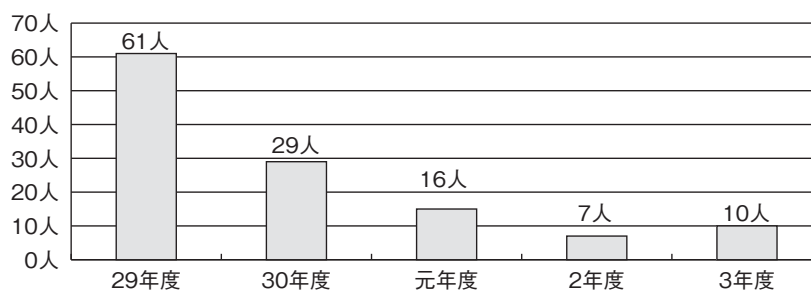
内 容	令和2年度	令和3年度
	【中国・南通市】 オンライン首長会議の開催 マスク及び防護服の受領 【米国・トリード市】 オンライン首長会議の開催	

(2) パートナーシティ交流事業費 24,526円

内 容	令和2年度	令和3年度
		—

[指 標]

指 標 名：交流人員数
指標説明：相互に派遣受入した人数



2 豊橋市国際交流協会補助金 44,650,231 円（多文化共生・国際課）

[総括]

豊橋市国際交流協会は、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため海外派遣や受入ができなかったものの、日本語学習支援事業、国際理解教育・語学講座の実施、国際交流サロンの運営など、地域の国際交流活動の促進及び国際化意識の高揚を図った。また、日本語ボランティア養成講座、災害時通訳ボランティアの養成、外国人が安心して暮らせる多文化共生の地域づくりを推進した。今後も市として協会が実施する各種事業を支援するとともに、様々な機会を通じて、協会への協力支援に取り組んでいく。

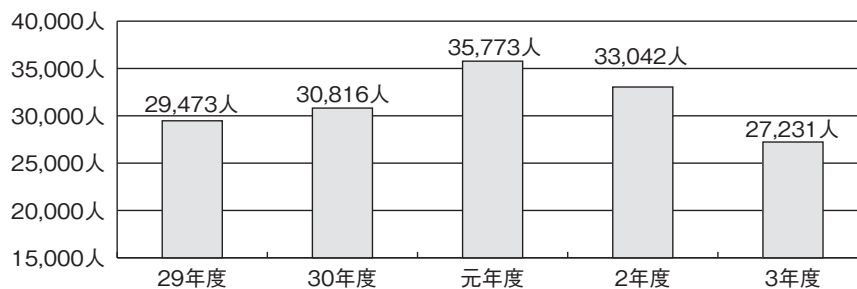
[実績及び成果]

(1) 豊橋市国際交流協会補助金 44,650,231 円

補助金	令和2年度	令和3年度
	50,290,206円	44,650,231円

[指標]

指標名：豊橋市国際交流協会事業参加者数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 多文化共生費 <多文化共生の推進>	68,836,930	12,731,317	0	1,766,000	54,339,613

1 多文化共生推進事業費 44,890,263 円 (多文化共生・国際課)

[総括]

外国人市民も安心して行政サービスを受けられるよう、外国人市民相談を実施するとともに、外国人市民にわかりやすく、伝わりやすいWebサイト「ぼけとよ」を開設した。また、新型コロナウイルスワクチン接種を推進するため、集団接種会場における通訳の派遣支援や、動画による予診票の書き方の解説などを行ったほか、日々更新される感染状況や感染拡大防止策などの関連情報をやさしい日本語を含めた多言語で発信した。さらに、就学前の幼児を対象とした子ども向け日本語教室や外国人中学生等アフタースクール事業などの外国人の子どもたちに対する日本語学習や学習指導を実施したほか、コロナ禍により精神面でのケアが必要なブラジル人を支援するメンタルヘルス相談事業を実施した。

[実績及び成果]

(1) 外国人相談事業費 29,328,582 円

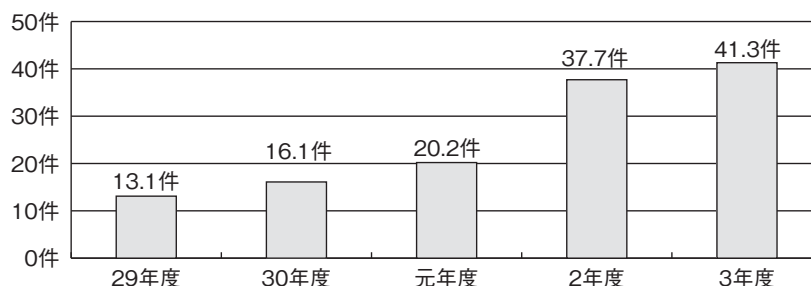
区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
相 談 件 数	13,014件	14,201件	9.1%
相 談 開 設 日 数	345日	344日	△ 0.3
文 書 等 翻 訳 件 数	277件	299件	7.9

(2) 多文化共生事業費 15,561,681 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	外国人情報窓口の運営 プレスクール事業(3か所、参加者61名) 外国人市民会議の開催 多文化共生推進連絡協議会の開催 タガログ語通訳の配置 「やさしい日本語マニュアル」の活用周知 定住外国人等中学生アフタースクール事業 定住外国人等高校生日本語学習支援事業	外国人情報窓口の運営 プレスクール事業(3か所(4教室)、参加者52名) 外国人市民会議の開催 多文化共生推進連絡協議会の開催 「やさしい日本語マニュアル」の活用周知 定住外国人等中学生アフタースクール事業 定住外国人等高校生日本語学習支援事業

[指 標]

指 標 名：外国人相談開設1日当たりの相談件数
指 標 説 明：相談件数／相談開設日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 男女共同参画推進費 〈性別によらずに活躍できる環境の充実〉	27,280,328	430,000	0	0	26,850,328

1 男女共同参画推進事業費 2,949,233 円 (市民協働推進課)

[総括]

男女共同参画社会の実現をめざして策定した、豊橋市男女共同参画行動計画「とよはしハーモニープラン 2018-2022」に基づき、男女共同参画週間・月間啓発イベントや啓発パンフレットの配布などを行い、市民の男女共同参画意識の醸成を図った。また、女性活躍を推進するため、地元企業と協働し、リケジョ魅力発信セミナーを開催したほか、女性応援プロジェクトではオンラインによるセミナー及びグループワークを実施した。令和2年度は新型コロナウイルスまん延防止のため中止となった男女共生フェスティバルや三遠南信地域女性交流会について、オンラインで開催することで事業実施につなげた。今後も様々な事業の展開により、さらなる男女共同参画の推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 男女共同参画啓発事業費 2,143,845 円

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
委員会、審議会等の女性委員数		158人	168人	6.3%
一般啓発事業	標語応募点数	330点	497点	50.6
	写真応募点数	30	26	△13.3
女性再就職支援事業参加者数		48人	35人	△27.1
女性応援プロジェクト参加者数		105	49	△53.3

(2) 女性キャリアアップ応援補助金 323,000 円

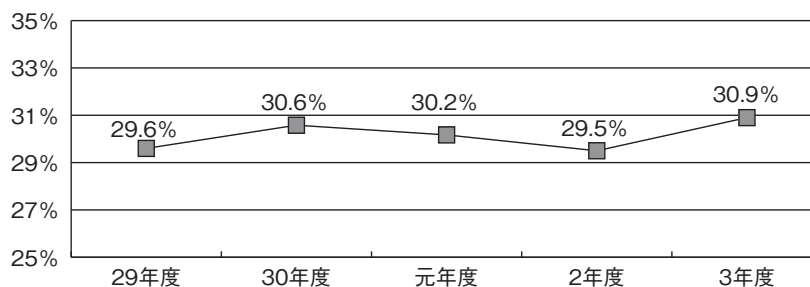
補 助 金	令和2年度		令和3年度	
		7件	235,245円	10件

(3) 男女共生フェスティバル開催事業補助金 482,388 円

区 分	令和2年度	令和3年度
男女共生フェスティバル参加者数	—	55人
補 助 金	—	482,388円

[指 標]

指 標 名：委員会、審議会等の女性委員の比率
 指標説明：女性委員数／全体の委員数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 男女共同参画支援費 <性別による困難を抱える人への支援の充実>	21,632,224	11,325,000	0	2,700	10,304,524

1 男女共同参画支援事業費 21,632,224円 (市民協働推進課)

[総括]

悩みを抱える人の支援として、女性相談員による電話や面接相談、弁護士などによる専門相談、DV相談、男性相談、LGBT等性的少数者の面接相談を実施した。また、パートナーシップ制度を創設することで、LGBT等性的少数者に対する支援を拡充した。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で経済的な理由等様々な事情で困難を抱える女性の支援のため、新たに生理用品の配布や女性のつながりサポート事業を実施した。そのほか、男女共同参画センターでは男女共同参画の推進に取り組む団体の交流・活動場所の提供に加え、図書の充実や男女共同参画に関する掲示などによる情報提供とともに、女性のスキルアップや固定的な性別役割分担意識の解消を図る講座等を実施した。今後も性別による困難を抱える人の支援を実施するとともに、男女共同参画センターの利用促進に努めていく。

[実績及び成果]

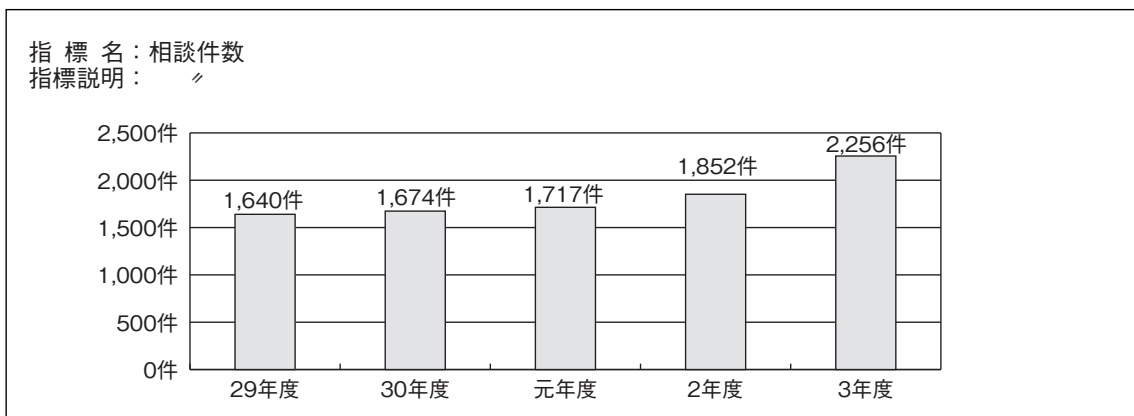
(1) 相談支援事業費 18,815,227円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
法律相談件数	21件	19件	△9.5%
女性悩みごと相談件数	1,526	1,870	22.5
D V 相談件数	296	359	21.3
男性相談件数	3	7	2.3倍
L G B T 相談件数	6	1	△83.3%
パートナーシップ宣誓件数	—	6	皆増

(2) 男女共同参画センター管理運営事業費 2,816,997円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
男女共同参画センター利用者数	延 13,170人	延 15,031人	14.1%
ライフアップセミナー参加者数	6講座 132	7講座 103	△22.0

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 地域防災力強化費 <地域防災力の充実>	39,789,072	30,000	0	0	39,759,072

1 地域防災力強化推進事業費 4,544,843円 (防災危機管理課)

[総括]

例年、防災関係機関と地域住民が連携し、南海トラフ地震を想定した総合防災訓練を実施してきたほか、小学校と地域が連携して災害への備えに取り組む「防災まちづくりモデル校区事業」や、地域防災の担い手を育成する「防災リーダー養成講座」を開催してきたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、訓練や講座の中止又は規模を縮小しての開催を余儀なくされた。今後は、感染状況を考慮しながら各種訓練や防災啓発活動を実施し、市民の防災意識の向上や自主防災組織の活性化などを推進し、地域防災力の強化を図る。

[実績及び成果]

(1) 防災対策啓発事業費 4,195,824円

内 容	令和2年度	令和3年度	比 較
防災啓発講習会の開催回数	153回	229回	49.7%

(2) 自主防災組織育成事業費 299,019円

内 容	令和2年度	令和3年度	令和3年度末累計
防災リーダー養成講座修了者数	0人	0人	1,026人

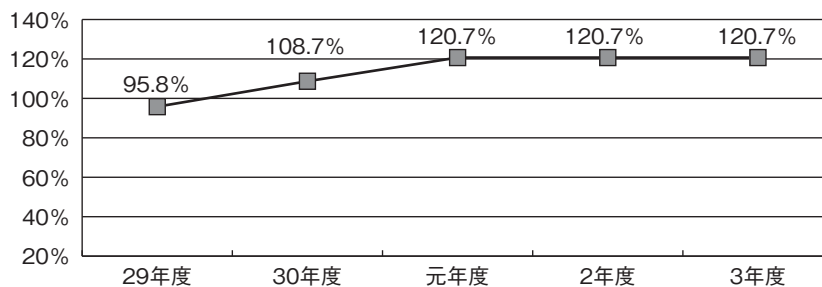
(3) 自主防災力強化事業補助金 50,000円

内 容	令和2年度	令和3年度	令和3年度末累計
自主防災力強化事業補助金活用組織数	5組織	1組織	50組織

[指標]

指標名：防災リーダー養成講座修了者目標達成率

指標説明：防災リーダー養成講座修了者数／防災リーダー養成目標数(850人)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 災害対応力強化費 <災害対応力の強化>	326,946,181	14,706,000	50,400,000	3,554,202	258,285,979

1 防災対策事業費 175,038,255 円 (防災危機管理課)

[総括]

豊橋ほっとメールの登録促進や豊橋防災ラジオの普及、同報系防災行政無線等の防災関係設備の適切な管理運営に努めるとともに、大規模災害発生時にトイレの不足が懸念される指定避難所にマンホールトイレを整備したほか、老朽化が激しい避難所等誘導標識を更新した。今後も大規模地震や風水害に備え、防災対策の強化充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 防災対策管理事務費 39,312,572 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	防災会議の開催 豊橋ほっとメール多言語同時配信の運用 被災地(宮城・長野)への職員派遣 名古屋大学への受託研究員派遣 豊橋防災ラジオの販売・運用管理ほか	

(2) 東三河地域防災協議会負担金 2,326,000 円

区 分	令和2年度	令和3年度
セミナー・研修会の開催回数	3回	4回
調査研究テーマ数	4テーマ	4テーマ
調査研究成果	<ul style="list-style-type: none"> ○東三河地域における防災拠点のリアルタイム耐震診断技術に関する研究 ○大規模地震災害時における時間帯別帰宅困難者発生量の予測手法の開発と支援策の検討に関する研究 ○災害時における再生可能エネルギーを利用した電力供給システムの有効活用について ○拡張現実を用いた浸水・暴風雨・土砂災害疑似体験アプリの開発と防災教育における活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○東三河地域における防災拠点のリアルタイム耐震診断技術に関する研究 ○大規模災害とウイルス感染症の複合リスクの下での避難計画に関する研究 ○障害者及び要支援者の災害時における避難行動の支援体制に関する研究 ○災害時における「正常性バイアス」を打破する緊急避難アナウンスの開発

(3) 防災備蓄品等整備事業費 64,564,469 円

内 容	令和2年度	令和3年度	比 較
非常用食料備蓄数	308,616食	311,224食	0.8%
避難支援場所整備数	2か所	3か所	50.0
マンホールトイレ整備数	3	3	0.0

※備蓄食料目標数：308,500食 想定避難者数50,000人×1日2食×3日分=300,000食 帰宅困難者等8,500食

(4) 防災無線維持管理事業費 62,792,284 円

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
	同報系防災行政無線の維持管理 デジタル防災行政無線（MCA無線） の維持管理 同報系防災行政無線屋外拡声子局等修繕 デジタル防災行政無線（MCA無線） の受信困難地域及び後方収容病院へ の配備	

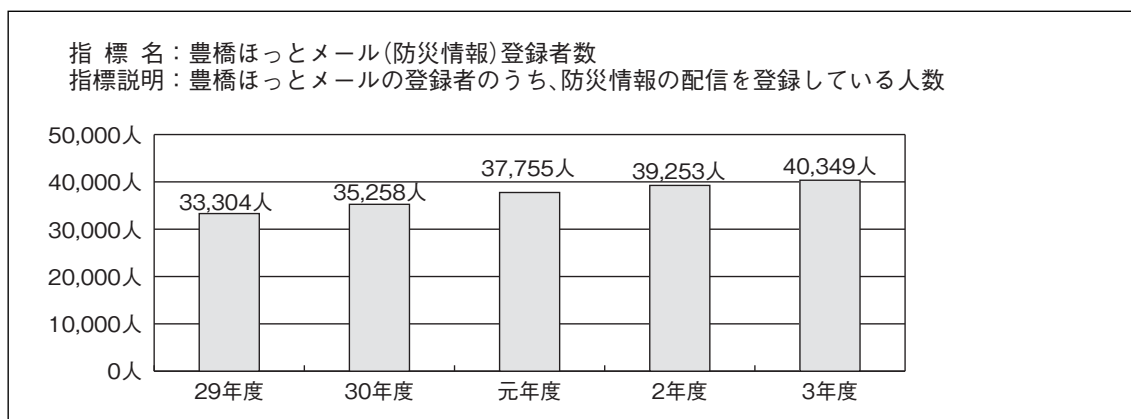
(5) 飲料水用施設維持管理事業費 4,474,426 円

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
飲料水兼用耐震性貯水槽点検数	25か所	25か所	0.0%

(6) 水防対策事業費 1,568,504 円

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
水防訓練実施回数	1回	1回	0.0%

[指 標]



2 危機管理対策事業費 36,789,950 円（防災危機管理課）

[総 括]

大規模災害発生時に確実な情報伝達や安否確認ができるよう、事前避難対象地域の住民への防災ラジオの無償貸与や、指定避難所である全小中学校の体育館、地区市民館、校区市民館の Wi-Fi 環境整備を実施した。また、各種訓練において、全天候型ドローンを活用した被災現場や救助現場の映像伝送訓練を行うなど、災害時における被害状況の収集能力向上及び初動対応力強化を図ったほか、災害対策本部が有効に機能するよう災害対策本部設置運営訓練や機器操作研修を実施した。今後も、新型コロナウイルス感染症対策の充実に努めつつ、機器操作研修や各種訓練を実施し、災害対策本部の機能強化に努めていく。

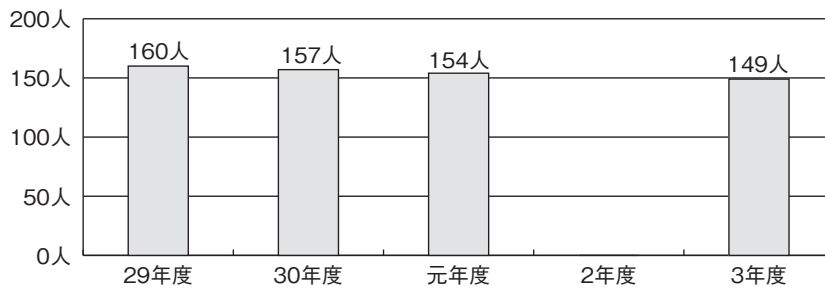
[実績及び成果]

(1) 危機管理対策事業費 36,708,950 円

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
機器操作研修の受講者数	0人	149人	皆増
ドローン飛行隊出動回数	14回	12回	△14.2%

[指 標]

指 標 名：災害対策本部機器操作研修の受講者数
指標説明：
〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 耐震化促進費 <建物の耐震化の促進>	90,035,067	41,485,400	0	1,200	48,548,467

1 建築物耐震促進事業費 56,068,065 円 (建築物安全推進課)

[総括]

発生が危惧される南海トラフ地震等に備え耐震化を促進するため、民間木造住宅の無料耐震診断や各種補助を行うとともに、令和3年度は非木造共同住宅の耐震診断に対する助成を行った。さらに、災害発生時の生命の安全確保及び道路の閉塞防止のため、ブロック塀等の撤去に対する助成を行った。今後も、令和3年3月に策定した新たな「豊橋市建築物耐震改修促進計画」に基づき、積極的な啓発と補助制度の活用により耐震診断及び耐震改修等のさらなる普及を図り、災害に強いまちづくりをめざす。

[実績及び成果]

(1) 木造住宅耐震診断事業費 6,513,600 円

区 分	令和2年度	令和3年度	平成14年度からの累計
耐震診断実施棟数	203棟	138棟	11,758棟

(2) 木造住宅耐震改修費補助金 32,440,000 円

区 分	令和2年度	令和3年度	平成15年度からの累計
耐震改修実施棟数	23棟	33棟	1,324棟

(3) 木造住宅段階的耐震改修費補助金 600,000 円

区 分	令和2年度	令和3年度	平成25年度からの累計
耐震改修実施棟数	4棟	1棟	18棟

(4) 非木造住宅耐震診断費補助金 1,026,000 円

区 分	令和2年度	令和3年度	平成20年度からの累計
耐震診断実施棟数	0棟	1棟(23戸)	11棟(102戸)

(5) 非木造住宅耐震改修費補助金 0 円

区 分	令和2年度	令和3年度	平成24年度からの累計
耐震改修等実施棟数	0棟	0棟	0棟

(6) 木造住宅解体工事費補助金 12,687,000 円

区 分	令和2年度	令和3年度	平成22年度からの累計
解体工事補助棟数	43棟	46棟	506棟

(7) 木造住宅耐震シェルター整備費補助金 0 円

区 分	令和2年度	令和3年度	平成25年度からの累計
シェルター設置棟数	2棟	0棟	16棟

(8) 特定既存耐震不適格建築物耐震診断費補助金 0 円

区 分	令和2年度	令和3年度	平成29年度からの累計
耐震診断実施棟数	1棟	0棟	1棟

(9) ブロック塀等撤去費補助金 2,013,000 円

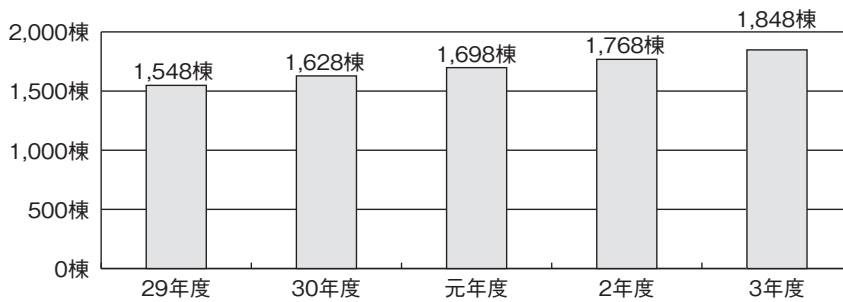
区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	平成30年度からの累計
ブロック塀等撤去件数	27件	26件	115件

(10) 建築物耐震促進啓発事業費 788,465 円

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
ダイレクトメールの発送数	7,650通	5,479通	△28.4%

[指 標]

指 標 名：住宅の耐震改修・解体工事棟数(累計)
指標説明：住宅の耐震改修棟数 + 解体工事棟数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11目 防犯・治安対策費 <防犯・治安対策の推進>	71,433,427	0	0	0	71,433,427

1 防犯・治安対策推進事業費 47,453,797円 (安全生活課)

[総括]

犯罪のない安全で安心なまち「とよはし」をめざして策定された「第5次豊橋市安全で安心なまちづくり行動計画」に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも防犯パトロール、自主防犯活動への支援、各世代に応じた防犯教育講座を開催するとともに、警察・市民・事業者と協力して防犯キャンペーンを行った。また、防犯カメラの設置及び防犯灯の設置・維持にかかる費用に対する補助を行った。さらに、本市の犯罪の特徴である無施錠による自転車盗の発生などに対する注意喚起を自治会の協力のもと、組回覧チラシなどで実施した。路上喫煙対策として「快適なまちづくりを推進する条例」に基づき、路上の喫煙を防止するため、指導員による巡回・指導や啓発活動を実施した。

[実績及び成果]

(1) 豊橋市防犯協会連合会補助金 2,600,000円

補 助 金	令和2年度		令和3年度	
		2,600,000円		2,600,000円

(2) 地域防犯事業費 24,868,359円

区 分	令和2年度		令和3年度	
防 犯 教 育 講 座	開催数100回	受講者数 7,519人	開催数101回	受講者数14,812人
自 主 防 犯 活 動	52小学校区	活動者数14,546人	52小学校区	活動者数13,181人
安全なまちづくり市民運動	実施回数 4回		実施回数 4回	

(3) 防犯カメラ設置費補助金 2,961,200円

設 置 補 助 台 数	令和2年度		令和3年度	
		46台	3,967,220円	25台

(4) 安全安心防犯灯補助金 9,869,269円

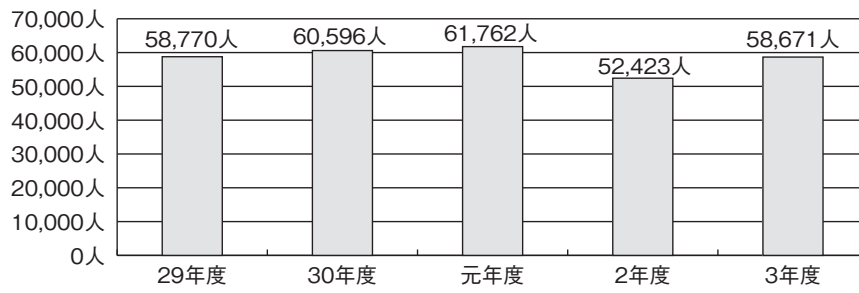
区 分	令和2年度		令和3年度	
設 置 補 助 灯 数	286灯	5,181,300円	280灯	4,723,800円
維 持 補 助 灯 数	4,555	4,845,934	4,599	5,145,469

(5) 路上喫煙防止対策事業費 7,154,969円

内 容	令和2年度		令和3年度	
		快適なまちづくり指導員による巡回禁止区域等啓発事業・路上喫煙実態調査		快適なまちづくり指導員による巡回禁止区域等啓発事業・路上喫煙実態調査
路上喫煙禁止区域内における歩行喫煙者率	0.21%		0.48%	

[指 標]

指 標 名：地域防犯活動に参加した市民の人数
指標説明：地域において防犯活動に関わった市民の人数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
12目 交通安全対策費 <交通安全対策の推進>	118,365,180	3,026,380	0	0	115,338,800

1 交通安全対策推進事業費 93,363,972 円 (安全生活課)

[総括]

令和7年度までの交通事故死者数等の目標値を定めた「第11次豊橋市交通安全計画」を策定し、各種交通安全対策を実施した。特に、「人優先」の交通安全思想の普及徹底のため、四季の交通安全運動を実施し、また、子供と高齢者の安全確保のため、交通安全教室を開催するとともに、運転免許証の自主返納を促す取組みを実施した。さらに、本市の交通事故の特徴である道路横断時の事故対策として、道路を無理に横断することの注意喚起の周知を行うことで、計画の目標を下回ることができた。

[実績及び成果]

(1) 交通安全啓発事業費 71,297,608 円

区 分	令和2年度	令和3年度
交通安全教室	182回 参加者数 12,378人	263回 参加者数 22,296人
交通安全市民運動	実施回数 4回	実施回数 4回

(2) 通学路標示板整備事業費 3,620,000 円

通学路標示板設置	令和2年度	令和3年度
	15か所	23か所

(3) 交通安全実施団体補助金 3,700,000 円

区 分	令和2年度	令和3年度
交通安全協会補助金	2,000,000円	2,000,000円
交通安全都市推進協議会補助金	1,500,000	1,500,000
幼児交通安全クラブ連絡協議会補助金	200,000	200,000

(4) 自転車ヘルメット購入補助金 5,582,100 円

区 分	令和2年度	令和3年度
ヘルメット購入補助件数	1,557件 3,000,350円	2,866件 5,582,100円

(5) 予防型交通安全対策事業費 826,000 円

区 分	令和2年度	令和3年度
市内で発生した人身事故件数	1,652件	1,478件

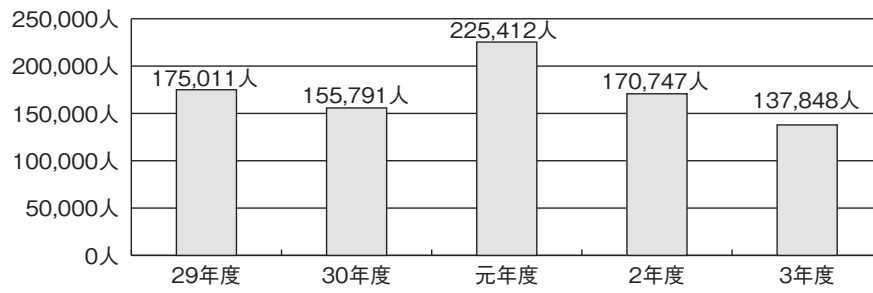
(6) 高齢者交通安全対策推進事業費 8,338,264 円

区 分	令和2年度	令和3年度
運転免許自主返納助成件数	1,028件	1,008件
安全運転支援装置設置者数	189人	40人

[指 標]

指 標 名：交通安全活動に関わった市民の人数

指標説明：交通安全教育・啓発活動などに参加又は関わった市民の人数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
13目 消費者保護費 <消費者保護の推進>	44,214,204	267,000	0	3,622,547	40,324,657

1 消費者行政事業費 14,057,171 円 (安全生活課)

[総括]

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から消費者展は未開催としたが、消費者団体と協働し、市ホームページで消費生活に関する啓発や賢い消費者育成のため愛知県消費者協会の講演会に参加した。

また、東三河広域連合の構成8市町村と共同実施し、消費生活相談窓口をつなぐシステムを活用したオンライン相談の実施により、感染リスクの低減と相談窓口の開設日を増やすなど相談体制の充実を図った。今後も各相談窓口の連携強化に努めるとともに、成年年齢引下げや刻々と変化する消費者問題を踏まえた啓発や、消費生活相談員の育成による体制の充実により、消費者被害の未然防止や救済に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 消費者行政推進事業費 82,043 円

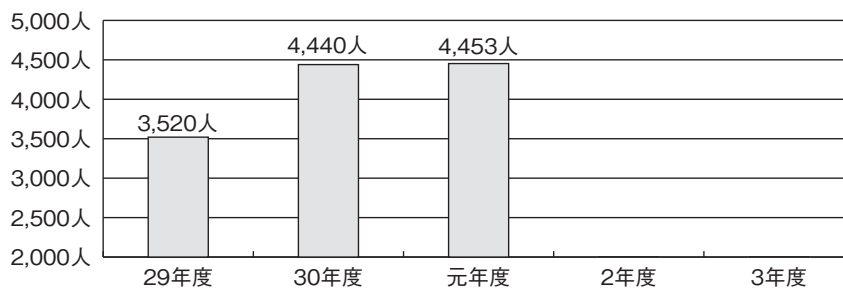
区 分	令和2年度	令和3年度
明るい暮らしの消費者展	—	—

(2) 東三河広域連合消費生活事業負担金 13,975,128 円

負 担 金	令和2年度	令和3年度
	16,969,662円	13,975,128円

[指 標]

指 標 名：明るい暮らしの消費者展参加人員
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3 款 民 生 費	61,807,895,365	34,230,292,833	162,100,000	1,861,790,975	25,553,711,557
1 項 社 会 福 祉 費	22,859,595,380	12,092,040,501	0	91,610,054	10,675,944,825
2 目 地 域 福 祉 活 動 推 進 費 <地域福祉活動の推進>	258,880,666	21,281,496	0	8,852,862	228,746,308

1 地域福祉推進事業費 34,795,686 円 (福祉政策課)

[総括]

福祉相談サポートセンターを設置し、複雑化・複合化した課題を抱える世帯を支援する相談機関が円滑に連携するための調整や、支援につながっていない人に対して伴走型支援を行うなど、課題の解決に向けた支援を行った。また、災害時に家族等の援助を受けることが困難であり、避難支援を必要とする人（避難行動要支援者）に対する日頃の見守りと災害発生時の支援に活用するための台帳の作成を行った。今後も地域福祉サービスの充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 地域共生社会推進事業費 20,195,648 円

複合的な課題への 対応ケース数	令和2年度	令和3年度	比較
		30件	31件

(2) 避難行動要支援者支援事業費 283,438 円

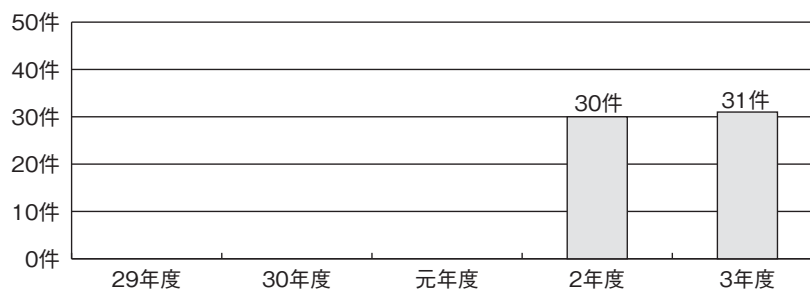
避難行動要支援者登録 台帳への新規登録者数	令和2年度	令和3年度	比較
		94件	182件

(3) 福祉施設災害対策事業費補助金 1,000,000 円

補助件数	令和2年度	令和3年度	比較
		—	2件

[指標]

指標名：複合的な課題への対応ケース数
指標説明：〃



2 福祉センター管理運営事業費 118,098,602 円（福祉政策課）

[総括]

総合福祉センターを始め4か所の福祉センターについて指定管理者による管理を行ったほか、つつじが丘地域福祉センターの管理運営に対し適切な助成を行った。今後も社会福祉活動の拠点として地域福祉の振興を図るため、利便性の向上や利用の促進に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 地域福祉センター管理運営事業費 64,244,908 円

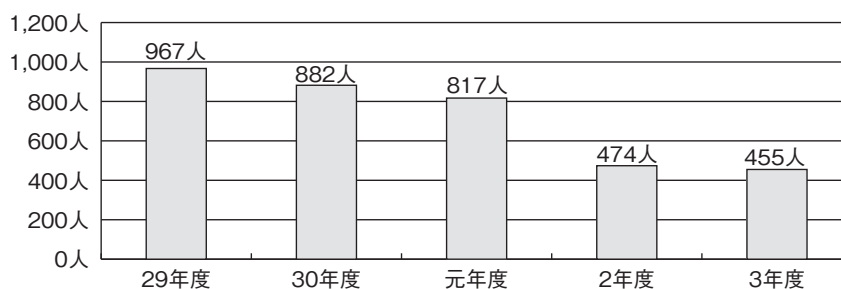
区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
八町地域福祉センター	延 16,334人	延 18,506人	13.3%
大清水地域福祉センター	延 25,327	延 16,580	△34.5
牟呂地域福祉センター	延 23,286	延 23,953	2.9
つつじが丘地域福祉センター	延 22,773	延 32,841	44.2
利 用 者 数 合 計	延 87,720	延 91,880	4.7

(2) 総合福祉センター管理運営事業費 53,853,694 円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
利 用 者 数	延 40,838人	延 48,186人	18.0%

[指 標]

指 標 名：福祉センター1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



3 ボラントピア事業費 18,079,388 円（福祉政策課）

[総括]

市民のボランティア活動への積極的な参加を促進するため、各種養成講座等を実施している豊橋市社会福祉協議会ボランティアセンターの運営に対し支援を行った。今後もボランティアによる「福祉のまちづくり」を推進する社会福祉協議会に対し支援を継続していく。

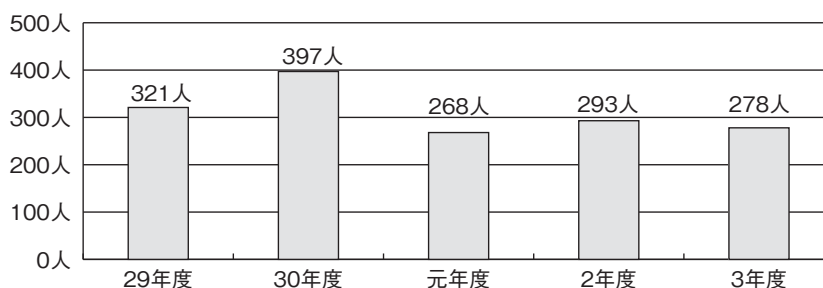
[実績及び成果]

(1) ボラントピア事業推進費補助金 18,079,388 円

ボランティア養成講座	令和2年度	令和3年度	比較
参加者数	延 293人	延 278人	△ 5.1%

[指標]

指標名：ボランティア養成講座参加者数(延人数)
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 暮らしを支える福祉推進費 <暮らしを支える福祉サービスの充実>	141,232,223	0	0	2,555,369	138,676,854

1 成年後見制度推進事業費 23,106,566 円 (福祉政策課)

[総括]

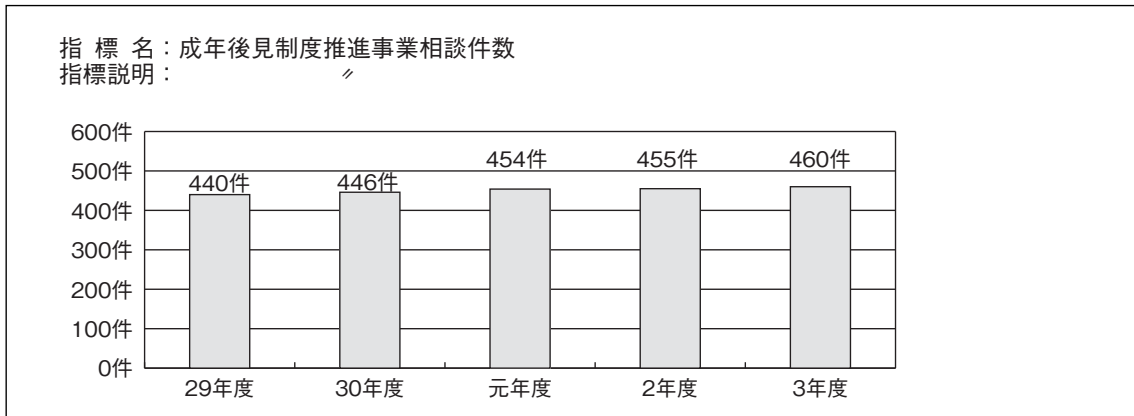
権利擁護の総合的な推進拠点となる成年後見支援センターにおいて、成年後見制度の普及啓発と相談等を実施した。今後も制度の利用を希望する人が適切に制度を利用できるよう体制整備を推進する。

[実績及び成果]

(1) 成年後見制度推進事業費 23,106,566 円

相 談 件 数	令和2年度	令和3年度	比 較
		455件	460件

[指 標]



2 更生保護活動支援事業費 5,101,048 円 (福祉政策課)

[総括]

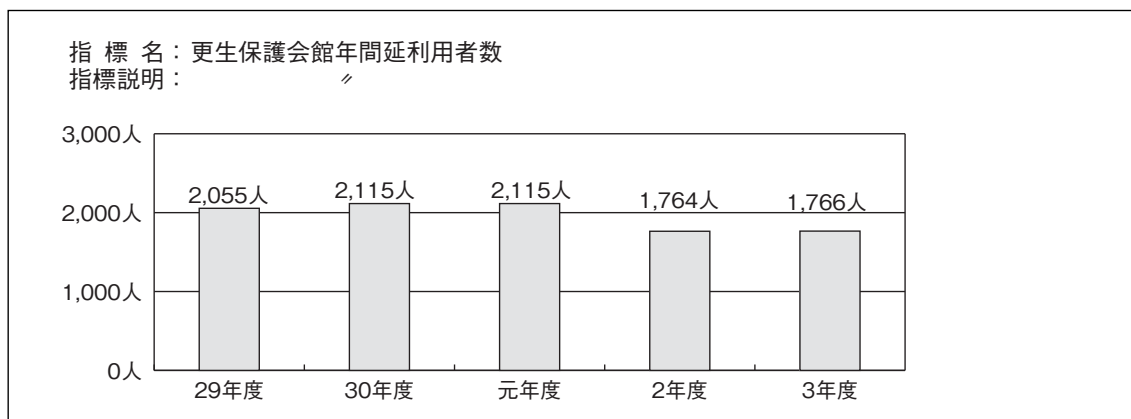
犯罪や非行をした人の立ち直り支援や犯罪・非行の予防啓発活動等を行う更生保護事業の拠点施設として、保護司会等の更生保護団体が利用する更生保護会館の管理運営を行った。また、更生保護活動及び犯罪予防活動を行う更生保護団体に対し、適切な補助金交付を行った。今後も更生保護団体と関係機関・団体及び地域住民との連携を強化し、更生保護活動の一層の充実強化を図る。

[実績及び成果]

(1) 更生保護活動支援事業費 5,101,048 円

更生保護会館利用者数	令和2年度	令和3年度	比 較
		延 1,764人	延 1,766人

[指 標]



3 社会福祉施設等指導監査事業費 25,584,205 円（福祉政策課）

[総 括]

質の高い社会福祉サービスを確保するため、社会福祉施設、障害福祉サービス事業者等の運営や福祉サービスの提供状況について、指導監査や実地指導を行った。また、東三河広域連合が実施する社会福祉法人に関する指導監査及び介護保険サービス事業者等に対する実地指導の事務に要した経費を負担した。今後も利用者が安心して福祉サービスを受けられるよう、適正な指導を行っていく。

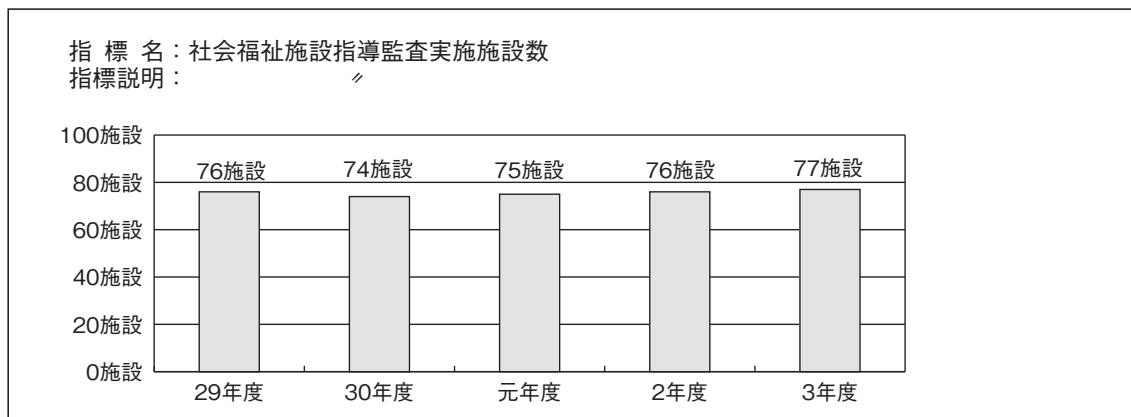
[実績及び成果]

(1) 社会福祉施設等指導監査事務費 101,046 円

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度
社会福祉施設指導監査実施施設数	76施設	77施設
障害福祉サービス事業者等実地指導件数	63件	163件

(2) 東三河広域連合監査指導事業負担金 25,483,159 円

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 障害者総合支援費 <障害者(児)の自立と社会参加の促進>	10,664,367,840	7,230,506,067	0	26,458,004	3,407,403,769

1 障害福祉サービス等給付事業費 7,638,128,631 円 (障害福祉課)

[総括]

障害者総合支援法に基づく介護給付、訓練等給付などの障害福祉サービス等の給付事業を実施し、障害者福祉の向上を図った。日中サービス支援型共同生活援助事業所（グループホーム）の増加に伴い、行動援護利用者の一部がグループホームに入居したため、行動援護の利用者数は減少した。今後も、障害者の自立、社会参加に向けた支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 介護給付事業費 4,111,058,627 円

区 分	令和2年度	令和3年度
居 宅 介 護	延 155,712時間	延 157,871時間
重 度 訪 問 介 護	延 18,720	延 29,868
同 行 援 護	延 10,203	延 11,477
行 動 援 護	延 5,516	延 2,222
生 活 介 護	延 228,149日	延 210,082日
療 養 介 護	延 10,068	延 10,480
短 期 入 所	延 7,852	延 7,236
施 設 入 所 支 援	24施設 延 86,759	23施設 延 85,251

(2) 訓練等給付事業費 2,817,812,055 円

区 分	令和2年度	令和3年度
就 労 移 行 支 援	19事業所 延 1,237人	20事業所 延 1,310人
就 労 継 続 支 援 (A 型)	15 延 1,919	17 延 2,013
就 労 継 続 支 援 (B 型)	70 延 9,659	82 延10,372
就 労 定 着 支 援	4 延 250	4 延 341
共 同 生 活 援 助	186ホーム 延 4,459	188ホーム 延 5,178
自 立 訓 練	7事業所 延 155	4事業所 延 130
自 立 生 活 援 助	1 延 3	1 延 6

(3) 自立支援医療給付事業費 274,624,385 円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
腎 臓 病 人 工 透 析 等	延 3,782件	延 3,487件	△ 7.8%
そ の 他	延 524	延 596	13.7

(4) 補装具給付事業費 70,211,423 円

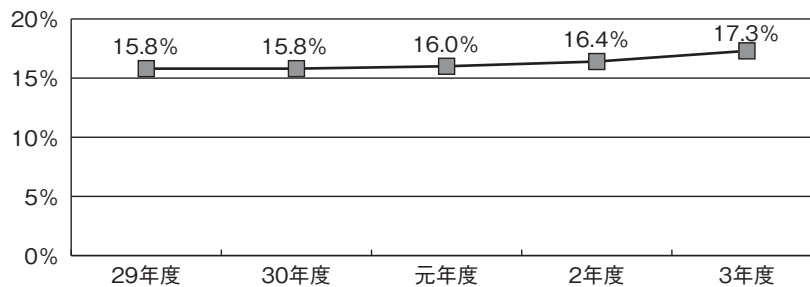
区 分	令和 2 年度		令和 3 年度	
	交 付	修 理	交 付	修 理
義 肢	12件	24件	23件	19件
装 具	94	20	110	21
車 椅 子	63	141	46	142
補 聴 器	94	41	85	49
視覚障害者安全つえ	14	0	19	0
歩 行 補 助 つ え	12	0	9	0
そ の 他	40	19	40	13
計	329	245	332	244

(5) 東三河広域連合障害福祉事業負担金 4,117,183 円

障害支援区分審査件数 (8市町村)	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
	1,586件	2,177件	37.3%

[指 標]

指 標 名：障害福祉サービス利用率
 指標説明：介護給付事業・訓練等給付事業決定者数／身体・知的・精神手帳所持者数



2 障害児支援等給付事業費 1,788,923,068 円 (障害福祉課)

[総 括]

児童福祉法に基づく障害児通所支援給付事業などを実施することで、障害児支援の充実を図った。児童発達支援及び放課後等デイサービスの事業所数の増加とともに、利用者も大きく増加した。また、障害児相談支援給付事業を実施し、障害児の相談支援体制の充実を図った。今後も障害児の支援に努めていく。

[実績及び成果]

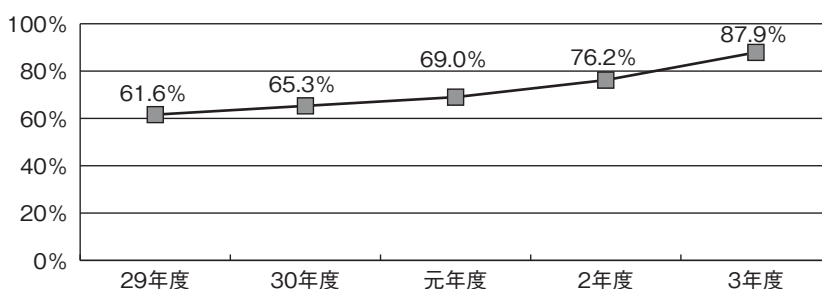
(1) 障害児通所支援給付事業費 1,715,860,051 円

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度
児 童 発 達 支 援	延 29,914日	延 34,183日
放 課 後 等 デ イ サ ー ビ ス	延108,105	延123,334
保 育 所 等 訪 問 支 援	延 114	延 307
居 宅 訪 問 型 児 童 発 達 支 援	延 34	延 9

[指標]

指標名：障害児通所支援利用率

指標説明：障害児通所支援給付事業決定者数／18歳未満の身体・知的・精神手帳所持者数



3 障害者地域生活支援事業費 398,535,156 円 (障害福祉課)

[総括]

障害者が自立した日常生活・社会生活を送るため、障害者総合支援法に基づく相談支援、移動支援などの地域生活支援事業を実施し、障害者福祉の向上を図った。未だ新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、手話通訳者の活動回数、移動支援事業の利用時間が増加した。今後も障害者が地域において自立した生活を送れるよう必要な支援を進める。

[実績及び成果]

(1) 相談支援事業費 105,581,390 円

区分	令和2年度	令和3年度
地域自立支援協議会費	開催数 64回	開催数 90回
相談支援事業委託	8施設 延 25,196件	8施設 延 25,682件
安心生活支援事業費	2 延 3	2 延 2

(2) 意思疎通支援事業費 11,772,950 円

(ア) 手話通訳者活動費 11,109,375 円

活動回数	令和2年度	令和3年度	比較
	839回	883回	5.2%

(イ) 要約筆記者活動費 345,751 円

活動回数	令和2年度	令和3年度	比較
	68回	60回	△11.8%

(ウ) 点字プリンター維持管理費 6,264 円

利用件数	令和2年度	令和3年度	比較
	5件	11件	2.2倍

(エ) コミュニケーション支援機器設置費 311,560 円

利用件数	令和2年度	令和3年度	比較
	22件	20件	△ 9.1%

(3) 日常生活用具給付事業費 105,959,496 円

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
介護・訓練支援用具	36件	37件	2.8%
自立生活支援用具	48	50	4.2
在宅療養等支援用具	72	58	△19.4
情報・意思疎通支援用具	39	36	△ 7.7
排泄管理支援用具	9,829	9,845	0.2
居宅生活動作補助用具	17	10	△41.2
計	10,041	10,036	0.0

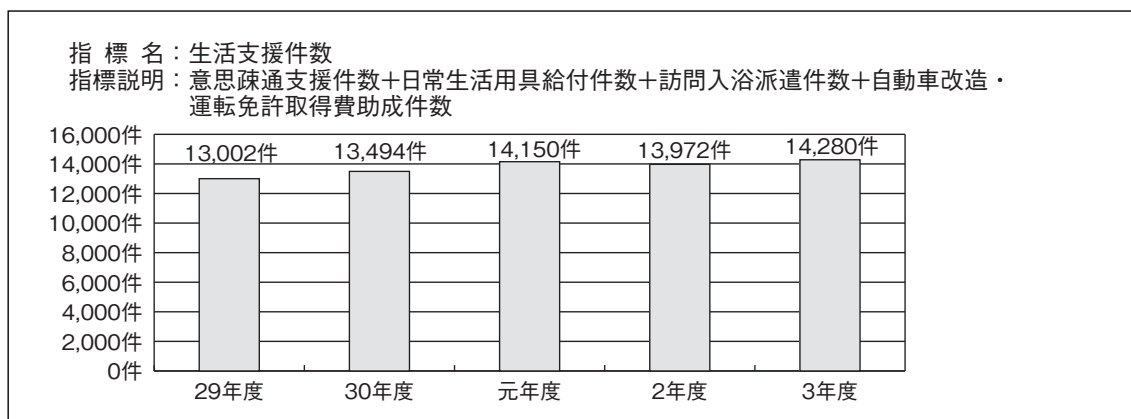
(4) 移動支援事業費 54,627,143 円

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
	41事業所 延 16,990時間	41事業所 延 18,355時間

(5) 障害者理解啓発事業費 273,515 円

パンフレット等 配布枚数	令和 2 年度	令和 3 年度
	4,000枚	2,300枚

[指 標]



4 医療的ケア児等支援事業費 1,296,800 円（障害福祉課）

[総 括]

医療的ケアを必要とする障害児が通う保育園、幼稚園、認定こども園又は児童発達支援事業所に、訪問看護ステーション等の看護師を派遣することにより、医療的ケアを実施し、保護者の負担の軽減を図った。

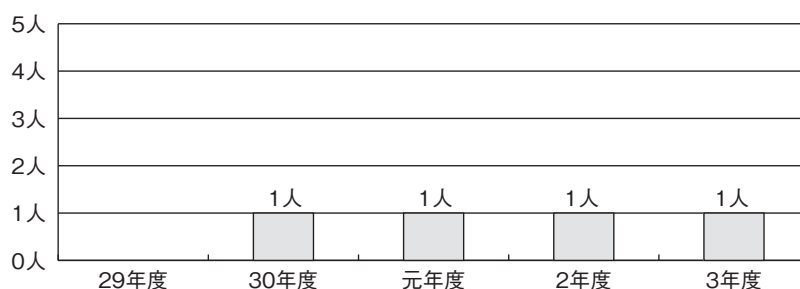
[実績及び成果]

(1) 障害児看護支援事業費 1,296,800 円

利 用 者	令和 2 年度	令和 3 年度
	幼稚園 1 人	幼稚園 1 人

[指標]

指標名：障害児看護支援事業利用者数
 指標説明：〃



5 障害者福祉会館管理運営事業費 46,935,900 円（障害福祉課）

[総括]

指定管理者により、各種教室や親子防災教室をはじめとする特色ある事業を展開するなど、施設の適正な管理運営に努めた。令和3年度の利用者数は、緊急事態宣言中の講座を日程変更して実施したことや障害者団体の土・日曜日利用がコロナ禍前の水準に戻ったこと等により微増したが、会議の自粛や一部行事の中止等により例年の半分程度にとどまっている。今後も利用者のニーズに応じたイベントや講座の実施に努めるとともに、利用者が安全・快適に過ごせるよう施設の維持・保全を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 障害者福祉会館管理運営事業費 46,935,900 円

[施設利用者]

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数	260日	293日	12.7%
利 用 者 数	延 23,745人	延 26,688人	12.4

[活動内容]

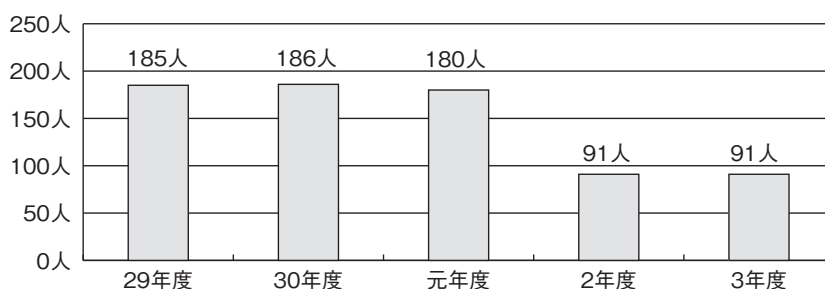
区 分	令和2年度	令和3年度
障害児余暇支援事業	参加人員 延 24人	参加人員 延 6人
スポーツ・文化教室	ポッチャ等12教室参加人員 延 476	ポッチャ等13教室参加人員 延 539
パソコン教室事業	参加人員 延 998	参加人員 延 971
避難所体験事業	参加人員 延 499	参加人員 延 37

[施設整備]

内 容	令和2年度	令和3年度
	・スチールドア取替修繕 ・直流電源盤蓄電池取替修繕	・防火扉改修工事 ・電源切替開閉器取替修繕

[指 標]

指 標 名：障害者福祉会館1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



6 障害者(児)施設整備助成事業費 74,400,000 円 (障害福祉課)

[総 括]

障害者(児)の地域生活を支援するため、共同生活援助事業所等の整備に係る経費の一部を助成した。今後も市内のニーズを把握しながら、適切な助成を行う。

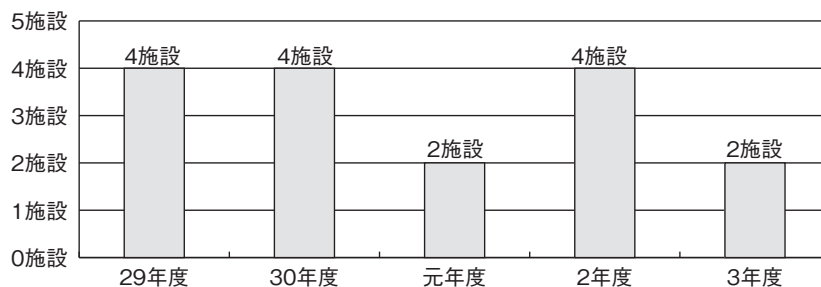
[実績及び成果]

(1) 共同生活援助等施設整備事業費補助金 74,400,000 円

施設区分	実施内容	令和2年度	令和3年度
共同生活援助 ・短期入所	創設	明日香 西 幸	グループホームほのかA棟 グループホームほのかB棟
	増築	ケアホームふたば	—
生活介護	創設	第2しろがね	—
	大規模修繕	豊橋にしぐち学園	—

[指 標]

指 標 名：障害者(児)施設整備数
 指標説明：国庫補助を活用し整備した障害者(児)施設数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 障害者医療費 <円滑な医療費の助成>	1,116,734,605	410,535,000	0	0	706,199,605

1 障害者医療費助成事業費 713,322,358 円 (障害福祉課)

[総括]

障害者の医療費について、保険診療費の自己負担額を助成することにより、障害者やその家族の経済的な負担を軽減し生活の安定を図った。

[実績及び成果]

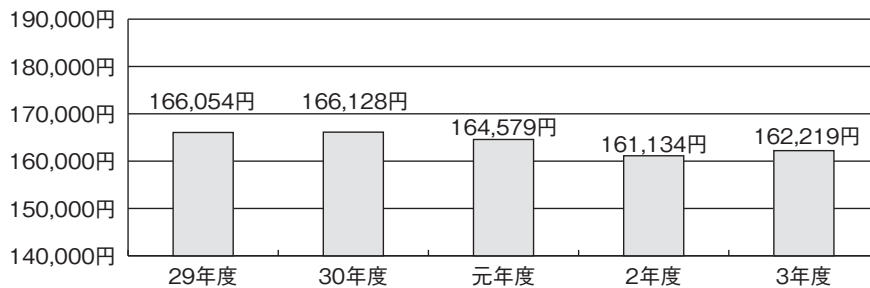
(1) 障害者医療費助成事業費 713,322,358 円

(ア) 医療助成費 709,547,986 円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
受 給 者 数	延 51,910人	延 52,489人	1.1%
受 診 件 数	延 107,401件	延 112,291件	4.6
受 診 率	206.9%	213.9%	7.0ポイント

[指標]

指標名：障害者医療費1人当たりの助成費
 指標説明：障害者医療助成費／受給者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 老人福祉費	6,027,545,677	413,310,490	0	1,022,497,849	4,591,737,338
2目 高齢者活動促進費 <高齢者の活躍の機会 拡大と介護予防の推進>	150,346,452	10,278,490	0	296,630	139,771,332

1 老人福祉センター等施設管理運営事業費 99,260,985 円 (長寿介護課)

[総括]

指定管理者により、老人福祉センターをはじめとする10か所の老人福祉施設の適切な管理運営を行った。今後も引き続き適切な管理運営に努めるとともに、各施設の老朽化が進んでいるため、計画的な修繕を行っていく。

[実績及び成果]

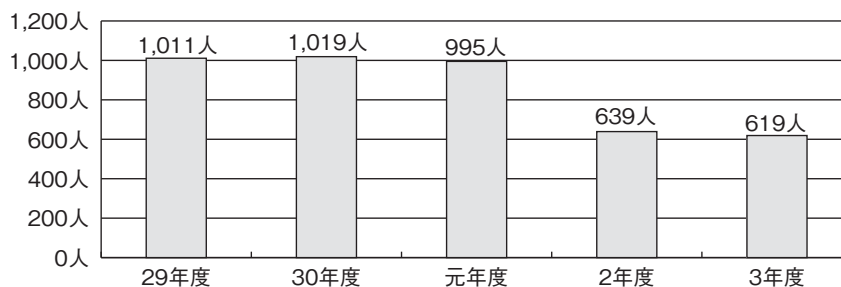
(1) 老人福祉センター等施設管理運営事業費 99,260,985 円

[利用状況]

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
	延利用者数	延利用者数	
仁連木老人福祉センター	30,644人	31,615人	3.2%
下地	19,882	30,129	51.5
高師	33,931	33,036	△ 2.6
石巻	25,083	23,660	△ 5.7
大岩	24,424	27,950	14.4
小 計	133,964	146,390	9.3
牟呂高齢者活動センター	14,716	13,365	△ 9.2
石巻	2,950	3,911	32.6
小 計	17,666	17,276	△ 2.2
西川老人憩の家	4,437	5,187	16.9
東細谷	7,099	8,191	15.4
城下	4,141	4,928	19.0
小 計	15,677	18,306	16.8
合 計	167,307	181,972	8.8

[指 標]

指 標 名：老人福祉センター等1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



2 生涯現役促進事業費

4,880,490 円（長寿介護課）

[総括]

高齢者の社会参加を促すため、生涯現役で活躍するためのセミナーの開催や就労・地域活動について相談できる窓口を運営した。今後も社会参加に向けた選択肢を幅広く示すことで、意欲の増進や生涯現役で活躍できる環境づくりを進めていく。

[実績及び成果]

(1) 生涯現役促進事業費

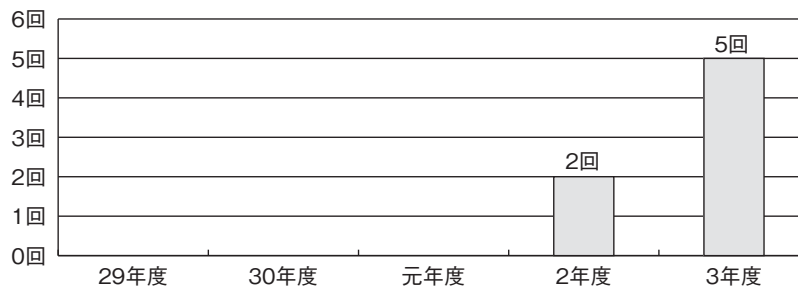
4,880,490 円

区分	令和2年度	令和3年度
セミナー	実施回数 2回	実施回数 5回

[指標]

指標名：セミナー実施回数

指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 高齢者生活支援費 <高齢者の生活支援サービスの充実>	1,095,345,749	335,226,000	0	24,024,877	736,094,872

1 養護老人ホーム管理運営事業費 126,704,738 円 (総合老人ホーム)

[総括]

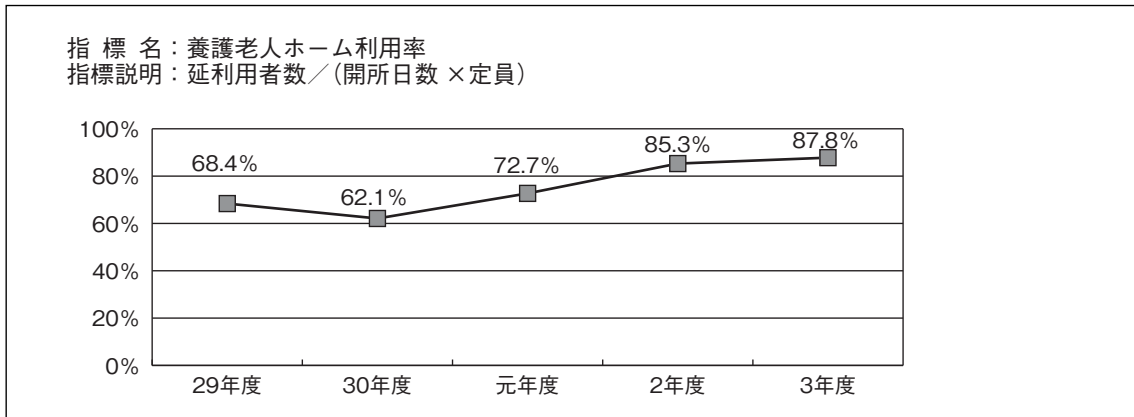
環境上の理由及び経済的理由により、居宅において生活することが困難な65歳以上の方が、安心して健康的な生活を送れるように養護した。令和3年度は感染症対策用陰圧ブースを購入するなど、入所者の安全や住環境の向上を図った。今後もセーフティネット機能を担う市内唯一の施設として、高齢者の養護の充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 67,846,513 円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
年 間 延 利 用 者 数	18,681人	19,236人	3.0%
1日当たりの利用者数	51.2	52.7	2.9

[指 標]



2 高齢者福祉サービス事業費 60,946,615 円 (長寿介護課)

[総括]

高齢者が地域で安心して暮らせるようにするため、電車、タクシー等の利用料金を助成する高齢者移動支援事業等、各種サービスを実施した。今後も、高齢者のニーズや社会情勢を考慮しながら高齢者の生活支援を継続していく。

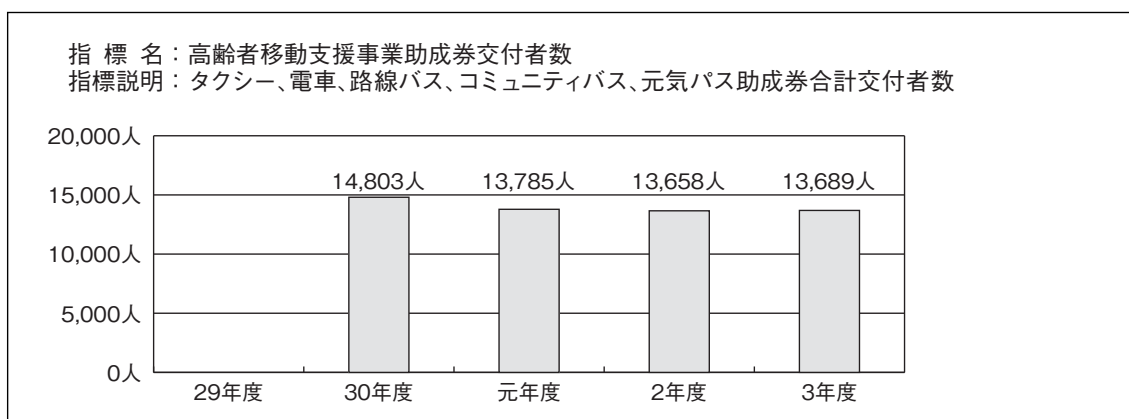
[実績及び成果]

(1) 高齢者福祉サービス事業費 60,946,615 円

(ア) 高齢者移動支援事業費 48,182,254 円

区 分	令和2年度	令和3年度
交 付 者 数	13,658人	13,689人

[指 標]



3 後期高齢者福祉医療費助成事業費 732,896,815 円（国保年金課）

[総 括]

後期高齢者医療制度に加入している障害者など後期高齢者福祉医療費助成対象者の療養に係る医療費の自己負担分を助成した。今後も福祉医療費の適正な助成に努めていく。

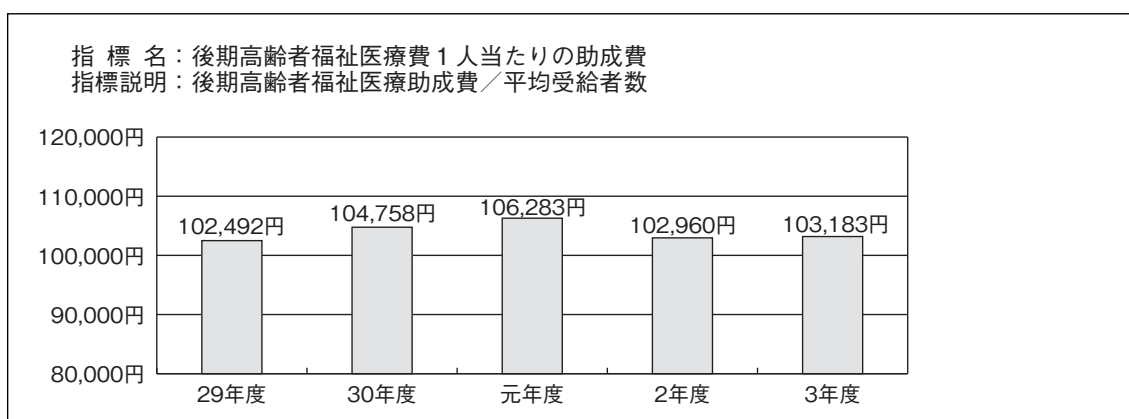
[実績及び成果]

(1) 後期高齢者福祉医療費助成事業費 732,896,815 円

(ア) 医療助成費 725,752,934 円

区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
受 給 者 数		延 84,555人	延 84,404人	△ 0.2%
支 給 件 数	入 院	延 13,333件	延 13,231件	△ 0.8
	外 来	延 198,816	延 201,410	1.3
	計	延 212,149	延 214,641	1.2
受 診 率		250.9%	254.3%	3.4ポイント

[指 標]



4 訪問お薬相談事業費 202,000 円（長寿介護課）

[総括]

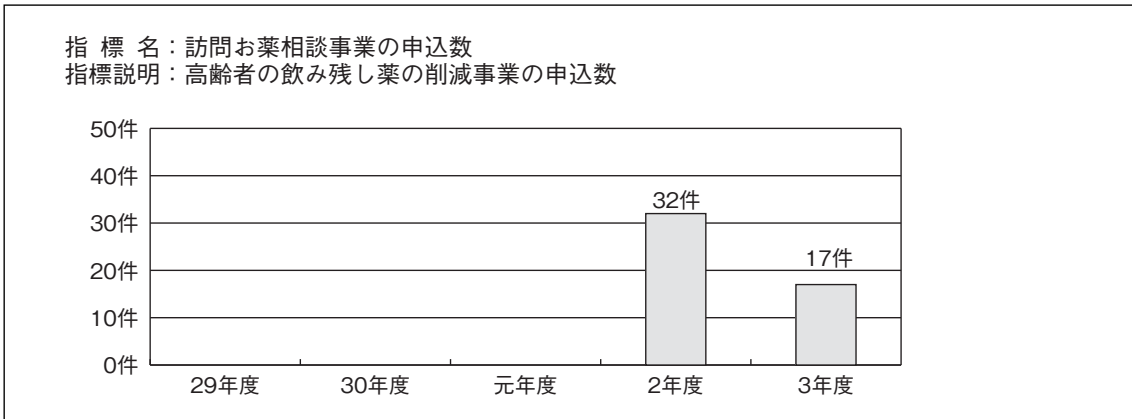
服薬管理ができていない自宅で生活する高齢者に対して薬剤師による適切な服薬指導を行うことにより、薬剤の適正な使用と飲み残しの削減を促進し、高齢者の心身の状況の悪化を防止するとともに医療費の抑制を図る。

[実績及び成果]

(1) 訪問お薬相談事業費 202,000 円

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度
申 込 数	32件	17件

[指 標]



5 AI を活用した自立支援促進事業費 444,950 円（長寿介護課）

[総括]

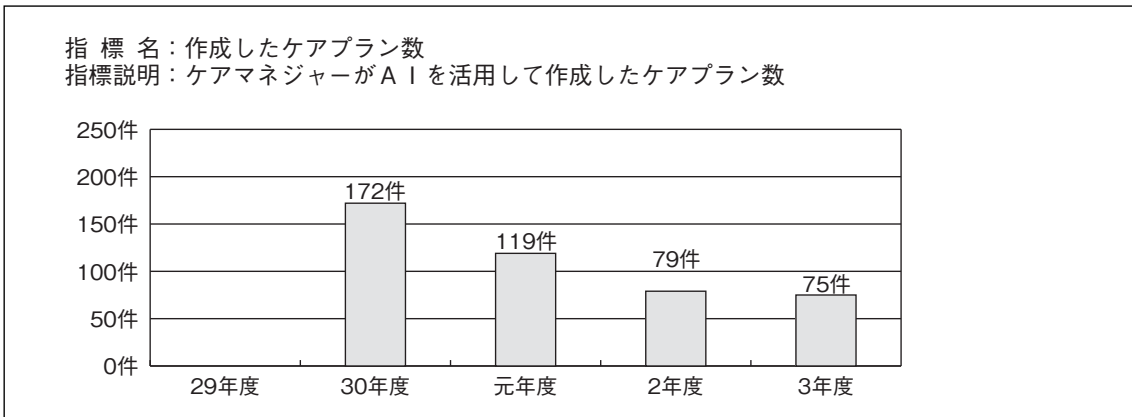
要支援・要介護者の自立支援及び重度化の防止、介護保険給付費の適正化を図るとともに、人材不足が深刻な介護業界においてケアマネジャーの業務負担を軽減するため、要支援・要介護者に最適なケアプランを提案するAIの活用促進に努めた。

[実績及び成果]

(1) AI を活用した自立支援促進事業費 444,950 円

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度
AIを活用したケアマネジャー数	29人	30人
作成したケアプラン数	79件	75件

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 介護保険サービス費 <介護保険サービスの充実と介護保険制度の円滑な運営>	396,803,146	67,806,000	0	201,831,900	127,165,246

1 デイサービスセンター管理運営事業費 46,377,833円 (総合老人ホーム)

[総括]

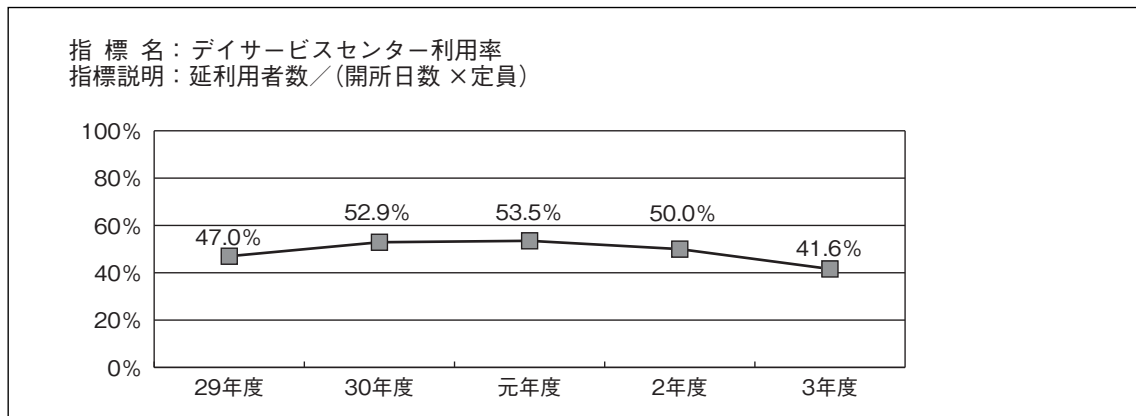
介護保険で要介護又は要支援と認定され、居宅において介護を受けている方をリフトバスで送迎し、入浴の介助及び食事の提供等を行い、日常生活の自立支援を行った。令和3年度はパーティション型空気清浄機を購入し、利用者への安全やサービスを充実させた。今後もサービスの向上を図り、利用者の確保に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 29,410,183円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
年間延利用者数	2,314人	1,923人	△16.9%
1日当たりの利用者数	9.0	7.5	△16.7

[指標]



2 特別養護老人ホーム管理運営事業費 282,570,313円 (総合老人ホーム)

[総括]

65歳以上で、身体上又は精神上常時の介護を必要とし、居宅において介護を受けることが困難な方に、入浴・食事等の日常生活の介護サービスを提供し、自立した生活ができるよう支援するとともに、家族の介護負担の軽減を図った。令和3年度は増築棟の屋上及び外壁の予防保全工事を実施するとともに、感染症対策用陰圧ブースを購入し、入所者の安全や住環境の向上を図った。今後も介護サービスの向上と迅速な対応に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 104,363,665円

(ア) 特別養護老人ホーム

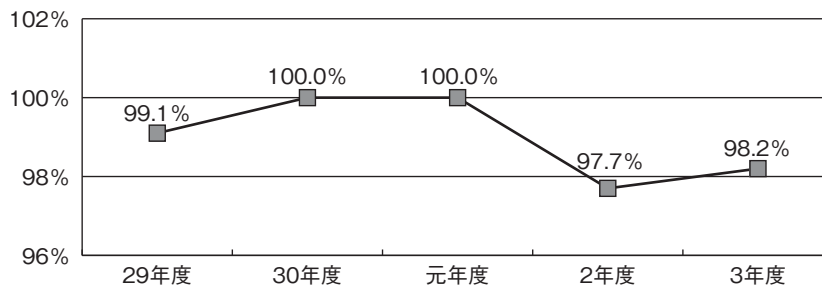
区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
年間延契約者数	17,826人	17,924人	0.5%
1日当たりの契約者数	48.8	49.1	0.6

(イ) ショートステイ

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
年間延利用者数	1,233人	1,019人	△17.4%
1日当たりの利用者数	3.4	2.8	△17.6

[指 標]

指 標 名：特別養護老人ホーム契約率
指標説明：延契約者数 / (開所日数 × 定員)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 介護保険事業費 〈介護保険サービスの充実と介護保険制度の円滑な運営〉	3,827,645,129	0	0	486,590,841	3,341,054,288

1 認定調査事務費 97,816,594 円 (長寿介護課)

[総括]

平成30年度から東三河広域連合による介護保険事業の運営が開始され、本市では構成市町村として窓口事務及び要介護等認定のための調査を実施している。認定調査は全国一律の判断基準があり、的確に実施することが求められているため、認定調査員に対し、愛知県や広域連合が主催する研修内容の周知及び定期的な勉強会により認定調査の判断の平準化に努めている。

[実績及び成果]

(1) 認定調査事務費 97,816,594 円

[被保険者数]

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
第1号被保険者	65歳以上75歳未満	48,451人	47,636人	△ 1.7%
	75歳以上	48,039	49,384	2.8
第2号被保険者		医療保険加入者	医療保険加入者	—

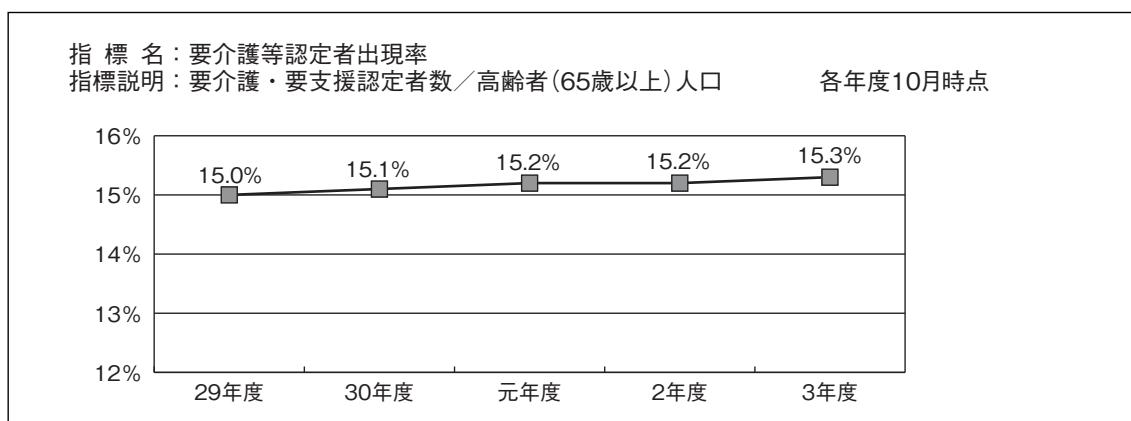
[要介護等認定申請受付件数]

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
新規申請		3,730件	3,824件	2.5%
更新申請		3,760	5,725	52.3
変更申請		2,227	2,087	△ 6.3
合 計		9,717	11,636	19.7

[要介護等認定状況]

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
要介護等認定調査件数		8,749件	9,842件	12.5%
要介護等認定審査件数		7,777	9,058	16.5
要介護等認定状況	要支援1	2,567人	2,664人	3.8
	要支援2	2,409	2,477	2.8
	要介護1	3,129	3,148	0.6
	要介護2	2,158	2,069	△ 4.1
	要介護3	1,698	1,644	△ 3.2
	要介護4	1,645	1,718	4.4
	要介護5	1,092	1,002	△ 8.2
	合 計	14,698	14,722	0.2

[指 標]



2 介護予防・生活支援サービス事業費 3,721,400 円（長寿介護課）

[総 括]

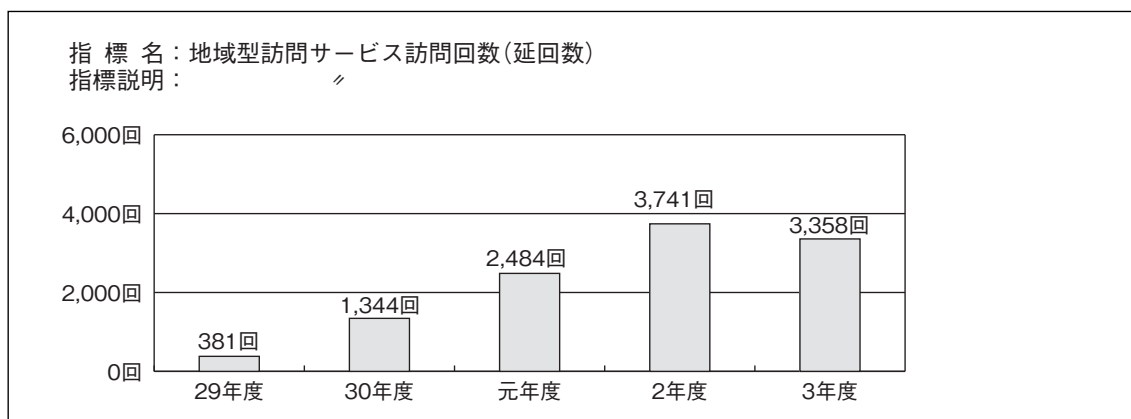
高齢者の方ができるだけ介護を必要とせずに、地域において自立した生活を送れるように、シルバー人材センターやボランティア等の住民主体による介護予防や生活支援サービスを提供した。また、多様な担い手の社会参加を通じて、地域の支え合い体制づくりを推進した。

[実績及び成果]

(1) 地域型訪問サービス事業費 3,525,900 円

区 分	令和2年度	令和3年度
訪 問 人 数	延 690人	延 682人
訪 問 回 数	延 3,741回	延 3,358回

[指 標]



3 一般介護予防事業費

7,807,123 円（長寿介護課）

[総括]

高齢者に対して、介護予防教室を開催することで、介護予防に関する知識の普及を図るとともに、教室終了後は地域における自主的な活動が継続的に進められるよう支援した。また、高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、シニアスポーツの振興を図るとともに、趣味活動等の支援を行った。今後も高齢者が健康で生きがいを持った生活を送ることができるよう、高齢者のニーズに合った事業を実施し、社会参加の促進を図る。

[実績及び成果]

- (1) 介護予防普及啓発事業費 3,684,080 円

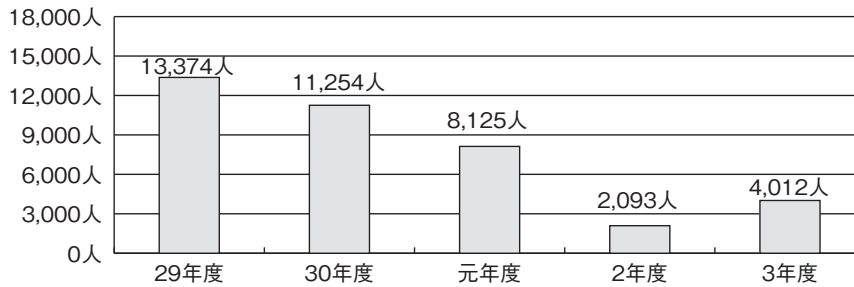
区 分	令和2年度		令和3年度	
介護予防教室等	実施回数	222回	実施回数	271回
	参加者数	2,093人	参加者数	4,012人

- (2) 地域介護予防活動支援事業費 4,123,043 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
シルバースポーツブロック大会	参加者数	486人	参加者数	600人

[指標]

指標名：介護予防教室等参加者数(延人数)
 指標説明：〃



4 包括的支援事業費

346,199,322 円（長寿介護課）

[総括]

高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターにおいて、地域団体や関係機関と連携して、介護・福祉に関する総合相談、権利擁護、介護予防の推進など、高齢者の支援を行った。また、医療と介護の連携を図る在宅医療・介護連携推進事業、地域の互助の体制づくりを推進する生活支援体制整備事業、認知症の方を総合的に支援する認知症総合支援事業、個人や地域の課題を抽出し解決に向けて検討する地域ケア会議推進事業を引き続き実施した。今後も地域包括ケアシステムの深化・推進を図り、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくための総合的な支援を行う。

[実績及び成果]

(1) 地域包括支援センター運営事業費 315,216,099 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
地域包括支援センター 運 営 事 業 費	委託先 相談受付件数	18施設 17,906件	委託先 相談受付件数	18施設 17,590件

(2) 在宅医療・介護連携推進事業費 11,863,364 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
東三河ほいっぷ ネットワーク登録者	登録者数	805人	登録者数	891人

(3) 生活支援体制整備事業費 999,917 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
お互いさまの まちづくり協議会	実施回数	3回	実施回数	2回

(4) 認知症総合支援事業費 17,329,942 円

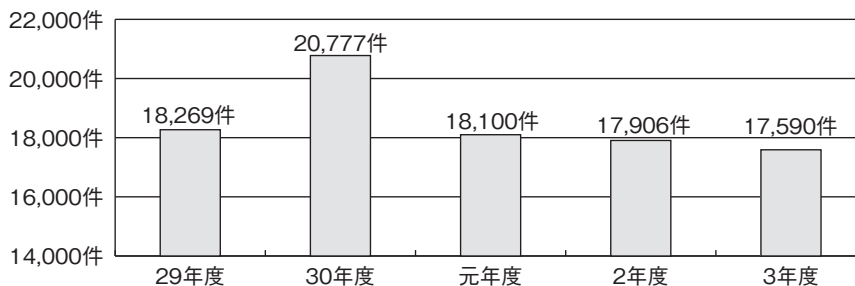
区 分	令和2年度		令和3年度	
認知症地域 支援推進員	相談件数	891件	相談件数	949件

(5) 地域ケア会議推進事業費 790,000 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
地 域 ケ ア 会 議	開催数	88回	開催数	91回

[指 標]

指 標 名：地域包括支援センター相談受付件数
 指標説明：地域包括支援センターが訪問、来所、電話により相談を受けた件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 児 童 福 祉 費	28,933,140,810	18,963,943,743	162,100,000	691,928,573	9,115,168,494
2目 切れ目のない子育て支援費 <安心して結婚や子育てができる環境づくり>	7,751,514,385	5,697,734,891	0	140,561	2,053,638,933

1 切れ目のない子育て支援事業費 2,164,821 円 (子育て支援課)

[総括]

妊娠から出産、育児期までを切れ目なく支援するため、夜間や休日などの児童の一時預かりのほか、子育て支援情報ポータルサイト「育なび」を活用し、情報を発信した。また、子育てを社会全体で応援する「子育て応援宣言」に基づいた取組みの推進をはじめ、子育て支援の取組みを積極的に進める「子育て応援企業」の認定や、少子化対策のため結婚を希望する男女を対象としたセミナーや相談会などを開催した。今後も、第2期子ども・子育て応援プランに基づき、結婚から妊娠・出産・育児期における多様な課題に対応するためライフステージに応じたきめ細かい支援に取り組んでいくとともに、インスタグラム等のSNSを用いた情報発信に取り組んでいく。

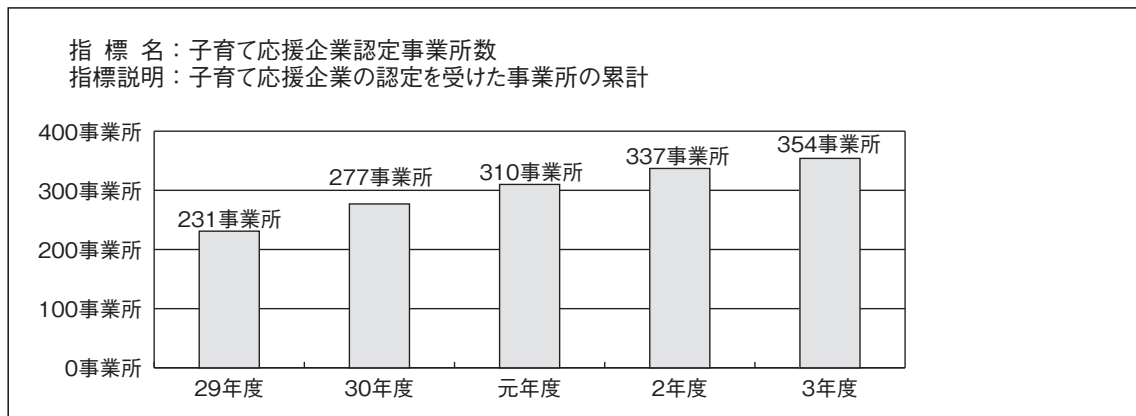
[実績及び成果]

(1) 切れ目のない子育て支援事業費 2,164,821 円

区 分	令和2年度	令和3年度
児 童 福 祉 週 間 行 事	8施設 319人	2施設・団体 9人
子育て支援ショートステイ事業委託	4 延 64	6施設 延 14
子育て支援トワイライトステイ事業委託	3 延 22	5 延 107
子 育 て 情 報 紙 発 行 事 業	ハンドブック 0～3歳 6,000部 4歳～ 6,000	ハンドブック 0～3歳 6,000部 4歳～ 6,000
子育て支援プラットフォーム事業	子育て支援情報ポータルサイト 及び母子健康手帳アプリの運営	子育て支援情報ポータルサイト 及び母子健康手帳アプリの運営
子育て応援企業認定・表彰事業	認定企業数 170社(337事業所)	認定企業数 179社(354事業所)
結 婚 支 援 事 業	結婚・ライフデザインセミナー開催回数 3回 結婚相談会開催回数 6 婚活サポーター登録者数 49人 親向け、大学生向けセミナーの開催 3回	結婚・ライフデザインセミナー開催回数 3回 結婚相談会開催回数 6 婚活サポーター登録者数 46人 親向け、大学生向けセミナーの開催 3回

※令和3年度の児童福祉週間行事は荒天により8施設が参加見合わせ

[指 標]



2 児童手当給付事業費 6,054,119,824 円（子育て支援課）

[総括]

中学校修了前までの児童を養育している家庭等の生活の安定に寄与し、次代の社会を担う児童の健やかな育ちの支援を目的として児童手当を支給した。今後も分かりやすい受給者への通知や広報等により制度の周知に努め、手当の適正な支給を行っていく。

[実績及び成果]

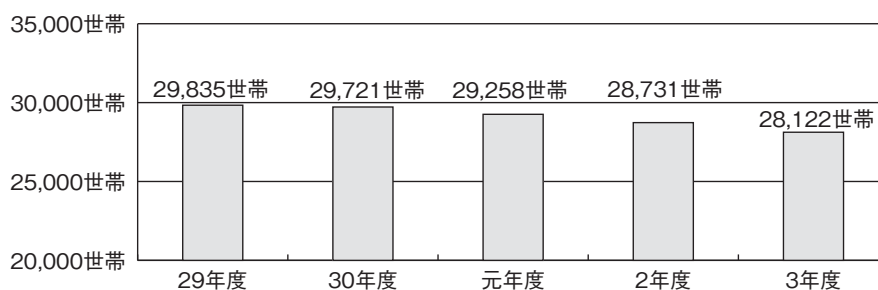
(1) 児童手当給付事業費 6,054,119,824 円

(ア) 手当費 6,028,400,000 円

区 分	令和2年度			令和3年度		
	月 額	対象児童数	支 給 額	月 額	対象児童数	支 給 額
小学生以下	10,000円又は15,000円	35,625人 (延420,087)	4,873,370,000円	10,000円又は15,000円	34,796人 (延408,978)	4,737,435,000円
中 学 生	10,000円	8,854 (延106,454)	1,064,540,000	10,000円	8,938 (延106,850)	1,068,500,000
特 例 給 付	5,000円	4,024 (延 47,241)	236,205,000	5,000円	3,648 (延 44,493)	222,465,000
計	—	48,503 (延573,782)	6,174,115,000	—	47,382 (延560,321)	6,028,400,000

[指 標]

指 標 名：児童手当受給世帯数
 指標説明： //



3 子ども医療費助成事業費 1,461,145,693 円（国保年金課・子育て支援課）

[総括]

安心して子育てができる環境づくりの一環として、中学校修了前までの子どもの医療費及び18歳到達年度末までの子どもの入院費の保険診療分について、自己負担額を全額助成することにより保護者の経済的な負担を軽減した。今後も、更なる制度の周知に努めるとともに、適正な医療費の助成を行い、子育て環境の一層の充実に努める。

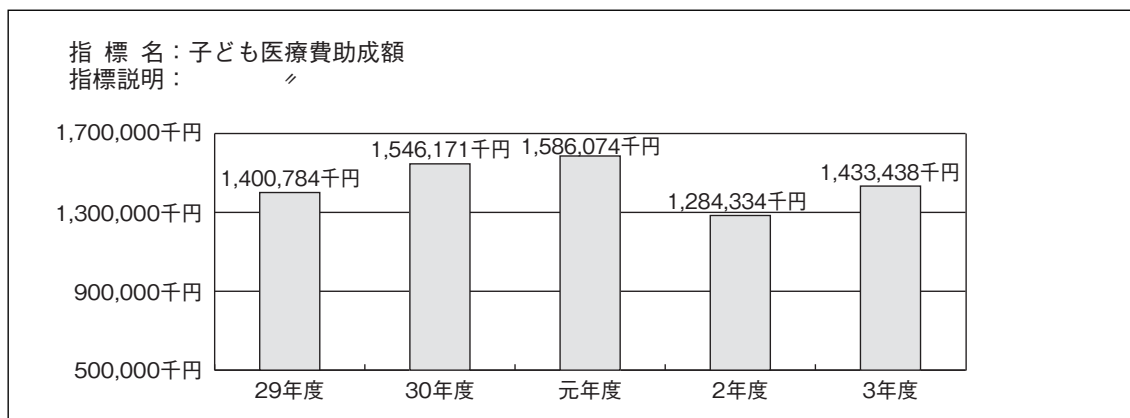
[実績及び成果]

(1) 子ども医療費助成事業費 1,461,145,693 円

(ア) 医療助成費 1,433,437,812 円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
対 象 児 童 数	延 644,691人	延 688,668人	6.8%
受 診 件 数	延 589,089件	延 645,122件	9.5
受 診 率	91.4%	93.7%	2.3ポイント

[指 標]



※平成29年12月より中学生通院が半額償還払いから全額現物給付に変更

※令和2年10月より18歳到達年度末までの子どもの入院医療費助成開始

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 児童相談支援費 <子どもの権利を守る方策の推進>	29,690,603	7,837,000	0	342,150	21,511,453

1 児童相談支援事業費 29,690,603円 (こども若者総合相談支援センター)

[総括]

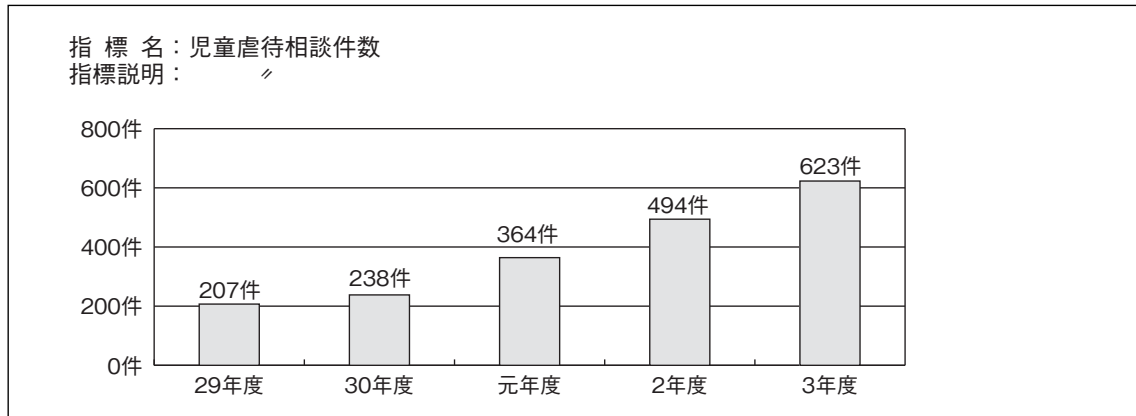
すべての子ども・若者及びその家族を対象に相談・支援を行う拠点として、保護者や関係機関から寄せられる相談への対応や、養育に不安がある家庭への訪問支援を実施するとともに、特に児童虐待については、要保護児童対策ネットワーク協議会を中心に、保健・福祉・医療・教育などの関係機関と連携し、子どもとその保護者などへの支援を行った。令和3年度は、ヤングケアラーについて国の実態調査結果を踏まえ、周知啓発・理解促進を図るため、主に教職員、スクールソーシャルワーカー、主任児童委員を対象に「ヤングケアラー研修会」を2回開催した。また、子どもの上手な褒め方や叱り方をトレーニングする「怒鳴らん子育て講座」を開催するとともに、相談者の負担軽減を図るため、要支援家庭ショートステイ事業を実施することで、育児に不安を持つ子育て家庭に対する支援を行った。さらに、本市にふさわしい児童相談体制を検討するため、有識者会議を開催した。今後も関係機関と連携し、一人ひとりの困りごとに寄り添った支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 児童相談支援事業費 29,690,603円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
児童家庭相談件数	1,977件	2,152件	8.9%
養育支援訪問件数	延 327	延 192	△41.3
要支援家庭ショートステイ利用日数	延 77日	延 205日	2.7倍

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 幼児期教育保育費 <幼児期の教育・保育の充実>	11,798,433,075	6,198,879,895	155,200,000	456,938,259	4,987,414,921

1 公立保育所等管理運営事業費 923,777,892円 (保育課)

[総括]

公立の保育所4園と幼保連携型認定こども園1園で教育・保育の提供を行った。多様化する保育ニーズに応えるため、全園で延長保育、2園で休日保育を実施するとともに、くるみ保育園において一時預かり事業、こじかこども園において地域子育て支援センター事業、病児保育事業を実施し、子育て家庭に対する支援を行った。令和3年度は、保護者がスマートフォンで欠席や遅刻の連絡を行ったり、園からの通知等を確認することができるウェブ機能を公立全園で実施し、保護者の利便性向上と保育業務の効率化を推進した。また、全園に抗原検査キットを配布するとともに、換気機能向上のため天井扇風機設置やエアコン取替を実施するなど、新型コロナウイルス感染症対策に努め、働く保護者のために開所を継続した。今後も保育所等の利用希望に応えるとともに、多様化する保育ニーズに適応する保育事業の充実に努める。なお、国の補正予算に伴い、令和4年2月、3月分の保育所等勤務保育士会計年度任用職員について処遇改善を行った。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 284,876,142円

(ア) 通常保育事業費

[児童数]

区 分	定 員	延定員	令和2年度	令和3年度	比 較
津 田 保 育 園	120人	1,440人	児童数 延1,350人	児童数 延1,210人	△10.4%
新 吉 〃	80	960	817	791	△ 3.2
牛川東 〃	170	2,040	1,907	1,928	1.1
くるみ 〃	140	1,680	1,700	1,751	3.0
こじかこども園	165	1,980	1,964	1,895	△ 3.5
計	675	8,100	7,738	7,575	△ 2.1

[特別支援保育事業]

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
施 設 数	4園	4園	0.0%
利 用 人 数	43人	47人	9.3

[施設整備費]

内 容	令和2年度	令和3年度
	厨房用エアコン設置(津田、新吉、くるみ) 開閉式遮光メッシュシート設置(津田) 遊具・保育室等補修・塗装修繕(牛川東)	遊戯室エアコン取替(牛川東) 厨房用エアコン設置(牛川東) 天井扇風機設置(こじか)

(イ) 延長保育事業費

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
施 設 数	5園	5園	0.0%
利 用 人 数	延 1,435人	延 2,355人	64.1

(ウ) 一時預かり事業費

[一般型]

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
施 設 数	1施設	1施設	0.0%
利 用 人 数	延 785人	延 1,242人	58.2

[幼稚園型]

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
施 設 数	1園	1園	0.0%
利 用 人 数	延 339人	延 565人	66.7

(エ) 子育て支援事業費

施 設 数	令和2年度	令和3年度	比 較
	5園	5園	0.0%

(オ) 地域子育て支援センター事業費

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
施 設 数	1園	1園	0.0%
利 用 人 数	延 5,800人	延 5,860人	1.0

(カ) 休日保育事業費

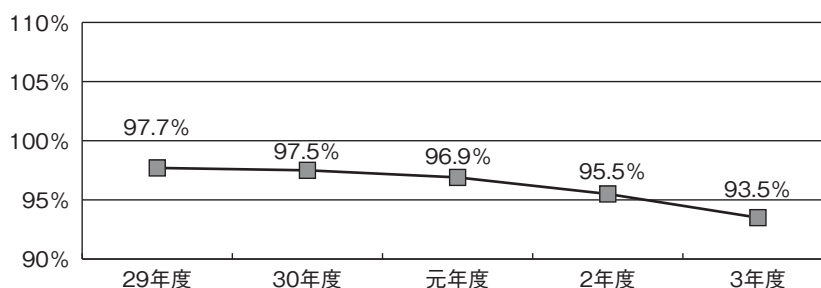
区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
施 設 数	2園	2園	0.0%
利 用 人 数	延 415人	延 309人	△25.5

(キ) 病児保育事業費

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
施 設 数	1園	1園	0.0%
利 用 人 数	延 16人	延 61人	3.8倍

[指 標]

指 標 名：公立保育所等児童数充足率
指 標 説 明：延利用児童数／延定員



2 子ども・子育て給付事業費 8,366,369,257 円（保育課）

[総括]

子ども・子育て支援新制度に基づき、保育所、認定こども園、幼稚園を通じた給付を実施し、教育・保育の提供を行った。また、国が実施する幼児教育・保育の無償化に加えて、保育所及び認定こども園の年収360万円未満相当世帯第2子の保育料を無償化するなど、市独自の保育料等の軽減を行うことで、子育て世帯への経済的支援を拡充した。さらに、令和4年2月から国の補正予算に伴い、保育士等を対象として処遇改善事業を実施し、保育士等処遇改善臨時特例交付金として各施設が処遇改善に要した費用に対する補助を行った。

今後も、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを支えるために、幼児期の教育・保育サービスを安定的に提供し、子どもの発達段階に応じて必要な時期に質の高い教育・保育を受けられる環境を整えるよう努める。

[実績及び成果]

(1) 子ども・子育て給付事業費 8,366,369,257 円

(ア) 法人保育所運営委託料 4,119,113,710 円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
保育所 児童数	37園 延 64,093人	37園 延 62,471人	△ 2.5%
〃（広域利用） 〃	4 延 21	3 延 15	—

(イ) 施設型給付費 3,469,667,577 円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
認定こども園 児童数	21園 延 47,633人	22園 延 49,204人	3.3%
〃（広域利用） 〃	8 延 54	10 延 81	—
新年度以降幼稚園 〃	1 延 1,594	1 延 1,502	△ 5.8
〃（広域利用） 〃	2 延 4	1 延 5	—

(ウ) 子育てのための施設等利用給付費 732,009,230 円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
幼稚園 児童数	24園 延 29,665人	22園 延 26,699人	△10.0%
届出保育施設 〃	17 延 1,950	13 延 1,770	△ 9.2

(エ) 私立幼稚園副食費補足給付補助金 10,573,991 円

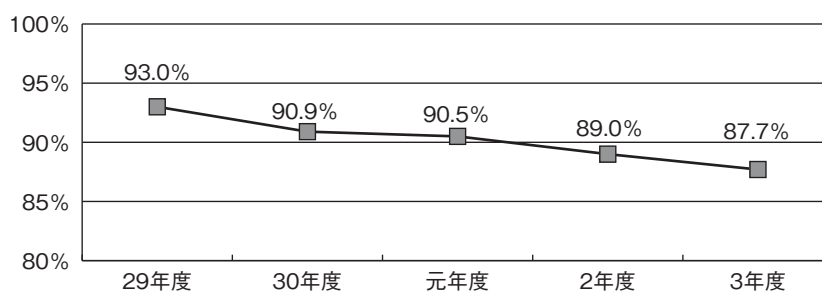
区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
幼稚園 児童数	20園 延 4,294人	18園 延 4,245人	△ 1.1%

(オ) 保育所等職員処遇改善事業費補助金 35,004,749 円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
保育所	—	37園 19,851,557円	皆増
認定こども園	—	22 14,859,472	皆増
新制度移行幼稚園	—	1 293,720	皆増

[指 標]

指 標 名：法人保育所等児童数充足率
 指標説明：延利用児童数／延定員



※施設型給付を行う認定こども園及び新制度移行幼稚園を含む

3 法人保育所・認定こども園運営支援事業費 2,443,851,227 円（保育課）

[総 括]

令和3年度は、老朽化した園舎の大規模改修・増改築を行う3園に対して整備費の助成を行った。また、認定こども園及び認定こども園への移行予定の園に勤める保育教諭・幼稚園教諭を対象とした幼稚園教諭免許状更新講習を実施した。さらに、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、感染予防にかかる緊急的な安全対策に必要な経費に対する助成を行った。令和4年2月から始まった国の処遇改善事業の対象外となる一時預かり事業や子育て支援センターの業務に専任で従事する保育士等に対して処遇改善を行った施設に対し、豊橋市独自で補助を行った。今後も、教育・保育内容の充実及び施設の運営改善を図るとともに、良好な教育・保育環境を整備し、将来を担う子どもの健全な育成を促進するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 法人保育所・認定こども園通常保育事業費 1,844,717,227 円

(ア) 法人保育所・認定こども園運営費補助金 1,800,412,226 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
	園数	金額	園数	金額
人件費（特別支援保育含む）	58園	1,651,528,668円	59園	1,655,031,331円
管理費（特別支援保育含む）	47	16,401,000	51	17,698,000
施設補修工事費	6	24,945,000	3	9,789,000
元利償還金	5	9,173,150	3	5,843,600
土地賃借料	17	29,906,883	17	29,705,545
職員研修事業費	58	3,200,000	59	3,200,000
資格取得支援事業費	0	0	1	68,604
保育体制強化事業費	18	20,028,215	23	26,703,146
新型コロナウイルス感染症対策費	83	58,221,000	68	44,254,000
保育士支援システム導入費補助金	3	2,179,000	5	3,750,000
翻訳機等導入費補助金	3	232,000	8	469,000
オンライン環境整備費補助金	—	—	50	3,900,000
計		1,815,814,916	—	1,800,412,226

(イ) 副食費給付費 43,846,650 円

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
保育所 児童数	37園 延 5,856人	36園 延 5,702人	△ 2.6%
認定こども園	22 延 4,098	22 延 4,103	0.1
新制度移行幼稚園	1 延 159	1 延 151	△ 5.0

※広域利用を含む

(ウ) 幼稚園教諭免許状更新講習事業費等 458,351 円

受 講 者 数	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
	39人	23人	△41.0%

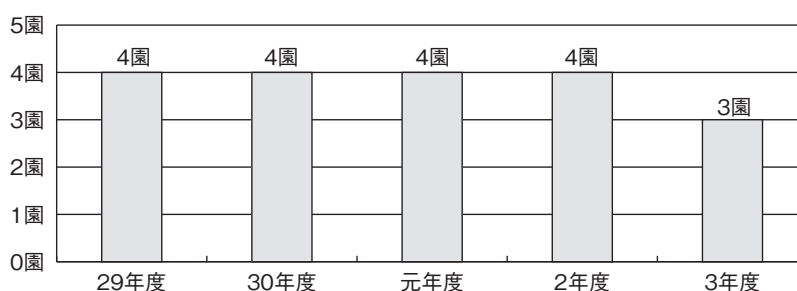
(2) 法人保育所・認定こども園整備費補助金 599,134,000 円

(ア) 建設費 599,134,000 円

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
	東山保育園 大規模改修・一部増築 定員190人 鉄筋コンクリート造2階建・木造1階建 松葉保育園 大規模改修・一部増築 定員115人 鉄筋コンクリート・鉄骨造2階建 認定こども園円通寺保育園 増改築 定員195人 鉄筋コンクリート造2階建 こばと幼稚園 認定こども園新設 園舎増改築 定員240人 鉄骨造3階建	前芝保育園 大規模改修 定員150人 鉄筋コンクリート造2階建・木造1階建 下条保育園 大規模改修・一部増改築 定員90人 鉄筋コンクリート造2階建 緑が丘こども園 増改築 定員200人 鉄筋コンクリート造2階建・鉄骨造2階建

[指 標]

指 標 名：法人保育所・認定こども園大規模改修等実施園数
 指標説明：
 //



4 私立幼稚園運営事業費 32,288,416 円 (保育課)

[総 括]

私立幼稚園運営費補助金について、施設の補修費のほか幼稚園における教育環境の向上を図るため、園庭遊具や教材の購入費等の助成を行った。また、園児の健康維持を図るため、園児の健康診断に対する助成を行った。今後も保育所・認定こども園と併せ、幼稚園の子育てに関する専門的機能の活用と幼児教育環境の向上に努める。

[実績及び成果]

(1) 私立幼稚園運営費補助金 32,288,416 円

[私立幼稚園運営費補助金]

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
施 設 数	20園	17園	△15.0%
利 用 人 数	2,481人	2,145人	△13.5
補 助 額	22,010,634円	18,823,250円	△14.5

[園児健康診断補助金]

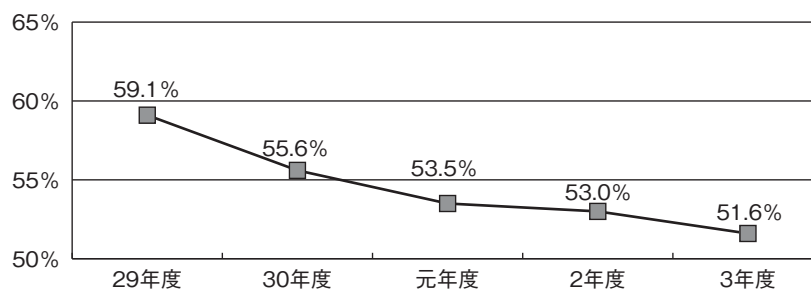
区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
施 設 数	17園	15園	△11.8%
実 施 人 数	内 科	1,898人	△18.0
	歯 科	1,915	△13.5
補 助 額	2,209,767円	1,866,040円	△15.6

[副食費補助金]

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
施 設 数	19園	18園	△ 5.3%
利 用 人 数	2,699人	2,930人	8.6
補 助 額	6,919,315円	7,743,846円	11.9

[指 標]

指 標 名：私立幼稚園児童数充足率
 指標説明：入園児童数／定員



5 保育総合支援事業費

12,197,362 円（子育て支援課・こども未来館・保育課）

[総括]

仕事と子育てが両立しやすい環境づくりに取り組むため、待機児童対策の一環として、保育コンシェルジュがこども未来館や交通児童館などでの出張相談を行うなど、保育園等に入園する前から入園に至るまでの保護者への継続的な支援の充実に取り組んだ。

また、保育士・保育所支援窓口においては、専任の法人保育所園長職経験者を配置し、SNSを用いた広報活動の拡大や、愛知県との就職支援研修会の共同実施などにより、就労希望者と保育所等のマッチングを図った。

今後も女性の就労増加に伴い、保育ニーズの増加が見込まれるため、保護者に対する両立支援体制の充実に図るとともに、保育士資格を有する未就労者への就労支援を強化していく。

[実績及び成果]

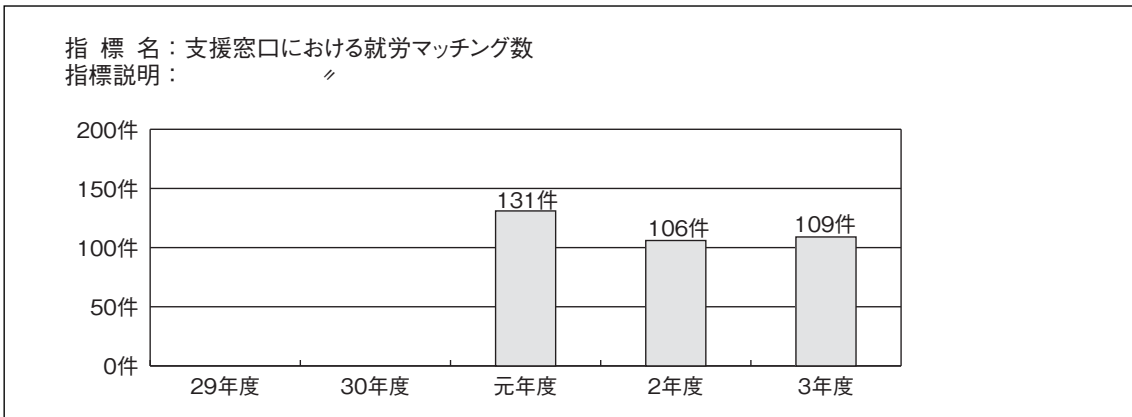
(1) 利用者支援事業費 3,445,314 円

	令和2年度	令和3年度	比較
保育コンシェルジュが対応した保護者からの相談件数	676件	691件	2.2%

(2) 子育て環境総合支援事業費 8,752,048 円

	令和2年度	令和3年度	比較
支援窓口における求職者数	186件	189件	1.6%

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 地域子育て支援費 <地域における子育てへの支援>	430,667,278	136,067,773	3,400,000	5,975,842	285,223,663

1 交通児童館運営事業費 29,675,431 円 (こども未来館)

[総括]

指定管理者による運営のもと、コロナ禍においても子どもたちが楽しめる行事やSDGSを取り入れた新しい企画を行うなど、利用促進に努めた。また、中高生向けプログラムや情報発信を積極的に行い、利用者数は前年度を上回ることができた。今後も乳幼児から中高生まで幅広い年齢層に利用され、健康でゆたかな情操を育む魅力ある遊び場となるよう、行事や施設の充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 29,675,431 円

[施設利用者]

区 分	令和2年度		令和3年度	
開 館 日 数	279日		316日	
個 人 利 用 者	延	165,454人	延	177,282人
団 体 利 用 者	105団体	延 2,215	132団体	延 2,826
計		延 167,669		延 180,108

[遊具利用者]

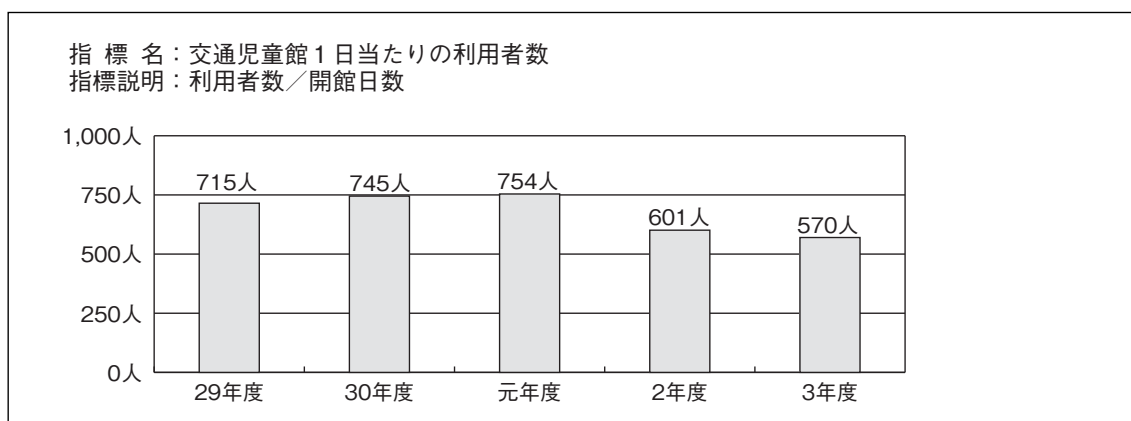
区 分	令和2年度		令和3年度	
バ ッ テ リ ー カ ー	延	16,160人	延	19,245人
自 転 車	延	13,714	延	12,038
一 輪 車	延	1,349	延	1,201

[行事参加者]

区 分	令和2年度		令和3年度	
	実施回数	延参加者数	実施回数	延参加者数
すくすく広場 ※1	8回	270人	22回	271人
リトミックあそび	8	95	11	151
おやこ造形あそび	8	81	11	113
べびWARAリズム ※2	8	63	9	104
めざせ!わっぱなし	7	73	10	101
運 動 あ そ び	16	323	22	507
交 通 安 全 教 室	26	1,209	26	1,199
つ ど い の 広 場	126	6,486	145	8,124

令和2年度までの名称 ※1 おやこの広場 ※2 親子ふれあい体操

[指標]



2 こども未来館管理運営事業費 229,760,566 円（こども未来館）

[総括]

子どもの健やかな成長及び市民の交流を目的に、子どもを中心とした様々な世代の人々がふれあう場及び機会を提供し、多彩なイベントを開催しており、行政が子育てプラザの運営と市民協働の推進、指定管理者が体験・発見プラザと集いプラザの運営及び施設全体の維持管理と、特性を活かした効率的な運営を行っている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策の確実な実施のもと、創意工夫により様々なイベントを開催し、利用者が安心して楽しめる施設運営に努めたほか、子育て支援の拠点施設として、子育ての負担軽減につながる事業を積極的に実施した。

今後も、まちなかと連携したイベントの企画・実施をはじめ、市民協働による運営にも重点を置きながら、新たな利用者及びリピーターの確保に努めていく。

[実績及び成果]

[主なイベント開催状況]

内 容	令和2年度	令和3年度
	ここに芝生シアター～星空映画会～ ここにこ人形劇 BRIO展～BRIOで遊ぼう～ ここにこ こども夜店 もくもくひろば おかし研究所 大野萌葉美作品展 ダンボール女子の世界 ミニブーケ作りに挑戦しよう 第13回ここにこ手づくり市	みんなでなぞにこ あそびゴコロ開発ラボ ラジオパーソナリティになろう かえってきた!ここにこおばけ学校 こどもまちなかクイズラリー おはなしおばさんのゆかいな世界展 ここにこウインターイルミネーション 移動動物園 あかいろマルシェ

(1) 施設管理事業費 130,426,314 円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較	
開 館 日 数	283日	316日	11.7%	
延利用者数	子育てプラザ	73,041人	97,397人	33.3
	体験・発見プラザ	114,825	167,839	46.2
	集いプラザ	66,907	94,831	41.7
	計	254,773	360,067	41.3
1日平均利用者数	900	1,139	26.6	

※子育てプラザのみ令和2年度は276日の開館

(2) 子育てプラザ活動事業費 37,389,971 円

区 分	令和 2 年度		令和 3 年度	
子育てプラザ開催講座	50回	参加者 延 844人	65回	参加者 延 863人
子育てサポーター養成講座	3	参加者 59	8	参加者 91
チャイルドサポートプラン説明会	72	参加者 417	87	参加者 515
ここにこサークル	38か所	参加者 延 1,997	38か所	参加者 延 3,080
一時預かり事業	利用人員 延 629		利用人員 延 801	
妊娠・出産・子育て総合相談窓口	494		505	
母子健康手帳の交付	554 555冊		682 686冊	

※一時預かり事業は令和2年度に保育課より移管

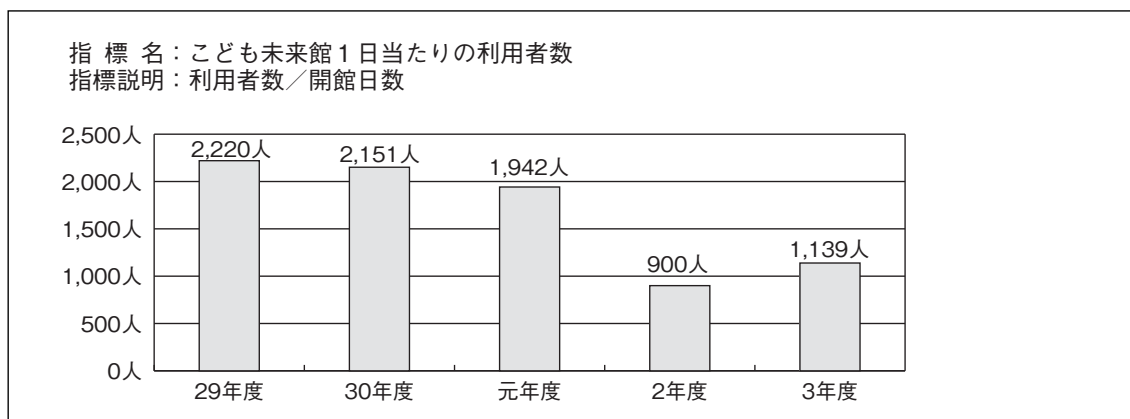
(3) 体験・発見プラザ活動事業費 2,213,722 円

区 分	令和 2 年度		令和 3 年度	
体験セット貸出数	141セット	34,306件	160セット	55,560件
体験プログラム	74回	参加者 716人	88回	参加者 911人

(4) 企画活動事業費 1,984,180 円

実行委員会開催イベント	令和 2 年度		令和 3 年度	
	15回	参加者 15,896人	17回	参加者 11,259人

[指 標]



3 ミラまちこども館管理運営事業費 6,525,387 円 (こども未来館・保育課)

[総 括]

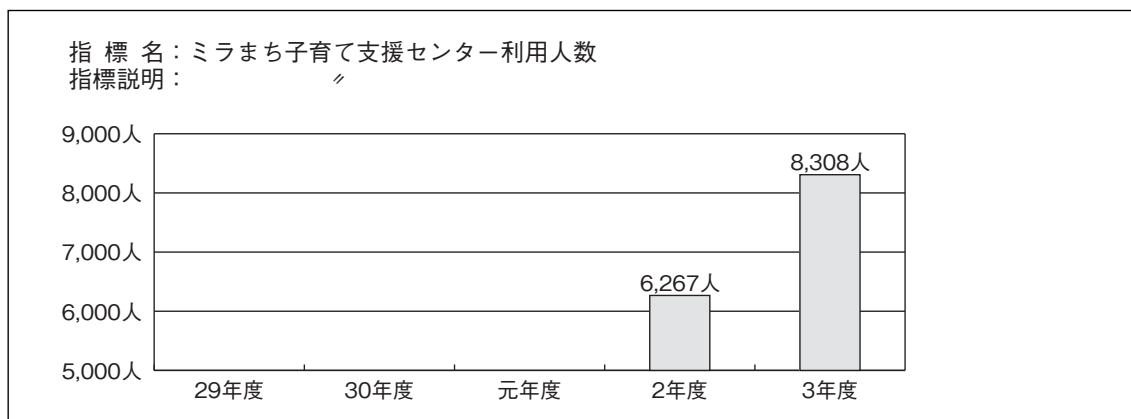
「ミラまちこども館」内にある地域子育て支援センターにおいて、子育て親子が気軽にかつ自由に交流できる場を提供するとともに、育児相談や親子講座などを開催し、子育てに不安や悩みを持つ家庭に対する支援を行った。今後も地域や関係機関と連携を進め、施設の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 地域子育て支援センター事業費 6,373,710 円

ミラまち子育て支援センター利用人数	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
	延 6,267人	延 8,308人	32.6%

[指標]



4 児童育成事業費 55,750,241 円（子育て支援課・こども未来館）

[総括]

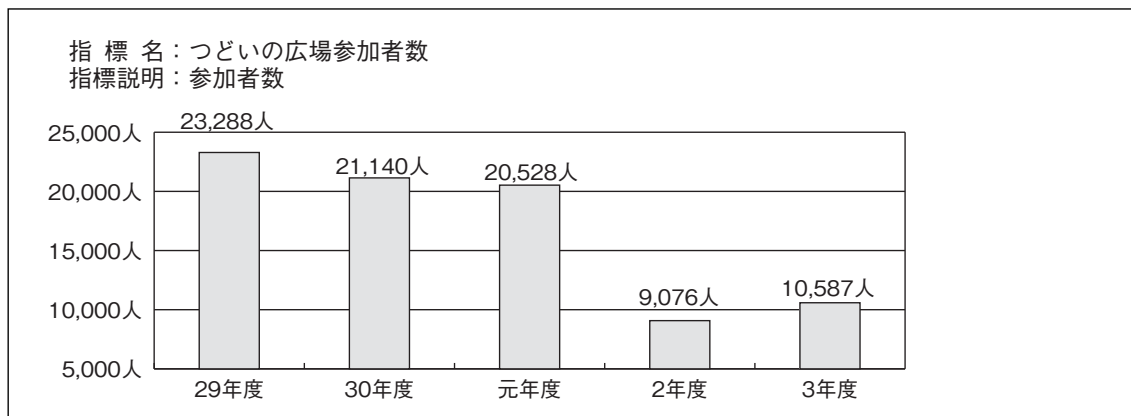
核家族化や共働きなどにより子育てに不安や負担を抱える家庭を支援するため、親子のふれあいの充実を促す幼児ふれあい教室、パパママ子育て講座、交流の場としてつどいの広場を開催した。また、ファミリーサポートセンター事業を実施し、ひとり親世帯等や多子世帯、多胎児世帯を対象に利用料の助成を行った。今後も子育てしやすい環境づくりのため、多様な子育てニーズに対応できるよう、各事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 児童育成事業費 55,750,241 円

区分	令和2年度	令和3年度
つどいの広場開催委託	3か所374回 参加者延 9,076人	3か所432回 参加者延10,587人
ファミリーサポートセンター事業	会員数 2,047	会員数 2,073
	活動回数 4,265回	活動回数 4,907回
幼児ふれあい教室開催事業	20講座 参加者 1,838人	23講座 参加者 1,692人
パパママ子育て講座開催事業	3 参加者 114	3 参加者 169
赤ちゃんの駅登録施設数	261施設	270施設

[指標]



5 法人保育所等地域子ども・子育て支援事業費 97,752,283 円（こども未来館・保育課）

〔総括〕

子ども・子育て支援新制度に基づき、共働き家庭に限らず、すべての子育て家庭を支援するための一時預かり事業や地域子育て支援拠点事業など、地域の様々な子育て支援を実施した。また、地域における子育て支援の環境を整えるため、下条保育園内に設けていた下条子育て支援センターを独立した施設として整備し、その費用に対する助成を行った。今後も地域の実情に応じ、多様な子育てニーズを的確に把握し、児童の健やかな成長のため、教育・保育施設等が持つ専門的機能を活用した子育て支援事業の拡充に努める。

〔実績及び成果〕

(1) 法人保育所等地域子ども・子育て支援事業費 97,752,283 円

(ア) 延長保育事業費補助金 3,300,000 円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
施 設 数	12園	11園	△ 8.3%
利 用 人 数	延 8,376人	延 6,533人	△22.0

(イ) 一時預かり事業費補助金 41,392,510 円

〔一般型〕

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
施 設 数	3園	3園	0.0%
利 用 人 数	延 1,448人	延 1,517人	4.8

〔幼稚園型〕

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
施 設 数	20園	21園	5.0%
利 用 人 数	延 17,462人	延 26,531人	51.9

(ウ) 地域子育て支援センター事業費 48,402,000 円

〔地域子育て支援センター運営委託料〕

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
施 設 数	4園	4園	0.0%
利 用 人 数	延 17,141人	延 19,595人	14.3

〔地域子育て支援センター整備費補助金〕

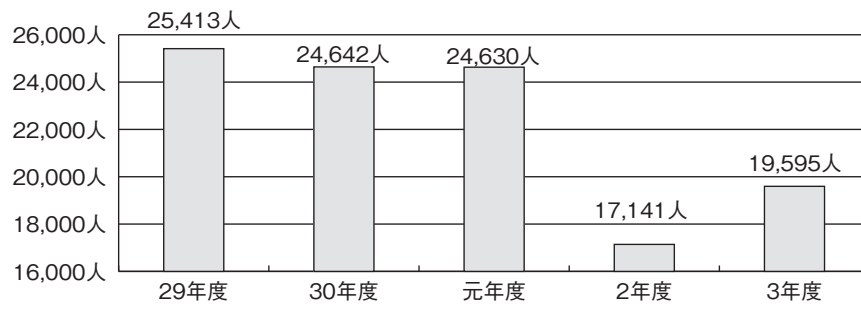
区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
施 設 数	—	1施設	皆増
補 助 額	—	13,044,000円	皆増

(エ) 病児保育事業費 3,427,773 円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
施 設 数	2施設	1施設	△50.0%
利 用 人 数	延 80人	延 36人	△55.0

[指 標]

指 標 名：地域子育て支援センター利用人数
指標説明：



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 ひとり親家庭等支援費 <ひとり親家庭等への支援の充実>	1,607,472,799	696,451,163	3,500,000	0	907,521,636

1 ひとり親家庭等支援事業費 1,381,224,902円 (子育て支援課)

[総括]

援護の必要な母子家庭について施設入所など必要な措置を行うとともに、ひとり親家庭の自立支援のため、就業に役立つ知識及び技能の習得に対する支援を行った。また、新たに養育費確保のための公正証書作成等への支援を行ったほか、ひとり親家庭等への経済的支援のため、国の制度である児童扶養手当や市の制度である母子父子福祉手当を支給した。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響による負担の軽減のため、低所得の子育て世帯生活支援特別給付金を支給したほか、母子生活支援施設における感染症拡大防止対策への支援を行った。今後も支援を必要とするひとり親家庭等の生活の安定を図り、自立に向けた支援の充実に努める。

[実績及び成果]

(1) ひとり親家庭等自立支援事業費 38,261,271円

(ア) ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業費 26,637,000円

支 給 人 数	令和2年度		令和3年度	
		17人		20人

(イ) ひとり親家庭等養育費確保支援事業費 604,400円

助 成 金 支 給 人 数	令和2年度		令和3年度	
		—		29人

(2) 児童扶養手当給付事業費 1,081,691,428円

(ア) 手当費 1,079,875,070円

区 分	令和2年度		令和3年度	
	延人数	支給額	延人数	支給額
全 部 支 給	15,071人	650,283,700円	14,255人	615,241,550円
一 部 支 給	11,834	339,778,580	12,137	347,350,020
加 算 額				
2 子 加 算	10,490	99,513,330	10,352	97,965,410
3 子 以 降 加 算	3,277	19,326,520	3,295	19,318,090
計	—	1,108,902,130	—	1,079,875,070

(3) 母子父子福祉手当給付事業費 46,107,103円

(ア) 手当費 45,851,200円

対 象 児 童 数	令和2年度		令和3年度	
		支給開始 1～3年目 月額2,300円 4～5年目 月額1,200円 1,936人		支給開始 1～3年目 月額2,300円 4～5年目 月額1,200円 1,830人

(4) 母子生活支援施設入所事業費 17,268,561円

利 用 世 帯 数	令和2年度		令和3年度	
		7施設 延 69世帯		7施設 延 45世帯

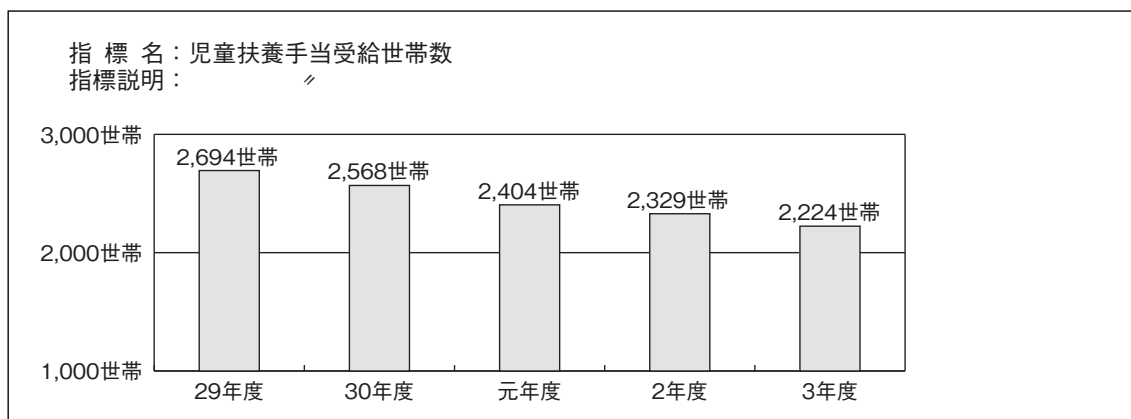
(5) 母子生活支援施設整備費補助金 13,425,000 円

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
	—	大規模修繕 1施設

(6) 助産施設入所事業費 2,820,178 円

利 用 人 数	令和 2 年度	令和 3 年度
	3人	5人

[指 標]



2 母子父子家庭等医療費助成事業費 226,247,897 円 (国保年金課・子育て支援課)

[総 括]

18歳到達年度末までの子どもを扶養しているひとり親家庭の医療費について、保険診療分の自己負担額を助成することにより、経済的な負担の軽減及び生活の安定に寄与した。今後も適正な医療費の助成を行い、ひとり親家庭に対する福祉の向上を図る。

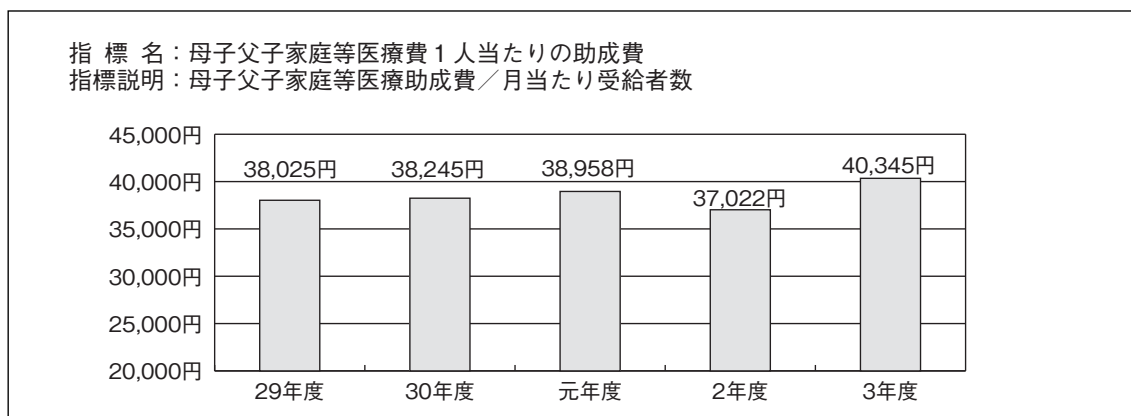
[実績及び成果]

(1) 母子父子家庭等医療費助成事業費 226,247,897 円

(ア) 医療助成費 223,106,875 円

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
受 給 者 数	延 68,478人	延 66,358人	△ 3.1%
受 診 件 数	延 71,775件	延 74,315件	3.5
受 診 率	104.8%	112.0%	7.2ポイント

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7日療育支援費 ＜療育支援の推進＞	639,599,403	4,370,000	0	225,440,761	409,788,642

1 高山学園運営事業費 156,883,626 円 (保育課)

[総括]

児童発達支援センターとして、心身の発達促進と障害の軽減のための療育を実施するとともに、保護者への養育援助を行った。令和3年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症対策に努めつつ、トランポリンを購入するなど児童の療育環境の向上を図るとともに、調理室の床を湿式から乾式に改修を行い、施設整備を進めた。今後も良好な環境のもとで児童の成長を促すよう療育体制の充実に努める。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 39,041,597 円

[児童数]

通園児童数	令和2年度	令和3年度	比較
		延 475人	延 480人

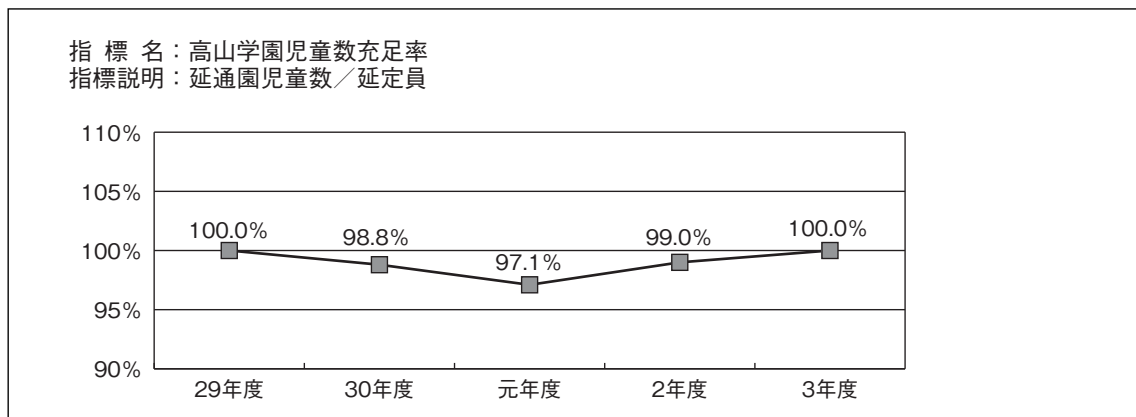
[相談支援数]

相談支援数	令和2年度	令和3年度	比較
		延 248人	延 278人

[施設整備費]

内 容	令和2年度	令和3年度
		ミスト機設置 感覚運動器具設置

[指標]



2 こども発達センター管理運営事業費 482,715,777 円 (こども発達センター)

[総括]

児童精神科医師をはじめとした専門スタッフを配置し、相談・診療・通園の各種事業を実施した。令和3年度からキャッシュレス決済を導入し、患者、利用者等の利便性の向上を図った。また、講演会・研修会を実施するなど、障害児支援につながる取組みを行った。今後も、保健・医療・福祉・教育などの関係機関と連携しながら、総合的な療育支援を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 157,778,125 円

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
開 館 日 数	246日	247日	0.4%
相 談 件 数	延 1,572件	延 1,753件	11.5
診 療・リハビリ人数	延19,138人	延20,956人	9.5
通園事業利用者数	5,131	5,859	14.2

(2) 相談事業費 24,117,180 円

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度
障害児等療育支援事業	3 施設 延1,336件	3 施設 延1,466件
講演会・研修会	37件 参加者 790人	47件 参加者 1,017人
プレイルーム支援事業	延2,501	延3,036

(3) 診療事業費 95,900,609 円

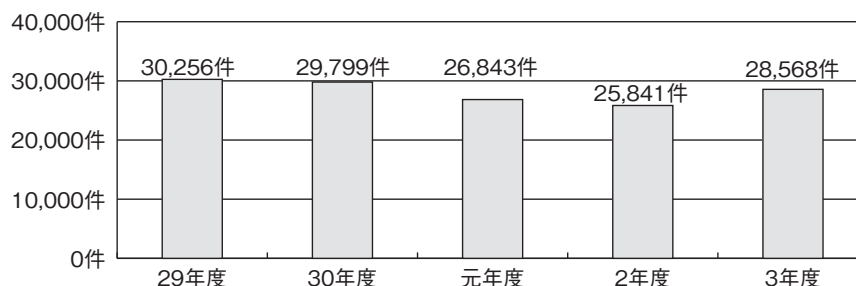
区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
小 児 科	延2,780人	延3,222人	15.9%
児 童 精 神 科	6,528	6,806	4.3
整形外科（水曜日）	425	414	△ 2.6
耳鼻いんこう科（火・金曜日）	692	716	3.5
歯 科（木曜日午前）	599	603	0.7
リハビリテーション	8,114	9,195	13.3

(4) 通園事業費 31,415,268 円

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
外来グループ療育事業	延4,201人	延5,045人	20.1%
重症心身障害児通園事業	643	530	△17.6
居宅訪問型児童発達支援事業	36	7	△80.6
重症心身障害児(者)日中一時支援事業	251	277	10.4

[指 標]

指 標 名：こども発達センター利用件数
 指標説明：相談件数＋診療・リハビリ人数＋通園事業利用者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 青少年健全育成費 <青少年の健全育成>	11,301,262	0	0	0	11,301,262

1 子ども・若者健全育成事業費 3,545,934円 (子育て支援課・こども若者総合相談支援センター)

[総括]

青少年の非行・被害防止に取り組む市民運動をはじめとした啓発活動や、各小中学校区青少年健全育成会への支援を通じ、小中学生への健全育成活動を積極的に実施した。また、今後も引き続き青少年健全育成のつどいを開催し、地域で活躍する青少年や青少年育成団体の紹介を行うことによって健全育成に対する意識啓発を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 子ども・若者育成事業費 885,934円

(ア) 青少年問題協議会委員 81,000円

区 分	令和2年度	令和3年度
青少年問題協議会開催数	1回	1回

(イ) 子ども・若者健全育成啓発費 804,934円

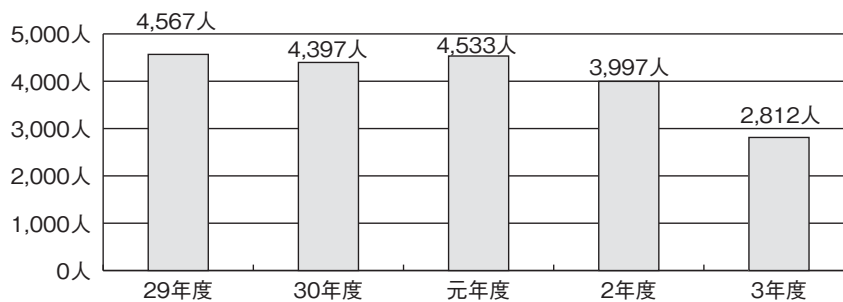
区 分	令和2年度	令和3年度
青少年だより 「ちぎりの子ども」発行部数	31,000部	31,000部

(2) 青少年健全育成事業補助金 2,660,000円

区 分	令和2年度	令和3年度
青少年健全育成会	22中学校区 52小学校区	22中学校区 52小学校区
補助金	2,660,000円	2,660,000円

[指標]

指標名：非行防止啓発活動への参加者数
指標説明：



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 子ども・若者自立支援費 <困難を抱える子ども・若者への支援の充実>	29,263,371	18,880,991	0	3,091,000	7,291,380

1 子ども・若者自立支援事業費 18,342,380円 (こども若者総合相談支援センター)

[総括]

民間の支援団体に子ども・若者総合相談窓口の運営を委託し、子ども・若者及びその家族を対象に不登校、ひきこもりなどの相談・支援を行った。また、定時制・通信制高等学校合同説明会では、新型コロナウイルス感染症の影響がある中、参加者への感染予防対策を講じながら合同説明会を開催することで、不登校やひきこもりの理由から進路に悩む中高生への進路選択の支援を行った。今後も関係機関と連携し、一人ひとりの困りごとに寄り添った支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 子ども・若者自立支援事業費 18,342,380円

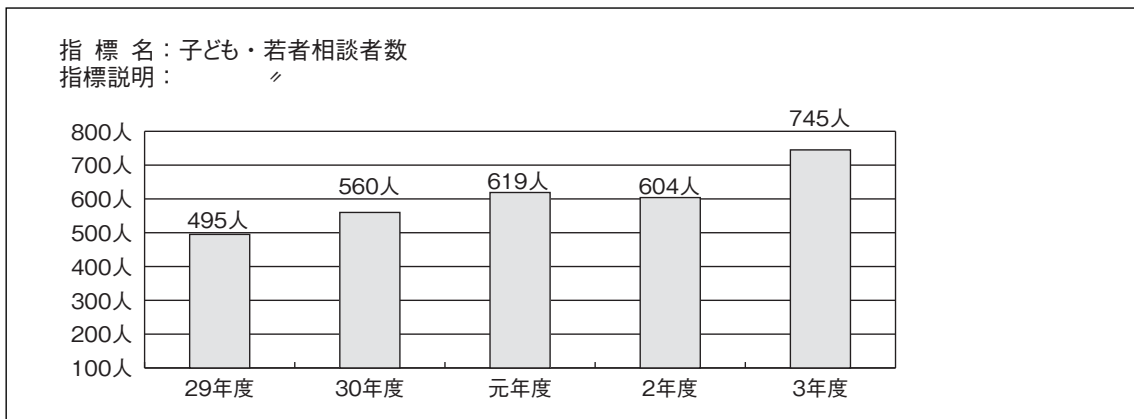
(ア) 子ども・若者相談窓口運営事業費 18,300,000円

子ども・若者相談者数	令和2年度	令和3年度
		604人

(イ) 子ども・若者支援地域協議会運営費 42,380円

定時制・通信制高等学校 合同説明会参加者数	令和2年度	令和3年度
		182人(年1回)

[指標]



2 子どもの貧困対策事業費 10,920,991円 (子育て支援課)

[総括]

ひとり親世帯や多子世帯、生活困窮世帯に対する支援として、子どもの居場所づくりやフードバンク等の取り組みを行った。これらの取り組みは、社会福祉協議会やNPO法人東三河フードバンク等の外部団体と連携して行うことで、より多くの方に対する支援へとつながった。新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰など社会情勢の変化により、さらなるニーズの増加が見込まれることから、引き続き関係機関と連携して支援を行っていく。

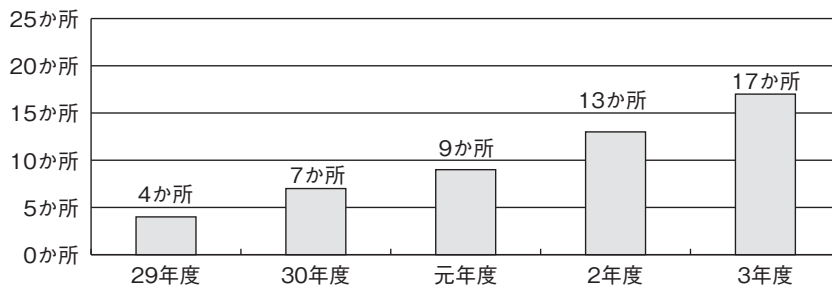
[実績及び成果]

(1) 子どもの貧困対策事業費 10,920,991円

子どもの居場所数	令和2年度	令和3年度
		13か所

[指 標]

指 標 名：子どもの居場所数
指 標 説 明：子ども食堂及び学習支援の場所数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 生活保護費	3,987,613,498	2,760,998,099	0	55,754,499	1,170,860,900
2目 生活保護者等自立支援費 <生活保護者への継続的な自立支援>	3,701,372,345	2,701,944,496	0	55,754,499	943,673,350

1 生活保護者等援護事業費 3,696,347,345 円 (生活福祉課)

[総括]

最低限度の生活を保障し、自立助長を図るための支援を、生活保護受給者の状況に合わせて行った。就労が可能な方にはハローワークと連携した就労支援を、就労に向けた準備が整っていない方には就労準備支援員が寄り添い、きめ細やかな支援を行った。また、生活保護受給者に対する健康管理支援においては、地区担当員がチェックリストを活用した健康診査受診勧奨を行うとともに、保健師が受診や服薬について個別指導を行った。今後は、健康診査の継続受診勧奨に加え、受診後のフォローアップを行うことで、健康意識の向上を図り、生活習慣病等の予防に向けた支援を強化する。

[実績及び成果]

(1) 生活保護扶助事業費 3,694,882,220 円

区 分	令和2年度			令和3年度		
	世 帯	人 員	金 額	世 帯	人 員	金 額
生活扶助	1,467世帯	1,776人	1,013,286,132円	1,584世帯	1,934人	1,062,914,720円
住宅扶助	1,493	1,782	530,490,370	1,622	1,959	562,753,988
教育扶助	53	97	9,333,847	56	99	8,409,310
介護扶助	407	419	101,584,164	452	462	98,480,019
医療扶助	1,505	1,766	1,824,156,572	1,633	1,911	1,902,703,416
出産扶助	年間0	0	0	年間1	1	105,600
生業扶助	31	34	2,897,662	33	39	3,552,047
葬祭扶助	年間63	63	5,477,127	年間65	65	6,961,279
保護施設事務費	月平均6	6	9,943,637	月平均7	7	11,802,224
就労自立給付金	年間13	16	452,079	年間10	10	375,025
進学準備給付金	年間0	0	0	年間3	3	500,000
計	—	—	3,497,621,590	—	—	3,658,557,628

※「世帯」、「人員」の実績は当該年度末現在の数値とする。(「出産扶助」、「葬祭扶助」、「保護施設事務費」、「就労自立給付金」及び「進学準備給付金」は除く)

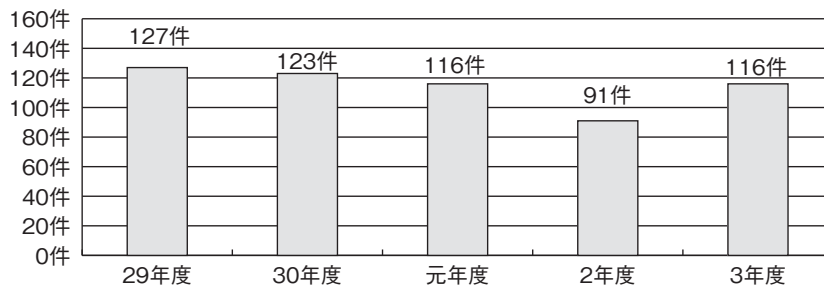
(2) 中国残留邦人生活支援事業費 1,465,125 円

受 給 世 帯 数	令和2年度		令和3年度		比 較
	1世帯	2人	1世帯	2人	
	1世帯	2人	1世帯	2人	0.0%

[指 標]

指 標 名：自立件数

指標説明：保護廃止世帯数－死亡・失踪による廃止世帯数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 生活困窮者等自立支援費 <生活困窮者に対する包括的な自立支援>	64,661,511	59,053,603	0	0	5,607,908

1 生活困窮者等援護事業費 64,661,511 円 (生活福祉課)

[総括]

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生活困窮に関する相談件数が依然として高い傾向にある中、相談の内容を丁寧に聞き取り、個々の状況に合わせた制度を案内するなど、適切に支援を行った。一例として、職と住まいを同時に失った方に対しては、緊急的な宿泊場所の提供や就労支援等を行う一時生活支援事業を案内し、居宅生活への早期移行を図った。また、学習・生活支援事業においては、緊急事態宣言下でも学習教室とつながりを持ち続けることができるよう、オンライン授業を実施できる環境を整えた。さらに、国の新たな施策である新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金については、受付体制を速やかに整えることで、支援金に係る部分だけではなく、複合的な問題を含む問い合わせに対しても適切に応じることができた。今後も増加が見込まれる生活困窮者に対し、関係機関と連携し、迅速に支援を行っていく。

[実績及び成果]

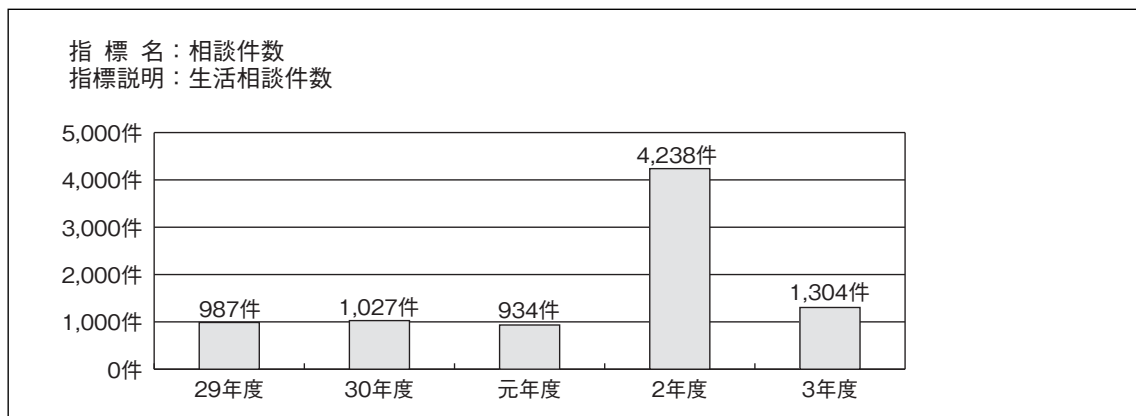
(1) 生活困窮者自立支援事業費 44,653,944 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
	人 員	金 額	人 員	金 額
自立相談支援	197人	26,017,303円	163人	24,110,024円
住居確保給付金	230	38,567,593	74	14,538,640
一時生活支援	74	1,679,290	70	1,455,584
学習・生活支援	93	754,921	88	1,584,403
就労準備支援	8	3,160,966	6	2,965,293

(2) 旅費欠乏者移送費等事業費 2,411,096 円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
移送人数	78人	47人	△39.7%
行旅死亡人	5	1	△80.0

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4 款 衛 生 費	17,602,811,862	3,420,148,969	179,700,000	1,491,367,279	12,511,595,614
1 項 保 健 衛 生 費	8,662,604,153	3,362,812,969	145,500,000	520,544,971	4,633,746,213
2 目 健 康 づ くり 費 <健康的な暮らしの支援>	534,851,847	5,082,782	0	45,831,598	483,937,467

1 保健所・保健センター管理運営事業費 300,095,947 円 (健康政策課)

[総括]

保健・医療・福祉の総合拠点「ほいっふ」の中核施設として、こども発達センターや休日夜間急病診療所を含め、PFI事業契約に基づき施設の維持管理・運営を行った。今後も市民の健康と安全を守るため、施設の適正な維持管理・運営に努めるとともに、医師会、歯科医師会及び薬剤師会との連携強化を図りながら、機能の充実と施設の利用促進を図っていく。

[実績及び成果]

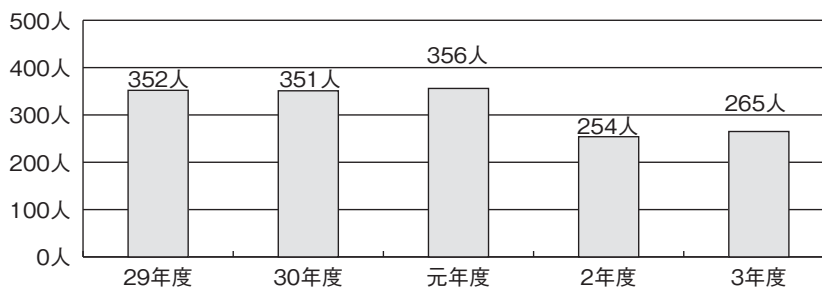
(1) 保健所・保健センター管理運営事業費 300,095,947 円

[利用状況]

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数	242日	242日	—
利 用 者 数	延 61,395人	延 64,198人	4.6%

[指 標]

指 標 名：保健所・保健センター1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



2 健幸なまちづくり事業費 10,440,469 円（健康政策課）

[総括]

新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、市民の心身の機能低下が懸念されることから、とよはし健康マイレージアプリのチーム機能を使ったウォーキングコンテストを地域や職域で実施し、楽しみながら参加できる運動機会の提供を行った。また、ビジネスパーソンの運動習慣化を推進するため、医師や薬剤師会と連携した働く女性の健幸プログラムを実施したほか、10～11月を健康づくり強化月間「フィッチャレ!」と位置づけ、健康づくりイベントや啓発活動を行った。今後も、アプリを活用したウォーキングイベントの開催や、健康経営応援メニューの充実を図り、市民が主体的に健康づくりに取り組める環境整備を行う。

[実績及び成果]

(1) 健幸なまちづくり推進事業費 3,567,107 円

区 分	令和2年度	令和3年度
豊橋市健康づくり推進プロジェクト講演会	1回 67人	1回 36人
働く女性のための健康プログラム「からだケアmel」	—	46

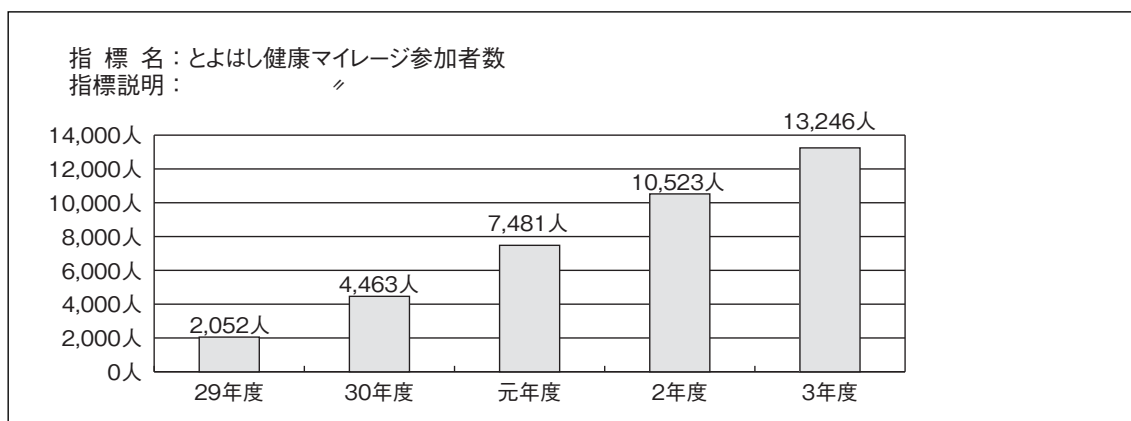
(2) 健康マイレージ推進事業費 6,348,027 円

区 分	令和2年度	令和3年度
とよはし健康マイレージ参加者数	10,523人	13,246人
ウォーキングイベント	2回 249	2回 1,371

(3) 健康経営推進事業費 525,335 円

区 分	令和2年度	令和3年度
とよはし健康宣言事業所	125事業所	145事業所

[指標]



3 健康づくり事業費

1,328,802 円（健康増進課・こども保健課）

[総括]

市民が健康の大切さに気づき、日常生活に健康づくりを取り入れることができるよう、とよはし健康マイレージ校区対抗チャレンジマッチの開催や豊橋いきいき健康マップの作成をはじめ、地域主体の健康づくり活動の支援、健康に関する啓発などを行った。今後も市民への健康に関する動機づけとなるような取組みを進めていく。

[実績及び成果]

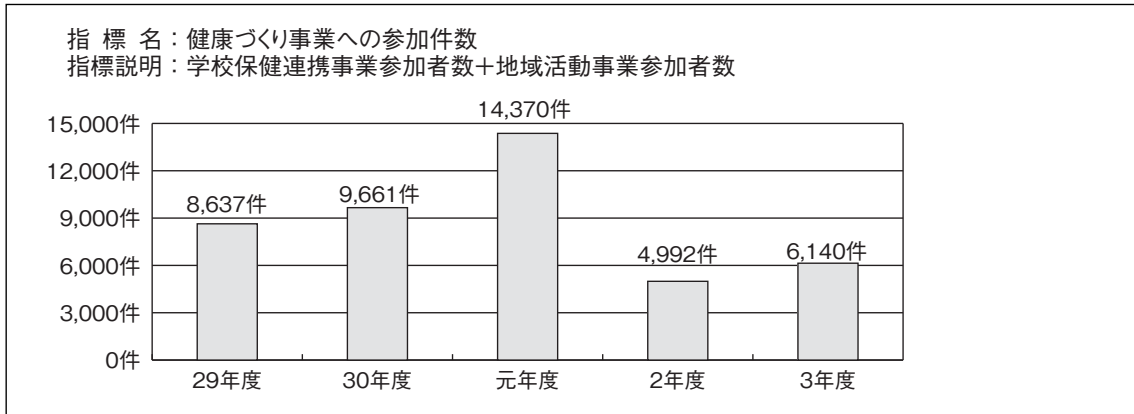
(1) 学校保健連携事業費 123,555 円

区 分	令和2年度	令和3年度
学校保健委員会参加者数	2,954人	2,311人
訪問授業参加者数	1,133	953
食生活について考えよう受講者数	0	391
赤ちゃんふれあい体験	1校 参加者 95	1校 参加者 82

(2) 地域活動事業費 1,205,247 円

区 分	令和2年度	令和3年度
健康な地域づくり事業などの参加者数	810人	2,403人

[指標]



4 余熱利用施設管理運営事業費 221,046,461 円（健康増進課）

[総括]

健康増進と交流促進の場として幅広い市民の利用に供するとともに、省資源・省エネルギーに対する市民意識の向上を促すため、PFI事業契約に基づき、資源化センターの余熱利用施設（りすば豊橋）の維持管理・運営を行った。今後も施設の適正な維持管理・運営に努め、利用者の増加を図っていく。

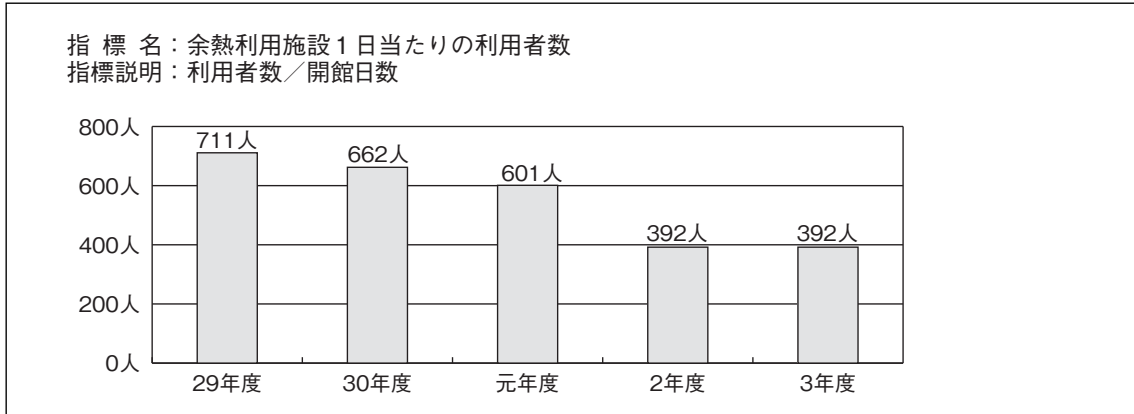
[実績及び成果]

(1) 余熱利用施設管理運営事業費 221,046,461 円

[利用状況]

区 分	令和2年度	令和3年度
温 水 プ ー ル	延 36,429人	延 43,572人
ト レ ー ニ ン グ ル ー ム	延 20,720	延 24,119
浴 場	延 42,643	延 47,714
無 料 開 放 ス ペ ー ス	延 632	延 625
計	延 100,424	延 116,030

[指 標]



5 歯科口腔保健推進事業費 1,436,557 円（健康増進課）

[総括]

「豊橋市歯科口腔保健推進計画」に基づき、生涯を通じた歯と口の健康づくりのため、かかりつけ歯科医等による定期的な歯科検診の受診を推進するとともに、歯科医療関係者に対しオーラルフレイルに関する研修会等を実施することにより資質向上に努めた。今後も関係機関と連携し、市民が生涯にわたり、自分の歯でおいしく食べることができるよう、歯科口腔保健の取組みを推進していく。

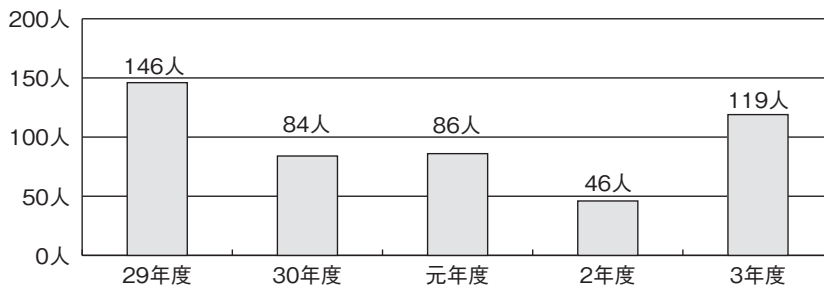
[実績及び成果]

(1) 口腔保健支援センター運営事業費 1,436,557 円

内 容	令和2年度		令和3年度	
	研修会の開催	1回	研修会の開催	3回
運営会議の開催	2	運営会議の開催	2	

[指 標]

指 標 名：豊橋市口腔保健支援センター研修会参加者数
指 標 説 明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 たばこ対策費 ＜たばこ対策の推進＞	893,051	647,500	0	0	245,551

1 たばこ対策事業費 893,051 円 (健康政策課・健康増進課)

[総括]

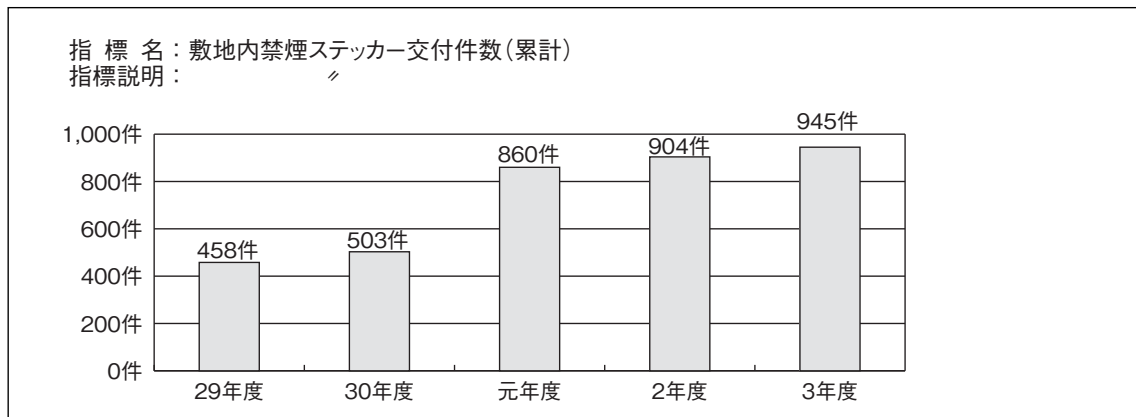
平成31年より段階的に施行されていた「改正健康増進法」及び「豊橋市受動喫煙防止条例」が令和2年に全面施行されたため、新規開設飲食店等を対象とした受動喫煙防止に関する説明会の実施や、市民及び施設管理者等向けリーフレットやステッカーなどを作成し、受動喫煙対策に関する知識の普及や啓発に努めた。今後も受動喫煙の防止対策を推進し、望まない受動喫煙が生じない環境づくりをめざしていく。

[実績及び成果]

(1) 受動喫煙防止対策事業費 667,861 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	豊橋市受動喫煙防止条例の全面施行 新規開設飲食店等へ受動喫煙防止に関する説明の実施 リーフレットやステッカーの作成、配布 事業所等への受動喫煙に関する啓発 受動喫煙防止対策を行う小規模飲食店への助成	新規開設飲食店等へ受動喫煙防止に関する説明の実施 リーフレットやステッカーの作成、配布 事業所等への受動喫煙に関する啓発

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 疾病対策費 <疾病の予防対策の推進>	412,298,555	17,296,684	0	9,240,200	385,761,671

1 成人保健予防事業費 353,262,120円 (健康増進課)

[総括]

生活習慣病を早期に発見し、健康寿命の延伸を図るため、各種がん検診と骨粗しょう症検診・歯周病検診等を実施した。コロナ禍においても、がん検診は不要不急ではなく、定期的な受診の重要性を啓発するとともに、引き続き集団検診会場において全ての種類のがん検診と特定健康診査を同時受診できる機会を増やし、利便性を高めることで受診率の向上に努めた。また、歯周病検診では、40歳と50歳を対象に未受診者勧奨を行ったことにより、受診率が向上した。今後も検診の体制充実や精度管理に努め、病気の早期発見や生活習慣の改善につなげられるよう、保健事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 生活習慣病予防事業費 35,365,500円

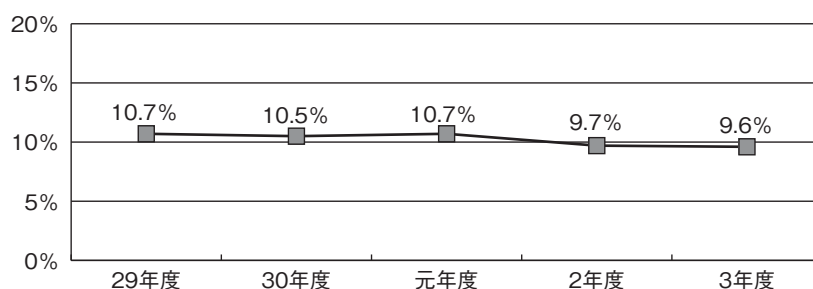
区 分	令和2年度	令和3年度
健康診査(生活保護受給者等)	173人	90人
骨粗しょう症検診	1,371	1,369
歯周病検診	2,148	2,333
眼科検診	1,267	1,437
肝炎ウイルス検査	804	625
集団健康教育	5コース	—

(2) がん予防事業費 317,896,620円

区 分	令和2年度	令和3年度
胃がん検診 (内:胃内視鏡検診)	7,190人 (3,339)	7,750人 (3,707)
大腸がん検診	19,390	19,935
肺検診(結核・肺がん)	22,350	22,665
子宮頸がん検診	8,602	8,154
子宮頸・体がん検診	885	930
乳がん検診	7,456	7,969
前立腺がん検診	1,148	1,127
がんセット検診(再掲)	3日間 176	13日間 965

[指 標]

指 標 名：がん検診受診率(肺がん、胃がん、大腸がん、子宮がん、乳がん検診分)
 指標説明：がん検診受診者数／検診対象者



2 精神保健対策事業費 1,385,336 円（健康増進課）

[総 括]

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、研修会等が中止又は縮小となり、受講者が減少したなかで、こころの不調で悩んでいる方とその家族が地域で安定した生活を送ることができるよう、精神科医師や保健師等の相談は規模を縮小することなく継続して行い、こころの健康の維持増進を図った。また、「豊橋市自殺対策計画」に基づき、ゲートキーパー研修や自殺対策、こころの健康の啓発等を実施した。今後も関係機関と連携し、相談体制の充実と自殺対策の推進を図っていく。

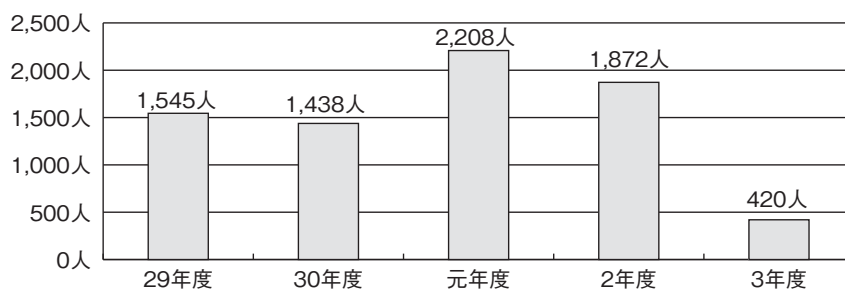
[実績及び成果]

(1) 精神保健対策事業費 1,385,336 円

区 分	令和2年度	令和3年度
研修等を実施した回数	55回	13回
研修等を受けた人数	1,872人	420人

[指 標]

指 標 名：研修等を受けた人数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5日 感染症対策費 <感染症対策の推進>	4,231,482,916	2,968,352,150	0	116,569,599	1,146,561,167

1 予防接種事業費 3,364,597,652 円 (健康政策課・感染症対策室)

[総括]

感染のおそれのある疾病の発生及びまん延の防止による、公衆衛生の向上を図るため、予防接種未接種者への個別通知を行うなど、接種を勧奨し、抗体保有率（接種率）の向上に努めた。HPV ワクチンの積極的勧奨が再開となったため、ワクチンの供給・接種体制等を踏まえ、対象者に個別通知を行い、確実な周知に努めた。今後も予防接種法の改正や感染症の動向に的確かつ迅速に対応するとともに、周知を図っていく。

[実績及び成果]

- (1) 予防接種事業費 3,364,597,652 円
 (ア) 予防接種委託料等 1,027,660,657 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
	接 種 人 員		接 種 人 員	
定 期 類	A 類	4 種 混 合	延 10,849人	延 10,111人
		D P T (3種混合)	延 0	延 0
		D T 2 期	3,140	2,994
		不 活 化 ポ リ オ	延 2	延 5
		麻 し ん ・ 風 し ん 混 合	5,862	5,577
		日 本 脳 炎	延 13,112	延 7,073
		B C G	2,639	2,505
		ヒ ブ	延 11,217	延 10,116
		小 児 用 肺 炎 球 菌	延 10,728	延 10,096
		子 宮 頸 が ん	延 1,044	延 1,769
		水 痘	延 5,616	延 4,982
		B 型 肝 炎	延 8,045	延 7,504
		風 し ん (追加対策)	1,738	882
		ロ タ ウ イ ル ス	延 2,778	延 6,565
B 類	インフルエンザ	71,543	64,254	
	高齢者用肺炎球菌	3,409	2,592	
任 意	ロ タ ウ イ ル ス	延 3,762	—	
	お た ふ く か ぜ	5,071	4,112	
	風 し ん (成人)	583	492	
	麻 し ん (追加対策)	140	83	
	インフルエンザ(こども)	26,235	—	

- (イ) 特別の理由による任意予防接種費補助金 44,000 円

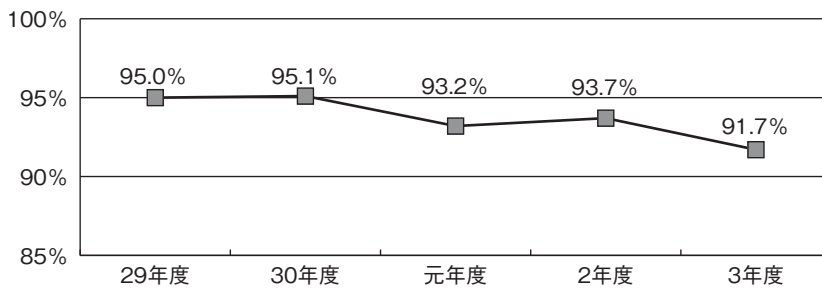
補 助 金	令和2年度		令和3年度	
		延 9人	67,320円	延 4人

- (ウ) 新型コロナウイルスワクチン接種事業費 2,336,892,995 円

新型コロナウイルス(臨時)	令和2年度		令和3年度	
		—		延 632,934人

[指 標]

指 標 名：定期A類(20歳未満)予防接種率
指 標 説 明：接種人員／接種対象者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 母子保健推進費 <母子保健の推進>	739,865,426	167,264,967	0	1,098,000	571,502,459

1 母子保健対策事業費 621,874,294 円 (こども保健課)

[総括]

産後ケア事業の利用日数が、対象拡大や周知の促進により増加した。また不妊治療への周知も進み、特定不妊治療費補助金、一般不妊治療費補助金ともに交付件数が増加した。妊娠をしても流産や死産を繰り返す方に対し、保険適用外の不育症検査費への助成を開始した。

今後も、安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりのため、母子保健事業の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 妊産婦保健事業費 333,538,674 円

区 分		令和2年度		令和3年度	
母子健康手帳の交付		2,771冊		2,677冊	
妊婦健康診査		延32,460人		延30,863人	
妊産婦歯科健康診査		1,257		1,311	
産婦健康診査		延 4,846		延 4,913	
女性の健康支援事業		10回	延 1,132	14回	延 2,419
特定妊婦産科受診支援事業		2		3	
産前・産後サポート	パートナー型	延 374		延 421	
	参加型	7回	延 81件	9回	延 64件
妊娠・出産・子育て総合相談窓口		延 3,920		延 3,231	
不妊・不育専門相談センター		延 65		延 51	
産後ケア事業		延 595日		延 968日	
多胎妊産婦等サポーター派遣事業		—		延 0回	

(2) 乳幼児保健事業費 117,590,766 円

区 分		令和2年度		令和3年度	
乳児健康診査		延 5,149人		延 4,853人	
新生児聴覚検査		2,408		2,210	
4か月児健康診査		45回	2,701	44回	2,494
1歳6か月児健康診査		41	2,819	44	2,657
3歳児健康診査		40	2,959	45	3,164
2歳児歯科健康診査		1,623		1,574	
未熟児・ハイリスク児等訪問指導		延 4,882		延 3,809	
養育支援訪問指導		延 1,051		延 1,518	
産婦・新生児訪問指導		76件		84件	
乳児家庭全戸訪問		1,812		1,742	
乳幼児健康診査事後相談		42回	延 623	45回	延 641
乳幼児健康診査事後教室		30	延 459	33	延 369
離乳食講習会		40	延 372人	47	延 388人
乳幼児期からの食育活動		0	0	2	17

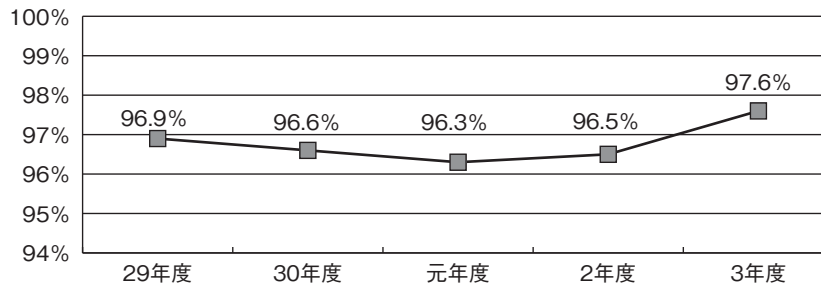
(3) 不妊不育対策事業費 170,744,854 円

区 分	令和 2 年度		令和 3 年度	
特定不妊治療費補助金	延 496件	128,994,282円	延 657件	164,112,023円
一般不妊治療費補助金	延 103	2,326,540	延 150	3,569,928
不育症検査費補助金	—		延 1	50,000

[指 標]

指 標 名：健診受診率

指標説明：4か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査の受診者数／4か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査の対象者数



※分母を、令和 2 年度以前は年度当初の対象者数、3 年度以降は当該月の対象者数の合計とする。

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 保健医療体制費 <保健医療体制の充実>	860,183,034	316,023,317	0	16,440,155	527,719,562

1 看護専門学校事業費 272,901,934 円 (健康政策課)

[総括]

地域医療サービスを推進するため、看護師の養成を目的に学生指導の充実に努めた。また令和3年度は、臨床判断能力の育成のためのハイブリッドシミュレータを1台導入し、コロナ禍で、触診、聴診などの身体的接触を制限される中、学内実習において活用できるようにした。今後も地域医療の推進のため、看護師資格取得者数の増加をめざす。

[実績及び成果]

(1) 看護専門学校管理運営事業費 43,947,617 円

[運営状況]

区 分		令和2年度	令和3年度
看護第1科	学 生 数	115人 (定員120人)	116人 (定員120人)
	課 程	3年課程全日制	3年課程全日制
	修 業 年 限	3年	3年
看護第2科	学 生 数	113人 (定員120人)	118人 (定員120人)
	課 程	2年課程定時制	2年課程定時制
	修 業 年 限	3年	3年

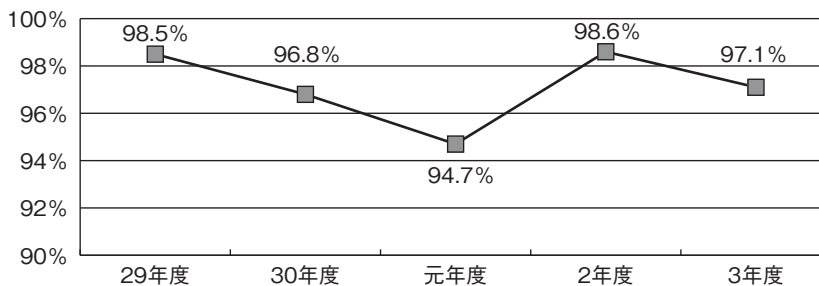
(ア) 非常勤講師報酬 4,905,000 円

(イ) 管理運営費 39,042,617 円

[指標]

指標名：看護師国家試験合格率

指標説明：資格取得者数／看護第1科・看護第2科の受験者数



2 地域医療対策事業費 181,730,640 円（健康政策課）

[総括]

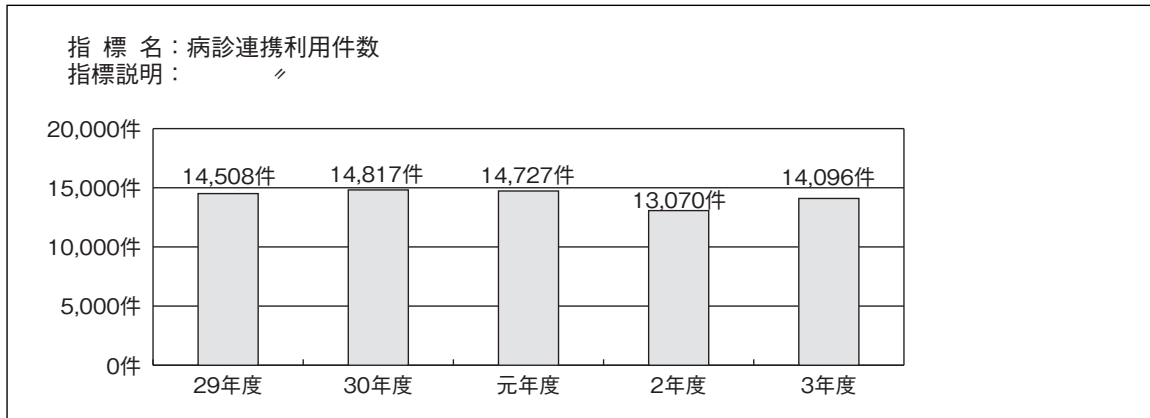
病院と診療所の機能分担を考慮した迅速かつ適切な医療サービスの提供を図るため、医師会の事業に対し助成を行った。今後も医師会と基幹病院との連携を深め地域医療体制の充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 地域医療対策事業補助金 3,000,000 円

補助金	令和2年度	令和3年度
	3,000,000 円	3,000,000 円

[指標]



3 休日夜間診療対策事業費 398,985,020 円（健康政策課）

[総括]

第1次救急医療として、休日夜間急病診療所及び、休日夜間・障害者歯科診療所で初期医療等に対応するとともに、医師会等に助成することにより在宅輪番による緊急医制度を実施した。また、第2次救急医療として、東三河平坦部（4市）の病院群輪番により重症患者を受け入れた。さらに、休日・夜間における急病等に対応できるよう救急医療情報の照会、医療の確保に努めた。今後も第1次及び第2次救急医療体制を確保するため、医療機関との連携強化を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 休日夜間急病診療所管理運営事業費 315,544,138 円

[診療状況]

区分		令和2年度	令和3年度
患者数		6,246人	7,806人
内訳	内科	3,674	3,534
	小児科	2,572	4,272

〔時間帯別診療状況〕

区 分		令和2年度	令和3年度
昼 (休日)	診 療 日 数	71日	71日
	患 者 数	2,253人	3,088人
	1日当たりの患者数	32	43
夜 (毎日)	診 療 日 数	365日	365日
	患 者 数	3,993人	4,718人
	1日当たりの患者数	11	13

(ア) 指定管理料 314,231,274 円

(イ) 施設管理費 1,312,864 円

(2) 休日夜間・障害者歯科診療所管理運営事業費 36,288,492 円

〔診療状況〕

区 分		令和2年度	令和3年度
休日・夜間	診 療 日 数	365日	365日
	患 者 数	1,051人	1,017人
	1日当たりの患者数	3	3
障害者	診 療 日 数	49日	49日
	患 者 数	381人	387人
	1日当たりの患者数	8	8

(ア) 指定管理料 36,250,212 円

(イ) 施設管理費 38,280 円

(3) 休日夜間診療対策事業費 9,458,540 円

(ア) 休日夜間診療対策推進費補助金 9,413,540 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
	患者数	補助金	患者数	補助金
医 師 会	12,905人	9,281,000円	14,757人	9,275,540円
柔 道 整 復 師 会	184	138,000	146	138,000
計	13,089	9,419,000	14,903	9,413,540

(イ) 休日夜間診療対策事務費 45,000 円

(4) 愛知県救急医療情報システム運営事業費 106,120 円

運 営 費 負 担 金	令和2年度	令和3年度
	106,082円	106,120円

(5) 救急医療第2次病院運営事業費 37,474,980 円

〔救急医療第2次病院の診療状況〕

区 分	令和2年度	令和3年度
医 療 機 関 数	7機関	7機関
回 数	437回	437回
患 者 数	3,340人	3,639人
1回当たりの患者数	8	8

(6) 適正受診普及啓発事業費

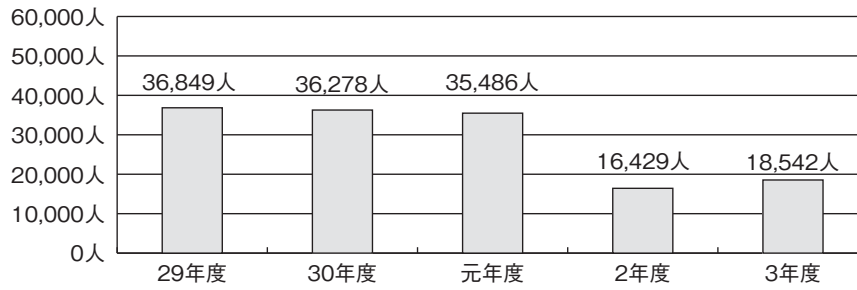
112,750 円

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
	啓発グッズ (小児救急ガイドブック) の作成及び配布	啓発グッズ (小児救急ガイドブック) の作成及び配布

[指 標]

指 標 名：第 1 次・第 2 次救急医療利用者数

指標説明：第 1 次救急医療患者数 + 第 2 次救急医療患者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 災害時医療体制費 <保健医療体制の充実>	2,103,933	0	0	0	2,103,933

1 医療救護活動事業費 2,103,933円 (健康政策課)

[総括]

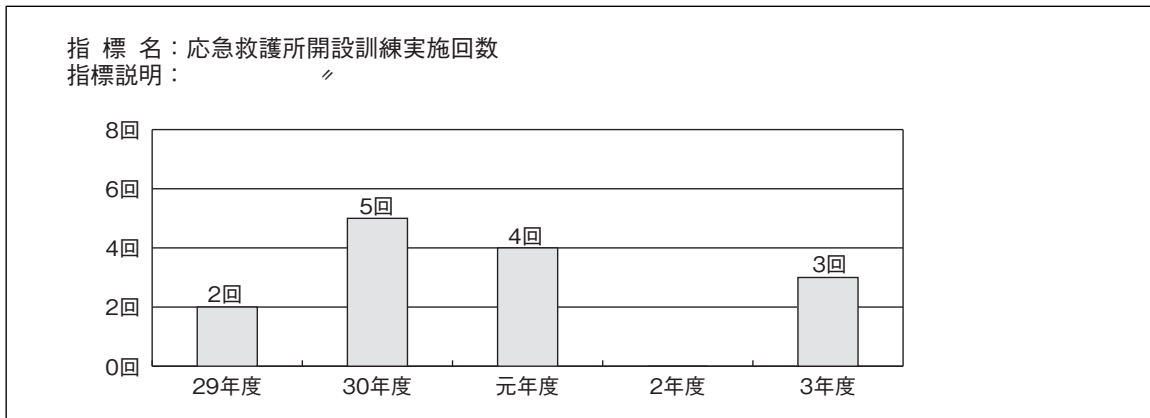
大規模災害時に迅速な医療救護活動を行うため、医師会、歯科医師会及び薬剤師会の三師会を始めとした関係機関との連携・協力のもと、住民参加の応急救護所開設訓練を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響から自治会主体の縮小した内容で開催した。また、連絡体制の整備として、LINEWORKSを活用し、各機関との情報連携の強化を図った。さらに、小学生を対象にまちづくり出前講座を開催し、災害時の医療体制について啓発を行った。今後も大規模災害時の初動体制の確立のため、情報収集と連絡体制の強化とともに市民への啓発に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 医療救護活動事業費 2,103,933円

内 容	令和2年度	令和3年度
	校区防災訓練等での啓発 2回 ※うち1回は、感染症を考慮した 避難所開設訓練を実施 LINEWORKSの導入	3回 ※新型コロナの影響により自治会 主体の縮小した内容で実施 LINEWORKSを活用 保健医療衛生班の活動体制の整備 まちづくり出前講座の開催 7回

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 環境衛生対策費 <環境衛生対策の推進>	9,531,160	122,000	0	0	9,409,160

1 環境衛生指導事業費 3,590,060円 (生活衛生課)

[総括]

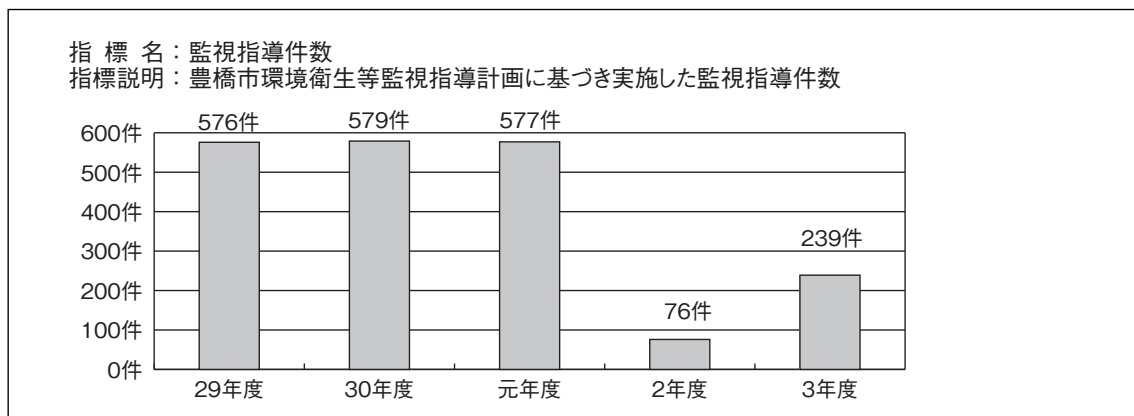
令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、環境衛生施設に対する立入検査が困難であったため、書面等を活用した監視指導に努めた。また、集客施設における新型コロナウイルス対策として、空気環境測定や換気指導を行う「換気の見える化事業」を実施した。今後も、環境衛生施設等の衛生向上のため「豊橋市環境衛生等監視指導計画」に基づく監視指導の実施及び「換気の見える化事業」の推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 営業施設等指導事業費 3,590,060円

区 分	令和2年度	令和3年度
監視指導件数	76件	239件

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 斎 場 費 ＜斎場の円滑な運営並びに墓地の適切な管理＞	390,444,489	156,000	145,500,000	41,717,198	203,071,291

1 斎場事業費 390,444,489円 (福祉政策課)

[総括]

令和3年4月よりPFI豊橋市斎場株式会社を指定管理者とする新たな斎場の供用を開始し、既存施設の解体撤去、駐車場整備をすべて完了した。今後は、指定管理者のノウハウ等を活用し円滑な運営を行っていく。

[実績及び成果]

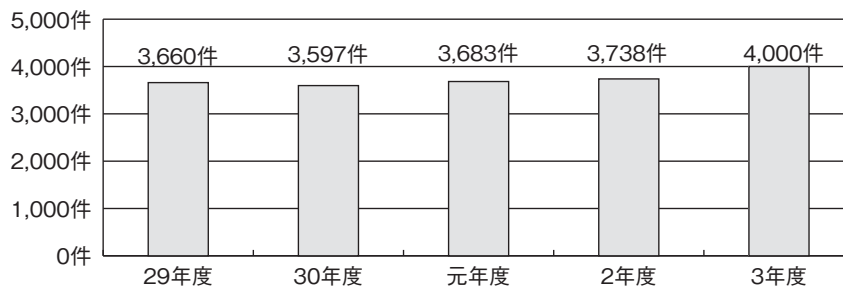
(1) 斎場管理運営事業費 390,444,489円

[斎場使用状況]

区 分		令和2年度	令和3年度
火 葬	大 人	3,732体	3,994体
	小 人	6	6
	計	3,738	4,000
	死 産 児	48	37
	愛 玩 動 物	1,588件	1,782件
多 目 的 室	—	1	
遺 体 安 置 室	0	29	

[指標]

指標名：斎場火葬件数
指標説明：大人及び小人の火葬件数の合計



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11日 墓 苑 費 〈斎場の円滑な運営並びに墓地の適切な管理〉	78,555,429	0	0	23,384	78,532,045

1 墓苑事業費 78,555,429円 (福祉政策課)

[総括]

向山霊苑をはじめ市営墓地5か所の適正な維持管理を行った。また、東細谷墓地については擁壁修繕を行い、利用環境の改善に努めた。今後も墓地需要の把握と、利用者が快適に使用できるよう墓地の適正な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

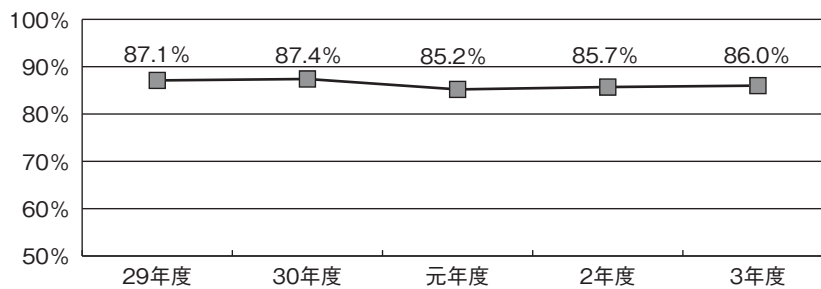
(1) 市営墓地管理運営事業費 (墓地区画数 12,426 区画) 78,555,429円

[墓地使用許可状況]

区 分		令和2年度	令和3年度
向山霊苑	普通墓地 (再貸出)	45区画	26区画
梅田川霊苑	普通墓地	36	26
飯村墓地	普通墓地 (再貸出)	22	23
	修景墓地 (再貸出)	2	0
	納骨堂	1年許可	26室
3年許可		17	22
野依台墓地	普通墓地 (再貸出)	0区画	3区画
東細谷墓地	普通墓地 (再貸出)	3	1

[指標]

指標名：墓地貸出率
指標説明：貸出済数 / 全体区画数



※令和元年度に返還区画の再整備を実施したため、91区画増加

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
12目 動物愛護管理推進費 <動物愛護管理の推進>	28,882,862	0	0	97,200	28,785,662

1 動物管理指導事業費 28,882,862 円 (生活衛生課)

[総括]

「豊橋市動物愛護管理推進計画」に基づき、狂犬病の発生防止対策や動物の愛護管理に関する普及啓発を行った。令和3年度は、飼い主のいない猫の増加を抑制するため、地域猫不妊去勢手術費補助金の申請手続きの簡略化や補助頭数を増加するなど支援を拡充した。また、動物愛護行政の総合的な拠点となる動物愛護センターの整備に向けて、先進自治体などの施設調査を行ったほか、「豊橋市動物愛護センター(仮称)基本計画」を策定した。

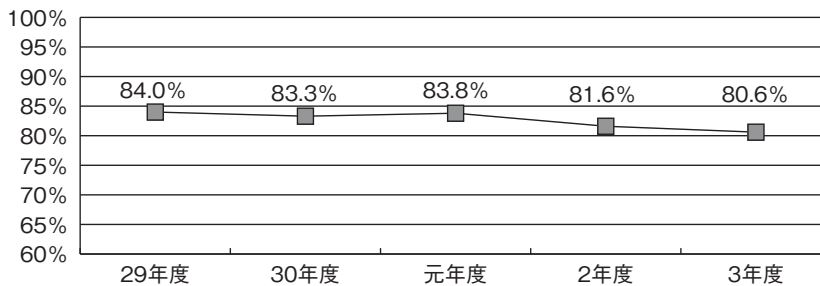
[実績及び成果]

(1) 動物管理指導事業費 28,882,862 円

区 分		令和2年度	令和3年度
犬 登 録 頭 数		23,400頭	23,432頭
狂犬病予防注射実施頭数	集合注射	366	1,313
	診療施設	18,725	17,581
	計	19,091	18,894
狂 犬 病 予 防 注 射 実 施 率		81.6%	80.6%
地 域 猫 不 妊 去 勢 手 術 補 助 金		102頭 840,000円	184頭 1,445,000円
譲 渡 率	犬	70.6%	35.7%
	猫	58.8	40.5
動 物 愛 護 講 習 等 へ の 参 加 者 数		546人	895人

[指 標]

指 標 名：狂犬病予防注射実施率
 指標説明：狂犬病予防注射実施頭数／犬登録頭数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
13目 食品安全対策費 <食品の安全対策の強化>	55,472,931	245,000	0	0	55,227,931

1 食品衛生指導事業費 15,384,776 円 (生活衛生課)

[総括]

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により食品等事業者に対する監視指導件数は低下したものの、豊橋市ええじゃないか HACCP 推進事業の継続実施により事業者の自主衛生管理を支援し、食中毒や異物混入等の食品事故防止を図った。改正食品衛生法が3年をもって完全施行され、原則すべての食品等事業者において HACCP に沿った衛生管理の実施が義務付けられた。今後も、「豊橋市食品衛生監視指導計画」に基づき、食品衛生の確保に努める。

[実績及び成果]

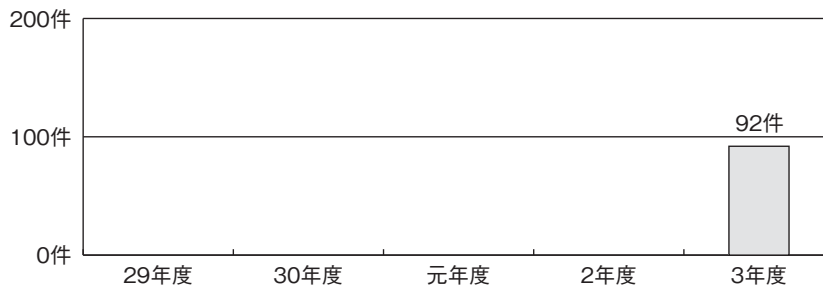
(1) 食品衛生指導事業費 15,384,776 円

区 分		令和2年度	令和3年度
監視指導件数		3,301件	2,893件
H A C C P 衛生監視件数		—	92
豊橋市ええじゃないか HACCP推進事業	相談窓口対応施設数	12施設	13施設
	導入確認施設数	5	8

[指標]

指標名：HACCP衛生監視件数

指標説明：豊橋市食品衛生監視指導計画に基づき実施した監視指導件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
14目 食肉検査費 <食品の安全対策の強化>	180,140,543	264,000	0	86,337,910	93,538,633

1 食肉衛生検査指導事業費 170,494,284 円 (食肉衛生検査所)

[総括]

株式会社東三河食肉流通センターに搬入される獣畜のと畜検査、食肉中の残留動物用医薬品等検査を実施した。と畜検査情報は、健康な家畜生産のため、生産現場へ還元した。

また、令和3年6月より、HACCPに沿った衛生管理が義務化されたことに伴い、微生物試験や監視によりと畜場の衛生管理状況を検証し、その結果に応じ改善指導した。

今後も検査体制の充実を図るとともに、衛生管理状況の監視指導を継続することで、と畜場の衛生水準を高め、市民が安心して消費することができる安全で衛生的な食肉の供給を図る。

[実績及び成果]

(1) 食肉安全管理事業費 49,894,182 円

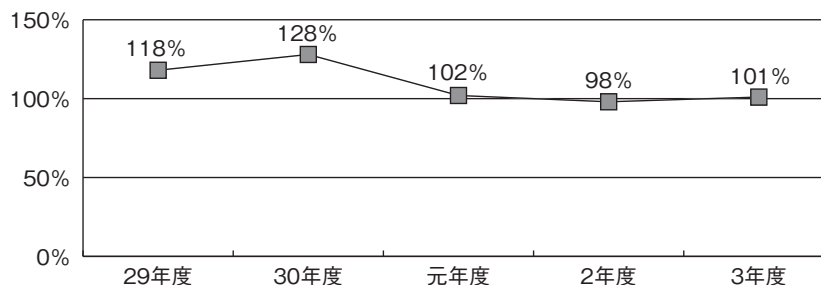
区 分		令和2年度	令和3年度	
と畜検査	検査頭数	178,316頭	207,905頭	
	内訳	牛	7,908	7,628
		馬	0	0
		豚	170,405	200,275
		めん羊	0	1
山羊		3	1	
残留動物用医薬品等検査	検査件数	11,053件	13,632件	

(2) と畜場衛生指導事業費 2,043,044 円

区 分	令和2年度	令和3年度
微生物試験件数	40件	240件
監視回数	245回	244回

[指標]

指標名：「豊橋市食品衛生監視指導計画」達成率(食肉衛生検査所分)
 指標説明：「豊橋市食品衛生監視指導計画」に基づく監視等の実施件数/同計画件数(食肉衛生検査所分)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 環 境 費	6,054,350,525	37,954,000	34,200,000	970,822,308	5,011,374,217
2目 低炭素型社会促進費 <低炭素型社会の促進>	17,413,420	50,000	0	0	17,363,420

1 低炭素型社会推進事業費 6,260,670 円 (ゼロカーボンシティ推進課)

[総括]

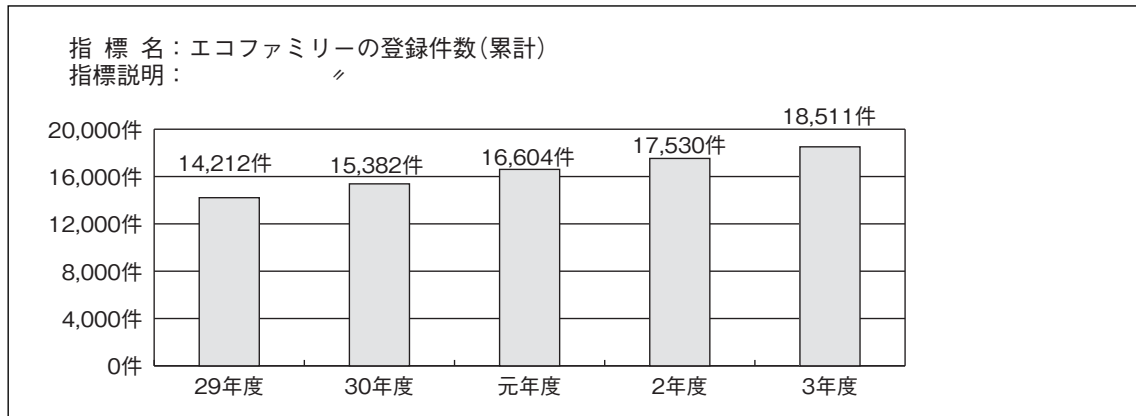
地球温暖化対策を推進するため、エコファミリー制度による節電・省エネ実践行動への支援を行い、市民の省エネ意識の向上を図るとともに、公共施設においても緑のカーテンの設置や屋上緑化など節電・省エネ対策に取り組んだ。今後も効果的な節電・省エネ対策の啓発を行い、地球温暖化対策の推進を図っていく。

[実績及び成果]

区 分	令和2年度	令和3年度
エコファミリー登録件数	926件	981件
節電・省エネチャレンジ キャンペーン参加件数	478	458
公共施設における緑の カーテンの設置箇所数	119施設	125施設

- (1) 低炭素型社会管理事務費 3,085,244 円
- (2) 低炭素型社会活動事業費 3,175,426 円

[指標]



2 次世代自動車等普及促進事業費 11,140,000 円（ゼロカーボンシティ推進課）

[総括]

化石燃料の消費を抑制し、自動車からの温室効果ガスの排出量を削減するため、市民・事業者が購入する次世代自動車等（電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車など）の費用の一部を助成し、次世代自動車等の普及促進を図った。今後も国・県の動向や社会情勢を勘案しながら市民・事業者のニーズに合った助成制度を進めていく。

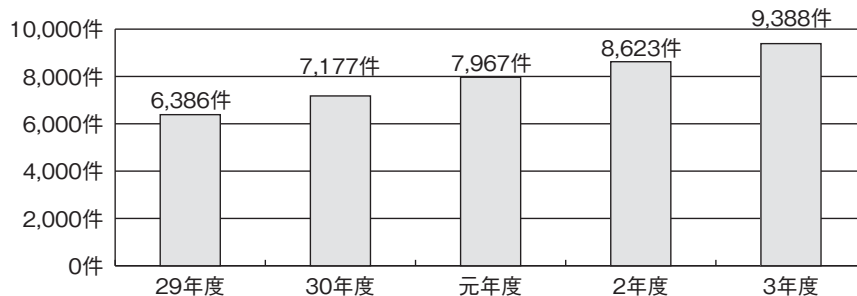
[実績及び成果]

(1) 次世代自動車購入等補助金 11,140,000 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
	件数	金額	件数	金額
電 気 自 動 車	12件	720,000円	33件	1,980,000円
プラグインハイブリッド自動車	31	930,000	58	1,740,000
燃 料 電 池 自 動 車	3	600,000	9	1,800,000
住 宅 用 充 給 電 設 備	4	400,000	4	200,000
外部給電装置同時購入加算	0	0	0	0
太陽光発電システム設置済み加算	3	60,000	8	160,000
電 動 バ イ ク	3	60,000	3	60,000
電動アシスト自転車	600	7,200,000	650	5,200,000

[指 標]

指 標 名：電気自動車、電動バイク、電動アシスト自転車購入等への助成件数(累計)
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 再生可能エネルギー利用促進費 <再生可能エネルギーの利用促進>	46,511,665	8,552,000	0	1,525,000	36,434,665

1 再生可能エネルギー活用推進事業費 8,772,665円 (ゼロカーボンシティ推進課)

[総括]

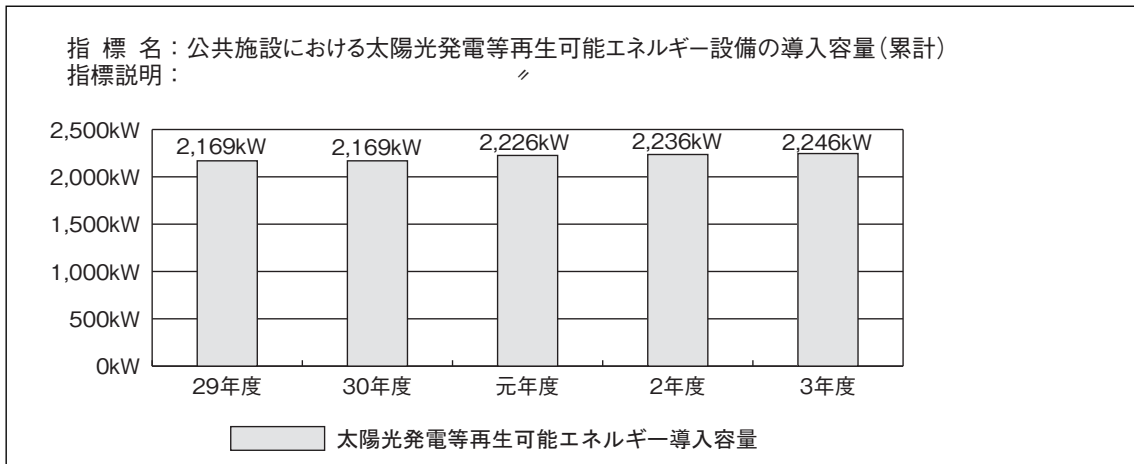
温室効果ガスの排出削減に寄与する再生可能エネルギーの導入促進や効率的な利用を推進するため、市民を対象とするアンケート調査及び分析を実施した。また、エネルギーの地産地消の推進を図るため、次世代自動車等を活用したイベントを開催したほか、公共施設のうち市民館等を対象とした民設・民営による太陽光パネル設置（PPA事業）の公募を実施した。今後も再生可能エネルギーの活用及びエネルギーの地産地消を推進していくため、公共施設への再生可能エネルギーの導入のほか、市民・事業者に対するより効果的な普及啓発に取り組んでいく。

[実績及び成果]

- (1) 再生可能エネルギー活用推進事業費 6,495,825円
- (2) エネルギー地産地消推進事業費 2,276,840円

区 分		令和2年度	令和3年度
太陽光発電等再生可能エネルギー設備を導入した公共施設	施 設 数	1施設	1施設
	導 入 容 量	10kW	10kW

[指 標]



2 再生可能エネルギー導入促進事業費 37,739,000 円（ゼロカーボンシティ推進課）

[総括]

家庭からの温室効果ガスの排出量を削減するため、住宅への創エネ・蓄エネ・省エネ設備の導入に対し設置費用の一部を助成し、再生可能エネルギーの普及及びエネルギーの地産地消の促進を図った。今後も国・県の動向や社会情勢を勘案しながら市民・事業者のニーズに合った助成制度を進めていく。

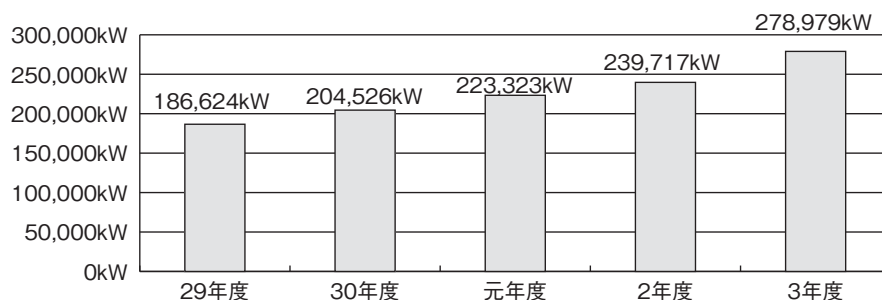
[実績及び成果]

(1) 家庭用エネルギー設備等導入費補助金 37,739,000 円

区 分	令和 2 年度		令和 3 年度	
太陽光発電システム	45件	2,483,000円	59件	2,652,000円
燃料電池	143	5,720,000	115	4,600,000
リチウムイオン蓄電池	177	10,482,000	202	12,697,000
ペレットストーブ	0	0	1	30,000
太陽熱利用設備	15	320,000	16	340,000
地中熱利用設備	2	200,000	5	500,000
ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (ZEH)	50	10,000,000	48	7,680,000
一体的導入	68	10,880,000	77	9,240,000

[指標]

指標名：再生可能エネルギー施設の設置容量(累計)
 指標説明：市域の再生可能エネルギー施設の設置容量の合計 kW(累計)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 気候変動適応策推進費 <気候変動への適応策の推進>	1,706,344	0	0	1,156,000	550,344

1 気候変動適応策推進事業費 1,706,344円 (ゼロカーボンシティ推進課)

[総括]

気候変動による環境への影響に関心を持ち理解を深めるため、「とよはし版クールチョイス」による普及啓発をはじめ、家庭でできる地球温暖化に対する緩和策や適応策の実践事例等を紹介した啓発用パネルを活用したイベントを開催した。今後も市民・事業者への「気候変動への適応」に関する理解度を深めるため、継続してイベント等により普及啓発を図っていく。

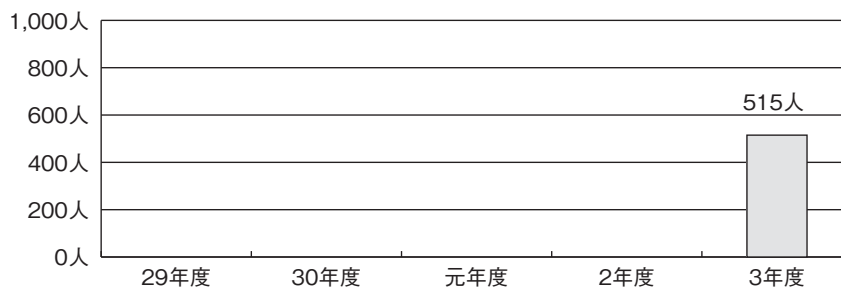
[実績及び成果]

(1) 気候変動適応策推進事業費 1,706,344円

区 分	令和2年度	令和3年度
参 加 人 数	—	515人
開 催 回 数	—	2回

[指標]

指標名：気候変動適応策普及啓発イベント参加人数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 生物多様性保全費 <生物多様性の保全>	4,494,896	0	0	0	4,494,896

1 自然環境保全対策事業費 4,494,896円 (環境保全課)

[総括]

多様な自然環境や生態系の保全を進めるため、表浜海岸に上陸・産卵するアカウミガメの実態調査並びにトンボ、メダカ及び希少植物のモニタリング調査等を実施するとともに、ボランティア等とも連携し、表浜自然観察会、自然環境啓発冊子の頒布及びアカウミガメ保護啓発用チラシ(日本語版・外国語版)の作成・配布など生物多様性保全活動を行ったほか、アルゼンチンアリ等の外来種駆除活動を行った。汐川干潟の保全に関しては、田原市と連絡会や自然観察会を開催したほか、地元中学校・自然保護団体などとともに汐川干潟の保全実践活動を実施した。今後も、自然環境及び生物多様性の保全に努めていく。

[実績及び成果]

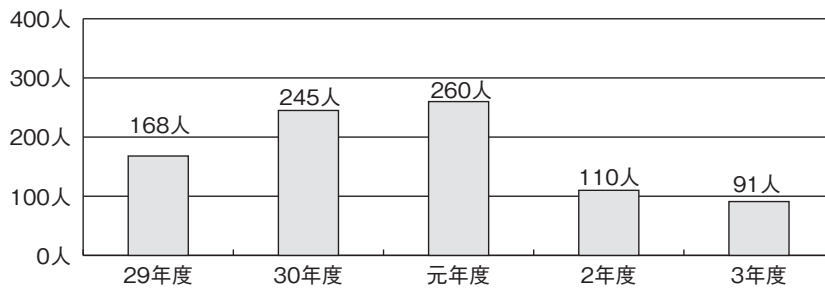
(1) 自然環境保全推進事業費 4,494,896円

区 分	令和2年度	令和3年度
アカウミガメ実態調査	上陸期間 6.3~8.28 上陸回数 47回 産卵巣数(産卵成功率) 12巣(26%)	上陸期間 6.15~8.22 上陸回数 16回 産卵巣数(産卵成功率) 8巣(50%)
アカウミガメ保護啓発イベント	・表浜自然観察会 開催1回 参加者数 49名 ・竜宮探検 開催1回 参加者数 15名	・表浜自然観察会 開催1回 参加者数 42名 ・530のまち環境フェスタ 開催1回 参加者数 1,200名
生態系ネットワークづくり懇話会	開催2回	開催2回
有害鳥獣捕獲許可	102件	135件
愛がん飼養登録	0	0
汐川干潟自然観察会	開催1回 参加者数 46人	開催1回 参加者数 49人
汐川干潟保全連絡会	1回	2回(うち、1回は書面開催)
汐川干潟保全実践活動	地元の中学校や保護団体との協働による干潟保全実践活動及び連携サポート	地元の中学校や保護団体との協働による干潟保全実践活動及び連携サポート
自然環境啓発等	自然環境啓発冊子頒布、とよはしネイチャースポット保全マニュアルによる情報発信	自然環境啓発冊子頒布、環境月間パネル展示及び懸垂幕掲示
外来種駆除対策	アルゼンチンアリ調査・薬剤駆除	アルゼンチンアリ調査・薬剤駆除

[指 標]

指 標 名：自然環境保全啓発活動参加者数

指標説明：汐川干潟自然観察会参加者数+表浜自然観察会参加者数+竜宮探検参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 環境対策費 <大気・水環境の保全>	92,716,525	14,263,000	0	1,072,000	77,381,525

1 発生源対策推進事業費 8,423,703 円 (環境保全課)

[総括]

大気汚染防止法、水質汚濁防止法等に基づく規制対象工場・事業場に対し立入検査を実施し、規制基準の遵守状況の確認と基準超過の工場・事業場への指導を行った。今後も工場・事業場に対し、規制基準を遵守するよう指導・啓発を行っていく。

[実績及び成果]

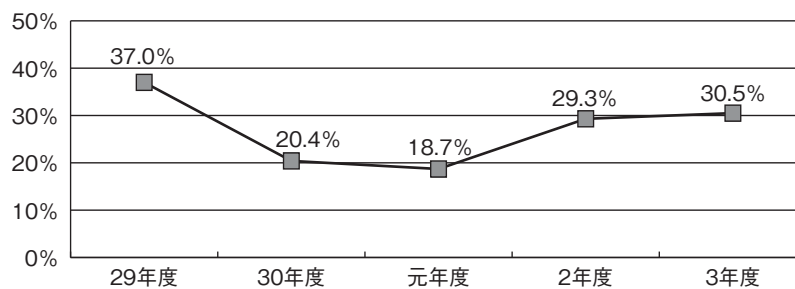
(1) 事業場監視指導事業費 8,423,703 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
立 入 件 数	大気関係	94件	大気関係	109件
	悪臭関係	23	悪臭関係	29
	騒音・振動関係	40	騒音・振動関係	45
	水質関係	233	水質関係	225
	土壌関係	9	土壌関係	7

[指 標]

指 標 名：立入検査実施率

指標説明：立入検査実施工場・事業場数 / 前年度末の大気汚染防止法、水質汚濁防止法等の届出工場・事業場件数



2 環境調査事業費

49,813,996 円（環境保全課）

〔総括〕

生活環境の保全と健康の保護を図るため、環境汚染物質の調査測定を実施した。今後も複雑、多様化する環境汚染物質への対応を図るとともに、環境監視体制を精査し、効率的かつ効果的な調査測定に努めていく。

〔実績及び成果〕

(1) 大気環境調査事業費

26,855,785 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
	調査場所	調査項目	調査場所	調査項目
大気汚染常時監視測定	今橋町 始め6か所	二酸化硫黄(3か所)、二酸化窒素(5か所)、浮遊粒子状物質(6か所)、光化学オキシダント(5か所)、一酸化炭素(1か所)、風向・風速(6か所)、微小粒子状物質(5か所)、微小粒子状物質成分(1か所)等	今橋町 始め6か所	二酸化硫黄(3か所)、二酸化窒素(5か所)、浮遊粒子状物質(6か所)、光化学オキシダント(5か所)、一酸化炭素(1か所)、風向・風速(6か所)、微小粒子状物質(5か所)、微小粒子状物質成分(1か所)等
有害大気汚染物質調査	今橋町 大崎町 大岩町	ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、水銀、ニッケル等	今橋町 大崎町 大岩町	ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、水銀、ニッケル等
ダイオキシン類環境調査	今橋町 大崎町 原町	ダイオキシン類	今橋町 大崎町 原町	ダイオキシン類

備品購入	令和2年度	令和3年度
	エアサンプリングポンプ 6台	微風向風速計発信器 2台

(2) 水環境調査事業費

19,823,211 円

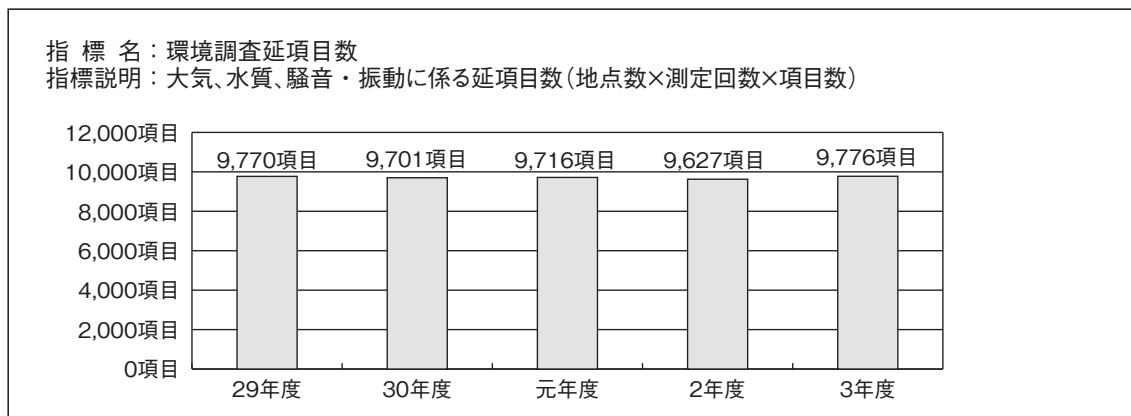
区 分	令和2年度		令和3年度	
	調査場所	調査項目	調査場所	調査項目
河 川	28 河川 33 か所	pH、DO、BOD、SS等	28 河川 33 か所	pH、DO、BOD、SS等
海 域	新西浜沖 始め4か所	pH、DO、COD等	新西浜沖 始め4か所	pH、DO、COD等
地 下 水	向山大池町 始め6か所	カドミウム、全シアン等	向山大池町 始め6か所	カドミウム、全シアン等
ダイオキシン類環境調査	水質6か所 土壌2か所	ダイオキシン類	水質7か所 土壌1か所	ダイオキシン類

備品購入	令和2年度	令和3年度
	光学式溶存酸素計 1台	採水用水中ポンプ 1式

(3) 生活環境調査事業費 3,135,000 円

区 分	令和 2 年度		令和 3 年度	
	調 査 場 所	調 査 項 目	調 査 場 所	調 査 項 目
自 動 車 騒 音 等 測 定	環境基準の調査9か所 要請限度の調査4か所	自動車騒音レベル、 道路交通振動レベル等	環境基準の調査8か所 要請限度の調査4か所	自動車騒音レベル、 道路交通振動レベル等

[指 標]



3 環境保全推進事業費 730,789 円 (環境保全課)

[総 括]

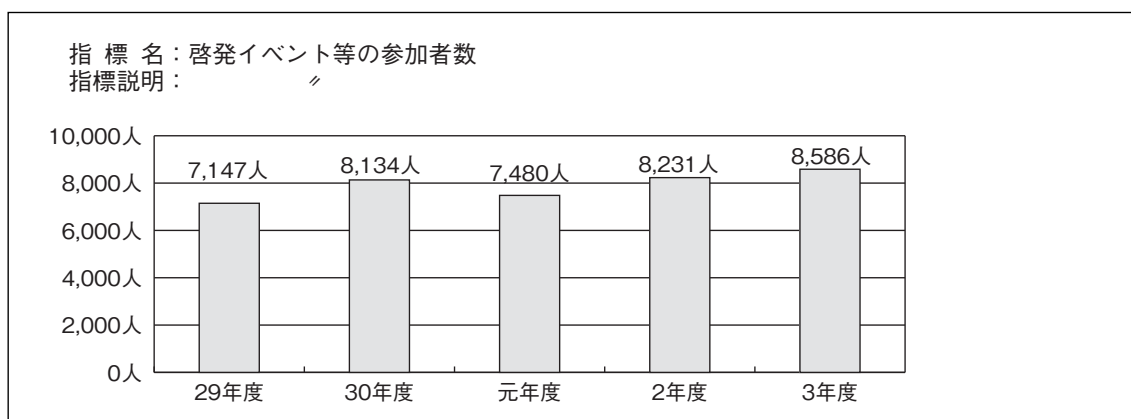
大気環境の保全のため、市民や協定締結事業者等に対し、エコドライブなどの大気汚染防止啓発を行った。また、三河湾を含めた水環境を保全するために、環境イベント等において、日常生活における排水対策の必要性を啓発した。今後も市民や企業などが、主体的に環境保全対策に取り組み、大気環境や水環境の保全に関する意識がより浸透するよう事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 環境保全啓発事業費 730,789 円

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
大気環境保全啓発	エコドライブ等の推進 ・事業者等への啓発 123事業所 ・公用車へ啓発用マグネット貼付242台	エコドライブ等の推進 ・事業者等への啓発 123事業所 ・530のまち環境フェスタ内での啓発 ・公用車へ啓発用マグネット貼付256台
水環境保全啓発	啓発イベント等の参加者数 8,231 人 ・豊橋まつり ・カーフリーデー2020 ・その他講習会・イベント	啓発イベント等の参加者数 8,586 人 ・530のまち環境フェスタ ・カーフリーデー2021 ・その他講習会・イベント

[指標]



4 浄化槽対策事業費 30,088,400 円（廃棄物対策課）

[総括]

水環境の保全の観点から生活排水の適正処理を図るため、単独処理浄化槽及び汲み取り槽から合併処理浄化槽への転換者に対して設置費の一部を助成した。また、浄化槽台帳整備のため、浄化槽の設置状況の調査を行うとともに、浄化槽の適正な維持管理に関する指導啓発を実施した。

[実績及び成果]

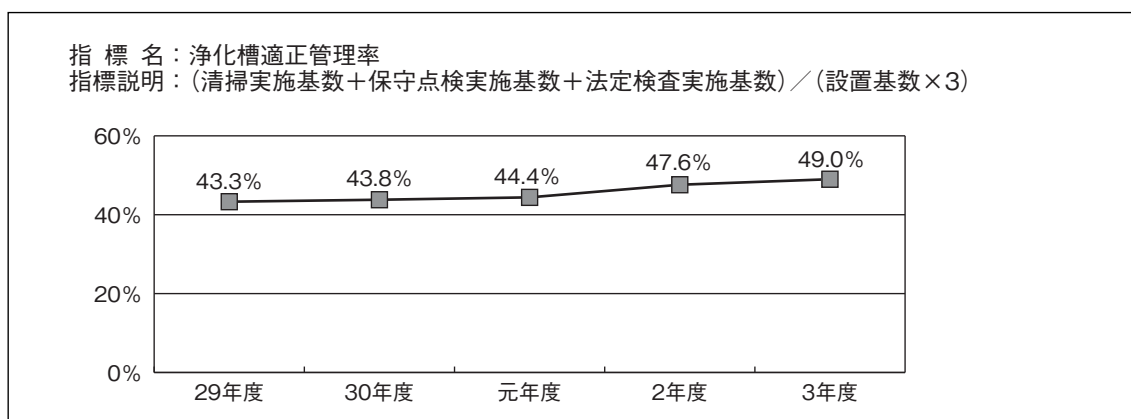
(1) 浄化槽指導事業費 11,381,400 円

内 容	令和2年度	令和3年度	比 較
浄化槽設置届等	599件	646件	7.9%
法定検査指導	300	3,921	13.0倍

(2) 浄化槽設置費補助金 18,707,000 円

内 容		令和2年度	令和3年度
浄化槽設置費補助	基数	39基	36基
	金額	16,904,000円	16,277,000円
単独処理浄化槽撤去費補助	基数	20基	27基
	金額	1,800,000円	2,430,000円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 ごみ減量推進費 <ごみ減量・リサイクルの推進>	54,415,776	1,462,000	0	7,166,170	45,787,606

1 ごみ減量推進事業費 54,415,776円 (ゼロカーボンシティ推進課)

[総括]

ごみの分別収集のさらなる促進のため、ごみの分別や収集日を案内するサービス「ゴミ丸」を、スマートスピーカー版に加え、新たに「LINE」版で提供を開始した。また、まだ食べられる食品が捨てられてしまう状況を把握するため、市内の事業者を対象に食品廃棄の実態調査を実施した。さらに、誰でも無料で利用可能な給水器の設置費用の一部を助成する給水器設置補助金を創設し、使い捨てプラスチック削減に取り組む事業者を支援するとともに、530運動環境協議会が主催する環境フェスタ内でリユース食器を導入し、プラスチックごみに対する啓発を図った。今後もごみ減量及び資源化を推進し、循環型社会の構築をめざす。

[実績及び成果]

(1) 地域資源回収事業費 41,831,264円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較	
地域資源回収団体奨励金	実施団体	307団体	303団体	△ 1.3%
	実施回数	2,308回	2,219回	△ 3.9
	回収量	4,683 t	4,256 t	△ 9.1
リサイクルステーション	回収量	804	646	△19.7

(2) ごみ減量啓発事業費 6,015,740円

区 分	令和2年度	令和3年度
啓発事業への参加者数	591人	2,021人

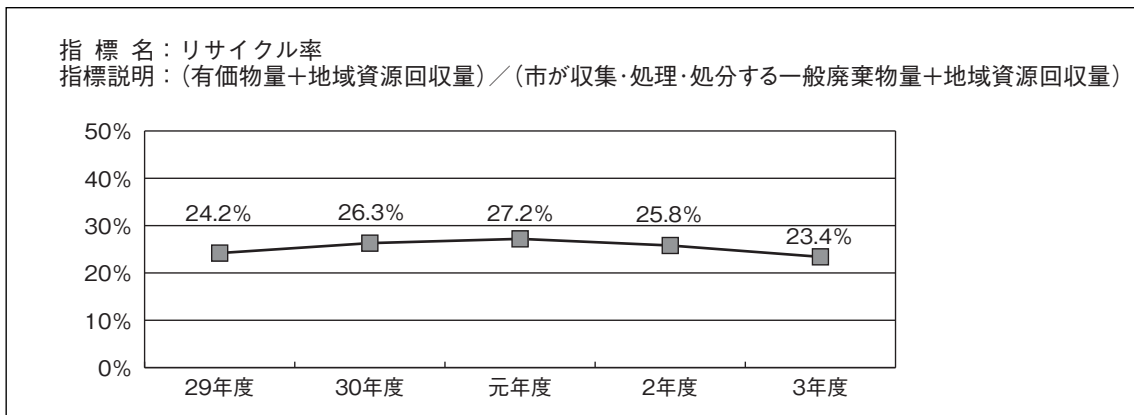
(3) 環境にやさしいライフスタイル推進事業費 2,068,772円

区 分	令和2年度	令和3年度
給水器設置補助金	—	1件 85,000円

(4) 530運動環境協議会補助金 4,500,000円

補 助 金	令和2年度	令和3年度
	3,083,741円	4,500,000円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8日 ごみ 収 集 費 <廃棄物の適正処理の推進>	538,199,767	0	17,100,000	15,159,063	505,940,704

1 家庭廃棄物収集事業費 538,199,767円 (収集業務課)

[総括]

地域環境の保全及び資源の有効利用を図るため、飛散防止ネットや生ごみ用コンテナの貸与などによりごみステーションの適正管理に努めるとともに、不適切なごみの持ち出しを防止するため、啓発チラシを作成し自治会を通じて周知したほか、資源物の持ち去り行為に対しては巡回パトロールを行った。

今後もごみの分別精度を高めるための指導・啓発や問題の多いごみステーションなどの適正化を進め、効果的かつ効果的な家庭ごみ収集体制の確保に努めていく。

[実績及び成果]

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較	備 考
家庭ごみ 収 集 量	も や す ご み	47,426 t	46,590 t	△ 1.8%	週 2 回 収 集
	生 ご み	14,149	13,521	△ 4.4	週 2 回 収 集
	プラマークごみ	4,370	4,353	△ 0.4	週 1 回 収 集
	こ わ す ご み	4,485	4,034	△10.1	4 週 毎 収 集
	危 険 ご み	202	182	△ 9.9	4 週 毎 収 集
	う め る ご み	1,012	916	△ 9.5	8 週 毎 収 集
	大 き な ご み	297	351	18.2	戸 別 収 集
	資源(びん・カン)	3,389	3,304	△ 2.5	週 1 回 収 集
	〃 (ペットボトル)	524	529	1.0	週 1 回 収 集
	〃 (布類)	1,126	1,116	△ 0.9	8 週 毎 収 集
	計	76,979	74,895	△ 2.7	
ステーション数		5,314か所	5,372か所	1.1	
死体処理数	犬	84匹	65匹	△22.6	
	猫 等	2,145	2,516	17.3	
	計	2,229	2,581	15.8	
ふれあい収集実施世帯数		450世帯	468世帯	4.0	

(1) ごみ収集事業費 522,896,773円

- (ア) 収集業務費 458,779,384円
- (イ) 施設整備費 10,627,320円
- (ウ) 車両管理費 53,490,069円

内 容	令和2年度	令和3年度
	ごみ収集車 3台 普通貨物自動車1台 小型貨物自動車1台	ごみ収集車 2台 普通貨物自動車1台

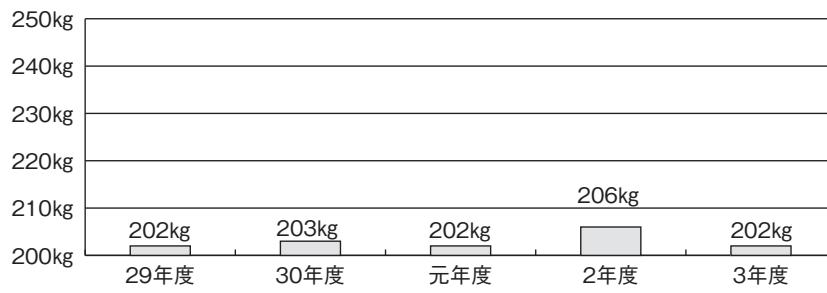
(2) ごみ収集指導啓発事業費 8,006,703円

(3) 大きなごみ戸別収集事業費 7,296,291円

[指 標]

指 標 名：1人当たりの家庭ごみ収集量

指標説明：家庭ごみ収集量／年度末豊橋市人口



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 廃棄物処理処分費 <廃棄物の適正処理の推進>	3,951,736,701	0	17,100,000	934,861,975	2,999,774,726

1 資源化センター事業費 3,478,826,240円 (資源化センター)

[総括]

市民から排出された「もやすごみ、こわすごみ、大きなごみ、びん・カン、ペットボトル、プラマークごみ、危険ごみ」及び市内業者より排出された「紙くず、木くず、繊維くず」等を適正に処理した。また、最終処分場で掘り起こした「仮埋立ごみ」を適正に焼却処理した。今後もリサイクルや溶融スラグ等の利用を促進し、ごみの安定処理に努めていく。

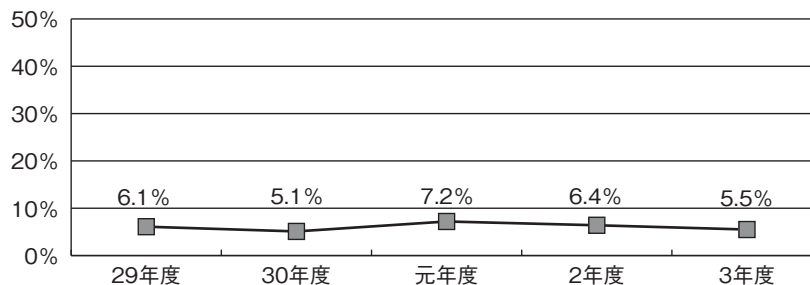
[実績及び成果]

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
ごみ焼却処理量 (内：最終処理場掘起しごみ量)	112,625 t (7,302)	112,549 t (6,410)	△ 0.1% (△12.2)
ごみ再利用処理量 (内：危険ごみ処理量) (内：剪定枝チップ等生産量)	13,664 (202) (798)	12,807 (182) (553)	△ 6.3 (△ 9.9) (△30.7)
こわすごみ(西部)処理量	4,261	4,019	△ 5.7
びん・カン等処理量	3,389	3,304	△ 2.5
ペットボトル処理量	524	529	1.0
プラマークごみ処理量	4,370	4,353	△ 0.4

- (1) ごみ焼却処理事業費 2,211,955,002円
- (2) ごみ再利用事業費 204,796,624円
- (3) 資源ごみ処理事業費 112,523,566円
- (4) プラスチックごみ処理事業費 91,801,356円

[指標]

指標名：資源化センター施設の残さ率
 指標説明：埋立処理する焼却処理施設・再利用処理施設・資源リサイクルセンターの残さ率



2 埋立処理事業費

128,160,836 円（埋立処理課）

[総括]

平成 30 年度に資源化センターの炉の故障に伴い発令されたごみ処理非常事態宣言により仮埋立されたもやすごみの掘起しを行ったほか、市民から日常生活に伴って排出される廃棄物について適正に処理した。また、分別精度の向上やスラグの有効利用等により、残容量率の減少抑制に努めた。仮埋立ごみの処分終了後は、既に埋め立てられた廃棄物を掘り起こして分別し、溶融や再埋立をするなど減容に取り組み、最終処分場の延命を図っていく。

[実績及び成果]

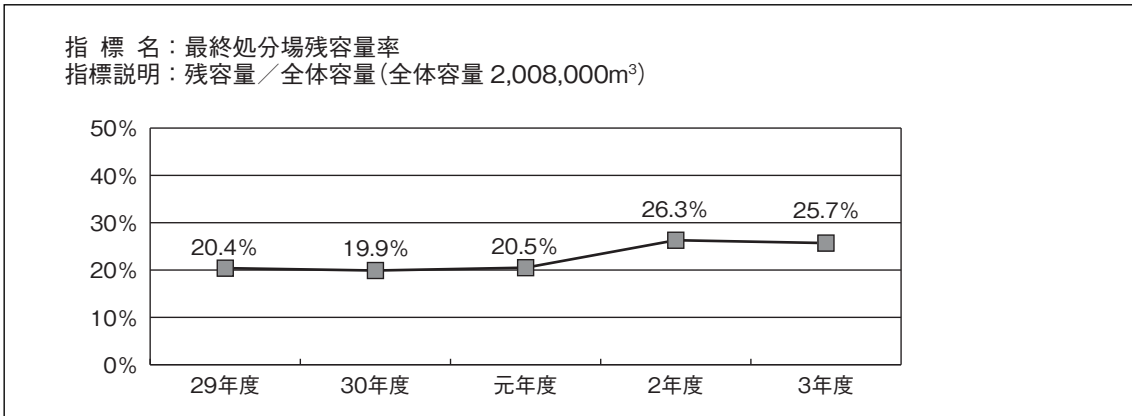
- (1) 埋立処理事業費 128,160,836 円
- (ア) 埋立関連工事費 10,385,100 円

内 容	令和 2 年度		令和 3 年度	
	施設整備工事	2件	施設整備工事	3件
農地補修工事	1	農地補修工事	1	

- (イ) 仮埋立ごみ掘起処理処分事業費 11,789,118 円
- (ウ) 管理運営費 105,986,618 円

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
一般廃棄物処分量	10,735 t (8,456m ³)	12,636 t (10,305m ³)	17.7% (21.9%)
産業廃棄物処分量(公共)	323 (538)	335 (558)	3.7 (3.7)
処分実績量(()内覆土含む)	11,058 (9,890)	12,971 (10,863)	17.3 (9.8)

[指 標]



※令和元年度の残容量率は、残容量を埋立容量の累計値から現況測定値に置き換えて算出

※令和 2 年度に埋立処分計画高を見直したことにより、全体容量を 1,850,000 m³から 2,008,000 m³に変更

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 ごみ処理施設整備費 ＜安全で安定したごみ処理施設の整備＞	59,365,113	7,625,000	0	2,587,667	49,152,446

1 豊橋田原ごみ処理施設整備事業費 59,365,113 円 (施設建設室)

[総括]

豊橋田原ごみ処理施設の整備に向けて、「環境影響評価準備書(変更)」及び「都市計画(変更)の案」を公表した。また、「循環型社会形成推進地域計画(第2期)」を策定するとともに、「田原市と豊橋市との間の広域ごみ処理施設の整備運営に関する事務の委託に関する規約」を定め、豊橋田原ごみ処理施設整備・運営事業の入札公告を行った。今後も新施設の整備事業を順次推進していく。

[実績及び成果]

(1) ごみ処理施設整備等事業費 53,365,113 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・豊橋田原ごみ処理施設整備計画の改訂 ・環境影響評価方法書(変更)の公表 ・都市計画(変更)概略の案の公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境影響評価準備書(変更)の公表 ・都市計画(変更)の案の公表 ・循環型社会形成推進地域計画(第2期)の策定 ・豊橋田原ごみ処理施設整備・運営事業の入札公告

(2) 豊栄施設園芸組合営農継続補助金 6,000,000 円

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11目 廃棄物適正処理対策費 <廃棄物の適正処理の推進>	35,496,698	6,000,000	0	5,667,788	23,828,910

1 一般廃棄物対策事業費 12,278,321 円 (廃棄物対策課)

[総括]

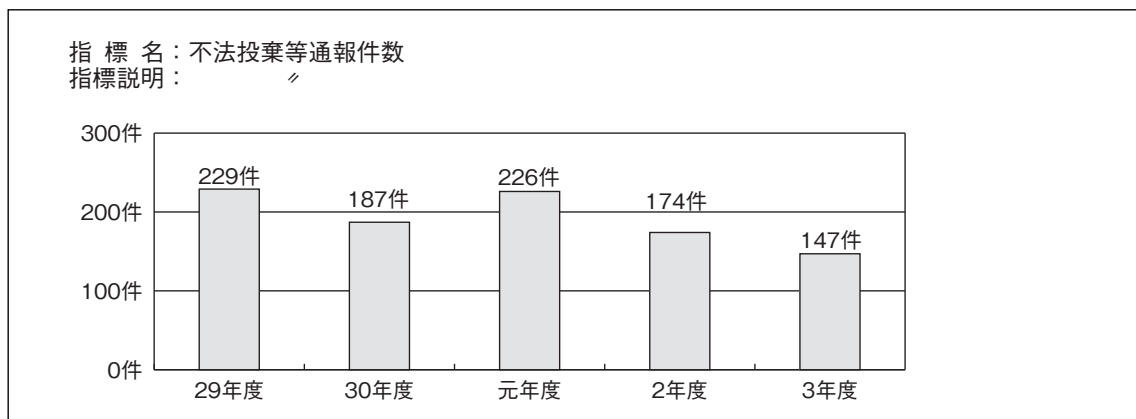
一般廃棄物処理業の許可事務、廃棄物投入許可証の交付事務のほか、不法投棄対策や事業系ごみ対策を行った。不法投棄対策としては、監視カメラや看板の設置により未然防止を図るとともに、警備会社による市内全域の休日、夜間、早朝の監視を行い、早期発見・早期対応に努めた。事業系ごみ対策としては、市内の事業者向けに「事業系ごみ適正処理セミナー」の開催や、事業者を対象とした「事業系ごみ適正処理啓発事業」を実施するなど事業系ごみの処理方法等について周知した。また、令和2年4月に施行された「豊橋市不良な生活環境の解消に関する条例」に基づき、いわゆる「ごみ屋敷」の原因者等に対する生活相談や見守り等の福祉的・社会的支援、不良な生活環境の解消を図った。今後も一般廃棄物の適正処理推進に向けた取組みを進める。

[実績及び成果]

(1) 一般廃棄物対策事務費 12,278,321 円

内 容	令和2年度	令和3年度	比 較
不法投棄等通報	174件	147件	△15.5%
一般廃棄物収集運搬業許可	0	18	皆増
廃棄物投入許可	2,756	518	△81.2
不良な生活環境相談件数	160	143	△10.6

[指 標]



2 産業廃棄物対策事業費

23,218,377 円（廃棄物対策課）

[総括]

産業廃棄物の適正処理を推進するため、苦情対応や立入記録を庁内型GISで管理し、効率的、統一的な指導・監視を強化するとともに、産業廃棄物処理施設について、職員による監視が困難な夜間の監視を警備会社に委託し、監視体制の強化を図った。また、重点的な取り組みとして、多量排出事業者への指導・助言や電子マニフェストシステムの導入を行った。「豊橋市産業廃棄物処理施設及び汚染土壌処理施設の設置に係る紛争の予防及び調整に関する条例」に基づき、事業者の事業計画に係る手続きの進捗状況を市ホームページで公開し、広く情報提供を行うことにより、産業廃棄物処理施設等に対する住民理解の向上を図ることで紛争の予防に努めた。平成28年8月に施行された改正PCB特別措置法を踏まえ、前年度に引き続きPCB含有機器等を所有する疑いのある事業所等への立入をさらに強化し、処理期限内の適正処理指導を実施した。

[実績及び成果]

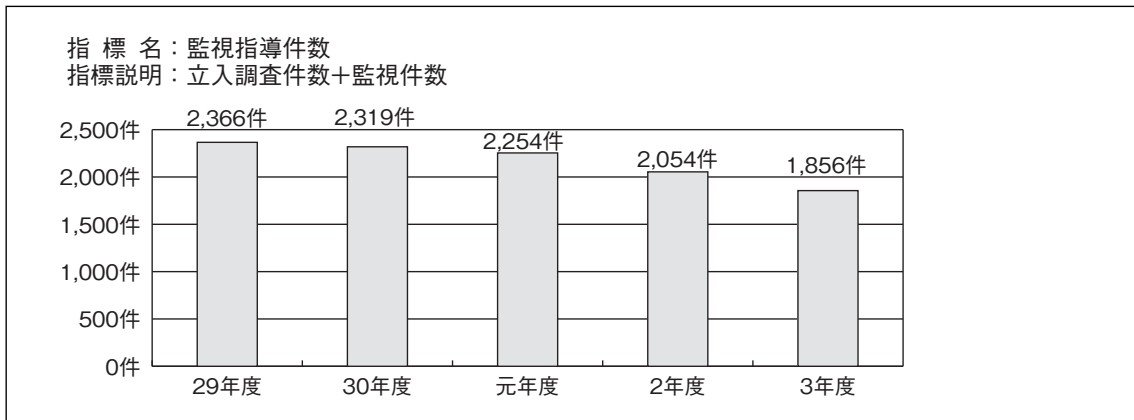
(1) 産業廃棄物処理等許可事務費 101,963 円

内 容	令和2年度	令和3年度	比 較
産業廃棄物関係申請書等受付	5,663件	5,552件	△ 2.0%

(2) 産業廃棄物指導監督事務費 23,116,414 円

内 容	令和2年度	令和3年度	比 較
監視指導件数	2,054件	1,856件	△ 9.6%
立 入 調 査	1,063	836	△21.4
施 設 等 監 視	991	1,020	2.9

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5款 労 働 費	217,817,133	10,989,320	0	156,410,140	50,417,673
1項 労 働 費	217,817,133	10,989,320	0	156,410,140	50,417,673
2目 就 業 促 進 費 <雇用の安定と人材確保>	32,645,149	10,989,320	0	6,410,140	15,245,689

1 職業訓練センター事業費 5,519,613円 (商工業振興課)

[総括]

職業訓練センターでは、円滑な職業訓練のため適正な運営管理を行った。今後も技能労働者の訓練の充実と利用者数の増加をめざしていく。

[実績及び成果]

(1) 職業訓練センター管理運営事業費 4,319,613円

[施設利用者]

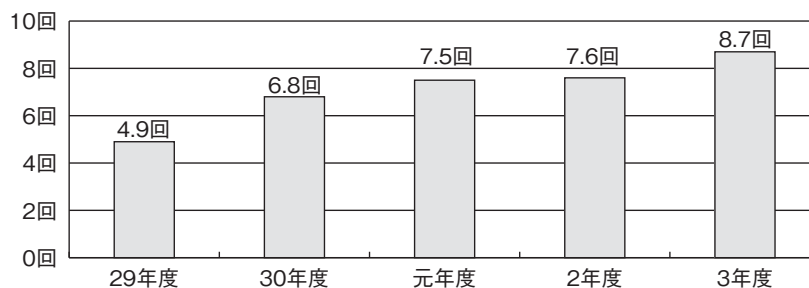
区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数	280日	299日	6.8%
利 用 者 数	延 20,311人	延 24,548人	20.9

[普通職業訓練の普通課程訓練生数]

内 容	科 目	令和2年度	令和3年度	比 較
		木 造 建 築 科	5人	5人
	建 築 板 金 科	4	3	△25.0
	造 園 科	4	5	25.0
	木 工 科	0	0	0.0
	計	13	13	0.0

[指 標]

指 標 名：職業訓練センター1日当たりの教室利用回数
 指標説明：教室利用回数／開館日数



2 就業促進事業費

26,248,840 円（商工業振興課）

〔総括〕

若者就職サポート塾で新規学卒者などへの就労支援を行ったほか、新規高卒者を対象とした企業説明会や同会場で高校2年生を対象とした面接体験会を実施した。また、自動車運送業者を対象に従業員の大型運転免許等の取得費用を助成したほか、企業と一体となった奨学金返還支援、企業の働き方改革を推進するためのセミナー及び伴走支援、女性の雇用・定着に必要な職場環境づくりの支援を実施した。今後も若年者への就労支援及び企業の人材確保に向けた支援を効果的に行っていく。

〔実績及び成果〕

(1) 若年者就職支援事業費 23,480 円

内 容	令和2年度		令和3年度	
	若者就職サポート塾in豊橋 第1回 7.16 第2回 9.2 第3回 2.8 第4回 3.18		若者就職サポート塾in豊橋 第1回 4.22 第2回 6.24 第3回 2.8 第4回 3.15	
高校生企業説明会 開催日 12.4		高校生企業説明会 開催日 12.9		
高校生企業訪問 開催日 3.24、25、26 参加延 618人		高校生面接体験会 開催日 12.9 参加延 506人		

(2) 雇用確保安定事業費 24,925,360 円

(ア) 大型運転免許等取得支援補助金 2,571,000 円

補 助 金	令和2年度		令和3年度	
		28 件	2,407,000 円	31 件

(イ) U I J ターン就業促進補助金 800,000 円

補 助 金	令和2年度		令和3年度	
		0 件	0 円	5 件

(ウ) 女性雇用環境整備事業費 4,375,000 円

〔女性あんしん職場づくり補助金〕 4,361,000 円

補 助 金	令和2年度		令和3年度	
		8 件	6,154,000 円	5 件

〔女性スキルアップ支援補助金〕 14,000 円

補 助 金	令和2年度		令和3年度	
		0 件	0 円	2 件

(エ) 若者を呼び込むための奨学金返還支援事業費 3,650,900 円

補 助 金	令和2年度		令和3年度	
		17 件	2,595,000 円	25 件

(オ) 中小企業採用戦略支援事業費 1,150,460 円

〔ダイバーシティ雇用促進啓発事業費〕 8,000 円

セミナー受講者数	令和2年度		令和3年度	
	WEB受講	3人	会場受講	36人

〔働きやすい職場づくり啓発事業費〕 1,042,460 円

内 容	令和2年度		令和3年度	
	働きやすい職場づくりWEBセミナー 参加企業 延 29社 第1回 6.16 第2回 7.14 第3回 11.18 コンサルタントによる伴走支援 参加企業 1社		働きやすい職場づくりセミナー 参加企業 延 24社 第1回 5.13 第2回 12.10 コンサルタントによる伴走支援 参加企業 2社	

〔インターンシップ支援補助金〕 0 円

補 助 金	令和2年度		令和3年度	
	0件	0円	0件	0円

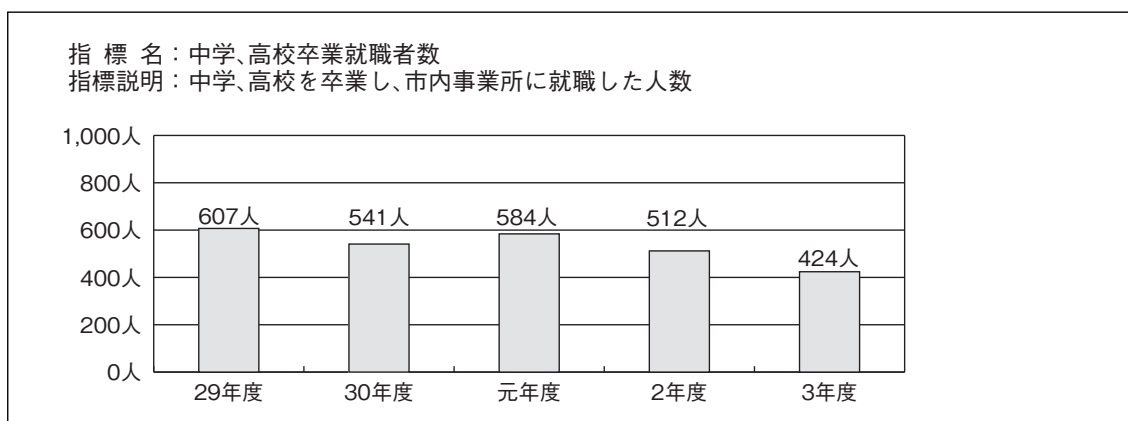
〔採用ホームページ改善補助金〕 100,000 円

補 助 金	令和2年度		令和3年度	
	1件	50,000円	2件	100,000円

(カ) 移住支援事業費補助金 1,000,000 円

補 助 金	令和2年度		令和3年度	
	0件	0円	1件	1,000,000円

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 労働者福祉費 <労働者の福祉の充実>	159,143,767	0	0	150,000,000	9,143,767

1 労働者会館管理運営事業費 160,867円 (商工業振興課)

[総括]

労働者の福祉の増進及び文化の向上並びに雇用の促進を図る施設として、適正な管理運営を行った。今後も利用者が安心・快適に利用できるよう努めていく。

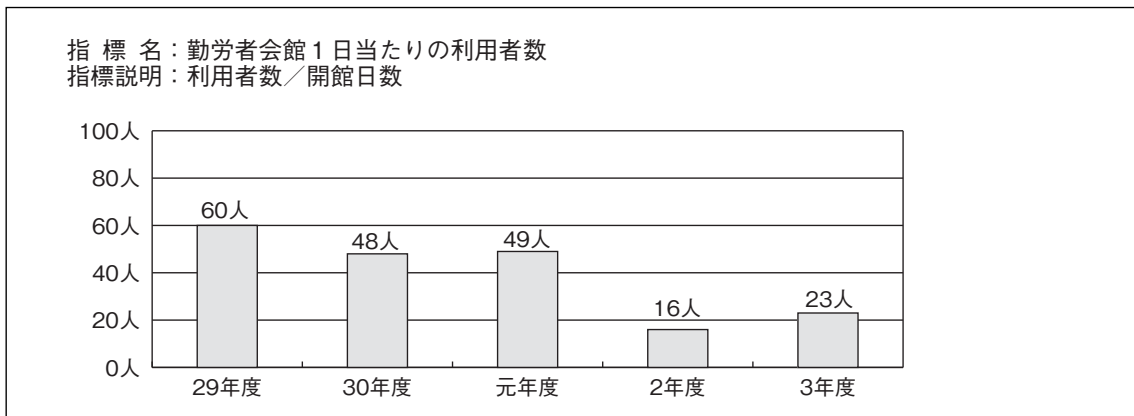
[実績及び成果]

(1) 労働者会館管理運営事業費 160,867円

[施設利用者]

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数	308日	347日	12.7%
利 用 者 数	延 4,900人	延 7,869人	60.6

[指 標]



※ 29年度は勤労青少年ホームと労働会館の1日当たりの利用者数を足したもの

2 労働者福祉対策事業費 8,321,200 円（商工業振興課）

[総括]

勤労者が安心して働くための相談窓口の設置や、労働者福祉を充実させるための活動に対し支援を行った。今後も労働者福祉において有意義な事業を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 労働者文化体育事業費補助金 5,130,000 円

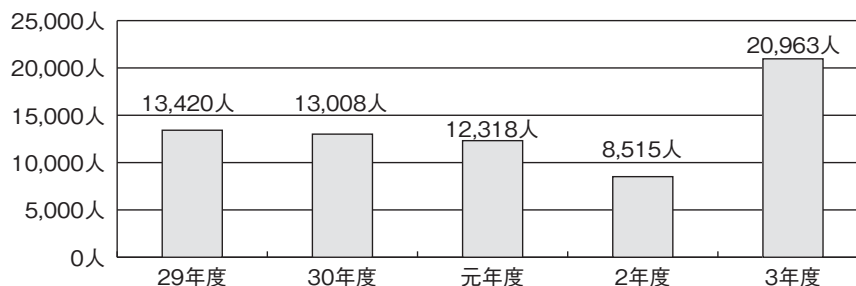
補助金	令和2年度	令和3年度
	5,130,000円	5,130,000円

(2) 労働者福祉サービスセンター事業費補助金 2,181,200 円

補助金	令和2年度	令和3年度
	1,977,500円	2,181,200円

[指標]

指標名：文化・体育事業等への参加延人数
 指標説明：労働者文化体育事業参加者延人数＋労働福祉団体事業参加者延人数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6 款 農 林 水 産 業 費	1,826,867,112	392,735,116	309,200,000	13,327,255	1,111,604,741
1 項 農 林 水 産 業 費	703,406,577	240,043,116	3,100,000	10,505,741	449,757,720
3 目 農 業 経 営 力 強 化 費 < 農 業 者 の 経 営 力 の 強 化 >	54,824,391	33,590,140	0	890,650	20,343,601

1 農業生産流通事業費 42,021,938 円 (農業支援課)

[総括]

有害鳥獣による農産物被害の拡大を防ぐため、地域住民が主体となった駆除団体の組織化を進め、適切で安全な駆除活動が実施できるよう支援を行った。また、農家の経営安定を図るため、各種の助成を行った。今後も、農家の健全な経営に資するよう支援に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 水田農業経営所得安定対策推進費補助金 2,700,000 円

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度
内 容	豊橋市地域農業再生協議会が行う経営所得安定対策の推進事務に対する助成	豊橋市地域農業再生協議会が行う経営所得安定対策の推進事務に対する助成
補 助 金	3,478,000円	2,700,000円

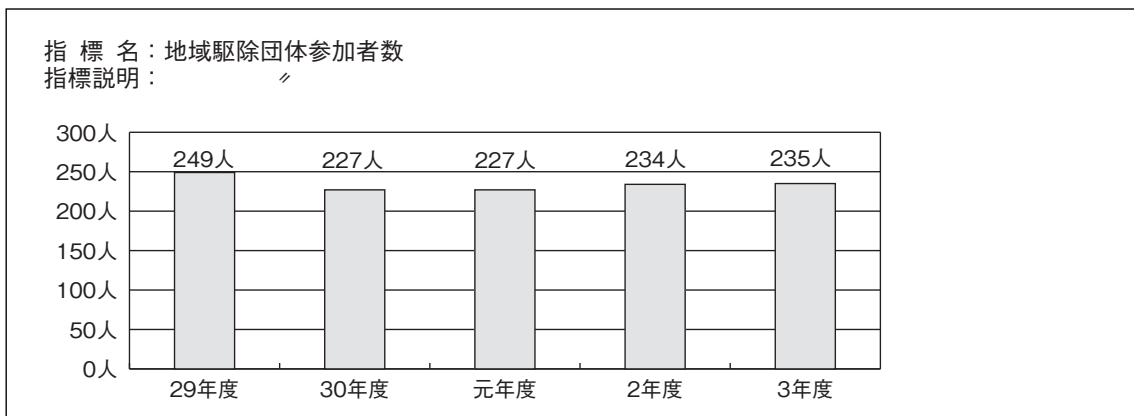
(2) 農作物鳥獣被害防止事業費 6,062,220 円

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度
地域駆除団体数	8団体	8団体
安全講習会の開催	1回	1回

(3) 鶏卵生産者経営安定対策事業補助金 5,800,572 円

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度
内 容	生産者が負担する経費の一部に対する助成	生産者が負担する経費の一部に対する助成
補 助 金	6,002,172円	5,800,572円

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 農業者確保育成費 <農業者の確保・育成>	35,882,953	17,266,649	0	2,570,650	16,045,654

1 農業人材確保育成事業費 27,529,040円 (農業企画課・農業支援課・農業委員会事務局)

[総括]

農業人材の確保・育成を図るため、認定農業者や認定新規就農者制度の普及啓発、関係団体と連携した女性農業者の活動支援に取り組むとともに、農業者の経営安定及び農業後継者の就農を促進するため、各種の助成を行った。また、農福連携推進のため、福祉関係者と農業関係者共同の研修会や意見交換会、検討会議を開催した。本市農業の発展のため、今後も担い手の確保・育成に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 担い手育成事業費 365,769円

区 分	令和2年度	令和3年度
農業経営改善計画等の認定件数	92件	128件

(2) 農業人材力強化総合支援事業費補助金 2,783,649円

区 分	令和2年度	令和3年度
内 容	経営開始直後の新規就農者に対する助成	経営開始直後の新規就農者に対する助成
補 助 金	4,500,000円	2,783,649円

(3) 農業人材確保環境整備事業費 22,195,200円

区 分	令和2年度	令和3年度
内 容	認定農業者の家族等が大型特殊免許を取得するための費用や、認定農業者の後継者が就農する際の設備投資等に対する助成	認定農業者の家族等が大型特殊免許を取得するための費用や、認定農業者の後継者が就農する際の設備投資等に対する助成、及び中心経営体等から経営移譲を受けた後継者の経営発展に向けた取り組みに対する助成
補 助 金	4,689,700円	6,084,200円

(4) 女性農業者育成研修事業費 47,540円

区 分	令和2年度	令和3年度
研 修 会 等 の 実 施 回 数	6回	2回

(5) 農福連携推進事業費 1,894,000円

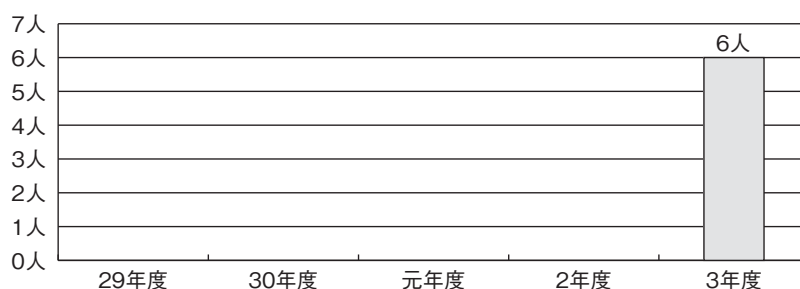
内 容	令和2年度	令和3年度
農業者と福祉事務所とのマッチング実証、検討会議の開催		福祉関係者と農業関係者共同の研修会及び意見交換会を実施、検討会議の開催

(6) 農業後継者花嫁花婿対策推進事業補助金 242,882円

区 分	令和2年度	令和3年度
内 容	男女交流会等の開催	結婚相談会、婚活セミナー、男女交流会、お見合いの開催
補 助 金	213,180円	242,882円

[指 標]

指 標 名：新規就農者数(累計) ※令和3年度以降
 指標説明：〃



2 次世代農業推進事業費 8,353,913 円（農業企画課）

[総 括]

全国でも有数の先端施設園芸が集積する本地域における生産性の向上や農業後継者の育成等の課題に対処するため、地域農業の発展に資する栽培実証実験を行ったほか、植物工場の管理者等先端的な農業を担う次世代人材の育成に対し助成した。今後も、本市農業の持続と更なる発展のため、先端農業技術の普及促進に努めていく。

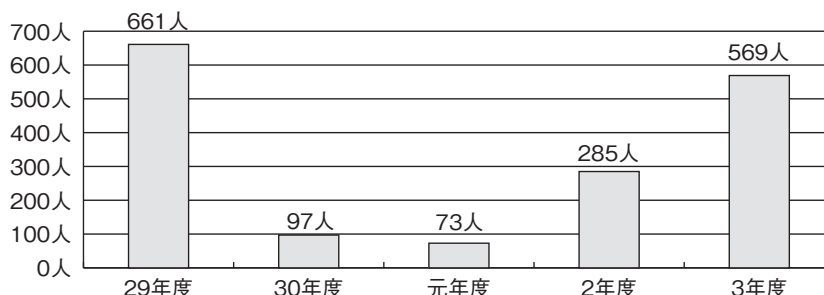
[実績及び成果]

(1) 次世代「農力」UP アカデミー事業補助金 8,353,913 円

区 分	令和2年度	令和3年度
内 容	全国でも最先端の技術を有する本市農業を担う人材の育成・確保に取り組むため、地域における植物工場等先端農業技術者の育成及び小学生から大学生までを対象としたふるさと農業講座を実施	全国でも最先端の技術を有する本市農業を担う人材の育成・確保に取り組むため、地域における植物工場等先端農業技術者の育成及び小学生から大学生までを対象としたふるさと農業講座を実施
補 助 金	8,257,999円	8,353,913円

[指 標]

指 標 名：講座等参加者数
 指標説明：IGHセミナー等参加者数(平成29年度)+次世代「農力」UP事業講座受講者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 産地競争力強化費 <競争力の高い産地づくりの推進>	208,160,539	169,263,000	0	2,101,750	36,795,789

1 農産物ブランド化推進事業費 5,965,545 円 (農業企画課・農業支援課)

[総括]

新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった事業もあったが、実施場所や手法等を見直し、首都圏等において豊橋産農産物のPRを実施したほか、消費宣伝事業等に対する助成を行い、豊橋産農産物の需要や消費の拡大を図った。今後も本市農産物の特長をわかりやすく消費者に伝えながら、より効果的なプロモーションを継続して行っていく。

[実績及び成果]

(1) 農産物ブランド化推進事業費 5,965,545 円

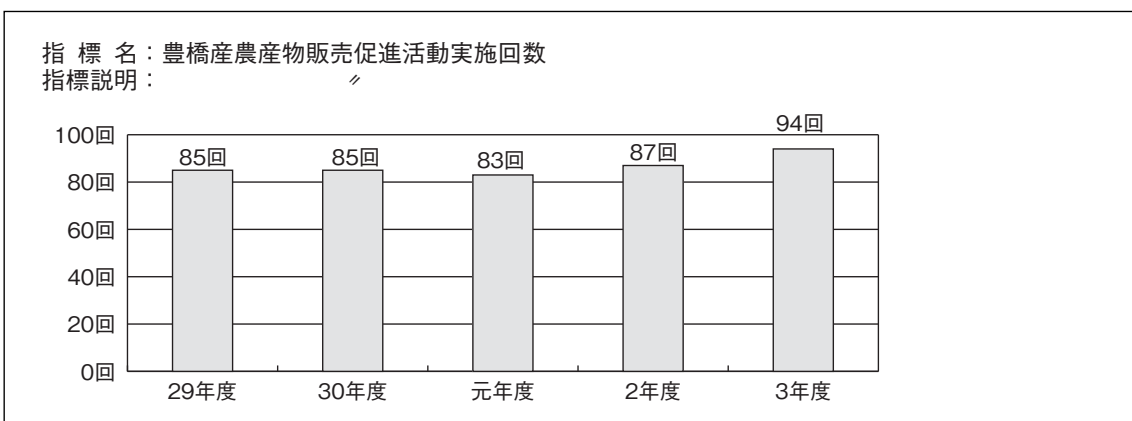
(ア) 豊橋産農産物販売促進事業補助金 1,800,000 円

区 分	令和2年度	令和3年度
内 容	産地交流事業、販売促進事業、消費宣伝事業、商品開発事業	産地交流事業、販売促進事業、消費宣伝事業、商品開発・ブランド化事業、食育・花育事業
事 業 費	7,527,268円	3,606,696円
補 助 金	3,600,000	1,800,000

(イ) 豊橋産農産物PR事業費 4,165,545 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	首都圏におけるSNSでの情報発信と連動した豊橋フェアの開催、JA全農が運営するレストランでのPR	首都圏を中心とした豊橋フェアの開催、JA全農が運営するレストラン及びメルセデスミーレストランでのPRなど

[指 標]



2 豊橋田原広域農業推進事業費 3,001,000 円（農業企画課）

[総括]

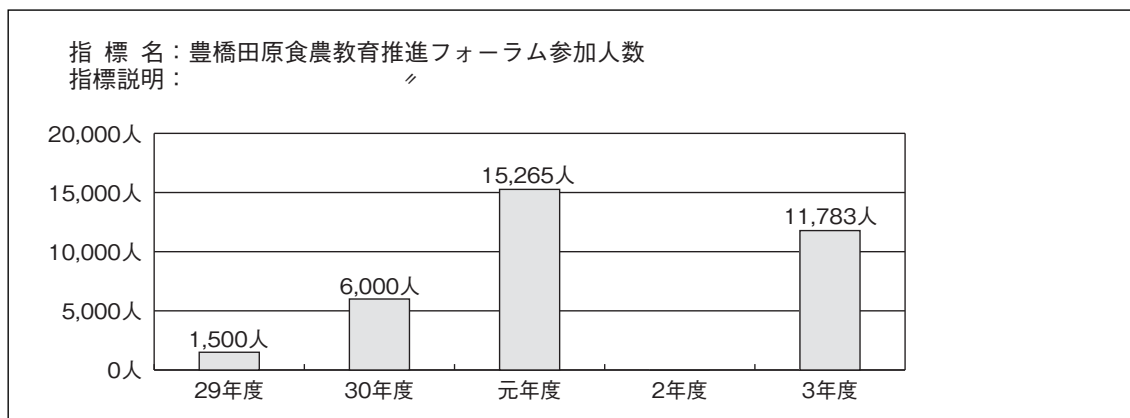
豊橋田原地域における農業の活性化を目的として、農産物輸出と食農教育を推進するとともに、ファーマーズマーケットの活動を推進した。今後も広域連携に基づく各種事業を継続的に実施することにより地域農業の活性化を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋田原広域農業推進会議負担金 3,001,000 円

区 分	令和2年度	令和3年度
事業主体	豊橋田原広域農業推進会議	豊橋田原広域農業推進会議
内 容	農産物収穫体験、産直デジタルスタンブラリーの開催、ファーマーズマーケットの活動推進のための三遠ネオフェニックスとのPR動画作成、香港の常設店舗における販売促進活動、タイ向け農産物輸出に向けた規格認証及び残留農薬検査など	農産物収穫体験、食農教育推進フォーラムの開催、食農教育のための三遠ネオフェニックスとのPR動画作成、海外向け販売促進用の動画作成、香港の常設店舗における販売促進活動、ファーマーズマーケット活動推進のための販促資材の作成、タイ向け農産物輸出に向けた規格認証及び残留農薬検査など
事業費	11,005,480円	5,985,231円
負担金	3,001,000	3,001,000

[指標]



3 海外販路開拓推進事業費

2,488,708 円（農業企画課）

[総括]

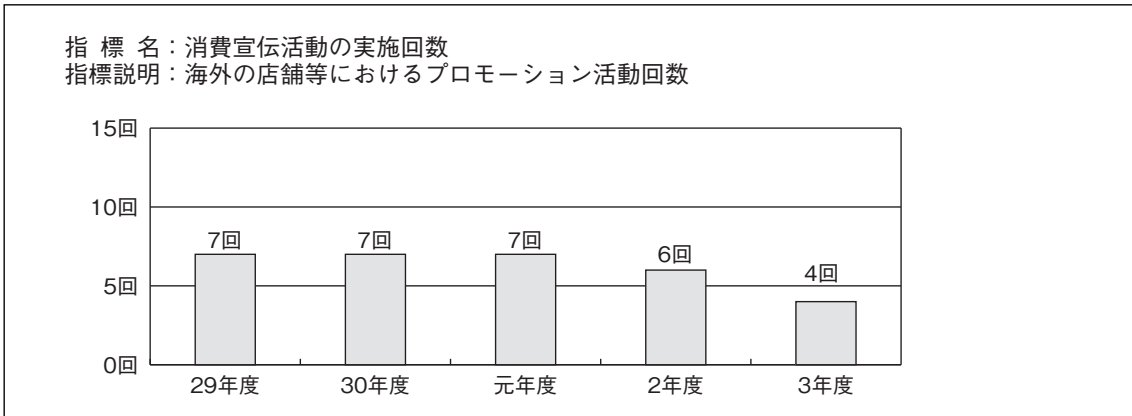
田原市、飯田市との三遠南信連携によりマレーシアへ既存品目を継続して輸出するとともに、販促資材を活用したPRを行った。海外販路の開拓には継続的な取組みが必要となるため、今後も引き続き効果的な事業の推進に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋産農産物海外販路開拓事業費 2,488,708 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	マレーシア、タイ、シンガポールの常設店舗への既存品目の輸出継続、新たな品目の提案、販促資材を活用したPR、鮮度保持実証試験の実施など	マレーシア、シンガポールへの常設店舗への既存品目の輸出継続、販促資材を活用したPR、ミニトマトの船便輸送試験の実施など

[指標]



4 農業経営高度化事業費 185,938,400 円（農業支援課）

[総括]

栽培技術の高度化と経営規模の拡大を促進することを目的に、次世代施設園芸愛知県拠点のほか、農業者が行う農業機械のリース導入等に対して支援した。今後も農業経営の高度化を促し、産地競争力の強化を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 次世代施設園芸導入加速化支援事業補助金 16,675,400 円

区 分	令和2年度	令和3年度
内 容	次世代施設園芸愛知県拠点の管理運営に対する助成	次世代施設園芸愛知県拠点の管理運営に対する助成
補 助 金	16,675,400円	16,675,400円

(2) 産地基幹施設等支援事業補助金 159,000,000 円

区 分	令和2年度	令和3年度
内 容	—	市内食鳥処理場の施設整備に対する助成
補 助 金	—	159,000,000円

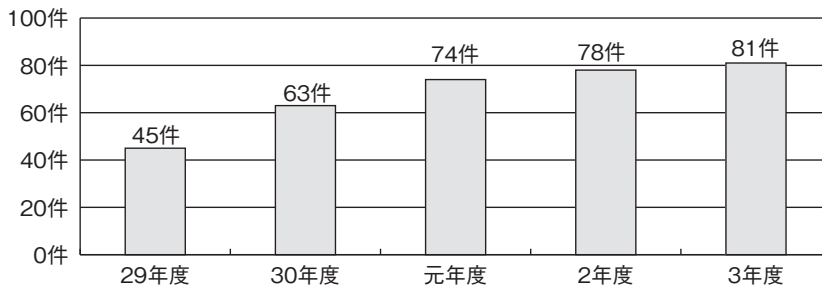
(3) 産地生産基盤パワーアップ事業補助金 10,263,000 円

区 分	令和2年度	令和3年度
内 容	農業機械のリース導入等に対する助成	農業機械のリース導入等に対する助成
補 助 金	28,531,000円	10,263,000円

[指 標]

指 標 名：先端技術を活用した園芸施設等の普及に対する支援件数(累計)

指標説明：国・県の支援により栽培技術の高度化を推進するための施設整備等を行った農業者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 地産地消推進費 <地産地消の推進>	15,068,271	0	0	4,290,993	10,777,278

1 道の駅食農拠点推進事業費 8,790,604 円 (農業企画課)

[総括]

開駅3年目となる道の駅「とよはし」では、農業者の6次産業化商品の開発支援・販売促進や地元農産物の購買促進のためSNS等での発信を行ったことなどにより来場者数223万人を達成した。

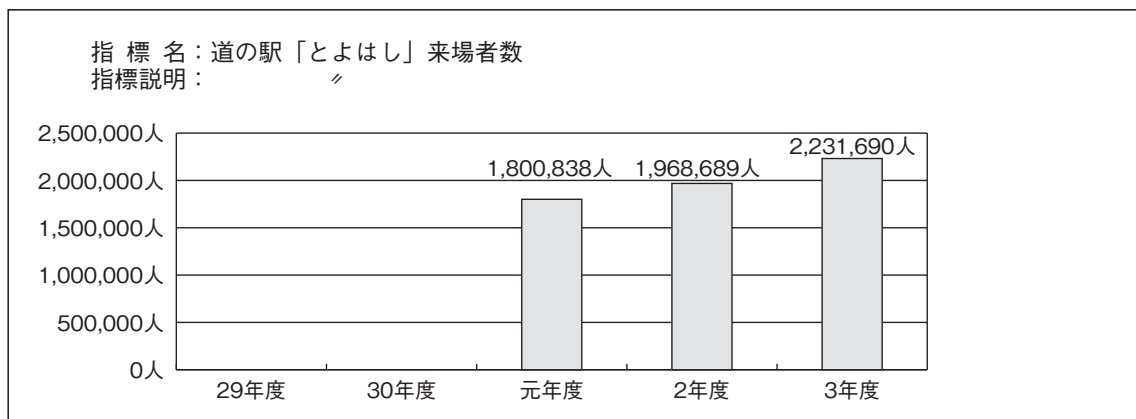
今後も食と農の拠点として、多様で魅力的なサービスの提供、市内外への情報発信を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 道の駅食農拠点推進事業費 8,790,604 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	6次産業化のセミナー開催や、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた大葉農家支援のため、大葉を使用したクラフトビールの開発などを実施	6次産業化のセミナー開催や商品開発支援、SNS等を利用し、道の駅「とよはし」から豊橋の食と農の魅力を発信

[指 標]



2 都市農村交流促進事業費 4,548,393 円（農業支援課）

[総括]

市民が土に親しみ生産の喜びを体験することで農業への知識や理解を深める機会を提供するため、市民ふれあい農園の管理運営を行った。今後も市民の農業への理解及び関心を高めるための事業や農産物の消費拡大を図るための事業を行っていく。

[実績及び成果]

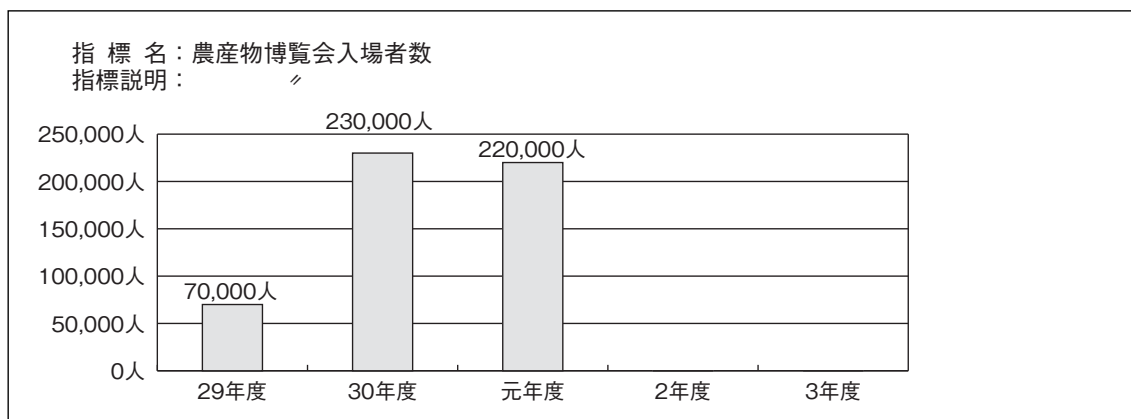
(1) 市民ふれあい農園事業費 4,548,393 円

区 分	令和2年度	令和3年度
農園利用者数	234人	235人
栽培講習会の開催	3回	2回

(2) 農産物博覧会振興補助金 0 円

区 分	令和2年度	令和3年度
開催期間	—	—
開催場所	—	—
事業費	—	—
補助金	—	—

[指標]



※平成29年度は、台風接近により、開催日数を縮減

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 森林・海岸保全費 <治山・治水対策の充実>	57,988,022	3,500,000	3,100,000	29,651	51,358,371

1 森林環境整備推進事業費 5,510,366 円 (農業支援課)

[総括]

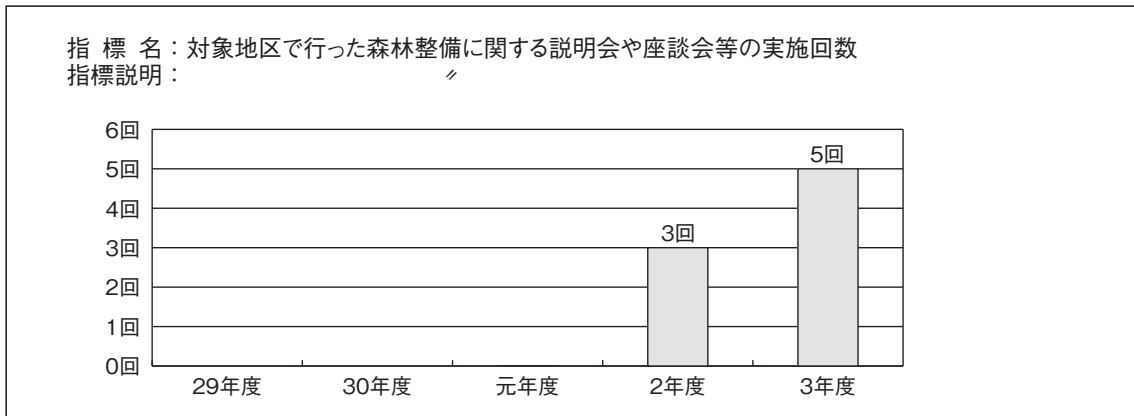
森林所有者の高齢化などにより、手入れの行き届かない人工林の把握及び健全化を推進するため、対象地区の森林整備事業実施に向けた現地調査や、次年度以降に実施する森林管理の意向調査及び分析を行った。今後も、本市が主体となって人工林の適正管理に向けた取組みを行っていく。

[実績及び成果]

(1) 森林環境整備推進事業費 5,510,366 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	対象地区の森林管理意向調査及び分析	

[指標]



2 市民ふれあいの森管理事業費 913,332 円 (農業支援課)

[総括]

北部地域に位置する吉祥山を、登山や林業体験などの活動や森林浴など市民の憩いの場として利用できるよう施設の維持管理や登山道の整備を行った。今後も、健康登山や植物観察など利用目的の多様化に応じた施設維持を図っていく。

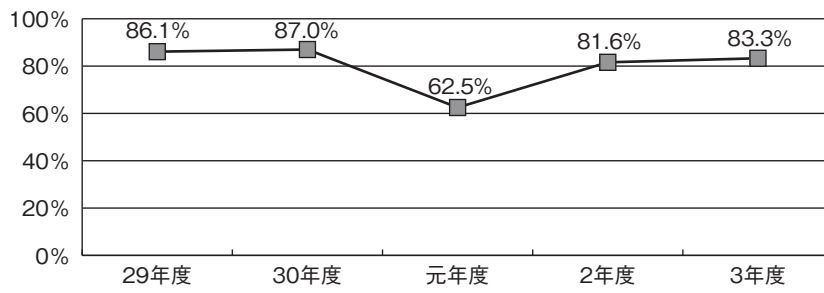
[実績及び成果]

(1) 市民ふれあいの森管理事業費 913,332 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	草刈、浄化槽保守管理	草刈、浄化槽保守管理

[指 標]

指 標 名：市民ふれあいの森利用者満足度
指標説明：アンケート満足者数／アンケート総数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 農地整備費	1,123,460,535	152,692,000	306,100,000	2,821,514	661,847,021
2目 農業生産基盤整備費 <農業生産を支える基盤の充実>	981,677,019	152,692,000	306,100,000	2,700,000	520,185,019

1 かんがい排水整備事業費 145,571,902円 (農地整備課)

[総括]

農業用排水施設の機能を強化することにより、水資源の有効利用と農業経営の安定化を図った。今後も県及び各関係機関との調整を密に行い、事業進捗を図っていく。

[実績及び成果]

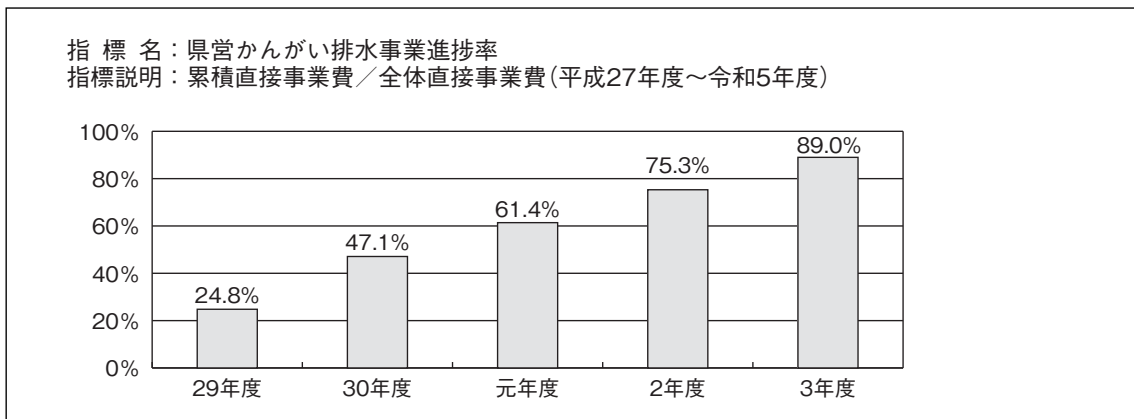
(1) 県営かんがい排水事業補助金 95,418,102円

区 分 地区名	令和2年度		令和3年度	
	事業費	補助金	事業費	補助金
二回地区	224,998,996円	28,521,859円	239,999,075円	52,520,210円
神野新田地区	446,749,419	44,584,871	429,899,570	42,897,892

(2) かんがい排水事業計画調査事業負担金 2,899,930円

区 分 地区名	令和2年度		令和3年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
牟呂明治地区	—	—	28,999,300円	2,899,930円

[指標]



(3) 単県土地改良事業補助金 39,540,470円

内 容	令和2年度		令和3年度	
	事業費	補助金	事業費	補助金
土地改良区への補助	281,048,900円	43,331,510円	244,207,700円	39,540,470円

(4) 土地改良施設維持管理事業補助金 7,713,400円

内 容	令和2年度		令和3年度	
	事業費	補助金	事業費	補助金
用水機維持管理事業補助金	71,684,000円	7,168,400円	75,134,000円	7,513,400円
土地改良施設維持管理 適正化事業補助金	3,000,000	300,000	2,000,000	200,000

2 ため池等整備事業費 127,136,785 円（農地整備課）

[総括]

ため池の適切な状態を維持し安全対策と機能保持を図った。今後もため池施設の適正な維持管理を行っていく。

[実績及び成果]

(1) ため池等維持管理適正化事業費 5,690,900 円

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
工 事 費	14,019,500円	3,155,900円
負 担 金	3,300,000	2,535,000

(2) ため池維持補修事業費 77,058,209 円

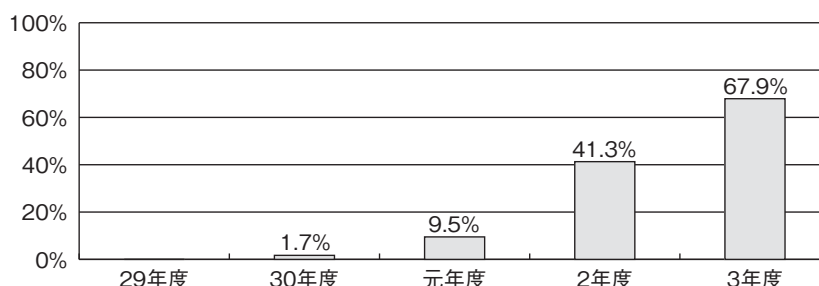
内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
除 草 委 託	256,050㎡	239,420㎡

(3) 県営防災ダム事業負担金 16,407,416 円

区 分 地区名	令和 2 年度		令和 3 年度	
	事 業 費	市 負 担 金	事 業 費	市 負 担 金
嵩 山 池 地 区	126,999,600円	13,969,956円	77,599,300円	8,535,923円
影 色 池 地 区	42,999,300	4,729,923	30,999,834	3,409,981
ひょうたん池地区	5,060,000	556,600	29,999,200	3,299,912
三 太 郎 池 地 区	—	—	7,260,000	1,161,600

[指 標]

指 標 名：県営防災ダム事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成30年度～令和6年度）



※三太郎池地区追加に伴う全体直接事業費見直しのため、30～2年度指標を再計算

(4) 県営湖岸堤防事業負担金 27,980,260 円

区 分 地区名	令和 2 年度		令和 3 年度	
	事 業 費	市 負 担 金	事 業 費	市 負 担 金
神野新田 3 期地区	118,999,200円	16,659,888円	199,859,000円	27,980,260円

3 ほ場整備事業費 114,868,846 円（農地整備課）

[総括]

ほ場整備により農地の集団化と利用集積を行い、農業生産性を高め農業経営の安定化を図った。今後もほ場整備事業推進のため、地元や関係機関とより連携して事業を進めていく。

[実績及び成果]

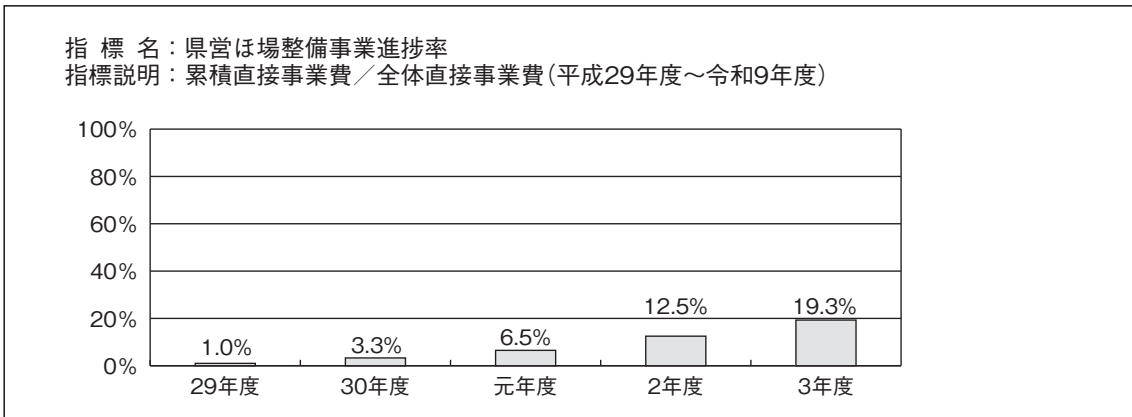
(1) 県営ほ場整備事業補助金 30,295,232 円

地区名	令和2年度		令和3年度	
	事業費	補助金	事業費	補助金
五号地区	70,849,900円	16,177,975円	—	—
三郷地区	334,998,962	10,625,000	379,999,020円	25,972,755円
東細谷地区	249,999,800	2,685,000	279,858,674	4,322,477

(2) 県営ほ場整備事業負担金 84,573,614 円

地区名	令和2年度		令和3年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
三郷地区	334,998,962円	33,499,896円	379,999,020円	37,594,551円
東細谷地区	249,999,800	43,749,965	279,858,674	46,979,063

[指標]



※五号地区事業完了に伴う全体直接事業費見直しのため、29～2年度指標を再計算

4 農道整備事業費 9,141,190 円（農地整備課）

[総括]

農道整備を推進し、農作物運搬効率の向上、農業経営の安定及び農村生活環境の向上を図った。今後も県及び各関係機関との調整を密に行い、事業進捗を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 農道維持補修事業費 9,141,190 円

内容	令和2年度	令和3年度
	舗装工等 一式	

5 農村保全活動推進事業費 189,313,976 円（農地整備課）

[総括]

地域資源（農用地・水路・農道等）の保全管理などの地域の共同活動に対し支援を行い、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図った。今後も、活動に関する指導、助言を行い、自然環境の保全、良好な景観の形成等の多面的機能の適切かつ十分な発揮につなげていく。

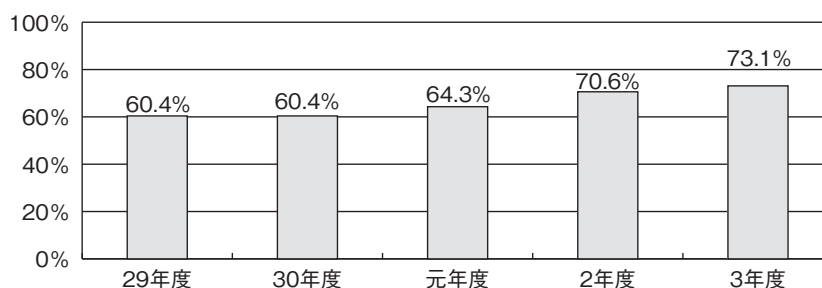
[実績及び成果]

(1) 農村保全活動推進事業費 189,313,976 円

内 容	令和2年度	令和3年度
活動組織数	34組織	35組織
事業費	185,061,000円	189,313,976円

[指標]

指標名：対象農用地面積に対する活動面積の比率(カバー率)
 指標説明：活動面積／対象農用地面積(市内農振農用地区域内の農用地面積)



6 農業用排水機場整備事業費 221,304,320 円（河川課）

[総括]

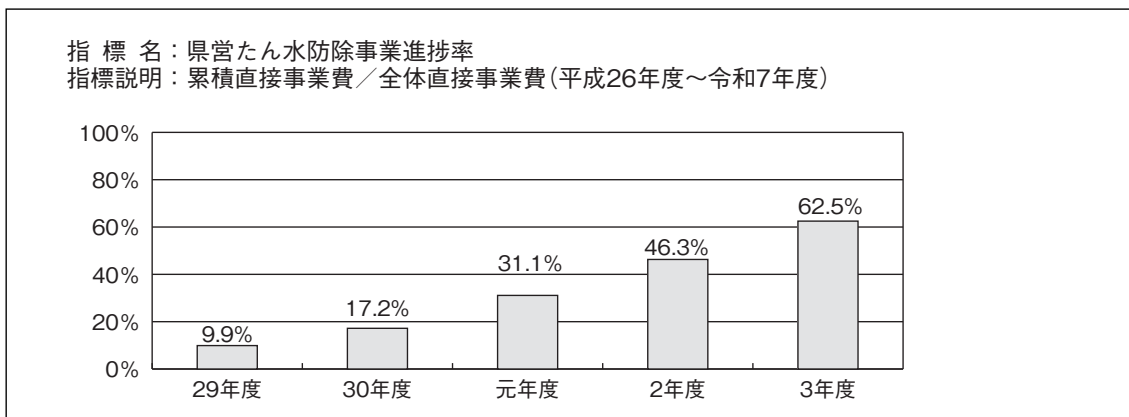
施設の老朽化に伴い能力が低下した排水機場、排水路等を更新することにより、農地のたん水被害を未然に防止し、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図った。今後も計画的な事業進捗に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 県営たん水防除事業負担金 140,553,001 円

区分 地区名	令和2年度		令和3年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
植田地地区	6,624,950円	993,743円	—	—
新清須地区	263,199,169	39,479,875	265,997,946円	39,899,691円
新高師地区	314,649,900	47,197,485	209,417,000	31,412,550
野依地区	167,653,052	21,794,897	321,102,496	41,743,324
新梅藪地区	152,649,582	19,844,446	70,399,341	9,151,914
三郷地区	50,520,000	6,567,600	141,119,400	18,345,522

[指標]



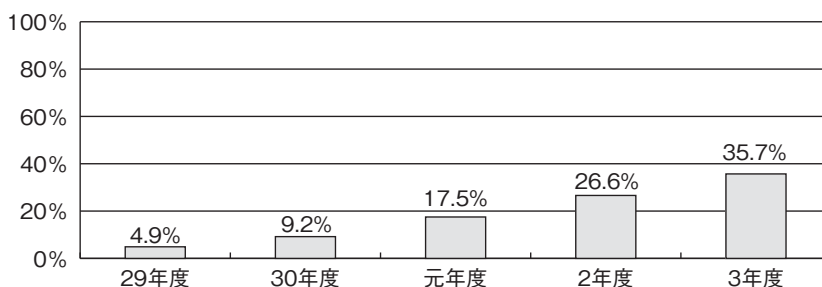
※各地区の事業費変更に伴う全体直接事業費の見直しのため、29～2年度指標を再計算

(2) 県営緊急農地防災事業負担金 21,523,095 円

区分 地区名	令和2年度		令和3年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
大村東地区	7,317,496円	1,097,624円	71,244,800円	10,686,720円
大村西地区	136,335,500	20,450,325	72,242,500	10,836,375

[指標]

指標名：県営緊急農地防災事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成28年度～令和7年度)



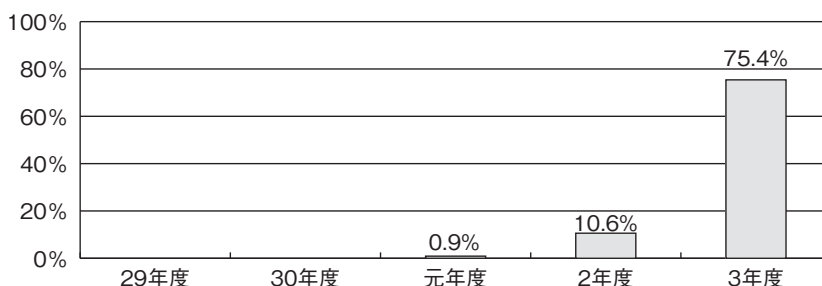
※各地区の事業費変更に伴う全体直接事業費の見直しのため、29～2年度指標を再計算

(3) 農業水利施設保全対策事業負担金 52,215,724 円

地区名	令和2年度		令和3年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
豊橋西部地区	40,999,200円	10,249,800円	274,819,600円	52,215,724円

[指標]

指標名：農業水利施設保全対策事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(令和元年度～令和6年度)



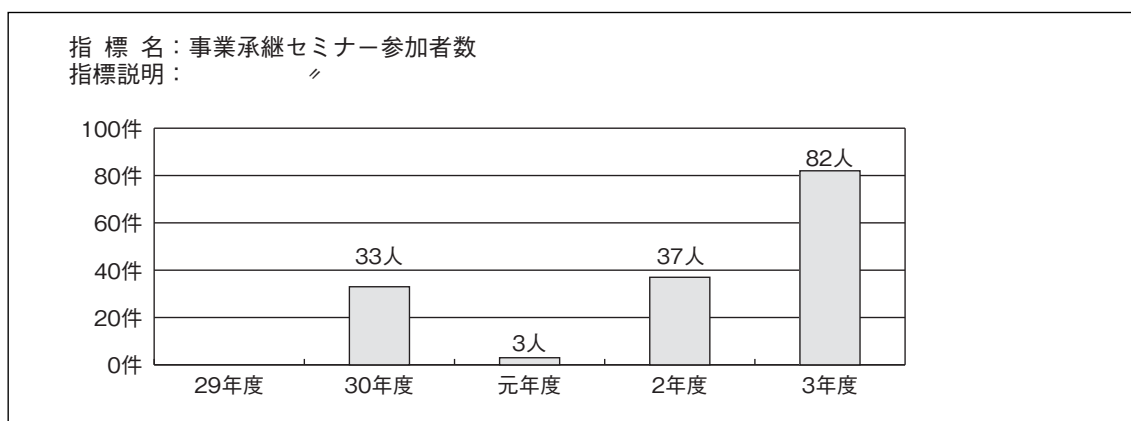
※各地区の事業費変更に伴う全体直接事業費の見直しのため、元～2年度指標を再計算

(4) 緊急農地防災事業費 7,012,500 円

地区名	令和2年度	令和3年度
緑地区	組立水路工一式	組立水路工一式

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7 款 商 工 費	3,288,480,784	442,870,150	0	1,485,028,939	1,360,581,695
1 項 商 工 費	3,288,480,784	442,870,150	0	1,485,028,939	1,360,581,695
2 目 経営力強化支援費 <経営基盤の強化と人材育成への支援>	2,136,839,345	377,555,000	0	1,470,154,500	289,129,845
1 中小企業振興事業費 468,187,987 円 (産業政策課・商工業振興課)					
[総括]					
<p>中小企業の経営基盤強化のため、事業承継や人材育成などの事業継続に向けた支援を行った。また、企業BCP (事業継続計画) 等の普及・啓発を目的として、策定を促すためのセミナーや策定に係る経費に対して支援を行った。今後も継続して中小企業の経営基盤の強化を図るとともに、業態転換などの新たなチャレンジを支援していく。</p>					
[実績及び成果]					
(1) 設備投資等支援事業費 166,419,880 円					
(ア) 中小企業振興助成金 165,849,880 円					
助 成 金		令和2年度		令和3年度	
		200件	171,908,430円	194件	165,849,880円
(2) 事業承継支援事業費 74,582 円					
セミナー受講者数		令和2年度		令和3年度	
		会場受講	延 22人	会場受講	延 46人
		WEB受講	延 15	WEB受講	延 36
(3) 企業BCP策定支援事業費 208,000 円					
(ア) 企業BCP等策定推進事業費 58,000 円					
内 容		令和2年度		令和3年度	
		セミナー開催	延 97人	セミナー開催	延 95人
		地域連携BCPモデル事業委託			
(イ) 企業BCP等策定支援事業費補助金 150,000 円					
補 助 金		令和2年度		令和3年度	
		2件	60,000円	5件	150,000円
(4) 中小企業関係団体等補助金 8,297,217 円					
(ア) 商業団体共同事業補助金 643,000 円					
補 助 金		令和2年度		令和3年度	
		3団体	253,000円	6団体	643,000円
(5) 商業振興事業費 24,004,000 円					
(ア) がんばる個店応援事業補助金 2,824,000 円					
補 助 金		令和2年度		令和3年度	
		11件	2,190,000円	10件	2,824,000円
(6) マイナポイントを活用した消費活性化事業費 25,185,994 円					
内 容		令和2年度		令和3年度	
		マイナポイント支援コーナーを設置 事業周知のための広報活動を実施		マイナポイント支援コーナーを設置 事業周知のための広報活動を実施	

[指標]



2 制度融資事業費 1,617,470,926 円（商工業振興課）

[総括]

中小企業に対する金融機関の融資の停滞を防ぎ、中小企業が経営基盤を安定・強化できるように、小口事業資金融資や小規模企業等振興資金融資などの原資として預託を行った。今後も融資制度の利用を促進していく。

[実績及び成果]

(1) 制度融資資金預託金 1,468,000,000 円

[預託金合計]

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
預 託 額		1,269,000,000円	1,468,000,000円	15.7%
融 資 枠		4,797,000,000円	5,244,000,000円	—
融 資 実 績	件数	403件	780件	93.5
	金額	1,854,214,000円	3,199,601,000円	72.6
融 資 実 績 率		38.7%	61.0%	22.3ポイント

(ア) 小口事業資金預託金 508,000,000 円

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか15金融機関	豊橋信用金庫ほか15金融機関	—
預 託 額		512,000,000円	508,000,000円	△ 0.8%
融 資 枠		1,536,000,000円	1,524,000,000円	—
融 資 実 績	件数	61件	149件	2.4倍
	金額	428,014,000円	953,380,000円	2.2
融 資 実 績 率		27.9%	62.6%	34.7ポイント

(イ) 経営安定資金預託金 560,000,000 円

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
預 託 先		岡崎信用金庫ほか15金融機関	岡崎信用金庫ほか15金融機関	—
預 託 額		258,000,000円	560,000,000円	2.2倍
融 資 枠		774,000,000円	1,680,000,000円	—
融 資 実 績	件数	58件	30件	△48.3%
	金額	364,000,000円	210,200,000円	△42.3
融 資 実 績 率		47.0%	12.5%	△34.5ポイント

(ウ) 小規模企業等振興資金預託金 280,000,000 円

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか16金融機関	豊橋信用金庫ほか16金融機関	—
預 託 額		330,000,000円	280,000,000円	△15.2%
融 資 枠		1,980,000,000円	1,680,000,000円	—
融 資 実 績	件数	220件	457件	2.1倍
	金額	804,670,000円	1,515,671,000円	88.4%
融 資 実 績 率		40.6%	90.2%	49.6ポイント

(エ) 中心市街地商業活性化資金預託金 32,000,000 円

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
預 託 先		豊川信用金庫ほか12金融機関	豊川信用金庫ほか12金融機関	—
預 託 額		23,000,000円	32,000,000円	39.1%
融 資 枠		69,000,000円	96,000,000円	—
融 資 実 績	件数	3件	2件	△33.3
	金額	15,300,000円	10,000,000円	△34.6
融 資 実 績 率		22.2%	10.4%	△11.8ポイント

(オ) 創業支援資金預託金 67,000,000 円

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか7金融機関	豊橋信用金庫ほか7金融機関	—
預 託 額		124,000,000円	67,000,000円	△46.0%
融 資 枠		372,000,000円	201,000,000円	—
融 資 実 績	件数	60件	136件	2.3倍
	金額	234,330,000円	492,350,000円	2.1
融 資 実 績 率		63.0%	245.0%	182.0ポイント

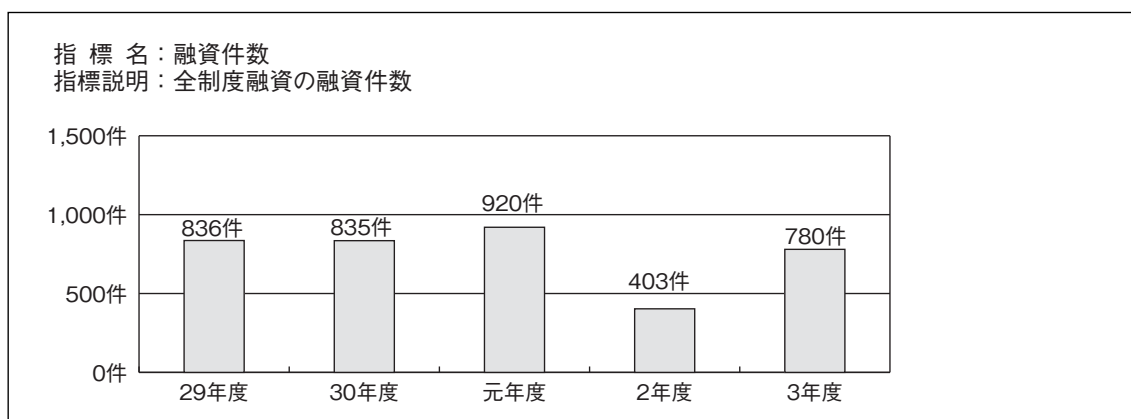
(カ) 中小企業団体共同事業資金預託金 7,000,000 円

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか6金融機関	豊橋信用金庫ほか6金融機関	—
預 託 額		8,000,000円	7,000,000円	△12.5%
融 資 枠		24,000,000円	21,000,000円	—
融 資 実 績	件数	0件	0件	0.0
	金額	0円	0円	0.0
融 資 実 績 率		0.0%	0.0%	0.0ポイント

(キ) 小規模事業資金預託金 14,000,000 円

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか11金融機関	豊橋信用金庫ほか11金融機関	—
預 託 額		14,000,000円	14,000,000円	0.0%
融 資 枠		42,000,000円	42,000,000円	—
融 資 実 績	件数	1件	6件	6.0倍
	金額	7,900,000円	18,000,000円	2.3
融 資 実 績 率		18.8%	42.9%	24.1ポイント

[指 標]



3 人材育成事業費 44,537,433円 (産業政策課・地域イノベーション推進室・商工業振興課)

[総 括]

市内企業の事業活動を支えるため、情報関連技術や生産関連技術等に関する研修を実施した。また、本市をはじめ様々な機関が一体となって行う人材育成事業等の取組みに対して助成したほか、南部窓口センター2階で大学生・高校生の交流スペース「ガクラボ」を運営し、学生の意欲的な自主活動を支援した。今後も産業を支える人材の育成や交流を進める取組みを行っていく。

[実績及び成果]

(1) 人材育成支援事業費 35,251,292円

(ア) 中小企業人材育成支援研修事業費 33,699,930円

セミナー受講者数	令和2年度	令和3年度
	256人	197人

(2) 社会人キャリアアップ支援事業補助金 3,150,000円

補助金	令和2年度	令和3年度
	3,500,000円	3,150,000円

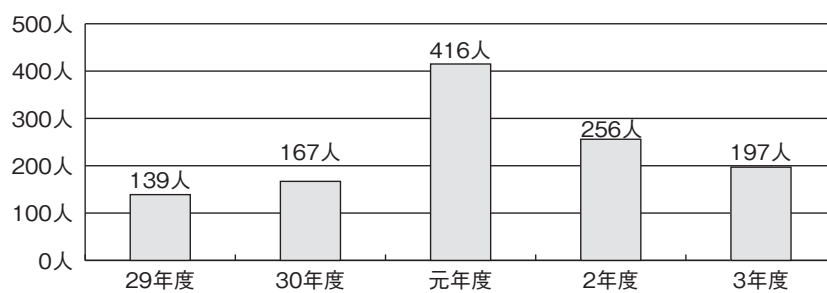
(3) 学生の学びと交流空間運営事業費 6,136,141円

内 容	令和2年度	令和3年度
	南部窓口センター2階に大学生・高校生の交流スペース「ガクラボ」を開設し、学生の意欲的な自主活動を支援	南部窓口センター2階で大学生・高校生の交流スペース「ガクラボ」を運営し、学生の意欲的な自主活動を支援

[指 標]

指 標 名：人材育成事業参加者数

指標説明：中小企業人材育成支援研修参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 新事業創出費 <スタートアップの促進と新たなビジネスモデルの創出支援>	167,526,609	0	0	4,950,000	162,576,609

1 新事業創出事業費 167,526,609円 (産業政策課・地域イノベーション推進室・商工業振興課)

[総括]

海外ECサイト等を活用した販路の構築支援、衛星データを活用したサービス創出のための実証実験への支援、スタートアップと市職員の協働による地域課題の解決に向けた実証実験の実施、ものづくり・夢づくり支援事業による起業支援などの、新たなビジネス創出につなげる様々な取組みを行った。また、特色ある技術を持った事業者が活躍し、地域における新産業を創出するため、産学連携等による新技術または新製品の研究開発の取組みに対して助成した。今後も地域での新事業創出に向けた取組みを推進していく。

[実績及び成果]

(1) 海外ECサイト販路構築事業費 1,999,800円

内 容	令和2年度	令和3年度
		—

(2) イノベーション創出等支援事業補助金 35,651,703円

補 助 金	令和2年度	令和3年度
		35,504,893円

(3) オープンデータビジネス創出事業費 18,769,800円

内 容	令和2年度	令和3年度
		データポータルサイト及びデジタルサイネージの運用管理、公共交通運行情報システムの機能拡張及び運用管理

(4) 衛星データ利活用促進支援事業補助金 6,696,161円

補 助 金	令和2年度	令和3年度
		7,950,000円

(5) 官民一体型新ビジネス創出事業費 8,000,000円

内 容	令和2年度	令和3年度
		スタートアップと市職員が協働して、地域や行政の抱える課題の解決に資するプロダクトの開発・実装のための実証実験を実施

(6) 地域産業支援施設整備事業補助金 20,800,000円

補 助 金	令和2年度	令和3年度
		20,800,000円

(7) 豊橋イノベーションガーデン運営事業補助金 52,599,480 円

補 助 金	令和 2 年度		令和 3 年度	
		53,300,000円		52,599,480円

(8) ものづくり・夢づくり支援事業費 14,819,000 円

(ア) 知的財産権取得事業費補助金 1,931,000 円

補 助 金	令和 2 年度		令和 3 年度	
		21件	1,489,000円	18件

(イ) 販路開拓支援事業費補助金 5,199,000 円

補 助 金	令和 2 年度		令和 3 年度	
		28件	5,086,000円	27件

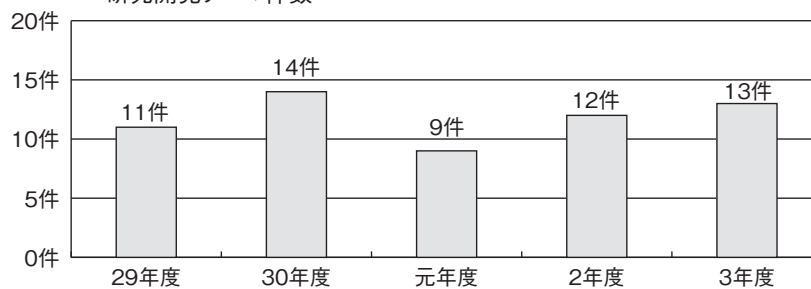
(ウ) 起業支援事業費補助金 6,827,000 円

補 助 金	令和 2 年度		令和 3 年度	
		5件	1,370,000円	26件

[指 標]

指 標 名：研究開発に対する支援件数

指標説明：イノベーション創出等支援事業及び衛星データ利活用促進支援事業(令和2年度～)の研究開発テーマ件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 企業誘致費 <産業集積の促進>	470,533,604	29,007,000	0	3,930,000	437,596,604

1 企業誘致推進事業費 470,533,604 円 (産業政策課)

[総括]

市外、県外の企業へ本市に立地する利点をPRするため、東京と大阪で開催された県主催の産業立地セミナーや、東三河5市連携により首都圏で開催された展示会に出展した。また、コロナ禍においても企業訪問を効果的かつ継続的に行うため、オンライン会議システムを活用するなどして、積極的に企業の活動状況やニーズの把握に努めた。

さらに、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、テレワークの導入や都市部のオフィスから地方への分散といった「新しい働き方」の動きが加速していることから、サテライトオフィスの誘致を図った。このほか、豊橋三弥地区工業用地及び豊橋東インターチェンジ工業用地の整備を進めた。

[実績及び成果]

(1) 企業誘致活動事業費 5,253,548 円

内 容		令和2年度		令和3年度	
立地企業情報交換会	開催日	7.20	9.25	7.13	7.16
	場 所	二川地区	若松地区	リサーチパーク	石巻地区
	出席企業数	9社	13社	6社	9社
東三河5市企業誘致推進連絡会議	事業実績	○企業誘致PR用品の製作		○メッセナゴヤ出展 11.10~11.13 ポートメッセ名古屋 ○2022国際ロボット展出展 3.9~3.12 東京ビッグサイト	
サテライトオフィス誘致補助金		—		4社	3,930,000円

(2) 企業立地促進奨励金 352,903,000 円

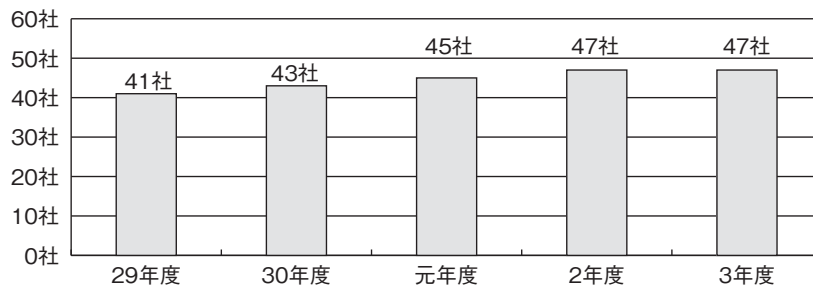
奨 励 金	令和2年度		令和3年度	
		34件	322,340,000円	45件

(3) 産業拠点形成事業費 112,377,056 円

内 容	令和2年度	令和3年度
		—

[指 標]

指 標 名：産業用地における立地企業数(累計)
指標説明：市内8か所の産業用地に立地した企業数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 まちなかにぎわい創出費 <まちなかのにぎわいの創出>	35,959,950	11,562,500	0	0	24,397,450

1 まちなかにぎわい創出事業費 25,913,950円 (まちなか活性課)

[総括]

中心市街地のにぎわい創出及び消費促進のため、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で感染拡大防止に対応したまちなかマルシェ、クリスマスマーケットを引き続き開催した。また、令和3年10月に供用開始したまちなか広場において、まちなか広場JAMを開催したほか、豊橋駅東口ペDESTリアンデッキ等でイルミネーション装飾を行った。今後も中心市街地で活躍する様々な団体と連携・協力しながら、まちなかに人の流れを生み出し、魅力ある中心市街地の形成に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) まちなかにぎわい創出活動事業費 23,918,950円

内 容	令和2年度		令和3年度	
まちなかイルミネーション装飾の実施	点灯期間・日数	11.13~2.14 94日間	点灯期間・日数	11.12~2.14 95日間
	装飾電球数	約 147,000球	装飾電球数	約 200,000球
まちなかマルシェ等の実施	実施回数・日数	8回・17日間	実施回数・日数	13回・22日間
	来場者数	延 24,800人	来場者数	延 41,930人
豊橋駅南口駅前広場、まちなか広場使用実績	使用件数	50件	使用件数	67件
	使用日数	63日	使用日数	91日

(2) まちなか活性化推進協議会負担金 1,000,000円

負 担 金	令和2年度		令和3年度	
		1,000,000円		1,000,000円

(3) イルミネーションフェスティバル補助金 500,000円

補 助 金	令和2年度		令和3年度	
		1件	500,000円	1件

(4) 歩行者天国実行委員会負担金 0円

内 容	令和2年度		令和3年度	
歩行者天国の実施	実施回数	1回	実施回数	0回
	来場者数	延 18,000人	来場者数	0人

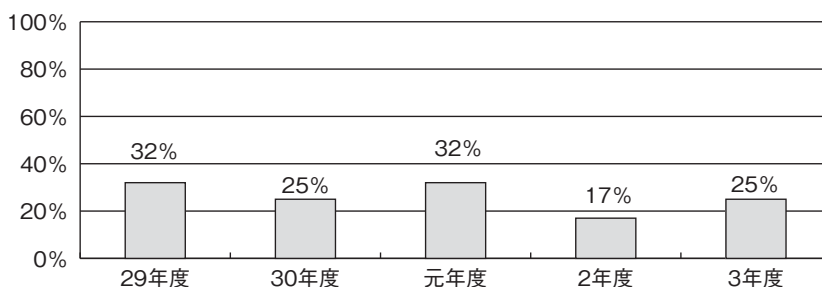
(5) リノベーションまちづくり推進事業費 495,000円

内 容	令和2年度		令和3年度	
講演会等の実施	実施回数	2回	実施回数	4回
	参加者数	延 155人	参加者数	延 141人

[指 標]

指 標 名：公共空間の年間稼働率

指標説明：豊橋駅南口駅前広場または豊橋市まちなか広場が稼働している日の年間稼働率



2 TMO支援事業費

10,046,000円（まちなか活性課）

[総 括]

中心市街地の商業・サービス業の振興を図るため、株式会社豊橋まちなか活性化センター（TMO）が実施する共通駐車券事業のほか、新規創業者の出店経費の負担軽減を図る、まちなかインキュベーション事業への支援を行った。今後も魅力ある商業・サービス業を集積させるための取組みを支援していく。

[実績及び成果]

- (1) 共通駐車券事業補助金 466,000円

補 助 金	令和2年度		令和3年度	
		2件	3,065,000円	1件

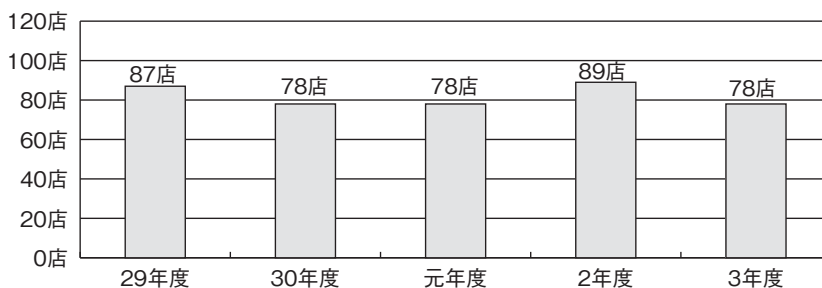
- (2) まちなかインキュベーション事業補助金 9,580,000円

補 助 金	令和2年度		令和3年度	
		21件	9,954,000円	19件

[指 標]

指 標 名：中心市街地内の空き店舗数

指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 観光振興費 <観光資源の魅力づくり>	16,227,562	0	0	4,434,700	11,792,862

1 まつり・イベント支援事業費 6,274,039円 (観光プロモーション課)

[総括]

交流人口の拡大による観光振興や地域の活性化を図るため、豊橋まつり、春まつり、花しょうぶまつりの支援を行った。豊橋まつりは、新型コロナウイルスの影響で中止となったが、令和4年度の開催に向け、豊橋まつりへの想いを市民から募集し、ラジオやホームページで公開した。春まつりでは、つつじまつりのみ新型コロナウイルスの影響で中止となったが、その他のまつりについては、感染防止対策を徹底し2年ぶりに開催した。今後もイベント等の魅力向上に努めながら、地域の活性化につながるよう一層の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) まつり開催費補助金 5,720,535円

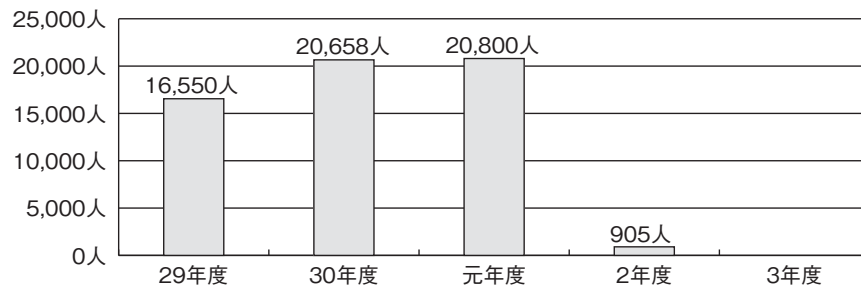
行 事 内 容			令和2年度	令和3年度
春まつり	さくらまつり	期 間	3.22~3.31 (10日間)	4.1~4.4 3.15~3.31 (21日間)
		場 所	豊橋公園	豊橋公園
		来場者数	約20,000人	約25,000人
	つつじまつり	期 間	—	—
		場 所	—	—
		来場者数	—	—
	うめまつり	期 間	—	2.4~3.6 (31日間)
		場 所	—	向山緑地内梅林園
		来場者数	—	約20,000人
			補 助 金	2,211,299円
花しょうぶまつり	期 間	—	5.26~6.8 (14日間)	
	場 所	—	賀茂しょうぶ園	
	来場者数	—	約40,000人	
	補 助 金	1,502,320円	2,678,107円	

(2) 豊橋まつり開催費補助金 553,504円

区 分	令和2年度	令和3年度
開 催 日	10.18	—
会 場 数	まちなかエリア・豊橋公園エリアなど 6会場	—
行 事 数	10行事	1行事
総 人 出 数	約10,508人	—
総 参 加 団 体 数	約46団体	—
補 助 金	12,000,000円	553,504円

[指 標]

指 標 名：ええじゃないか豊橋まつり総おどり参加者数
指標説明：



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7日 観光情報発信費 <誘客につながるプロモーションの推進>	128,659,931	24,745,650	0	1,500	103,912,781

1 産業プロモーション推進事業費 52,287,248 円 (産業政策課・観光プロモーション課)

[総括]

道の駅「とよはし」を拠点とした体験型観光を充実させるため、サイクリストのための工具ステーションを整備したほか、スタンプラリー等のサイクルイベントを実施した。また、東三河の産業をPRするため豊橋駅構内東西自由連絡通路に設置している展示ブースの入替えを実施したほか、ふるさと寄附制度を活用し豊橋産品のPRを実施した。海外向けのプロモーションとして、台湾現地旅行会社に対するセールスコールの実施や訪日観光客向け旅行予約サイトにおける観光モデルプランの掲載等を行い、現地旅行会社との関係性の構築や情報発信を行った。

今後も効果を検証しながら本市の認知度向上や誘客につなげるプロモーションを展開していく。

[実績及び成果]

(1) 産業プロモーション推進事業費 52,287,248 円

(ア) 推進活動費 1,634,956 円

産業プロモーション 実施回数 ※ () は日数	令和2年度	令和3年度
	・物産展 道の駅とよはし 4回 (4日) クックマートユアアイ店 2 (2) イオン豊橋南店 2 (2) ・その他 10 (10)	
計	18 (18)	2 (2)

(イ) 豊橋駅東西自由連絡通路展示物設置事業費 2,748,724 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	車両 {アバルト} 及びものづくり技術 {東洋製罐(株)} の紹介展示	

(ウ) 手筒花火放場 232,200 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	・炎の祭典 11.28~29 (2日間)	

(エ) 訪日外国人観光客誘致 3,999,999 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	・台湾現地旅行会社へ提案する周遊観光モデル及び観光素材集の作成 ・台南市との相互観光展の実施及び情報発信	

(オ) ふるさと寄附制度を活用した豊橋産品PR事業費 34,512,069円

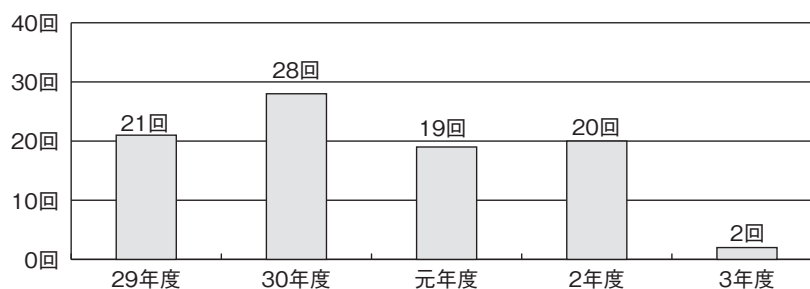
内 容	令和2年度	令和3年度
	ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」への掲載 返礼品件数：2,706件	ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」への掲載 返礼品件数：2,958件

(カ) 道の駅「とよはし」でのサイクリストの受入体制強化 9,159,300円

内 容	令和2年度	令和3年度
	道の駅「とよはし」のインフォメーションセンターをリニューアルし、サイクリングに注力した情報発信コーナーを設置	道の駅「とよはし」を拠点とした体験型観光を充実させるため、サイクリストのための工具ステーションを整備したほか、スタンプラリー等のサイクルイベントを実施

[指 標]

指 標 名：産業プロモーション実施回数
 指標説明：物産展、手筒花火放揚などのPR活動回数



2 観光宣伝事業費 17,212,683円（観光プロモーション課）

[総 括]

本市の観光施設等への集客を促すため、雑誌・新聞等による情報発信や観光案内所、道の駅「とよはし」でPR活動を行った結果、本市への来訪者数及び案内者数は増加した。今後も国内外の人々が豊橋に興味を持ち、訪れたいような効果的な情報発信、PR活動に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 観光PR活動推進事業費 7,988,164円

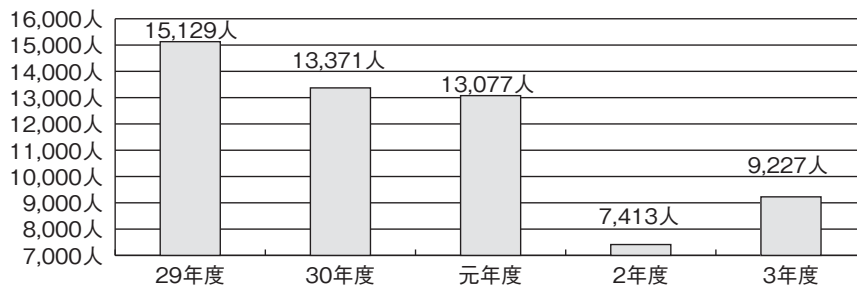
豊橋市への来訪者数	令和2年度	令和3年度	比 較
	延 3,051,094人	延 3,580,996人	17.4%

(2) 観光案内所運営事業費 9,224,519円

案 内 者 数	令和2年度	令和3年度	比 較
	延 7,413人	延 9,227人	24.5%

[指 標]

指 標 名：観光案内所の案内者数
指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8 款 土 木 費	14,376,067,615	2,889,259,571	2,810,400,000	1,057,779,826	7,618,628,218
1 項 道 路 橋 梁 費	3,574,196,160	460,629,119	970,500,000	355,187,688	1,787,879,353
2 目 幹 線 道 路 整 備 費 < 幹 線 道 路 の 整 備 >	464,613,020	221,491,000	183,900,000	12,113,684	47,108,336

1 幹線道路建設促進対策事業費 15,548,680 円 (道路建設課)

[総括]

広域幹線道路の整備を促進するため、東三河縦貫道路建設促進期成同盟会をはじめとする各種協議会を運営するとともに、本市が加盟する他の協議会においても、国・県に対し、Web等を活用するなど、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下においても継続的に要望活動等を行った。また、スマート IC 整備については、令和2年度から継続してスマート IC の位置や構造等の詳細検討を行い、地区協議会の開催を経て新規事業化し、詳細設計に着手した。今後も関係自治体や経済界との連携をより一層強化して、地域と一体となって広域幹線道路の整備の促進を図るとともに、スマート IC の整備を推進する。

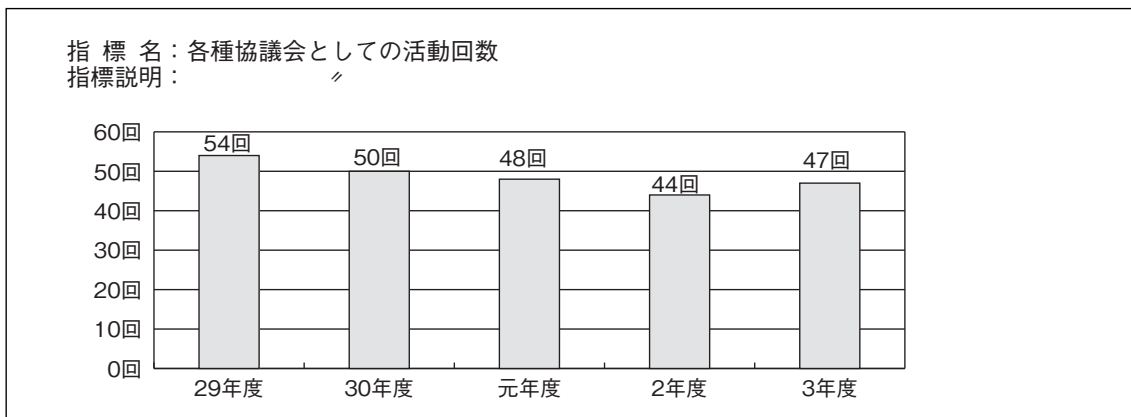
[実績及び成果]

(1) 幹線道路建設促進対策事務費 1,196,980 円

内 容	令和2年度	令和3年度
東三河縦貫道路建設促進期成同盟会	総会・要望活動の実施	総会・要望活動の実施
名豊道路建設推進協議会	総会・要望活動の実施	総会・要望活動の実施
その他本市が加盟する協議会	総会・要望活動等への参加	総会・要望活動等への参加
ス マ ー ト I C	詳細検討	—

※スマート IC は令和3年度から豊橋新城スマート IC (仮称) 整備事業費として事業化

[指標]

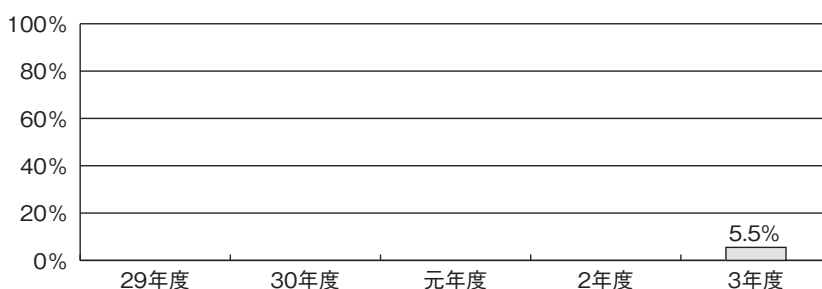


(2) 豊橋新城スマート IC (仮称) 整備事業費 14,351,700 円

	令和2年度	令和3年度
ス マ ー ト I C	—	詳細検討 詳細設計

[指 標]

指 標 名：豊橋新城スマートIC(仮称)整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（令和3年度～）



2 幹線市道整備事業費 240,789,880 円（道路建設課）

[総 括]

大岩町・小松原町55号線は用地取得を進め、一色町・王ヶ崎町1号線については道路改良工事を行った。明海町・老津町28号線については、用地取得を進めるとともに、令和3年度から道路改良工事に着手した。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、道路交通の円滑化や交通安全確保のため、幹線道路の整備を図る。

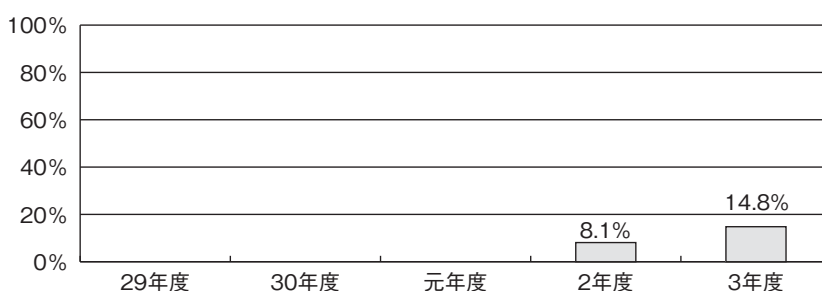
[実績及び成果]

- (1) 大岩町・小松原町55号線整備事業費 42,270,314 円
 (国庫補助事業 37,026,000 円 市単独事業 5,244,314 円)

道 路 改 良 (第 4 工 区)	令和2年度		令和3年度	
	用 地	380.52㎡	用 地	280.23㎡
補 償	工作物等	補 償	建物等	

[指 標]

指 標 名：大岩町・小松原町55号線整備事業進捗率(第4工区)
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（令和2年度～令和6年度）

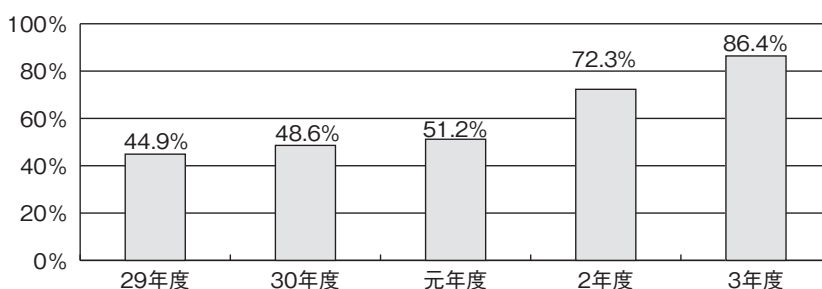


- (2) 一色町・王ヶ崎町1号線整備事業費 42,010,100 円
 (国庫補助事業 38,600,000 円 市単独事業 3,410,100 円)

道 路 改 良	令和2年度		令和3年度	
	延 長	120m	延 長	230m
補 償	電柱等	補 償	—	

[指 標]

指 標 名：一色町・王ヶ崎町1号線整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成29年度～令和4年度）

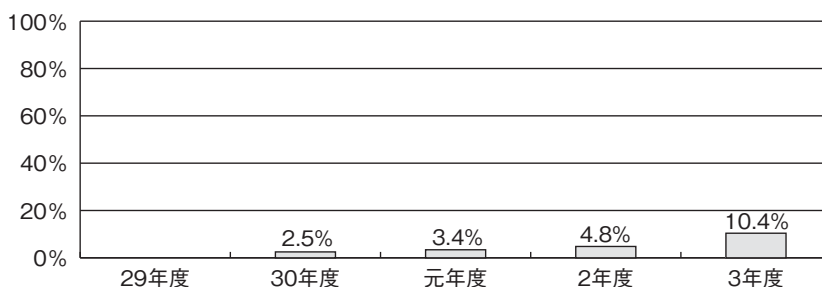


- (3) 明海町・老津町 28 号線整備事業費 156,509,466 円
 (国庫補助事業 150,840,000 円 市単独事業 5,669,466 円)

道 路 改 良	令和 2 年度		令和 3 年度	
	延 長	—	詳細設計	—
用 地	1,770.06㎡	延 長	194m	
補 償 工作物等	—	用 地	1,567.80㎡	
		補 償 工作物等	—	

[指 標]

指 標 名：明海町・老津町28号線整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成30年度～）



※事業内容の見直しにより再計算

3 都市計画道路整備事業費 208,274,460 円（道路建設課）

[総括]

都市における交通環境の改善と景観形成や防災効果向上のため、都市計画道路網の整備を推進しており、令和3年度は弥生町線の用地取得とともに道路改良工事を進めた。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

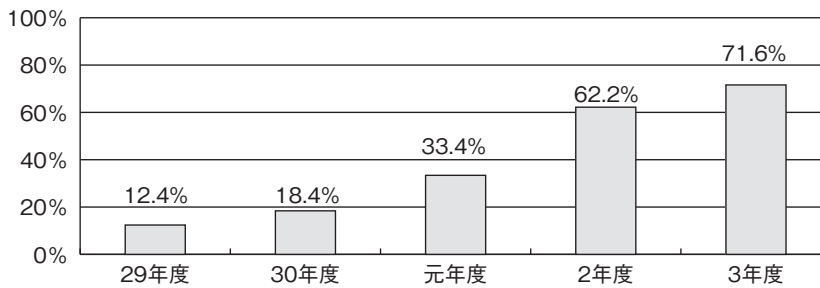
[実績及び成果]

- (1) 弥生町線整備事業費 208,274,460 円
 (国庫補助事業 196,832,729 円 市単独事業 11,441,731 円)

	令和2年度	令和3年度
道 路 改 良	延 長 100m	延 長 131m
	用 地 1,172.17㎡	用 地 1,048.07㎡
	補 償 建物等	補 償 建物等

[指 標]

指 標 名：弥生町線整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成28年度～令和6年度）



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 交通環境保全費 <交通環境の保全>	1,931,750,611	207,489,119	768,700,000	142,115,852	813,445,640

1 自由連絡通路等管理事業費 225,562,401 円 (土木管理課)

[総括]

豊橋駅、二川駅及び駅周辺施設の利用者が安全かつ快適に利用できるよう自由連絡通路、ペDESTリアンデッキなどを維持管理した。令和3年度については長寿命化計画に基づき、ペDESTリアンデッキの防水工事や駅前地下道の躯体修繕等を行った。今後も施設の修繕等適正な維持管理を行い、快適な環境づくりに努めていく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅東西自由連絡通路等管理事業費 209,021,231 円

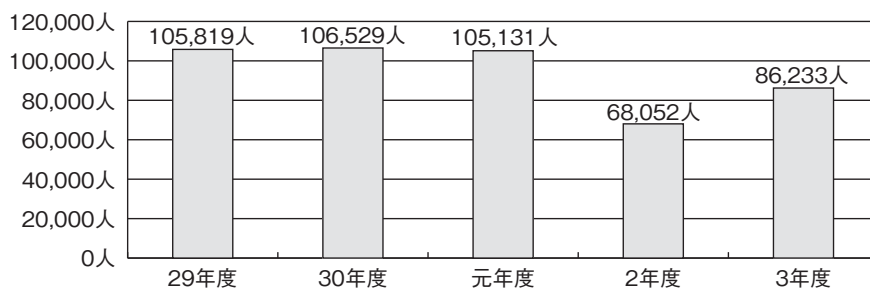
1日当たりの利用者数	令和2年度	令和3年度	比 較
		63,951人	81,863人

(2) 二川駅南北自由連絡通路等管理事業費 16,541,170 円

1日当たりの利用者数	令和2年度	令和3年度	比 較
		4,101人	4,370人

[指 標]

指 標 名：豊橋駅・二川駅1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数/日数



2 自転車等駐車場管理運営事業費 103,220,029 円 (土木管理課)

[総括]

自転車等の駐車スペースを提供することにより、豊橋駅及び二川駅周辺の放置自転車等を防止し、安全かつ円滑な交通環境を確保した。指定管理者の提案事業により、場内照明の段階的なLED化を行ったほか、施設長寿命化計画に基づき、豊橋駅東口地下エリア(南ゾーン)の天井剥落防止工事を行うなど、利便性向上を図るとともに、安全安心な施設づくりを行っている。

今後も、進学などを機に駅を利用する人に向けた定期利用の呼び掛けを継続し、利用者の確保に努めるほか、感染症対策や施設の予防保全により、安心して利用できる快適な環境を維持していく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅東口自転車等駐車場管理運営事業費 60,222,871円

(ア) 自転車・ミニバイク（駅前地下エリア） 収容台数 4,200台

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
1日平均利用台数		2,147台	2,407台	12.1%
自 転 車	定期	1,744	1,959	12.3
	一時	272	312	14.7
ミニバイク	定期	106	105	△ 0.9
	一時	25	31	24.0

(イ) 自動二輪車（城海津エリア） 収容台数 14台

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
1日平均利用台数		9台	10台	11.1%
自動二輪車	定期	1	1	0.0
	一時	8	9	12.5

(2) 豊橋駅西口自転車等駐車場管理運営事業費 27,968,862円

(ア) 自転車・ミニバイク（駅前地下エリア） 収容台数 1,300台

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
1日平均利用台数		798台	859台	7.6%
自 転 車	定期	654	700	7.0
	一時	94	115	22.3
ミニバイク	定期	44	38	△13.6
	一時	6	6	0.0

(イ) 自転車・ミニバイク（白河エリア） 収容台数 419台

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
1日平均利用台数		194台	253台	30.4%
自 転 車	定期	60	93	55.0
	一時	54	64	18.5
ミニバイク	定期	24	26	8.3
	一時	11	13	18.2
自動二輪車 (原付2種含む)	定期	34	43	26.5
	一時	11	14	27.3

(3) 二川駅南口自転車等駐車場管理運営事業費 15,028,296円

(ア) 自転車・ミニバイク（西エリア） 収容台数 370台

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
1日平均利用台数		335台	340台	1.5%
自 転 車	定期	263	259	△ 1.5
	一時	33	37	12.1
ミニバイク	定期	32	34	6.3
	一時	7	9	28.6

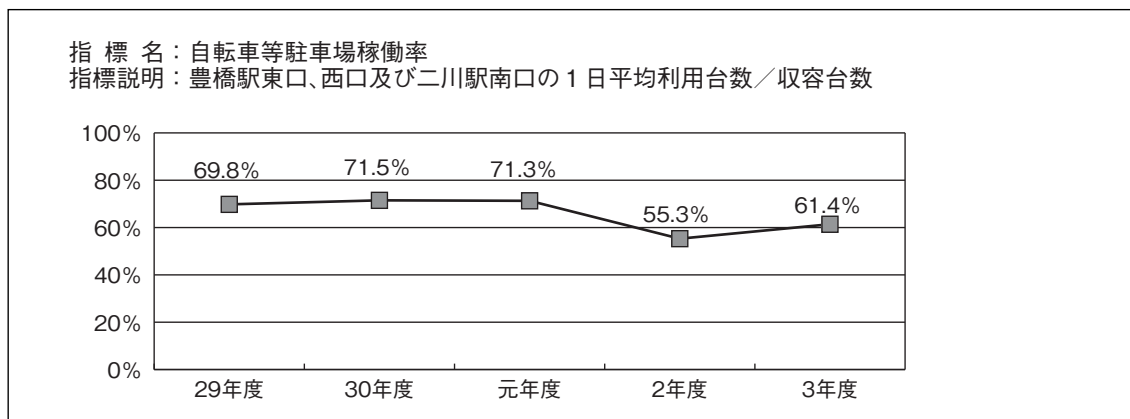
(イ) 自転車（東エリア） 収容台数 45 台

1 日 平 均 利 用 台 数	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
	26台	26台	0.0%

(ウ) 自 動 車 収容台数 10 台

1 日 平 均 利 用 台 数	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
	4台	5台	25.0%

[指 標]



3 道路施設等維持管理事業費 372,703,227 円（道路維持課）

[総 括]

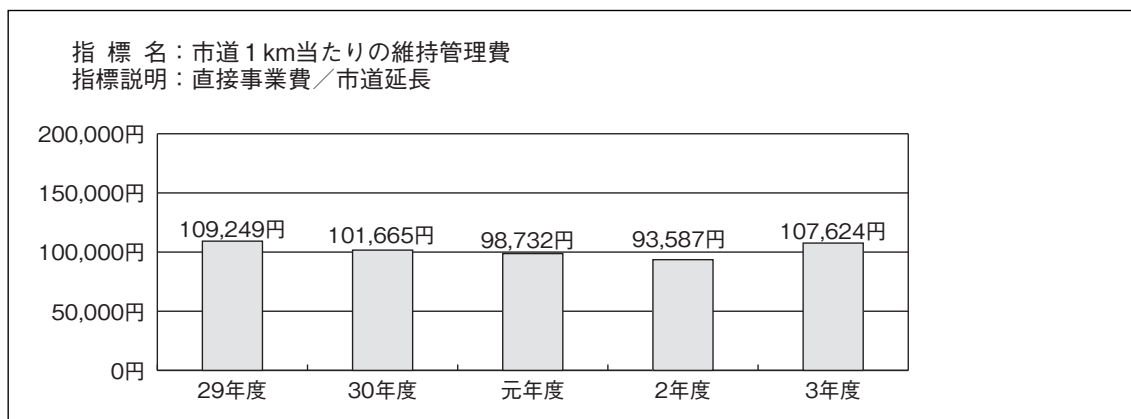
生活道路として通行に支障のないように、道路及び道路付属物の修繕・清掃・舗装等の維持管理を行った。今後も修繕等の迅速な対応に努めるとともに、老朽化が進む道路ストックについては道路分野別施設計画に基づき維持修繕を行い、道路の適正な維持管理を行う。

[実績及び成果]

(1) 道路施設等維持管理事業費 372,703,227 円

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度
道 路 清 掃	136路線 延長 345.0km	81路線 延長 165.0km
道 路 側 溝 清 掃	57か所 〃 5,486m	47か所 〃 4,429m
舗 装 道 路 補 修	くぼみ補修工・舗装復旧工等	くぼみ補修工・舗装復旧工等
道 路 修 繕	市内一円、側溝修繕等	市内一円、側溝修繕等
花田跨線橋擁壁補強	—	延長 40.67m

[指 標]



4 道路等維持改良事業費 317,907,700 円 (道路維持課)

[総 括]

道路側溝を計画的に整備することにより排水不良の軽減を図り、また、道路改良を実施して安全で快適な通行環境を確保した。今後も地域住民の要望を把握し必要性等を考慮しながら、事業効果を高めていく。

[実績及び成果]

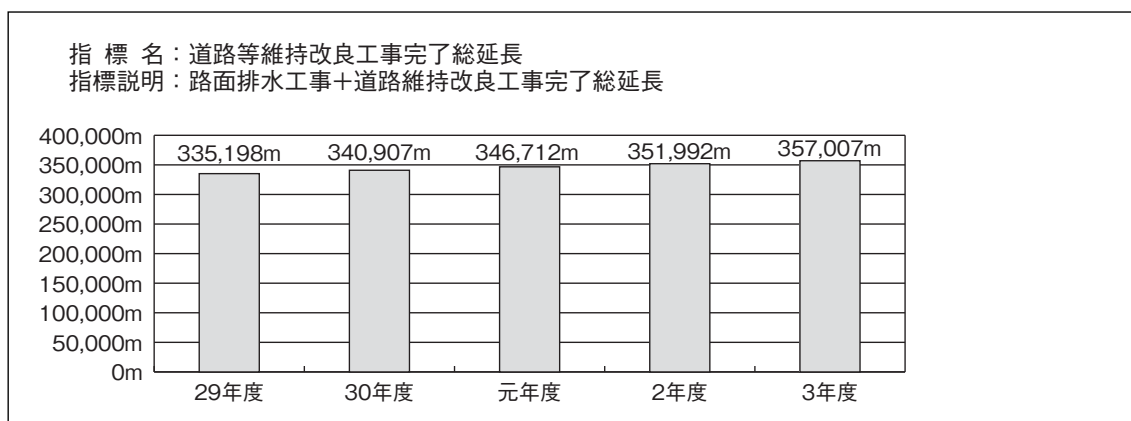
(1) 路面排水整備工事費 306,339,000 円

路 面 排 水	令和 2 年度		令和 3 年度	
	市内一円	延長 4,482m	市内一円	延長 4,388m
	市街地	〃 678	市街地	〃 602
	雨水浸透型側溝等設置		雨水浸透型側溝等設置	

(2) 道路維持改良工事費 11,568,700 円

道 路 維 持 改 良	令和 2 年度		令和 3 年度	
	1 件	延長 120m	1 件	延長 25m

[指 標]



5 道路舗装事業費

448,110,300 円（道路維持課）

[総括]

未舗装区間の解消を図るとともに、既設の舗装道路についても、老朽化の程度、交通安全対策上の観点などから現場調査を実施し、順次改良・修繕を行った。今後も安全性や緊急性などを精査し、安全で快適な生活道路を整備していく。

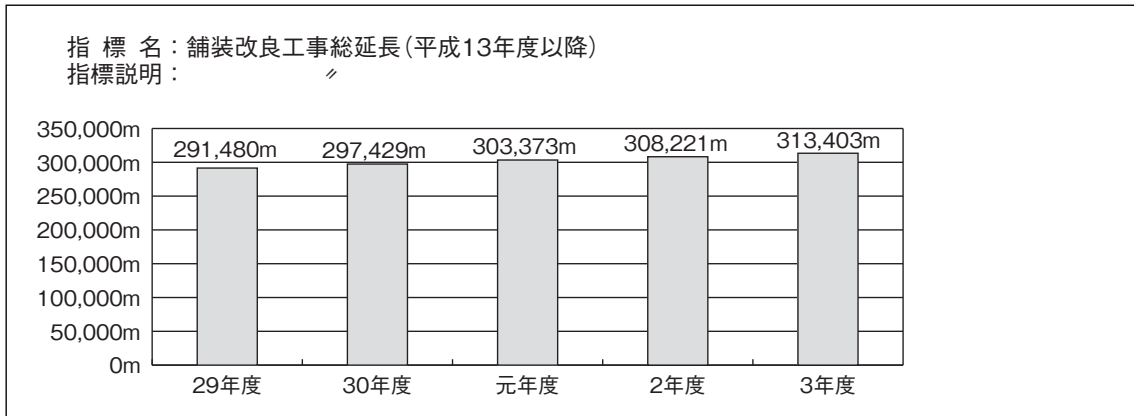
[実績及び成果]

(1) 道路舗装事業費

448,110,300 円

内 容	令和 2 年度		令和 3 年度	
舗 装 新 設	延長 500m	面積 1,375㎡	延長 269m	面積 645㎡
舗 装 改 良	〃 4,848	〃 30,390	〃 5,182	〃 31,174
舗 装 修 繕	〃 11,150		〃 9,829	

[指 標]



6 橋梁整備事業費

355,679,250 円（道路建設課）

[総括]

道路法で定められた定期点検を行うとともに、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき計画的に修繕を行った。また、橋梁の安全・安心を確保するとともに、維持管理コストの縮減を図るため「橋梁長寿命化修繕計画」を改定し、修繕の優先度や更新時期の見直しを行った。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 橋梁長寿命化事業費

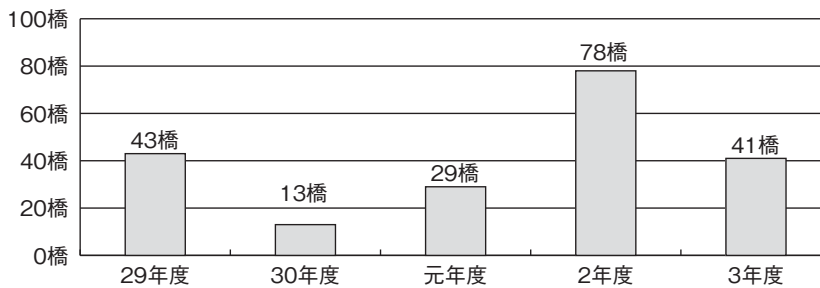
355,679,250 円

(国庫補助事業 298,200,000 円 市単独事業 57,479,250 円)

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
計 画	—	橋梁長寿命化修繕計画改定
定 期 点 検	御弓橋始め 294橋	桜橋始め 193橋
補 修 (国 庫 補 助)	柳生橋始め 78橋	切反ヶ谷橋始め 41橋
補 修 (市 単 独)	老津33号橋始め 16橋	畑ヶ田 7号橋始め 13橋

[指 標]

指 標 名：構造物(橋梁)保全数
 指標説明：〃



7 道路環境整備事業費 6,627,500 円 (道路維持課)

[総 括]

歩道修繕を行い、段差を解消した。今後も歩きやすい歩道の整備に努める。

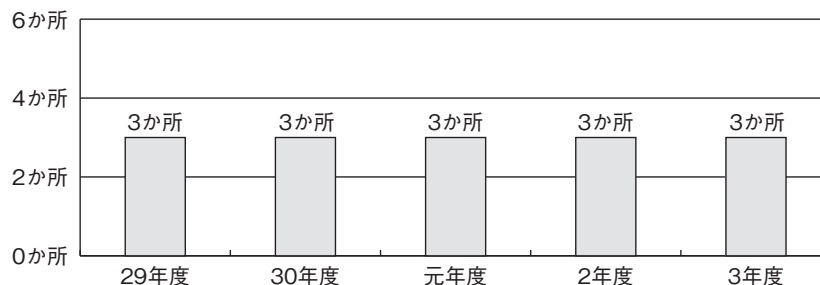
[実績及び成果]

(1) 人にやさしい道づくり事業費 6,627,500 円

歩 道 修 繕	令和2年度	令和3年度
	3か所	3か所

[指 標]

指 標 名：人にやさしい道づくり工事(歩道修繕)か所数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 交通安全施設等整備費 <交通安全施設の整備>	427,599,975	31,649,000	17,900,000	0	378,050,975

1 交通安全施設整備事業費 71,290,540円 (道路建設課)

[総括]

飯村町・大岩町47号線ほかは用地取得を進め、東七根町205号線は道路改良工事を行った。また、自転車通行空間整備事業では、「豊橋市自転車活用推進計画」に定められた優先整備路線において自転車通行空間の整備を行うとともに、「自転車ネットワーク整備計画」を改定し優先整備路線延長の更新を行った。今後も道路状況や通学路などの利用状況を考慮し、国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

[実績及び成果]

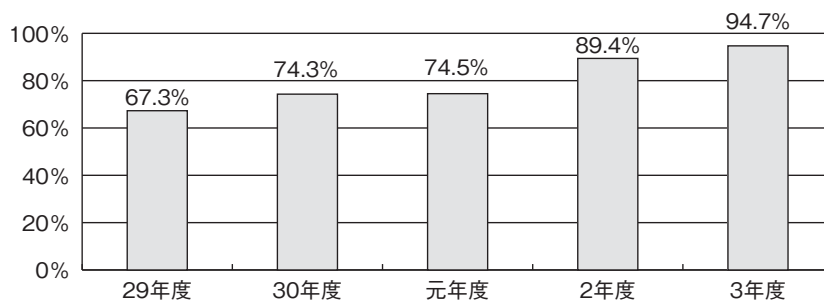
(1) 飯村町・大岩町47号線ほか自転車道等設置事業費 26,689,940円

(国庫補助事業 24,480,000円 市単独事業 2,209,940円)

自転車道等設置	令和2年度		令和3年度	
	延長	280m	延長	—
用地	—	用地	103.17㎡	
補償	—	補償	建物等	

[指標]

指標名：飯村町・大岩町47号線ほか自転車道等設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費 (平成25年度～令和4年度)



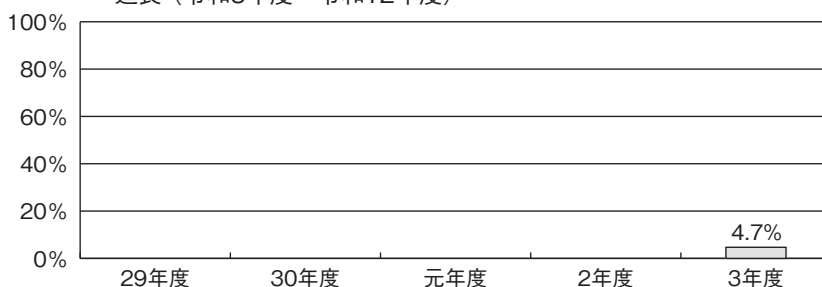
(2) 自転車通行空間整備事業費 27,732,100円

(国庫補助事業 10,000,000円 市単独事業 17,732,100円)

内 容	令和2年度	令和3年度
調査設計	—	自転車ネットワーク整備計画改定
路面標示等	延長 5,800m	延長 993m

[指 標]

指 標 名：自転車通行空間整備進捗率
 指標説明：整備済路線延長／令和12年度までに整備する自転車ネットワーク優先整備路線延長（令和3年度～令和12年度）



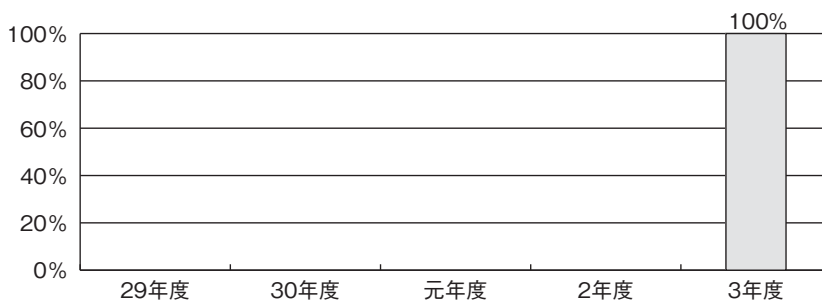
※令和3年度から新たな事業計画により再計算

- (3) 東七根町 205 号線整備事業費 16,868,500 円
 (県費補助事業 15,892,000 円 市単独事業 976,500 円)

道 路 改 良	令和 2 年度	令和 3 年度
	—	延 長 60m

[指 標]

指 標 名：東七根町205号線整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（令和3年度）



2 交通安全施設維持改良事業費 356,309,435 円（道路維持課）

[総括]

道路状況や地元要望等に対し、道路照明灯、防護柵、道路反射鏡などの設置・修繕により安全で快適な交通環境の確保に努めた。今後も交通安全施設が適正に機能するよう維持管理を行う。

[実績及び成果]

(1) 交通安全施設改良事業費 195,563,200 円

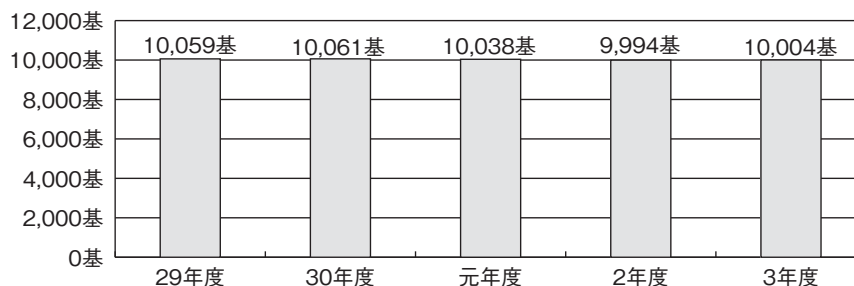
内 容	令和2年度	令和3年度
道路照明柱建替	272基 (灯具建替含む)	71基
交差点等安全カラー標示	6か所	10か所
防護柵設置	延長 360m	延長 333m
道路反射鏡設置	93基	72基
交通安全施設改良修繕	歩車道境界ブロック等	歩車道境界ブロック等
区画線設置	延長 50,425m	延長 56,209m
横断歩道橋修繕	—	橋脚修繕 1橋

(2) 交通安全施設維持事業費 160,746,235 円

道路付属物塗装修繕	令和2年度	令和3年度
	2基	7基

[指標]

指標名：交通安全施設(道路反射鏡)の総設置基数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 河 川 費	927,393,077	96,681,358	207,700,000	59,964,348	563,047,371
2目 水辺環境保全費 <親しまれる自然環境の保全>	307,754,705	0	35,000,000	0	272,754,705

1 河川水路等維持管理事業費 307,754,705円 (河川課)

[総括]

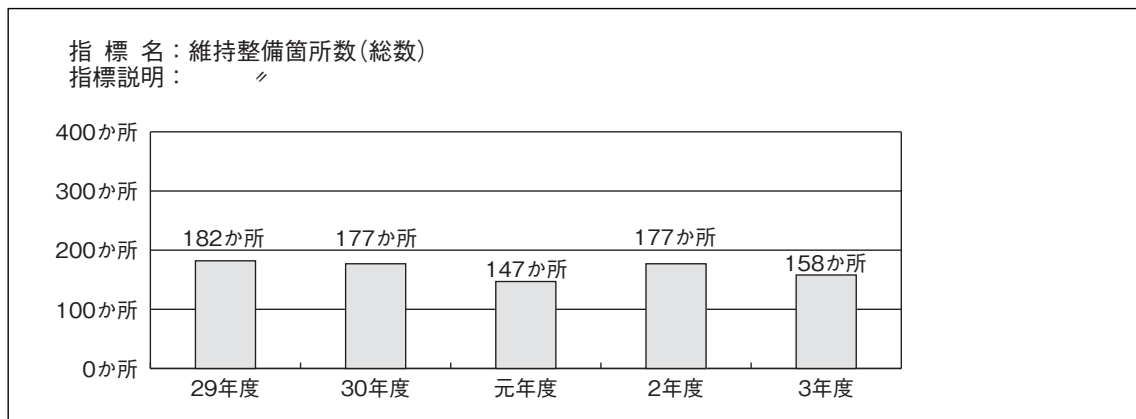
河川を市民の憩う場とし、河川環境を保全するための維持管理を行った。今後も市民や団体による河川愛護活動など、地域住民との協働により親しまれる水辺環境の保全に努めるとともに、河川水路の適切な維持管理に努める。

[実績及び成果]

(1) 維持整備事業費 307,754,705円

内 容	令和2年度		令和3年度	
	補修	65か所		54か所
除草	85	27,880㎡	70	41,816㎡
浚渫	27	1,360㎡	34	3,213㎡

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 浸水・土砂災害対策費 <治山・治水対策の充実>	462,216,750	96,681,358	172,700,000	52,108,780	140,726,612

1 河川施設等維持管理事業費 194,895,205 円 (河川課)

[総括]

浸水被害の防止や軽減、正常な流水機能の維持のため、排水機場、樋門・樋管、除塵機等の河川付属施設の維持管理を行った。今後も施設が正常に機能するように維持管理に努める。

[実績及び成果]

- (1) 排水機場維持管理適正化事業費 74,730,800 円
- (2) 排水機場維持管理事業費 85,830,450 円
- (3) 樋門等操作委託事業費 3,468,744 円
- (4) 河川付属施設維持管理事業費 30,865,211 円

2 河川水路等改良事業費 118,414,358 円 (河川課)

[総括]

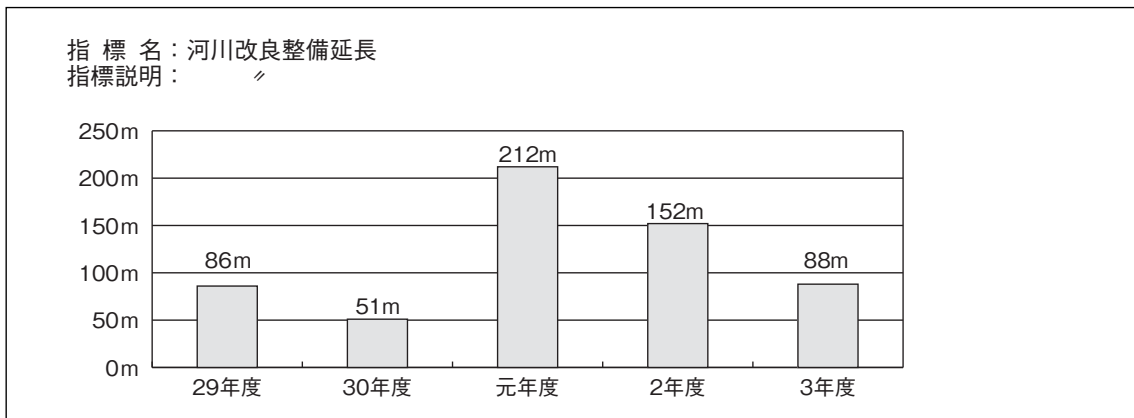
氾濫による被害を防止するため、流下能力を高めるとともに、老朽化した河川・水路の改良工事を行った。今後も改良事業の進捗を図る。

[実績及び成果]

- (1) 河川改良事業費 38,265,650 円

河 川 改 良	令和 2 年度		令和 3 年度	
	工 事	延長	工 事	延長
		152m		88m

[指 標]

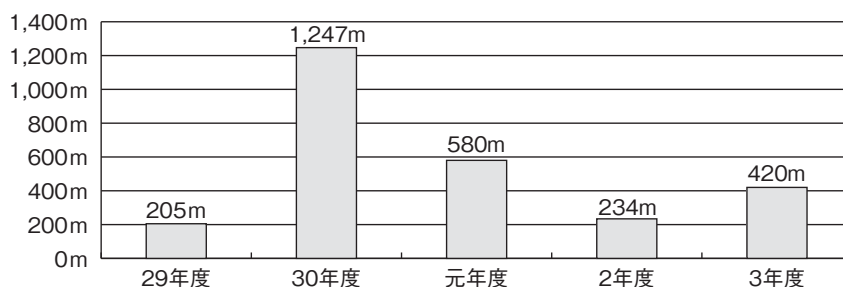


- (2) 水路改良事業費 76,514,403 円

内 容	令和 2 年度		令和 3 年度	
	工 事	延長	工 事	延長
水 路 改 良		234m		420m

[指 標]

指 標 名：水路改良整備延長
 指標説明： //



(3) 水路改良受託事業費 3,634,305 円

3 大雨浸水対策事業費 140,871,500 円 (河川課)

[総 括]

大雨や集中豪雨による水路等の氾濫による浸水被害を防止するため、水路改良及び管きょ敷設工事を行った。今後も浸水対策事業の進捗を図る。

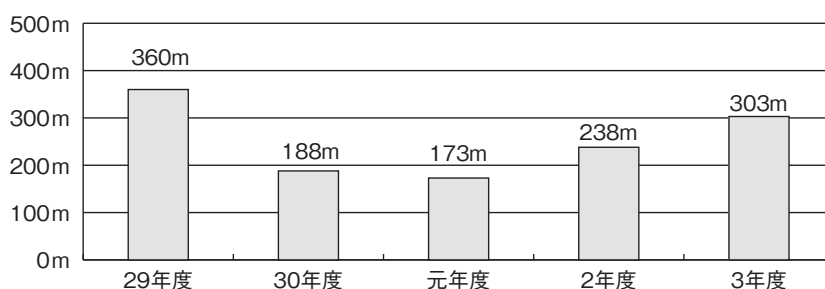
[実績及び成果]

(1) 大雨浸水対策事業費 140,871,500 円

浸 水 対 策	令和 2 年度	令和 3 年度
	工 事 延 長 238m	工 事 延 長 303m

[指 標]

指 標 名：大雨浸水対策整備延長
 指標説明： //



4 土砂災害対策事業費 2,815,907 円（河川課）

[総括]

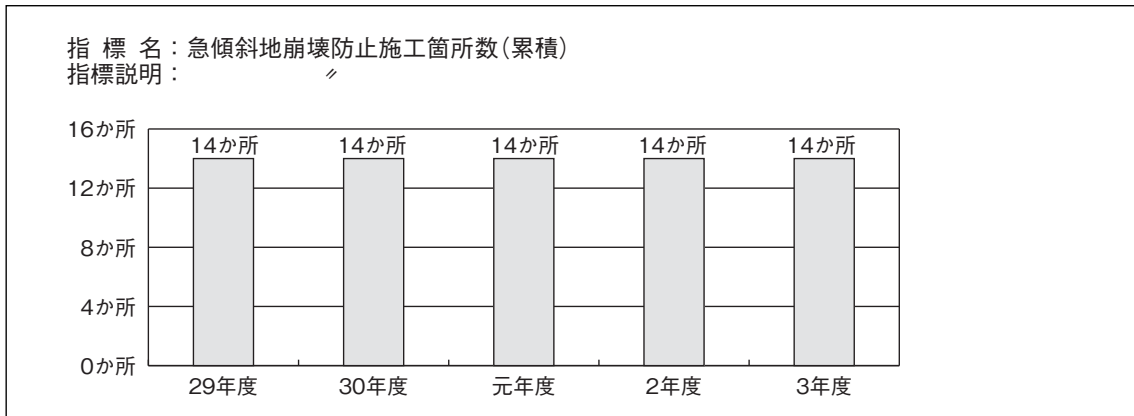
がけ崩れの危険のある区域として、愛知県が指定した急傾斜地崩壊危険区域について崩壊防止工事を実施した。今後も計画的な事業進捗に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 急傾斜地崩壊対策事業負担金 2,815,907 円

事業主体	区分 地区名	令和2年度		令和3年度	
		事業費	市負担金	事業費	市負担金
愛知県	王ヶ崎町北欠	23,359,600円	2,335,960円	28,159,078円	2,815,907円

[指標]



5 洪水ハザードマップ作成事業費 5,219,780 円（河川課）

[総括]

水防法に基づく洪水浸水想定区域（想定し得る最大規模の降雨）において、ハザードマップを作成し周辺住民に配布した。今後も洪水による被害軽減のため、情報提供に努める。

[実績及び成果]

(1) 洪水ハザードマップ作成事業費 5,219,780 円
 （国庫補助事業 5,200,000 円 市単独事業 19,780 円）

河川名	令和2年度	令和3年度
	梅田川（作成）	梅田川（印刷） 佐奈川・音羽川

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 建 築 費	1,330,418,301	279,617,294	257,600,000	443,752,086	349,448,921
2目 人にやさしいまちづくり費 <人にやさしいまちづくりの推進>	899,203	0	0	0	899,203

1 人にやさしいまちづくり推進事業費 899,203円 (建築指導課)

[総 括]

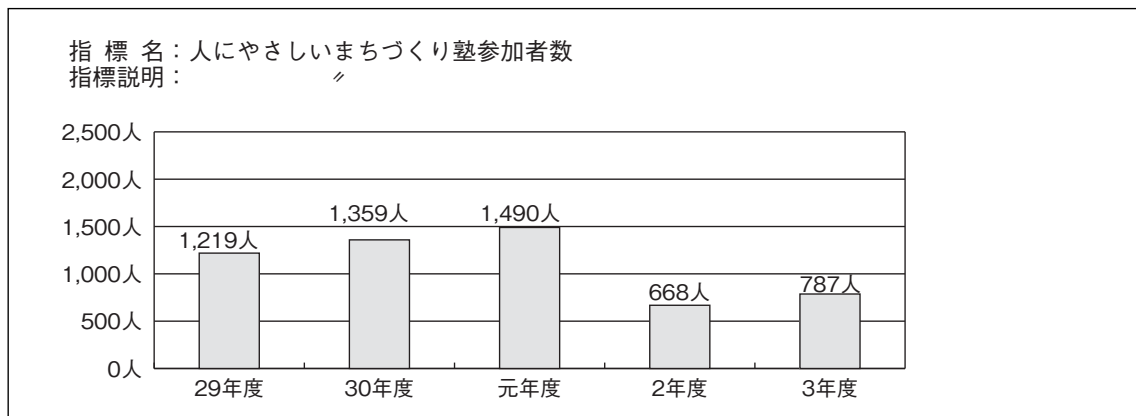
人にやさしいまちづくりを推進するため、ボランティアの協力を得て「人にやさしいまちづくり塾」を市内の小
 学校、中学校、高等学校等で開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ実施することで、「人にやさしいま
 ちづくり塾」の開催回数及び参加者数が増加した。また、ボランティアの養成にもつながる「人にやさしいまちづ
 くり啓発講座」を全3回で実施した。今後も誰もが暮らしやすいまちをめざし、人にやさしいまちづくりの担い手
 育成やバリアフリーの必要性の普及啓発を進めていく。

[実績及び成果]

(1) 人にやさしいまちづくり推進事業費 899,203円

啓 発 事 業 開 催 回 数	令和2年度	令和3年度	比 較
		11回	19回

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 公 営 住 宅 費 <住まいの安定確保>	879,334,237	260,767,000	257,600,000	344,696,164	16,271,073

1 住宅維持管理事業費 433,418,183 円 (住宅課)

[総括]

市営住宅の効率的かつ効果的な維持管理を行うため計画的な工事、修繕を行った。今後も住宅の環境整備を進め、修繕コストの縮減と入居者へのサービス向上に努める。

[実績及び成果]

(1) 住宅管理事業費 335,627,083 円

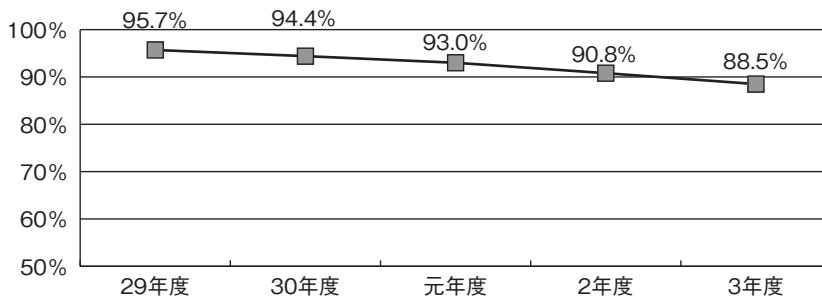
住宅管理戸数 (年度末)	令和2年度	令和3年度
		3,851戸

(2) 住宅維持補修事業費 97,791,100 円

工 事 内 容	令和2年度	令和3年度
屋 上 防 水	空池	空池
エ レ ベ ー タ ー 更 新	才ノ神	才ノ神
外 壁 改 修	—	—
浴 室 改 修	才ノ神	才ノ神
取 り 壊 し	城山	城山
遊 具 改 修	草間・栄生・空池・中野・新多米・前芝	新多米
専 用 管 改 修	—	—

[指 標]

指 標 名：市営住宅入居率
 指標説明：延入居戸数 / (延管理戸数 - 延入居停止戸数)



2 公営住宅建設事業費

443,558,600 円（住宅課）

[総括]

西口住宅建替工事（第2期）を進めるとともに、集会所建設工事を行った。今後も円滑な建替事業の推進に努める。

[実績及び成果]

(1) 西口住宅建替事業費

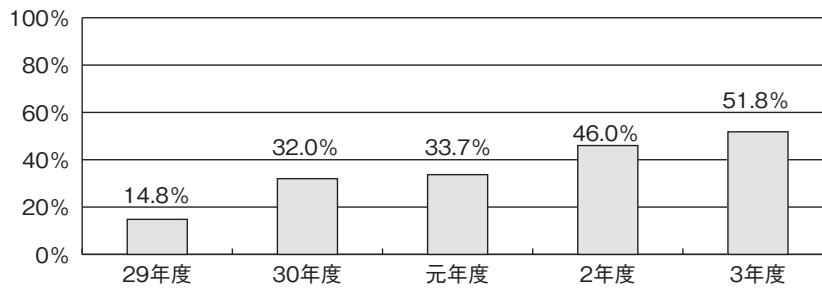
443,558,600 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	建設工事（第2期）	建設工事（第2期） 集会所建設工事

[指標]

指標名：西口住宅建替事業進捗率

指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成26年度～令和8年度）



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 空家対策推進費 ＜空家対策の推進＞	22,560,403	10,739,000	0	0	11,821,403

1 空家対策推進事業費 22,560,403円 (建築物安全推進課)

[総括]

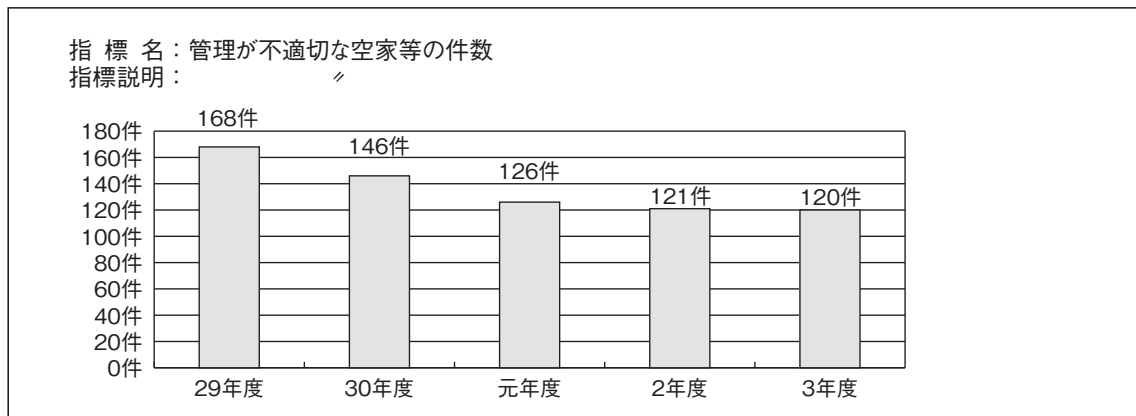
「豊橋市空家等対策計画」に基づき、管理が不適切な空家の所有者に対する助言を行うとともに、空家バンクによる空家の利活用を進めるなど、増加する空家への対策に取り組んだ。また、空家解体促進費補助金により、倒壊危険空家及び老朽空家の解体を促進するとともに、所有者不存在の特定空家等の略式代執行を行った。今後も、管理が不適切な空家の所有者への助言や老朽空家等の除却支援を行うとともに、空家等対策に関する業務等の提供ができる事業者を募る協力事業者登録制度等、官民連携による新たな手法も用いて市民の生活環境の保全及び地域活力の維持・向上を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 空家対策推進事業費 22,560,403円

区 分	令和2年度	令和3年度	累 計
空家バンクによる空家の利活用件数	5件	3件	43件
空家利活用改修費補助金補助件数	1	0	7
空家解体促進費補助金補助件数	58	55	198

[指 標]



※件数は、各年度末現在。

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 建築指導費	11,093,379	1,474,000	0	0	9,619,379

1 建築指導事務費 11,093,379円 (建築指導課)

[総括]

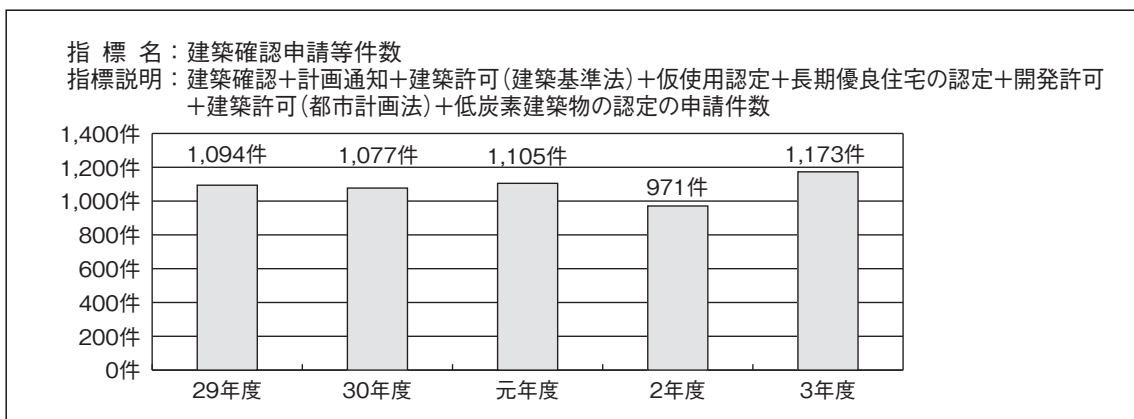
建築基準法に基づく申請及び都市計画法に基づく申請は、新型コロナウイルス感染症の影響と考えられる件数の減少が鈍化した。また、長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づく「認定申請」及び都市の低炭素化の促進に関する法律に基づく「認定申請」は、制度の普及により増加した。今後も各申請に対し適切な処理をすることにより、住環境の整備並びに都市の健全な発展と秩序ある市街地の形成に努める。

[実績及び成果]

(1) 建築指導事務費 11,093,379円

種 別	区 分	件 数		比 較
		令和2年度	令和3年度	
建築確認申請等	確 認 申 請	7件	7件	0.0%
	計 画 通 知	16	19	18.8
建築基準法による許可申請等	建 築 許 可 申 請	9	14	55.6
	仮使用認定申請	1	0	皆減
長期優良住宅の普及の促進に関する法律	認 定 申 請	700	833	19.0
都市計画法による許可申請等	開 発 許 可 申 請	18	18	0.0
	建 築 許 可 申 請	210	228	8.6
都市の低炭素化の促進に関する法律	認 定 申 請	10	54	4.4倍

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 都市開発費	89,224,063	143,000	0	810,664	88,270,399
1目 港湾振興対策費 <ものづくり産業を支える港づくり>	72,140,378	143,000	0	29,900	71,967,478

1 港湾関連対策事業費 17,970,335円 (みなと振興課)

[総括]

三河港振興会が主体となり、インフラ整備要望や三河港の利用促進に向けた企業ヒアリング活動、“地域の絆”情報交換・商談会へ出席し三河港のPRを行った。また、三河港を利用する企業に対し助成金制度を実施し、完成自動車及びコンテナ取扱量の維持・増加を図った。

令和3年の完成輸入自動車の取扱量は平成5年以来29年連続で日本一を記録した。コンテナ貨物の取扱量については、世界的なコンテナ不足を背景とした物流混乱や海上輸送運賃の高騰、中国・ベトナム航路の休止などの影響により更に低下した。

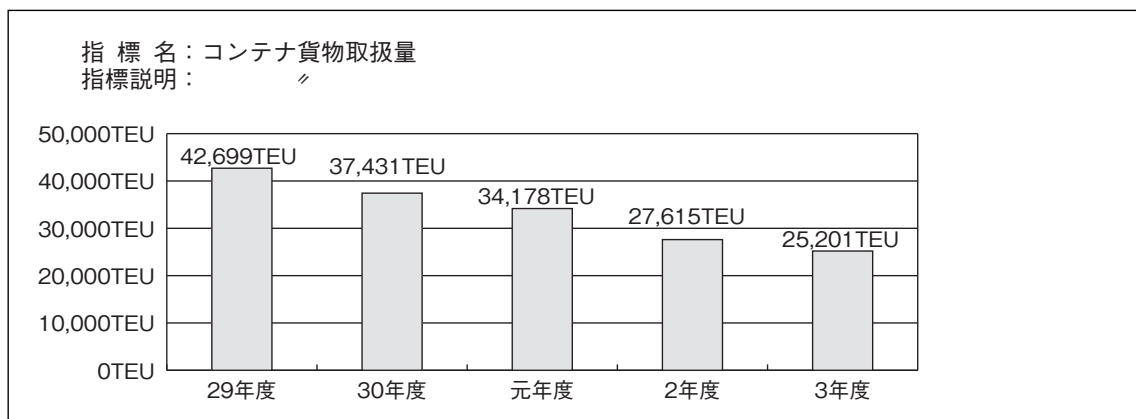
今後は、コンテナ貨物取扱量の増加に向け、助成制度や定期航路のさらなる周知、ポートセールス活動を強化するとともに、総合的な物流機能を強化するため、国や県に対して積極的な要望活動を行っていく。

[実績及び成果]

- (1) 港湾関連調整事務費 5,050,335円
- (2) 三河港振興会負担金 12,920,000円

内 容	令和2年度	令和3年度
運 営 費 負 担 金	100,000円	100,000円
コンテナ委員会負担金	7,500,000	6,000,000
自動車港湾委員会負担金	500,000	500,000
三河港自動車流通強化支援事業負担金	2,720,000	6,320,000

[指 標]



※ TEU : twenty-foot equivalent unit、20 フィートコンテナ換算

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 みなとにぎわい創出費 <港のにぎわいの創出>	17,083,685	0	0	780,764	16,302,921

1 みなとにぎわい創出事業費 227,000円 (みなと振興課)

[総括]

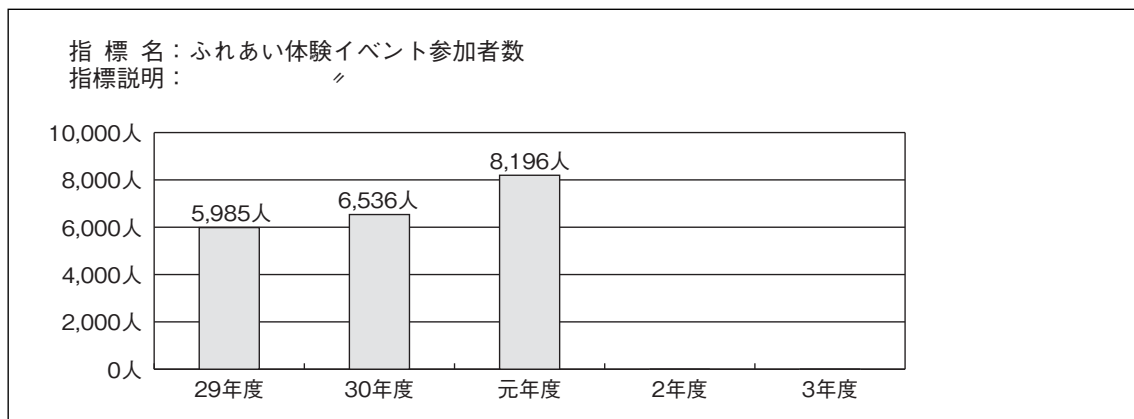
港の重要性や必要性を理解してもらい、港にふれあう機会を提供する場として、カモメリアを拠点として様々なイベントを実施している。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全てのイベントを中止した。今後は、再開に向けてインポーターや臨海部企業との調整を行っていく。

[実績及び成果]

(1) みなとにぎわい創出活動事業費 227,000円

内 容	令和2年度	令和3年度
イベント開催数	0回	0回
イベント参加者数	0人	0人

[指標]



2 ポートインフォメーションセンター管理運営費 16,856,685円 (みなと振興課)

[総括]

この地域における三河港の重要性や必要性の理解を深めてもらうとともに、港を気軽に訪れ、身近に感じてもらうためにポートインフォメーションセンターの適正な維持、管理に努めた。

令和3年度も、基本的な感染防止対策や展示物の一部撤去を継続しつつ、小学校の社会科見学の受け入れなどを行った。引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策に取り組みながら来館者の受け入れを行っていく。

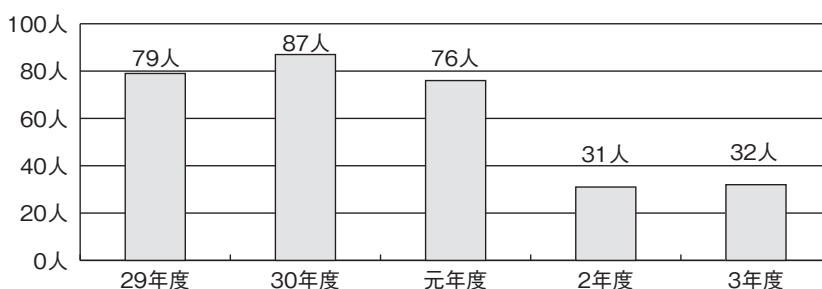
[実績及び成果]

(1) ポートインフォメーションセンター管理運営費 16,856,685円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数	317日	358日	12.9%
利 用 者 数	延 9,742人	延 11,457人	17.6

[指 標]

指 標 名：ポートインフォメーションセンター1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数/開館日数



3 港イベント事業費

0円（みなと振興課）

[総 括]

三河港が地域や日本において、大切な港であることを広く理解してもらい、港への関心と親しみを高めることは三河港の振興にとって重要であるため、港を中心にフェスティバルを開催する豊橋みなとフェスティバル実行委員会へ助成している。令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、開催中止となった。

[実績及び成果]

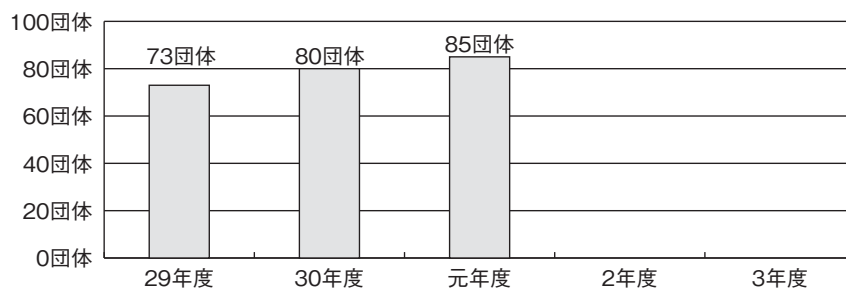
(1) みなとフェスティバル補助金

0円

補 助 金	令和2年度	令和3年度
	0円	0円

[指 標]

指 標 名：みなとフェスティバル参加団体数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 都市計画費	5,067,691,327	1,686,356,800	812,000,000	49,514,140	2,519,820,387
2目 公園・緑地づくり費 <地域に根差した公園・緑地づくり>	887,965,551	110,109,000	179,000,000	23,936,364	574,920,187

1 公園施設維持管理事業費 599,787,464 円 (公園緑地課)

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を確保するため、市内 545 か所の公園・緑地・遊園・ちびっこ広場等を適正に管理するとともに、公園施設の安全点検や照明灯・遊具の更新等を行った。また、損傷や劣化の見られる吉田城址の石垣の修復を行った。今後も公園施設の維持管理を計画的・効率的に行うことによりコストの低減を図る。

[実績及び成果]

(1) 公園維持管理事業費 392,730,768 円

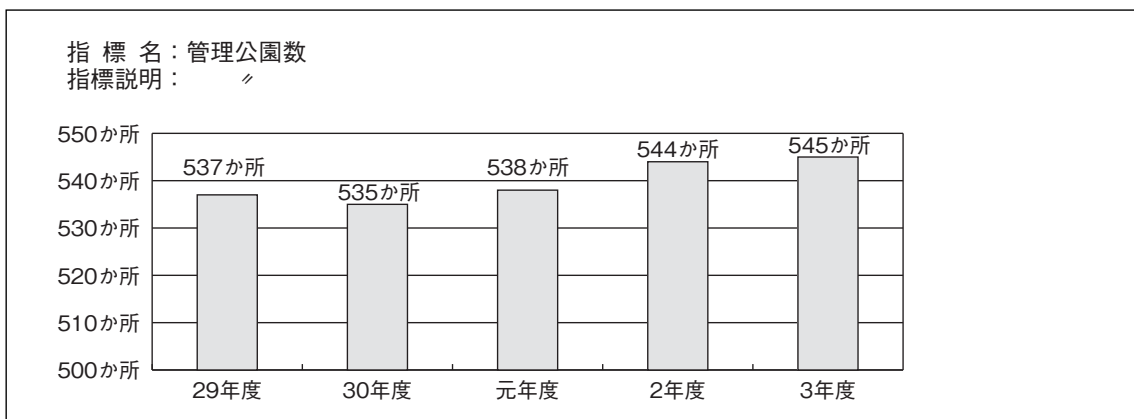
除草清掃・施設管理委託等	令和2年度	令和3年度
		高師緑地始め544か所

(2) 公園修繕事業費 207,056,696 円

(国庫補助事業 124,000,000 円 市単独事業 83,056,696 円)

内 容	令和2年度	令和3年度
照 明 灯 修 繕	豊橋公園ほか	豊橋公園ほか
遊 具 補 修	東田遊園ほか	若宮第3ちびっこ広場ほか
諸施設及び塗装修繕等	松山公園ほか	向山緑地ほか
外 柵 修 繕	中山田池公園ほか	坪ノ谷公園ほか
照 明 灯 更 新	万場緑地ほか	万場緑地ほか
遊 具 更 新	二本松西公園ほか	内田公園ほか

[指 標]



2 公園緑地整備事業費 166,642,300 円（公園緑地課）

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を創出するため、白ヶ池公園、飯村公園の再整備を行った。また、前年度に引き続き汐田公園の整備を進めた。今後も標準配置に則した公園等の整備を推進する。

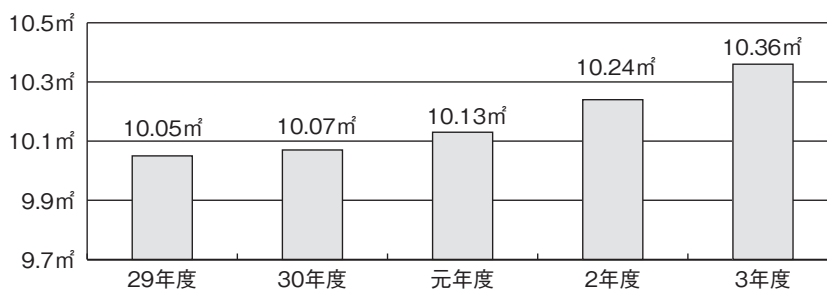
[実績及び成果]

- (1) 街区公園等整備事業費 166,642,300 円
 (国庫補助事業 12,760,000 円 県費補助事業 153,882,300 円)

公園名	令和2年度	令和3年度
	汐田公園ほか 遊具広場整備等	汐田公園ほか 遊具広場整備等

[指標]

指標名：市民1人当たりの都市公園面積
 指標説明：都市公園面積／人口



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 緑化・美化活動推進費 <緑化・美化活動の推進>	437,451,445	44,033,300	0	300,000	393,118,145

1 緑化維持管理事業費 392,299,210 円 (公園緑地課)

[総括]

緑に囲まれた良好なオープンスペースを確保するとともに、地域の景観の維持を図るため、街路樹及び公園樹の剪定、刈り込み、施肥等を行った。今後も、街路樹再生指針に基づき、街路樹の適正化を図るとともに、市民の安全に配慮した街路樹及び公園樹の維持管理を推進する。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等維持管理事業費 209,743,099 円

路 線 名	令和2年度	令和3年度
		菰口町・旭町1号線始め277路線

(2) 公園樹等維持管理事業費 169,277,750 円

公 園 名	令和2年度	令和3年度
		牛川遊歩公園始め406公園

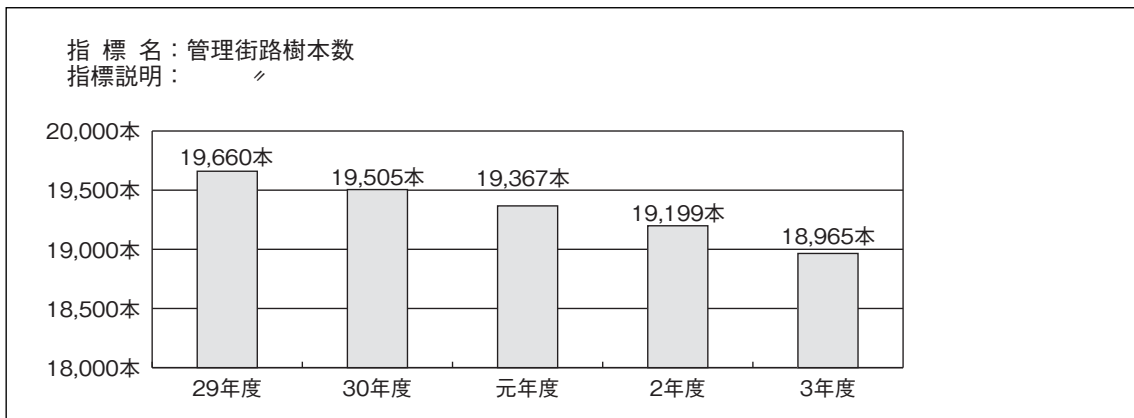
(3) 街路樹等維持補修事業費 9,043,100 円

路 線 名	令和2年度	令和3年度
		植田町・大崎町1号線ほか

(4) 軌道緑化維持管理事業費 4,235,261 円

内 容	令和2年度	令和3年度
		維持管理面積 658㎡

[指標]



2 緑化推進事業費 24,081,334 円 (公園緑地課)

[総括]

市民参加型の緑化活動を推進するため、花交流フェア、桜の植栽イベント等を開催するとともに、市民に愛着のある緑化を推進するため、街路樹等の植え替えを行い再生を図った。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等緑化推進事業費 20,354,514 円

(県費補助事業 20,354,514 円)

内 容	令和2年度		令和3年度	
		瓦町通・向山台町1号線		飯村北46号線
	高木植栽 ヤマボウシ	49本	高木植栽 ヤマボウシ	37本

(2) 公園樹等緑化推進事業費 3,656,820 円

(県費補助事業 3,645,960 円 市単独事業費 10,860 円)

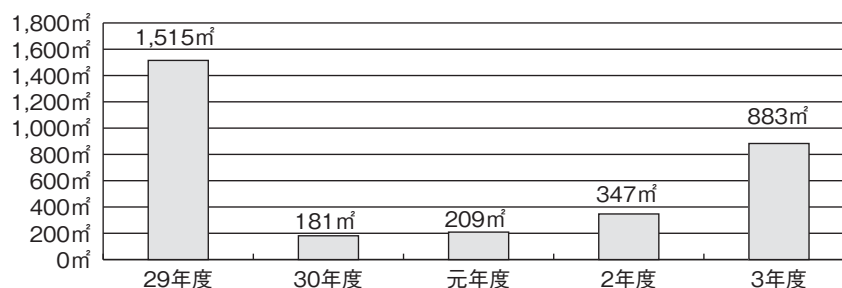
内 容	令和2年度		令和3年度	
		岩屋緑地		岩屋緑地
	高木植栽 サクラ	28本	高木植栽 サクラ	28本
	向山緑地		向山緑地	
	高木植栽 サクラ	5本	高木植栽 サクラ	5本

(3) 民有地緑化推進事業補助金 0 円

内 容	令和2年度		令和3年度	
		1件	53.9㎡	0件

[指 標]

指 標 名：街路・公園に植栽した緑被及び花壇の面積
 指標説明： /



3 公園等維持管理事業費

19,986,529 円（公園緑地課）

[総括]

市民の公園及び街路樹への愛着心や美化意識の向上を図るため、市民協働で公園や街路樹周辺の美化活動を行った。緑のアダプト制度の登録数や公園管理自治会数も順調に伸びており、今後も市民、事業者、行政の協働によって美化活動を推進する。

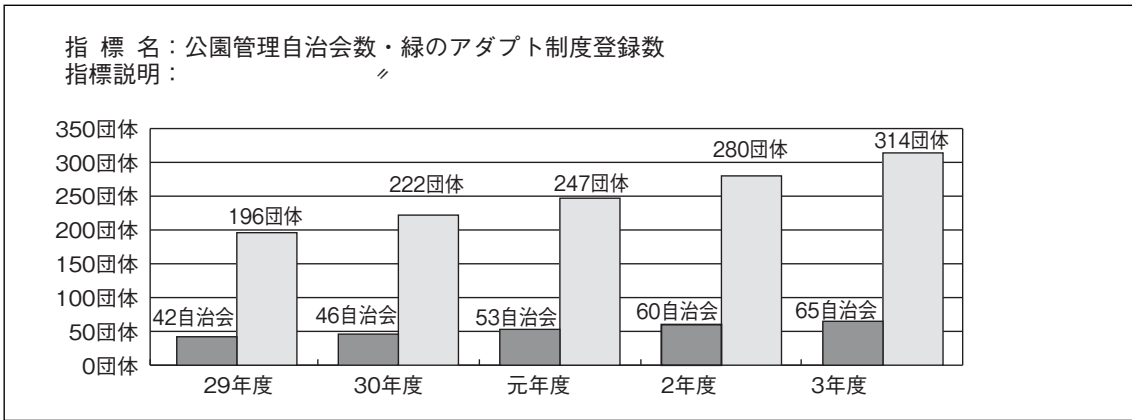
[実績及び成果]

(1) 公園等美化活動事業費

19,986,529 円

区分	令和2年度	令和3年度
公園管理自治会数	60自治会	65自治会
緑のアダプト制度登録数	280団体	314団体

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 まとまりのある都市構造形成費 <まとまりのあるまちの形成>	38,829,884	1,565,000	0	0	37,264,884

1 まとまりのある都市構造推進事業費 38,829,884円 (都市計画課)

[総括]

都市再生特別措置法の改正を受け、「豊橋市立地適正化計画」において新たに防災指針を策定するため現状分析を実施した。また、同計画に基づき、歩いて暮らせるまち区域定住促進補助金等の居住誘導策を行った。

[実績及び成果]

(1) 都市計画事務費 10,700,884円

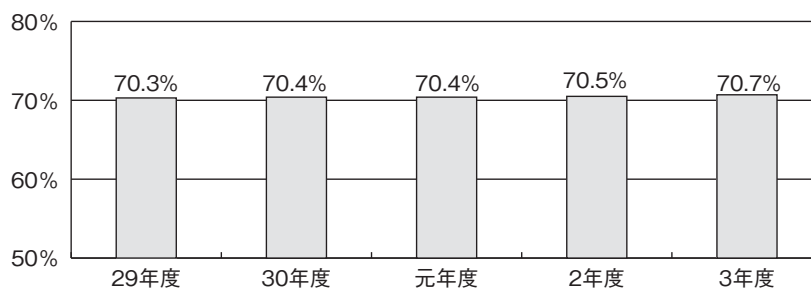
内 容	令和2年度		令和3年度	
	豊橋市立地適正化計画の推進 都市計画マスタープラン改定業務			豊橋市立地適正化計画の推進 豊橋市立地適正化計画改定業務

(2) 歩いて暮らせるまち区域定住促進補助金 28,026,000円

補 助 金	令和2年度		令和3年度	
		34件	5,907,000円	171件

[指標]

指標名：全人口に占める居住誘導区域内人口の割合
指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 まちなか整備費 <魅力あるまちなかの整備>	2,153,449,657	1,417,639,500	633,000,000	640,210	102,169,947

1 再開発推進事業費 301,750円 (まちなか活性課)

[総括]

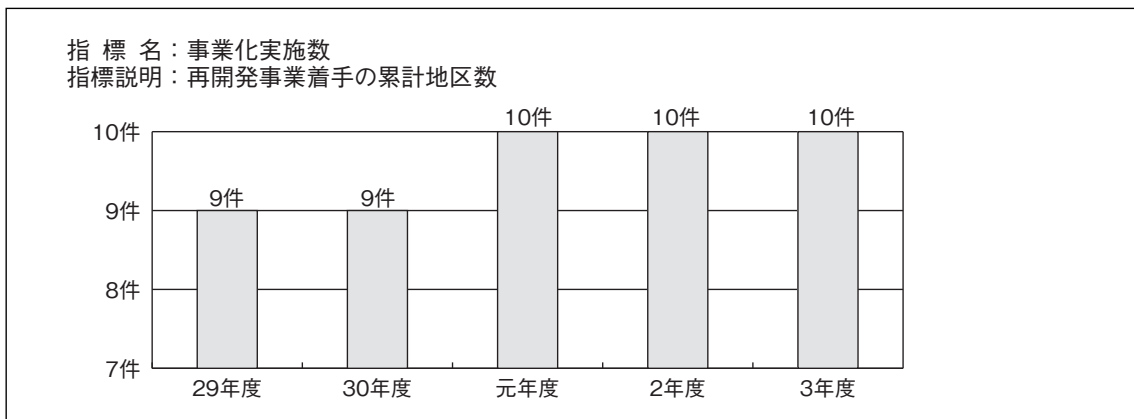
駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業及び豊橋駅西口駅前地区優良建築物等整備事業において、事業者に対する指導・助言を行った。また、広小路一丁目北地区において、再開発を推進するための協議会に助言等を行った。今後もこれら事業の進捗を図るほか、老朽化した街区の更新を検討している地区に対して、事業化に向けた調整を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 再開発推進事務費 301,750円

事業費	令和2年度	令和3年度
		313,781円

[指標]



2 市街地再開発等事業費 1,952,366,578円 (まちなか活性課)

[総括]

都心居住の促進や集客施設の整備を図り、中心市街地の活性化に繋げるため、駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発等事業や豊橋駅西口駅前地区優良建築物等整備事業の事業者に対して助成等を行った。まちなか広場については公共施設管理者負担金により整備を行った。また、再開発事業検討段階の初動期支援として、広小路一丁目北地区においてコーディネート委託業務を行った。

[実績及び成果]

(1) 駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発等事業費 1,466,885,250円

内容	令和2年度	令和3年度
		東棟建築工事等

(2) 豊橋駅西口駅前地区優良建築物等整備事業費 271,400,000円

内容	令和2年度	令和3年度
		建築物除却、調査設計、建築工事

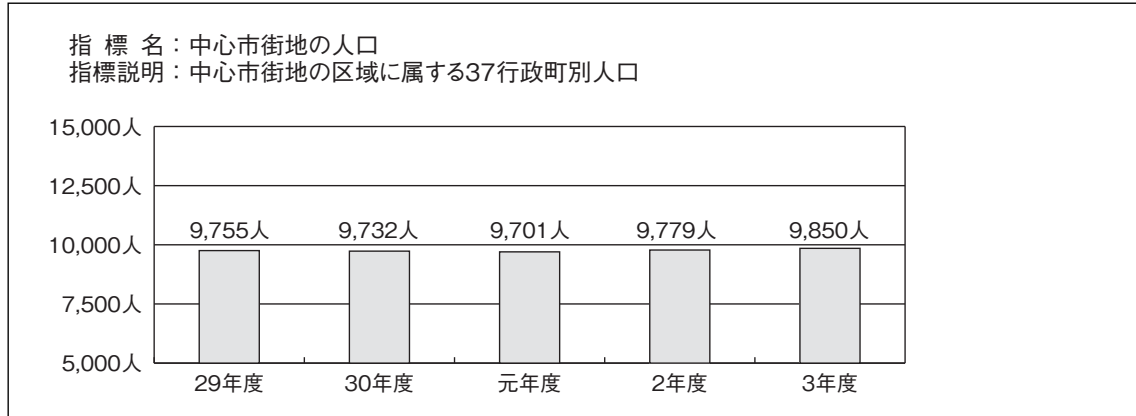
(3) まちなか広場整備事業費 207,371,328円

内容	令和2年度	令和3年度
		建設工事、工事監理等

(4) 豊橋駅周辺地区再開発推進事業費 6,710,000 円

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
	初動期支援	

[指 標]



3 中心市街地環境整備事業費 186,293,683 円 (まちなか活性課)

[総 括]

豊橋駅西口駅前地区において、駅前周辺における交通環境の改善など、当地区の利便性向上に向け、関係者との調整や様々な事業手法の検討を行った。また、中心市街地に「歩く楽しみ」という新たな魅力を加えるストリートデザイン事業では、萱町通り及び水上ビル北側において前年度に引き続き工事を進め、2路線の整備が完了した。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅西口駅前地区活性化推進事業費 98,768 円

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
	豊橋駅西口駅前地区活性化検討調査等	

(2) ストリートデザイン事業費 186,194,915 円

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
	工事 (萱町通り L = 約115m) 工事 (水上ビル北側 L = 約204m)	

4 中心市街地活性化推進事務費 1,861,151 円 (まちなか活性課)

[総 括]

中心市街地活性化基本計画の事業効果を継続的に確認するために通行量調査を実施した。今後も、中心市街地の活性化に向けた取組を着実に推進していく。

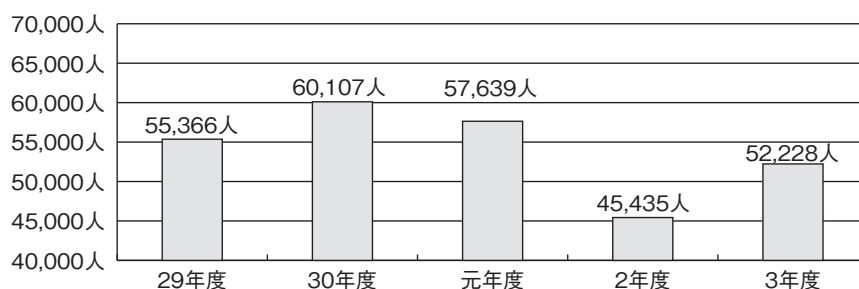
[実績及び成果]

(1) 中心市街地活性化推進事務費 1,861,151 円

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
	中心市街地通行量調査	

[指 標]

指 標 名：中心市街地の休日歩行者通行量
 指標説明：中心市街地内7地点の休日歩行者通行者数の合計



5 まちなか広場管理事業費 1,800,857 円 (まちなか活性課)

[総 括]

まちなか広場を快適に利用し、滞在することができる空間となるよう維持管理を実施した。

[実績及び成果]

(1) まちなか広場管理事業費 1,800,857 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	—	植栽管理・清掃委託等

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 まちづくり景観形成費 <地域らしくこちよ景観の形成>	2,315,610	0	0	967,920	1,347,690

1 まちづくり景観推進事業費 2,315,610円 (都市計画課)

[総括]

景観法に基づく「豊橋市景観計画」の運用を開始し、地域の景観に調和した建築行為等の規制・誘導を行った。また、二川宿景観形成地区において、景観に配慮した建築行為に対する助成を行い、歴史的なまち並み景観形成を推進した。

[実績及び成果]

(1) 都市景観推進事業費 1,039,690円

内 容	令和2年度	令和3年度
	豊橋市景観計画等の印刷製本	

(2) まちづくり景観形成助成金 308,000円

(ア) まちづくり景観形成整備事業助成金 308,000円

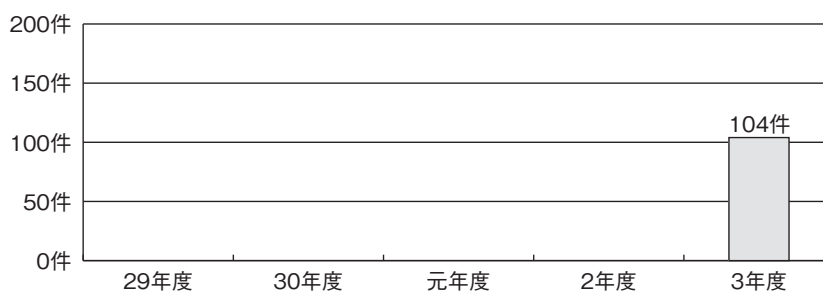
助 成 金	令和2年度	令和3年度
		3件 2,387,000円

(3) 屋外広告物対策事業費 967,920円

区 分	令和2年度	令和3年度
許 可 件 数	1,334件	1,965件
違反広告物撤去件数	74	48

[指 標]

指 標 名：良好な景観形成の助言件数
 指標説明： //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 公共交通維持活性化費 <公共交通の維持と活性化>	268,463,900	112,877,000	0	7,160,865	148,426,035

1 公共交通活性化事業費 5,326,731 円 (都市交通課)

[総括]

平成29年3月に制定した「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」に基づき、「豊橋市都市交通計画2016-2025」の基本理念である「多様な交通手段を誰もが使い、過度に自家用車に頼ることなく生活・交流ができる都市交通体系の構築」をめざすため、路線バスの利用促進事業や駅駐輪場の整備のほか、乗合事業運転士確保支援事業を行い、利便性の向上を図った。今後も市民等の公共交通に対する意識変革を促すとともに、誰もが安心・安全で快適に移動できる環境を整え、公共交通の利便性の向上を図る。

[実績及び成果]

(1) 公共交通活性化事業費 5,326,731 円

(ア) サイクル&ライド駐輪場整備事業費補助金 995,787 円

駐 輪 台 数	令和2年度	令和3年度
		160台

(イ) ユニバーサルデザインタクシー導入補助金 750,000 円

内 容	令和2年度	令和3年度
		6台

(ウ) 路線バス利用促進事業費 73,700 円

[幹線バス終バス延長実施事業]

幹線バスの終バスを 延長した路線数	令和2年度	令和3年度
		3路線

(エ) モビリティマネジメント推進費等 2,617,494 円

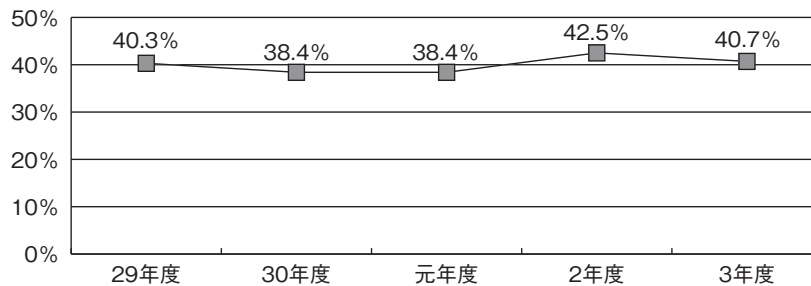
[路線バス等運転士確保支援事業]

内 容	令和2年度	令和3年度
説明会参加者数	9人	8人
採用者数	0	3

[指標]

指標名：「公共交通の利用のしやすさ」に関する満足度評価

指標説明：市民意識調査による「公共交通の利用のしやすさ」に関する満足度評価で満足と評価した割合



2 公共交通対策事業費

259,618,716 円（都市交通課）

[総括]

利用しやすく持続可能な公共交通とするため、交通施設の改修に必要な支援を行った。また、日常の移動手段を確保するため、地域住民が主体となりコミュニティバス（「地域生活」バス・タクシー）の本格運行事業を5地区で実施した。このほか、令和3年度は新型コロナウイルス感染症に機動的に対応するため、地域公共交通の確保・維持を目的とした各交通事業者への支援を行った。今後も新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら、公共交通の利用を促す取組みを実施していく。

[実績及び成果]

(1) 公共交通対策事業費 259,618,716 円

(ア) 路面電車軌道敷整備事業費補助金 12,442,338 円

実施箇所	令和2年度	令和3年度
	単路部（東田～競輪場前間）	単路部（東田～競輪場前間）

(イ) バス運行対策費補助金 84,419,000 円

補助路線数	令和2年度	令和3年度
	13路線	13路線

(ウ) 「地域生活」バス・タクシー運行事業補助金 34,601,294 円

本格運行地区	令和2年度	令和3年度
	東部地区、北部地区、南部地区、前芝地区、川北地区	東部地区、北部地区、南部地区、前芝地区、川北地区

(エ) 「地域生活」バス・タクシー運営経費補助金 574,959 円

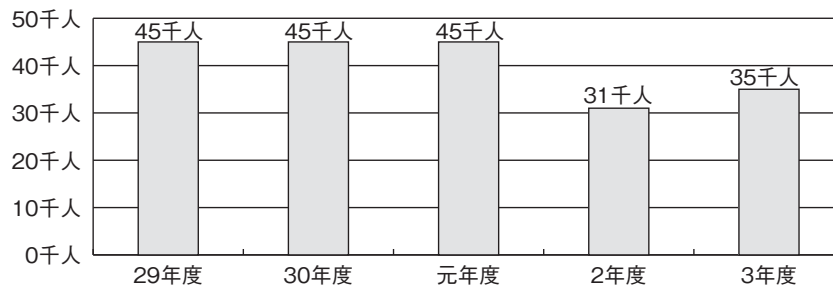
運営団体数	令和2年度	令和3年度
	7団体	7団体

(オ) 公共交通利用促進費等 2,021,125 円

[指標]

指標名：公共交通の1日当たりの利用者数

指標説明：渥美線、路面電車、路線バス、「地域生活」バス・タクシーの利用者数／運行日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 自転車活用推進費 ＜自転車活用の推進＞	940,951	133,000	0	0	807,951

1 自転車活用推進事業費 940,951 円 (都市交通課)

[総括]

自転車利用者の誘客による地域振興や観光振興を図るため、自転車のイメージアップ及び日常の自転車利用に繋げるための取組みの一つとして、令和元年度に作成したサイクリングマップの増刷を行った。また、令和2年度に策定した「豊橋市自転車活用推進計画 2021-2030」を広く市民へ公表するため、概要版を作成した。今後も市民、企業、学校、各種関係団体、国、県などとの連携・協働のもと、自転車の利用環境の整備や利用啓発活動等の取組みを進める。

[実績及び成果]

(1) 自転車活用推進事業費 940,951 円

(ア) 渥美線サイクルトレイン推進事業費補助金 266,000 円

ステッカー等 添付箇所	令和2年度	令和3年度
		2駅 10編成

(イ) サイクルツーリズムの推進 150,000 円

[サイクリングマップ増刷]

作成部数	令和2年度	令和3年度
		—

(ウ) 自転車活用推進費 524,951 円

内 容	令和2年度	令和3年度
		自転車活用推進委員会等の開催

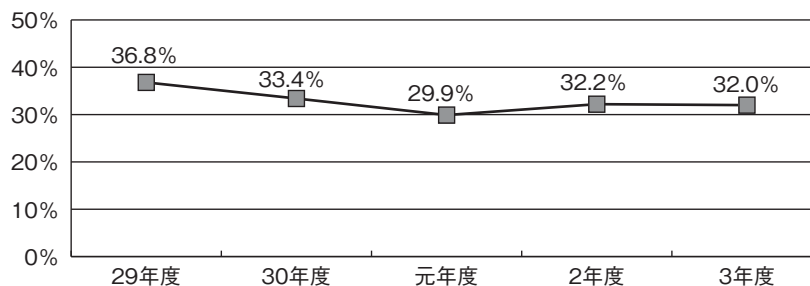
[自転車活用推進計画概要版作成]

作成部数	令和2年度	令和3年度
		—

[指標]

指標名：「自転車の利用のしやすさ」に関する満足度評価

指標説明：市民意識調査による「自転車の利用のしやすさ」に関する満足度評価で満足と評価した割合



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6項 区画整理費	1,419,157,578	365,832,000	562,600,000	148,550,900	342,174,678
2目 市街地整備費 <まとまりのあるまちの形成>	1,260,211,859	365,832,000	562,600,000	148,511,500	183,268,359

1 牟呂坂津土地区画整理事業費 431,786,659 円 (区画整理課)

[総括]

道路築造工事及び宅地造成工事を施工するとともに、建物、工作物、電柱、水道管等の移転・移設補償を行った。今後も地権者の理解を得ながら、事業の完了に向けた換地計画策定の準備を行い、事業推進を図る。

[実績及び成果]

- (1) 牟呂坂津土地区画整理事業費 431,786,659 円
(国庫補助事業 312,749,000 円 市単独事業 119,037,659 円)

- (ア) 道路築造費 191,936,200 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	延長 590m	延長 1,680m

- (イ) 宅地造成費 10,832,600 円

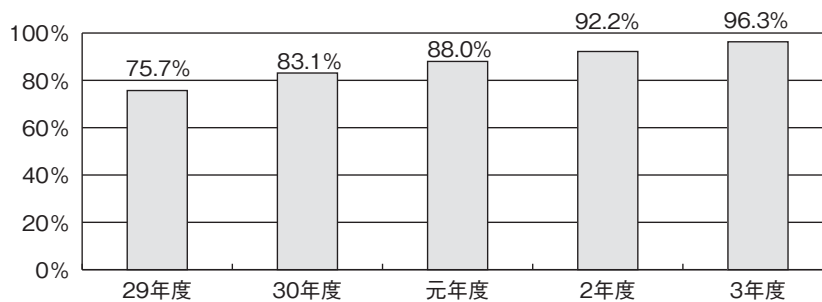
内 容	令和2年度	令和3年度
	面積 6,100㎡	面積 8,263㎡

- (ウ) 補償費 117,082,680 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	建物 2戸 工作物、電柱 水道管移設 468m	建物 1戸 工作物、電柱 水道管移設 371m

[指標]

指標名：牟呂坂津土地区画整理事業進捗率
指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成13年度～令和7年度)



2 組合土地区画整理推進事業費 818,495,500 円（区画整理課）

[総括]

土地区画整理事業の円滑な推進を図るため、牛川西部及び柳生川南部の各土地区画整理組合に対し指導・監督を行うとともに、助成した。また、柳生川南部土地区画整理組合が行った事業に対し負担金を支出した。今後も各組合に対して指導を行い、早期に事業が完了するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 牛川西部土地区画整理推進事業費 161,428,000 円

(ア) 土地区画整理事業補助金 161,428,000 円

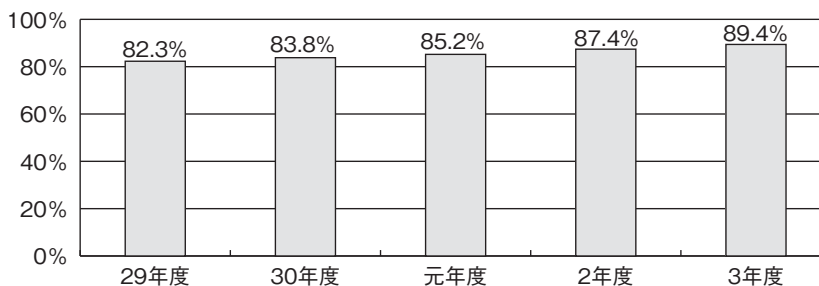
補助金	令和2年度	令和3年度
	161,558,071円	161,428,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 0 円

負担金	令和2年度	令和3年度
	10,538,000円	0円

[指標]

指標名：牛川西部土地区画整理事業進捗率
 指標説明：累積事業費／全体事業費（平成7年度～令和7年度）



※令和3年度の事業計画変更による全体事業費にて再算定

(2) 柳生川南部土地区画整理推進事業費 657,067,500 円

(ア) 土地区画整理事業補助金 651,724,000 円

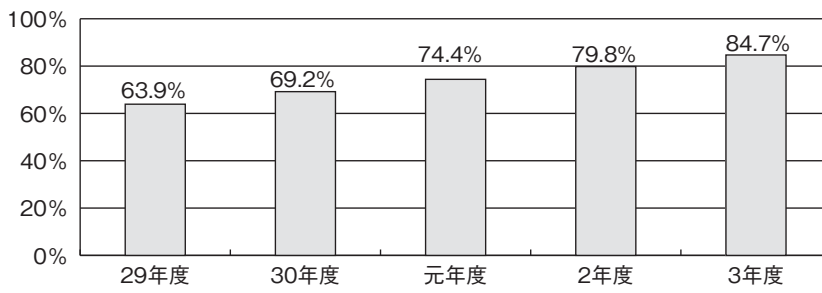
補助金	令和2年度	令和3年度
	560,272,000円	651,724,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 5,343,500 円

負担金	令和2年度	令和3年度
	36,212,000円	5,343,500円

[指 標]

指 標 名：柳生川南部土地区画整理事業進捗率
指標説明：累積事業費／全体事業費(平成14年度～令和8年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9 款 消 防 費	3,635,598,888	47,391,974	230,900,000	146,955,308	3,210,351,606
1 項 消 防 費	3,635,598,888	47,391,974	230,900,000	146,955,308	3,210,351,606
2 目 消 防 費 < 消防体制の充実 >	853,323,716	12,551,000	220,300,000	134,172,558	486,300,158

1 消防署所施設管理事業費 301,500,441 円 ((消) 総務課)

[総括]

築年数 40 年を経過する南消防署の大規模改修工事を実施し、建物や設備の機能回復の他、仮眠室の個室化など職場環境の向上にも努め、消防防災活動の拠点となる消防庁舎の長寿命化及び機能強化を図った。

また、築年数 40 年を経過する南消防署大清水出張所の改良保全工事に向けた実施設計を実施した。

[実績及び成果]

- (1) 消防署所施設管理事業費 301,500,441 円
 (ア) 南消防署大規模改修工事 220,198,800 円
 2 か年継続事業の最終年度 総事業費 363,118,800 円

構 造	内 容	延 床 面 積
鉄筋コンクリート造 3 階建	屋上防水改修、外壁改修、 内装改修	1,600㎡

- (イ) 南消防署大清水出張所庁舎改修実施設計 9,570,000 円

2 通信指令事業費 240,431,807 円 (通信指令課)

[総括]

迅速かつ的確な出動指令により、災害による被害を軽減するため、通信指令員の機器操作の習熟、Net119 緊急通報システムなど様々な緊急通報への対応力の向上を図った。また、新型コロナウイルス感染症拡大状況下において 119 番通報の受信時に聴取する事項を追加し、関係者への感染防止に努めた。今後も、救急事案における緊急度判定基準に基づく適切な出動指令及び口頭指導を実施し、傷病者の重症化防止を図っていく。また、指令システムとデジタル無線設備の更新へ向けた計画を推進するとともに、東三河各市消防本部との連携強化と通信指令員の知識と技術の向上を図っていく。

[実績及び成果]

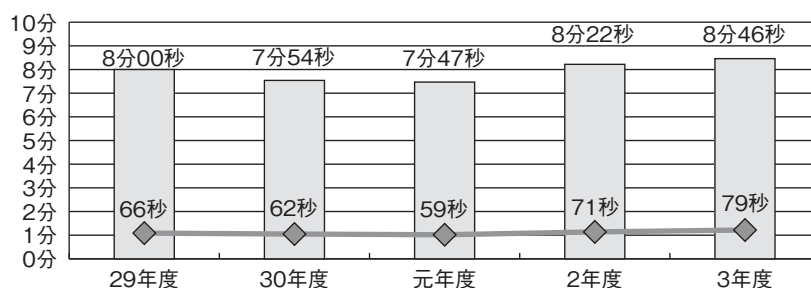
- (1) 通信指令事業費 240,431,807 円

[受信内訳]

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
119 番 通 報 件 数	18,588 件	20,091 件	8.1%
固 定 電 話	5,642	5,487	△ 2.7
携 帯 電 話	9,292	10,582	13.9
I P 電 話	3,654	4,022	10.1

[指 標]

指 標 名：119番(火災・救急・救助)受信から現場到着(受信から指令及び指令から現場到着)までに要した時間(平均)
 指標説明：所要時間／件数



※折れ線部分は受信から指令までに要した時間(平均)

3 警防活動費 9,336,270 円 (消防救急課)

[総 括]

市民の生命、身体及び財産を火災から守り、被害を最小限に抑えるため、消防機械器具の整備や消防隊員の知識、技術の向上に努めた。また、消防が有する車両や資機材では対応が困難な災害に対応するため、東三建設協会及び東三クレーン協会と「消防活動の協力に関する協定」を締結した。今後も、発生が危惧される南海トラフ地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、東三河各消防本部や警察等の関係機関とも連携した各種災害想定訓練を実施し、災害対応力の強化を図る。

[実績及び成果]

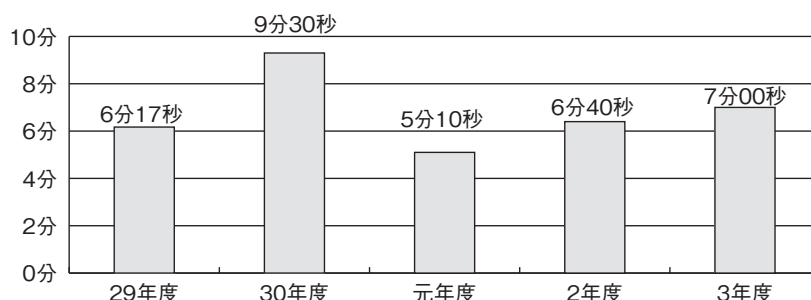
(1) 警防活動費 9,336,270 円

[火災発生状況]

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
出 火 件 数	106件	100件	△ 5.7%
り 災 棟 数	59棟	51棟	△13.6
り 災 世 帯	41世帯	53世帯	29.3
り 災 人 員	74人	121人	63.5
焼 損 面 積 (建物)	1,217㎡	1,323㎡	8.7
損 害 額	104,584千円	101,219千円	△ 3.2

[指 標]

指 標 名：火災出動から放水開始までの時間(木造一般住宅火災(市街地))(平均)
 指標説明：火災出動から先着隊の放水開始までの時間



4 消防団活動事業費

124,128,933 円 ((消) 総務課)

[総括]

消防団員の安全確保のための装備品と活動用資機材の充実を図るとともに、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた公務活動として消防署との合同訓練や災害時活動マニュアル研修会ならびに機能別団員研修を実施し、災害対応力の向上に努めた。

また、市民に消防団の必要性について正しく理解してもらうために、各種イベントにおいて消防団員を中心に消防団PR事業を展開し、消防団に対する理解の促進を図った。各地域の分団においては、「シャッターアートプロジェクト」などの活動を通じて、自治会や地域住民との繋がりを持ち、消防団員の確保に努めた。

[実績及び成果]

(1) 消防団員管理事業費 116,300,516 円

[災害出動・公務活動人数]

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
災 害 出 動	3,130人	2,143人	△31.5%
公 務 活 動	6,649	3,533	△46.9

(2) 消防団交付金 7,828,417 円

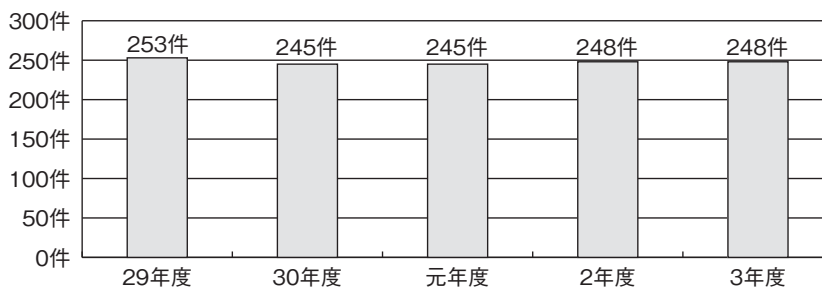
[交付金内訳]

区 分	令和2年度	令和3年度
消 防 団 交 付 金	800,000円	386,017円
方 面 隊 交 付 金	688,000	688,000
分 団 交 付 金	6,754,400	6,754,400
消防はしご登り保存会交付金	0	0
計	8,242,400	7,828,417

[指 標]

指 標 名：「ほの国消防団・消防団応援事業所」の登録件数

指標説明： //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 救 急 救 命 費 <救急救命体制の充実>	72,308,677	33,114,000	10,600,000	2,125,000	26,469,677

1 救急事業費 69,708,281 円 (消防救急課)

[総括]

救急需要の増加に伴い、救急救命士の養成や処置範囲の拡大への対応、医療機関との連携強化を進めたほか、高規格救急車を1台増車し、救急体制の強化を図った。また、新型コロナウイルス感染症に対する適切な感染防止対策を講じるため、感染防止資器材を拡充した。応急手当の普及啓発については、感染状況を鑑み適切な感染防止対策を行い各種救急講習を実施した。今後も、救急の高度化と応急手当の普及啓発を推進し救急救命体制の充実強化を図る。

[実績及び成果]

(1) 救急高度化事業費 68,742,359 円

研修派遣内訳		令和2年度	令和3年度
救 急 救 命 士	救急救命士養成	2人	2人
	包括運用教育講習	3	6
	気管挿管運用試験	2	2
	薬剤投与運用試験	3	6
	処置範囲拡大追加講習	3	3
救急隊員資格取得		12	10

救急発生状況内訳		令和2年度	令和3年度	比較
急	病	9,215件	10,476件	13.7%
一	般 負 傷	1,925	2,107	9.5
交	通 事 故	907	994	9.6
労	働 災 害	159	125	△21.4
運	動 競 技	79	76	△ 3.8
加	害	42	40	△ 4.8
そ の 他		1,740	1,807	3.9
計		14,067	15,625	11.1
(内：コロナ陽性者搬送)		(64)	(341)	(5.3倍)

(2) 応急手当普及啓発事業費 965,922 円

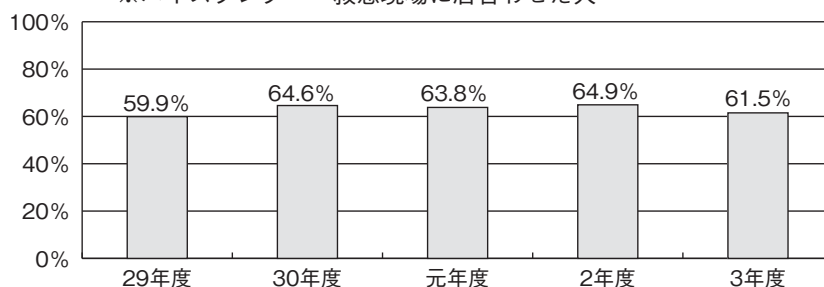
救命講習内訳		令和2年度	令和3年度	比較
応急手当指導員		46人	60人	30.4%
応急手当普及員		29	76	2.6倍
普通救命		826	1,100	33.2%
上級救命		87	52	△40.2
その他の講習		68	290	4.3倍
救命入門コース		2,215	3,203	44.6%
計		3,271	4,781	46.2

[指 標]

指 標 名：心肺停止傷病者に対するバイスタンダーの処置率(胸骨圧迫)

指標説明：通報時、心肺停止状態の傷病者に対しバイスタンダーが応急処置を施した割合

※バイスタンダー…救急現場に居合わせた人



2 救助事業費

2,600,396 円 (消防救急課)

[総 括]

市民の生命、身体及び財産を災害から守るため、救助隊員の知識、技術の向上に努めた。また、静岡県熱海市における土石流災害に緊急消防援助隊愛知県大隊として職員を派遣し、その活動経験を踏まえ土石流災害に対する資機材の見直しを図った。今後も、発生が危惧される南海トラフ地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、救助隊員の育成と救助活動の充実強化を図る。

[実績及び成果]

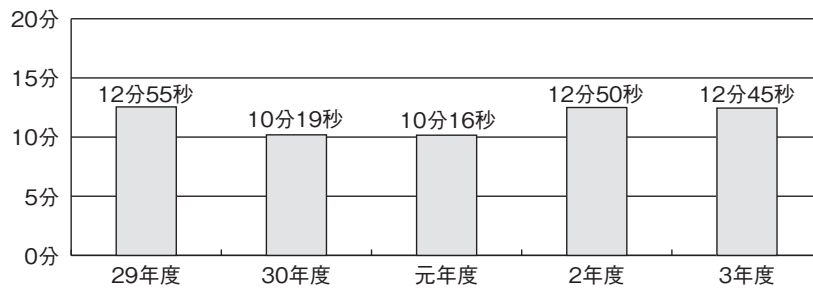
(1) 救助事業費

2,600,396 円

救助発生状況内訳		令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
火 災	建 物 火 災	35件	28件	△20.0%
	建 物 火 災 以 外	4	6	50.0
火 災 以 外 の 事 故	交 通 事 故	43	43	0.0
	水 難 事 故	8	8	0.0
	自 然 災 害	0	2	皆増
	機 械 に よ る 事 故	8	7	△12.5
	建 物 等 に よ る 事 故	55	69	25.5
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	1	4	4.0倍
	破 裂 事 故	0	0	0.0%
そ の 他 の 事 故	77	97	26.0	
計		231	264	14.3

[指 標]

指 標 名：現場到着から生存者の救助完了までの時間(平均)
指標説明：救助隊の現場到着から生存者の救助完了までの時間



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 火災予防費 <火災予防対策の強化>	12,977,524	0	0	699,400	12,278,124

1 火災予防対策事業費 12,977,524円 (予防課)

[総括]

住宅火災での高齢者の犠牲者を低減させるため、解体する市営住宅の住宅用火災警報器を活用し高齢者宅へ設置するリユース事業を継続実施するとともに、作成した高齢者向けの防火冊子を活用し、戸別訪問や防火教室での啓発を行った。また、火災による被害を最小限に抑えるため、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた各種研修会や防火教室、事業所への火災予防対策を実施するとともに、各種イベントを通じて、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の促進に努めた。

今後も引き続き高齢者を中心とした火災予防対策を推進するとともに、街頭消火器の設置等促進による初期消火体制の強化及び消防法違反対象物の是正指導を行う。

[実績及び成果]

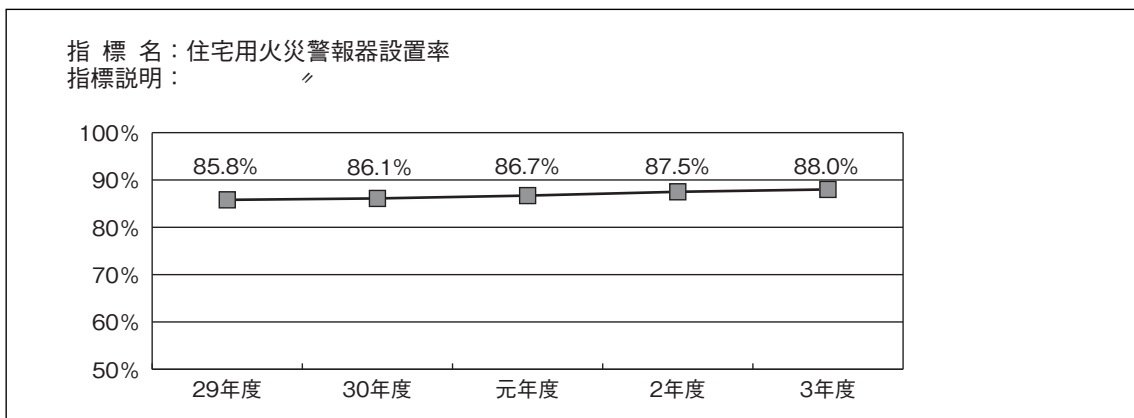
(1) 火災予防啓発事業費 8,951,924円

啓 発 区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
啓 発 イ ベ ン ト	4回	2回	△50.0%
講 習 会	7	11	57.1
老人クラブ防火教室等	3	2	△33.3
女性防火クラブ研修等	3	6	2.0倍
少年消防クラブ防火教室等	9	22	2.4

(2) 街頭消火器設置費等補助金 4,025,600円

補 助 内 訳	令和2年度	令和3年度	比 較
消 火 器 更 新	783件	606件	△22.6%
収 納 箱 更 新	395	171	△56.7
薬 剤 更 新	4	1	△75.0
消 火 器 新 規 設 置	29	33	13.8
火災使用薬剤詰替(街頭消火器)	6	11	83.3
火災使用薬剤詰替(一般消火器)	17	6	△64.7

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10款 教 育 費	20,259,014,743	2,851,868,003	6,655,200,000	2,271,635,640	8,480,311,100
1 項 教 育 総 務 費	2,663,088,077	234,452,359	0	256,133,774	2,172,501,944
3 目 豊かな学び推進費 <豊かな学びの推進>	729,442,498	72,587,000	0	10,401,314	646,454,184

1 教育諸活動支援事業費 112,531,057 円 (教育政策課・学校教育課)

[総括]

次代を担う子どもたちの感性を磨き、豊かな心を醸成するため、創造力や豊かな感性・表現力を高める活動、子どもたちの科学技術に対する夢と情熱を育む活動、体力・競技力の向上を図る活動など、様々な教育活動の支援を行ったほか、子どもたちが郷土を心のよりどころと感じ、誇りをもって語ることができるよう、郷土学習を進めた。また、新入学児童・発達障害児童生徒のいる学校に支援員を配置することによって、子どもたちがスムーズな学校生活を送れるよう、学級担任をサポートしていく体制づくりを行った。今後も子どもたちがいきいきと学ぶことができるよう、各事業内容の充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 行事開催事業費 699,910 円

区 分	令和2年度	令和3年度
子ども造形パラダイス補助金	開催日 —	開催日 —
	補助金 0円	補助金 0円
子どものための科学展開催費補助金	開催日 10.31~11.29	開催日 10.30~11.30
	来場者数 7,502人	来場者数 12,671人
	補助金 195,584円	補助金 356,319円
小柴記念賞補助金	応募点数 295点	応募点数 2,742点
	補助金 316,181円	補助金 343,591円

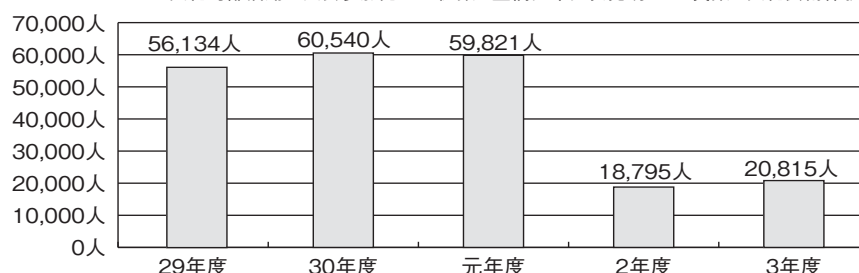
(2) 教育活動支援事業費 111,831,147 円

区 分	令和2年度	令和3年度
新入学児童学級対応等支援事業費	支援員 65人	支援員 67人
体育的部活動支援事業費	10,936,664円	9,508,038円
学校体育連盟補助金	1団体 10,936,664	1団体 7,552,133
中学校東海・全国大会出場補助金	0校(0人) 0	16校(80人) 1,955,905
文化的活動支援事業費	14 433,258	31 2,533,968
少年少女発明クラブ補助金	クラブ員 94人 353,890	クラブ員 81人 400,000
文化芸術体験推進事業費	参加児童生徒1,561 946,320	参加児童生徒 0 196,780
中学校部活動指導者派遣事業費	部活動指導者 5 1,288,800	部活動指導者 7 1,345,800

[指標]

指標名：教育諸活動支援事業参加者数

指標説明：子ども造形パラダイス出品児童生徒数+小学生のコンサート参加児童数+中学校合唱フェスティバル参加生徒数+子どものための科学展来場者数+小柴記念賞応募点数+市内体育大会参加児童生徒数+中学校東海・全国大会出場者数+文化的部活動の大会参加児童生徒数+豊橋少年少女発明クラブ員数+文化芸術体験推進事業参加児童生徒数



2 生徒指導対策事業費

3,286,640 円（学校教育課）

[総括]

生徒指導担当者の情報交換会や管理職対象の研修会において、いじめを見逃さず、早期に対応するために、教職員一人ひとりがいじめを認知していくことと、いじめを一つひとつ解消していく組織的な対応の重要性について啓発を行った。進路指導では、キャリア教育と連携しながら、生徒が将来の目標を定め、最適な進路選択ができるよう支援を行った。今後もいじめ、不登校、暴力行為等の問題行動を未然に防ぐため、自己存在感や自己有用感を高め、共感的人間関係を育むための支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 生徒指導対策事業費

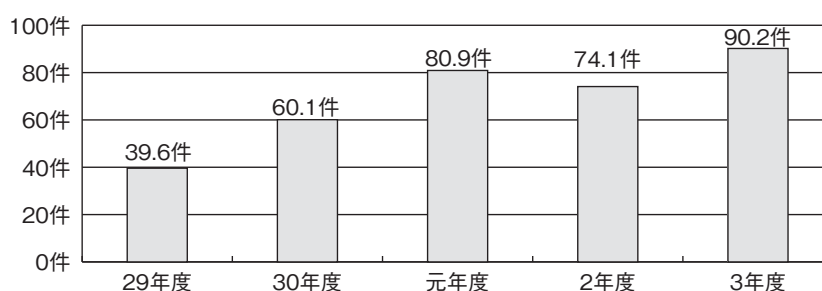
3,224,020 円

区 分	令和2年度	令和3年度
生 徒 指 導	夏季教員研修会 8月 1回	夏季教員研修会 8月 1回
	夏季生徒会研修会 8 1	夏季生徒会研修会 8 1
進 路 指 導	進路のてびきの発行	進路のてびきの発行

[指標]

指標名：1校当たりのいじめ、暴力行為の発生件数

指標説明：いじめの認知件数及び暴力行為の発生件数/小中学校数(74校)



3 授業・学習支援事業費

28,891,980 円（学校教育課）

[総括]

子どもたちへの効果的な学習支援を行うため、「授業・学習支援センター」において、コーディネーター1名と選書スタッフ2名が連携し、子どもの調べ学習や教員の授業づくりの支援を行った。また、28名の学校図書館司書を小中学校へ配置するとともに、学校図書館司書への研修を実施し、学校図書館機能の充実に努めた。今後も子どもたちの豊かな学習環境の充実のため、教員のニーズを把握し、センターの機能を有効に活用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 授業・学習支援センター推進事業費 5,010,066 円

学校貸出冊数	令和2年度	令和3年度
	10,647冊	8,497冊

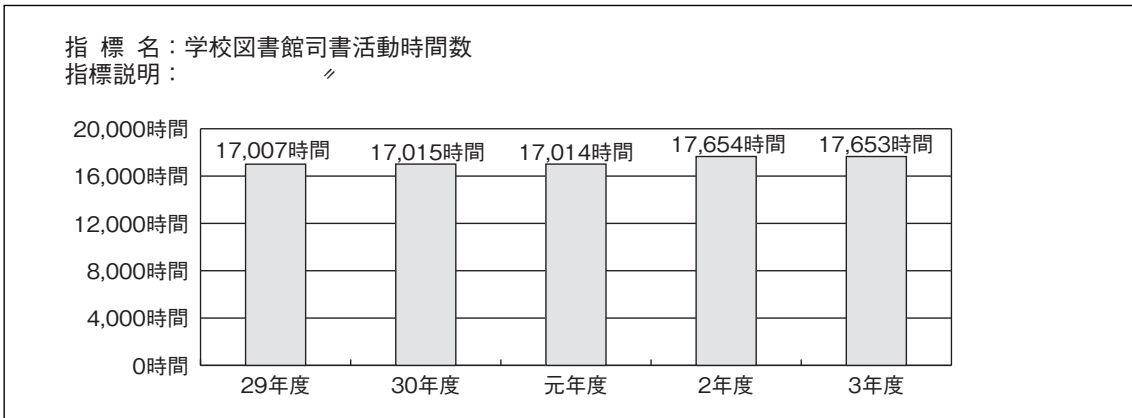
(2) 学校図書館活動推進事業費 23,749,100 円

司書配置	令和2年度	令和3年度
	28名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当18名、2校担当10名)	28名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当18名、2校担当10名)

(3) 小・中学校読書活動推進事業費 132,814 円

図書購入	令和2年度	令和3年度
	127冊	71冊

[指標]



4 学力・体力向上推進事業費

26,745,861 円（学校教育課）

[総括]

義務教育9年間におけるつながりのある一貫した教育を行うため、小学校の高学年において教科担任制を実施し、子どもの発達段階に応じ、専門性を活かしたより質の高い授業を提供した。また、スポーツトレーナーを小学校に派遣し、体育の授業において、健康的な体づくりやスポーツにおける正しい動きづくりのアドバイスを行った。

[実績及び成果]

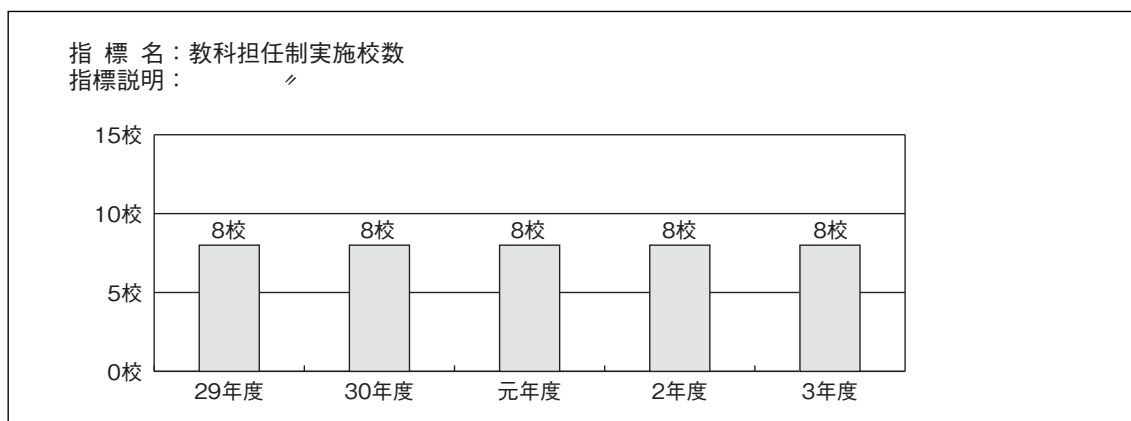
(1) 学力向上支援事業費 26,355,141 円

教科担任の非常勤講師人数	令和2年度	令和3年度
	7人	5人

(2) 体力向上支援事業費 390,720 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	スポーツトレーナーを小学校(7校)に派遣 体育の授業や体力テスト練習時における健康的な体づくりや正しい動きづくりへの指導の実施 「学校保健委員会」での講話の実施	スポーツトレーナーを小学校(14校)に派遣 体育の授業や体力テスト練習時における健康的な体づくりや正しい動きづくりへの指導の実施 「学校保健委員会」での講話の実施

[指 標]



5 学びの連携推進事業費 68,695 円 (教育政策課・学校教育課)

[総 括]

義務教育9年間におけるつながりのある一貫した教育を行うため、令和4年度に小中一貫教育を導入する中学校区において、目ざす子ども像や方策を地域の特色に合わせて設定し、次年度の導入に向けた準備を進めた。また、異校種間における教育活動の連携と系統化を図るため、授業参観や情報交換など異校種の学習内容や指導方法の共有を図った。

[実績及び成果]

(1) 学びの連携推進事業費 68,695 円

(ア) 小中一貫教育推進事業費

小中一貫教育を導入した中学校区数	令和2年度	令和3年度
	2校	2校

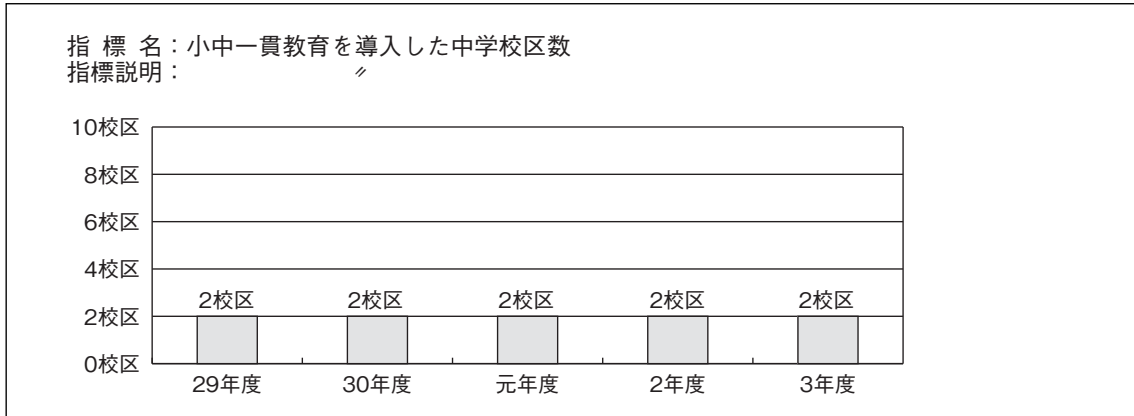
(イ) 小中高特連携教育推進事業費

内 容	令和2年度	令和3年度
	小中高特連携教育推進協議会(2回) 英語教育分科会(3回) 理科学教育分科会(3回) 特別支援教育分科会(3回) 言語能力分科会(3回)	小中高特連携教育推進協議会(2回) 英語教育分科会(4回) 理科学教育分科会(4回) 特別支援教育分科会(4回) 言語能力分科会(3回)

(ウ) 幼年期教育研究事業費

内 容	令和2年度		令和3年度	
	幼年期だよりの発行(4回) 年長児就学先調査の実施			幼年期教育研修会の開催 幼年期だよりの発行(4回) 小学校紹介DVDの作成 年長児就学先調査の実施

[指 標]



6 国際理解教育推進事業費 128,113,489 円 (学校教育課)

[総 括]

「英語」及び「外国語活動」の授業への人的支援として、英語スクールアシスタント(SA)や外国人英語指導員(ALT)を派遣した。小学校では学級ごとに、3・4年生にはSAと年間20時間、5・6年生にはALTと年間35時間の協働授業を行った。中学校では学級ごとに、ALTと年間30時間協働授業を行い、子どもたちの英語への関心・意欲を高めることができた。八町小学校の「イマージョン教育コース」では、日本人教員と外国人指導員によるチーム・ティーチングにより、英語を用いたコミュニケーション能力の育成を図った。今後も引き続き英語教育の充実を図るため、小・中学校での連携を進める。

[実績及び成果]

(1) 英会話のできる豊橋っ子育て事業費 128,113,489 円

(ア) 小・中学校外国人英語指導員活動費

外国人英語指導員 コーディネーター及び 外国人英語指導員の配置	令和2年度		令和3年度	
		74校	24人	74校

(イ) 小学校英語スクールアシスタント

内 容	令和2年度		令和3年度	
		52校	延 4,577時間	52校

(ウ) 夏休み小学生英語活動費

内 容	令和2年度		令和3年度	
		0日間	0人	2日間

(エ) 夏休み中学生英語活動費

内 容	令和2年度		令和3年度	
		0日間	0人	0日間

(オ) スーパー英語チャレンジ費

内 容	令和2年度		令和3年度	
		0日間	0人	2日間

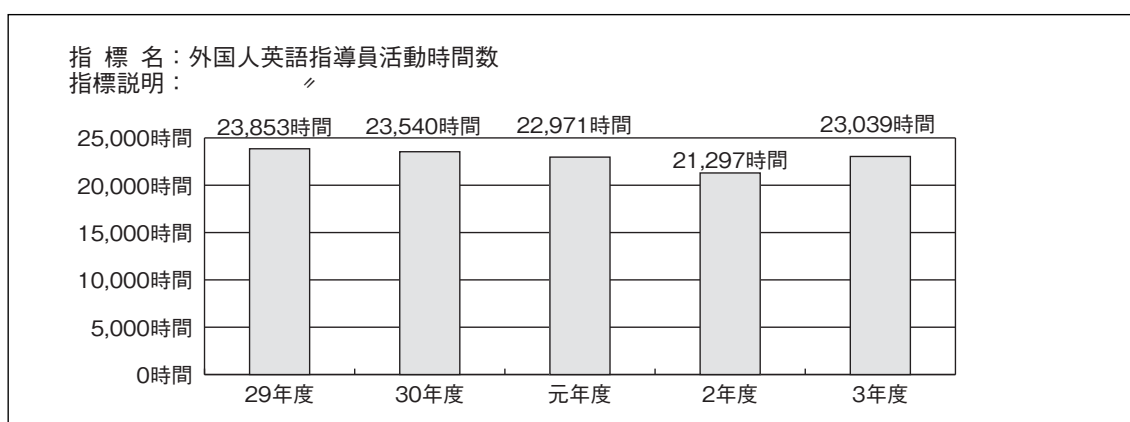
(カ) トリードスーパーイングリッシュキャンプ費

内 容	令和2年度		令和3年度	
		0日間	0人	0日間

(キ) イマージョン教育推進費

内 容	令和2年度		令和3年度	
		1校	96人	1校

[指 標]



7 情報教育推進事業費 327,967,386 円（学校教育課）

[総 括]

情報・通信の技術を積極的に活用していくことが求められるなか、情報教育を通じて子どもたちにコンピュータの技能を身につけさせるとともに、情報モラルやセキュリティに関する意識を高めさせることができた。さらに、「とよはし版GIGAスクール」を推進するため、ネットワーク環境を強化し、児童生徒全員に1台ずつ配備されたタブレット型端末を活用した多様な学習活動を実施した。今後も教育の情報化に対応した実践を進める。

[実績及び成果]

(1) コンピュータ活用事業費 327,967,386 円

(ア) 小学校コンピュータ活用事業費 234,032,421 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
学習用コンピュータ・タブレット費	24,777台	1,481,566,100円	24,777台	173,804,257円
コンピュータネットワークシステム費		27,113,665		55,024,775
学校図書館管理用コンピュータ費	52	10,676,492	52	5,203,389

(イ) 中学校コンピュータ活用事業費 93,538,965 円

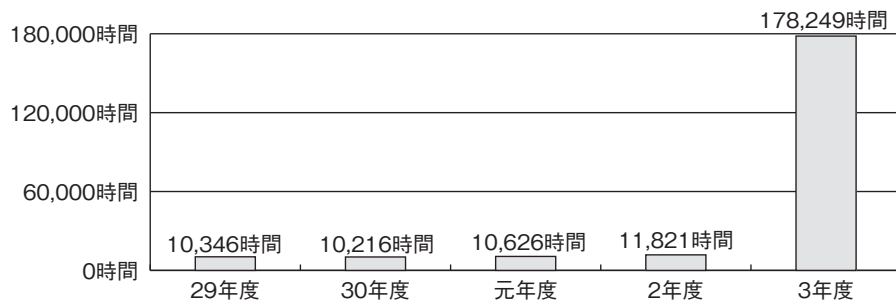
区 分	令和2年度		令和3年度	
学習用コンピュータ・タブレット費	12,589台	720,727,576円	12,589台	70,303,296円
コンピュータネットワークシステム費		10,314,769		21,062,458
学校図書館管理用コンピュータ費	22	4,516,980	22	2,173,211

(ウ) 分身ロボットを活用した教育支援の実施 396,000円

区 分	令和2年度	令和3年度
分身ロボットによる支援費	1台 396,000円	1台 396,000円

[指 標]

指 標 名：小・中学校学習用コンピュータ利用時間数
指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 教育環境充実費 ＜教育環境の充実＞	226,929,769	7,399,060	0	2,940,000	216,590,709

1 私学振興事業費 25,527,700円 (教育政策課)

[総括]

私立学校等の運営の円滑化及び教育環境の向上をめざし、学校規模に応じた運営費の補助を行った。また、私立学校に通う生徒の就学を支援するため、県の制度改正に合わせ、授業料に対する市独自の上乗せ助成額を増額することにより、家庭の教育費負担のさらなる軽減を図った。今後も国、県の動向を踏まえ、私立学校の教育的意義などを考慮した施策を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 私学運営費補助金 9,059,000円

区 分	令和2年度		令和3年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
私立高等学校(3校)	3,247人	6,247,000円	3,226人	6,226,000円
外国人学校(3校)	344	2,844,000	333	2,833,000
計	3,591	9,091,000	3,559	9,059,000

(2) 私立高等学校等支援事業費 16,468,700円

(ア) 私立高等学校授業料補助金 15,568,200円

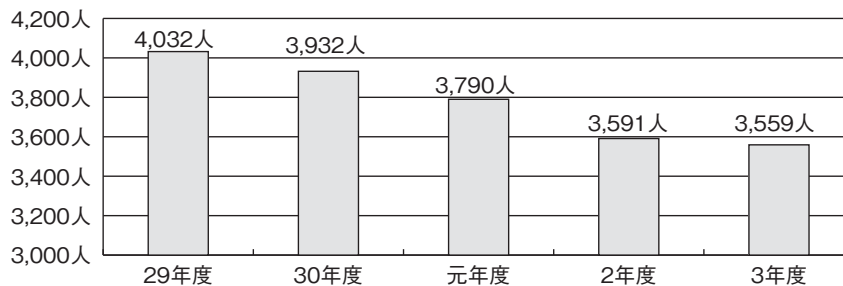
内 容	令和2年度		令和3年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	1,913人	18,840,700円	1,634人	15,568,200円

(イ) 私立専修学校等授業料補助金 690,000円

内 容	令和2年度		令和3年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	51人	504,000円	56人	690,000円

[指標]

指標名：私立高等学校、外国人学校在籍者数
 指標説明：〃



2 奨学支援事業費

10,462,700 円（教育政策課）

[総括]

経済的に困難を抱えながらも夢の実現に向けて努力する学生を応援するため、令和3年度は返済不要の奨学金「豊橋市未来応援奨学金」を、34人に対して給付し、将来を担う若者の進学を後押しした。今後も国の奨学金制度の動向などを踏まえながら、必要な支援を行っていく。

[実績及び成果]

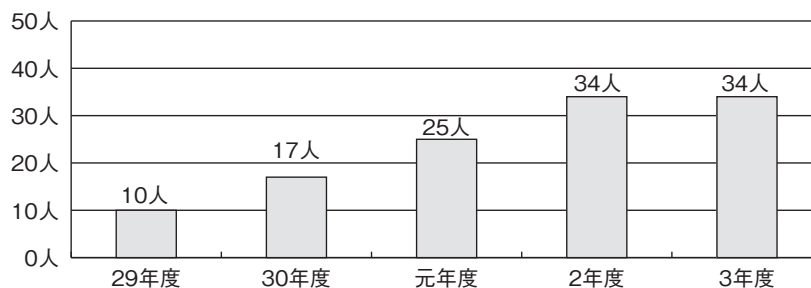
(1) 奨学金給付事業費

10,462,700 円

受給者数	令和2年度	令和3年度
	34人	34人

[指標]

指標名：豊橋市未来応援奨学金の受給者数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 教職員研修費 <教職員の力量向上>	95,624,670	376,873	0	1,020,000	94,227,797

1 現職研修事業費 3,525,007円 (学校教育課)

[総括]

小中学校における今日的課題や将来にわたる課題の解決に向けて研究し、成果を公開発表する研究指定校や、各校それぞれの課題について組織的・計画的に実施する現職研修に対して支援を行い、教育活動に活かすとともに、教職員の力量向上を図った。今後もより良い教育活動の展開のため、研究や研修への支援を行っていく。

[実績及び成果]

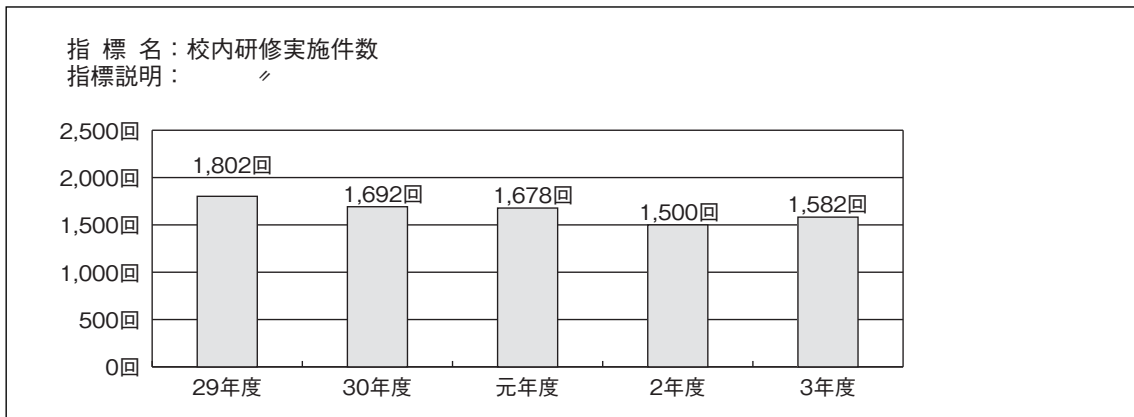
(1) 指定校研究費補助金 1,199,336円

区 分	令和2年度	令和3年度
指 定 校	9校	9校
補 助 金	1,198,782円	1,199,336円

(2) 現職研修委員会補助金 1,948,798円

区 分	令和2年度	令和3年度
ブ ロ ッ ク 研 修	12ブロック	12ブロック
研 究 部 等 研 修	38研究部	38研究部
基 本 研 修	298人	2,819人
補 助 金	1,513,327円	1,948,798円

[指標]



2 教育会館管理運営事業費 92,099,663円 (学校教育課)

[総括]

教職員の研修、教育情報の収集、教育機器・教材の提供及び情報教育の場としての機能を果たすとともに、教育相談や就学相談を行い、学校や家庭での問題に対応した。また、教員免許状更新講習を引き続き実施し、教育の実情に即した講習内容とすることにより教員の資質の向上を図るとともに、受講者の事務手続等の負担軽減を行った。今後も教職員のニーズを的確に把握し、施設を有効に利用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理等運営事業費 13,793,690 円

[利用状況]

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数	359日	359日	0.0%
教 職 員 施 設 利 用 者 数	延 6,932人	延 10,204人	47.2
一 般 施 設 利 用 者 数	延 4,032	延 4,554	12.9
計	延 10,964	延 14,758	34.6

[各種活動]

区 分	令和2年度	令和3年度
コ ン ピ ュ ー タ 研 修	0時間 参加人員 0人	66時間 参加人員 623人
視 聴 覚 教 育 研 究	研究活動、教材・資料の作成	研究活動、教材・資料の作成
教 材 等 貸 出 利 用	映像教材貸出 255本	映像教材貸出 601本

(2) 教職員研修事業費 6,042,863 円

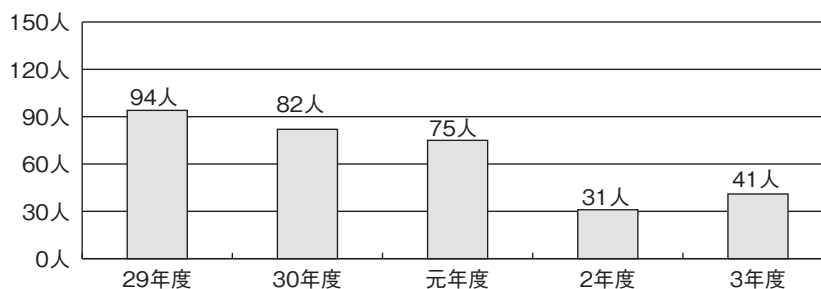
区 分	令和2年度	令和3年度
基 本 研 修	66回 参加人員 1,893人	94回 参加人員 2,819人
職 務 研 修	41 〃 1,428	61 〃 2,328
課 題 ・ 専 門 研 修	6 〃 432	33 〃 2,711
社 会 連 携 研 修	0 〃 0	1 〃 97

(3) 教員免許状更新講習事業費 960,663 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	12講座 受講人員 189人	19講座 受講人員 203人

[指 標]

指 標 名：教育会館1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 特色ある学校推進費 <特色ある学校づくり>	4,433,123	0	0	0	4,433,123

1 学校づくり推進事業費 4,269,713 円 (学校教育課)

[総括]

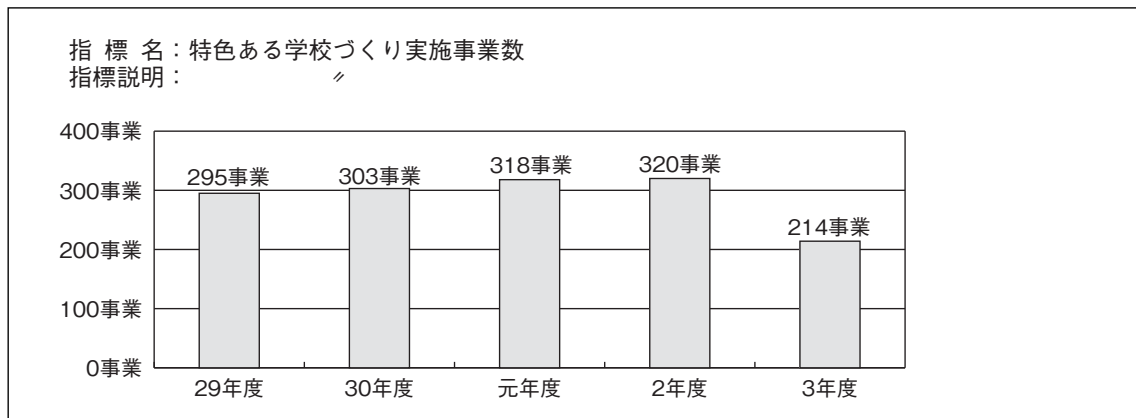
各学校が「生きる力」を育む特色ある学校づくりを主体的に推進し、豊かな心と実践力のある児童生徒を育成するため、学校行事や総合的な学習の時間等への支援を行った。また、市内を流れる川の総称を「母なる豊川」とし、子どもたちや地域の人々が川の自然、川と人の関わりについて考え、川を大切にするための教育活動を実施した。今後も各学校の事業企画内容を評価・検討し、充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 学校づくり推進事業費 4,269,713 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
母なる豊川活用事業費	参加校	26校	参加校	33校
特色ある学校づくり推進事業費補助金	74校	7,982,304円	74校	4,269,713円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 教育活動支援費 〈個の特性に寄り添った教育の推進〉	219,725,895	47,298,000	0	300,000	172,127,895

1 教育相談事業費 207,685,480円 (学校教育課)

[総括]

外国人児童生徒教育相談員等による教育相談や学校生活適応指導に加え、日本語指導が必要な児童生徒の適応支援や初期日本語集中指導を実施するなど、外国人児童生徒や保護者に対する支援の充実に努めた。また、児童生徒の教育にかかわる問題について、教育相談員や臨床心理士等がそれぞれの専門的立場で連携して教育相談を実施するとともに、スクールソーシャルワーカーが関係機関や関係者と連携し、児童生徒や保護者が置かれた環境に働きかけた。その他、心理判定員による発達検査に基づいた就学相談を実施するとともに、生活サポート非常勤講師の配置や市内に3か所開設しているほっとプラザの運営を通して、不登校傾向にある児童生徒の早期発見、対応及び学校復帰に向けた支援を行った。今後も学校や関係機関と連携をとりながら、児童生徒の支援のため効果的な教育相談活動に努める。

[実績及び成果]

(1) 外国人児童生徒教育相談事業費 117,828,545円

区 分	令和2年度	令和3年度
外国人児童生徒教育相談コーディネーター	相談件数 2,838件	相談件数 2,839件
外国人児童生徒教育相談員	学校常駐 13人 学校巡回 14	学校常駐 13人 学校巡回 14
外国人児童生徒対応スクールアシスタント	延 4,879時間	延 4,766時間
登録バイリンガルボランティア	延 1,597.5	延 1,694.0

(2) 教育相談活動事業費 37,175,736円

区 分	令和2年度	令和3年度
スクールソーシャルワーカー	相談件数 4,049件	相談件数 5,229件
教 育 相 談 員 (学校訪問、にじの子相談等)	〃 5,086	〃 5,197
心 理 カ ウ ン セ ラ ー	〃 898	〃 797
心 理 判 定 員	〃 467	〃 477
メンタルフレンド	派遣回数 104回	派遣回数 169回

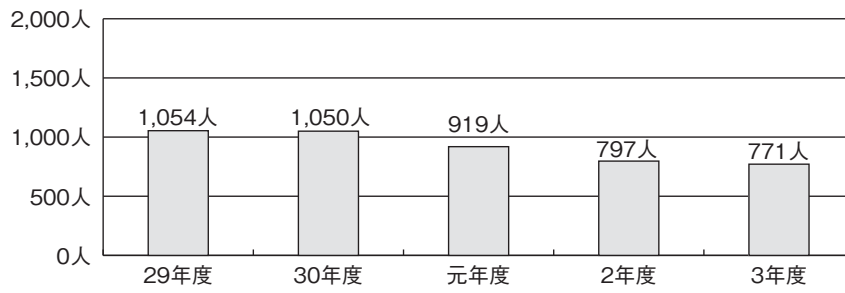
(3) 不登校対策支援事業費 52,681,199円

区 分	令和2年度	令和3年度
とよはしほっとプラザ活動事業費	3か所 181日 延 3,444人	3か所 191日 延 3,698人
生活サポート支援事業費	非常勤講師 14	非常勤講師 15
不登校対策推進協議会補助金	担当者学習会 8・10月 2回	担当者学習会 4・8・10月 3回
	補助金 116,920円	補助金 101,230円

[指 標]

指 標 名：教育相談員 1 人当たりの児童生徒数

指標説明：市立小中学校児童生徒数 / (外国人児童生徒教育相談員数 + 教育相談員数)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 市立学校教育活動推進費 〈個の特性に寄り添った教育の推進〉	463,636,567	78,455,976	0	52,937,574	332,243,017

1 くすのき特別支援学校教育推進事業費 232,534,083円 (教育政策課)

[総括]

ハローワークをはじめとした関係諸機関・企業との連携を強化するとともに、引き続き学校内にある農業実習施設「和(なごみ)ハウス」での農作業実習や企業等での体験学習など就労支援体制の充実を図ったことにより、多数の産業科の卒業生が一般就労することができた。また、豊橋市・田原市における特別支援教育のセンター的機能を持つ「くすのき相談センター」では、関係機関と連携しながら相談事業を進めている。今後も、すべての子どもたちが自立し、地域社会でたくましく生きることができるよう、教育環境の向上とともに、就労支援に重点を置いた学校づくりを推進する。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 151,595,994円 (5月1日現在)

区 分	令和2年度	令和3年度
学 級 数	49学級	50学級
児 童 ・ 生 徒 数	267人	271人

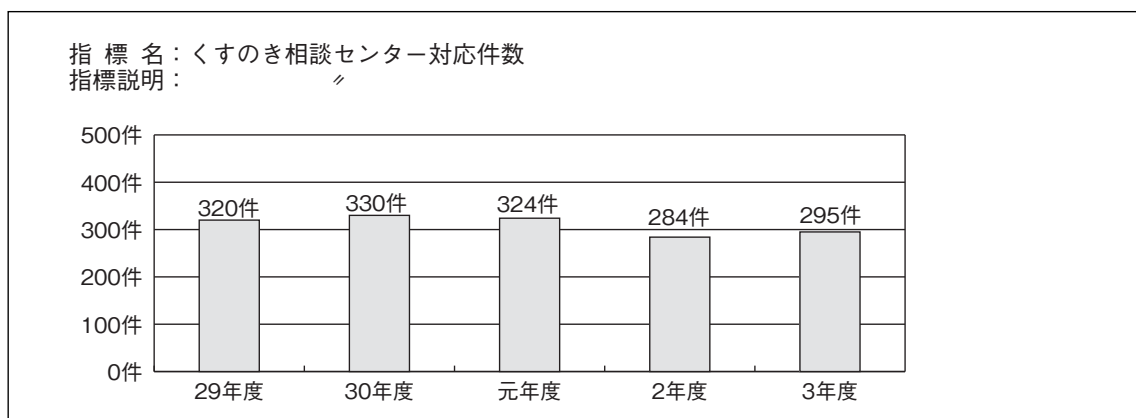
[施設整備]

内 容	令和2年度	令和3年度
	一般補修工事	

(2) 教育活動事業費 71,207,408円

区 分	令和2年度	令和3年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	1,695冊	1,984冊
校務・学習・図書管理用コンピュータ費	125台 6,295,575円	127台 8,849,775円
企業向け学校見学会実施回数	0回	1回
専門分野における高等学校との共同学習実施回数	0	1
就労支援におけるサテライト実習実施回数	8	6

[指 標]



2 市立高等学校教育推進事業費 144,711,114 円（教育政策課）

〔総括〕

働きながら学ぶことができる学校としての教育環境づくりを進めた。特に、学習用タブレット端末 134 台を設置するなど、環境整備に努めた。今後も、生徒一人ひとりの特性を伸ばすとともに、自ら学ぶ主体性を確立させるなど特色ある教育内容の充実を図り、東三河の定時制高校の中心的役割を果たしていく。

〔実績及び成果〕

(1) 管理事業費 19,276,035 円 (5月1日現在)

区 分	令和2年度	令和3年度
学 級 数	22学級	22学級
生 徒 数	651人	637人

〔施設整備〕

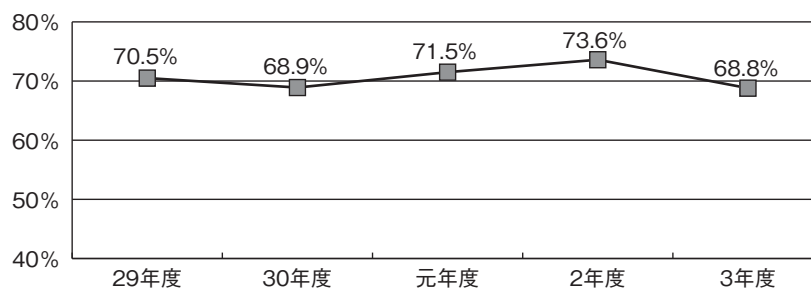
内 容	令和2年度	令和3年度
	防球ネット柱の更新 一般補修工事	

(2) 教育活動事業費 85,370,601 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
学 校 図 書 館 蔵 書 数	6,008冊		6,072冊	
定時制教育教科書給与費	13人	56,678円	15人	77,726円
学 習 用 コ ン ピ ュ ー タ 費	42台	2,543,712	42台	1,668,216
心理カウンセラー相談開催日数	74日		76日	
キャリア教育実施回数	9回		6回	
外国人生徒教育支援日数	223日		236日	

〔指 標〕

指 標 名：市立高等学校卒業資格取得率
 指標説明：卒業生数／入学者数



3 家政高等専修学校教育推進事業費 86,391,370 円（教育政策課）

〔総括〕

服飾・調理に関する専門的な知識・技能の習得や、生涯を通じて必要となる教養を深めることをめざした教育活動を展開した。進路指導においては、生徒一人ひとりの個性や将来に対する夢を尊重したきめ細かい支援を行い、就職・進学率の向上を図った。とりわけ、キャリア教育研修においては、講師を招いた実践的な講座に力を入れた。また、心理カウンセラーを活用した専門的な見地からの支援にも取り組み、学校生活や進路選択での不安や悩みへの対処のみならず、自己理解やコミュニケーションスキルの向上に取り組んだ。今後も次代を担う人材育成のため、教育環境の向上や教育内容の充実に努めていく。

〔実績及び成果〕

(1) 管理事業費 2,890,140 円 (5月1日現在)

区 分	令和2年度	令和3年度
学 級 数	3学級	3学級
生 徒 数	107人	96人

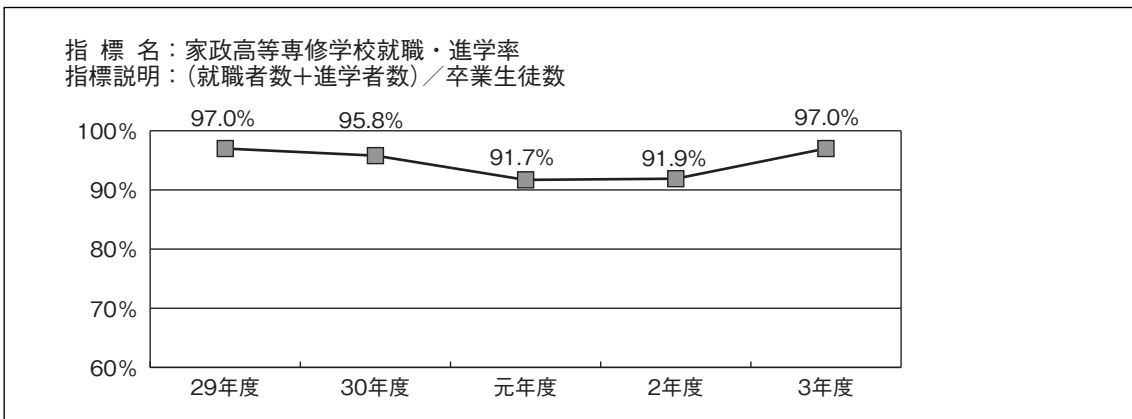
〔施設整備〕

内 容	令和2年度	令和3年度
	一般補修工事	一般補修工事

(2) 教育活動事業費 24,676,516 円

区 分	令和2年度	令和3年度
学校図書館蔵書数	2,675冊	2,720冊
学習用コンピュータ費	41台 2,252,600円	41台 2,290,200円
心理カウンセラー相談開催日数	24日	24日
キャリア教育実施回数	6回	10回

〔指標〕



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 自然史博物館費 ＜自然史博物館の充実＞	208,249,611	11,681,450	0	13,453,039	183,115,122

1 自然史博物館事業費 143,561,525 円 (自然史博物館)

[総括]

自然についての正しい知識を深め、大切にすることを目的に、自然科学に関する常設展示に加え、資料収集、調査研究活動に取り組んだ。大型映像では「ウォーキング with ダイナソー！」等の上映、ワークショップ、解説会、企画展等の教育普及活動を実施するとともに、特別企画展「地球は昆虫であふれている」を開催した。今後も博物館としての魅力向上につながる事業を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 教育普及活動事業費 39,953,349 円

区 分	令和2年度	令和3年度
ワークショップ等	18回 参加人員 474人	26回 参加人員 769人
出前授業等	71 〃 1,918	65 〃 1,848
大型映像	762 観覧者数 27,043	810 観覧者数 29,719
企 画 展	「新蔵資料 / 学芸員の研究成果紹介展」 会期中の入館者数 98,818人 7.18～8.30 (39日間) 「骨を愛でるⅡ～のんほいパークの至宝展～」 〃 83,711 9.12～10.4 (20日間) 「第16回自然史博物館自由研究展」 〃 73,890 10.31～11.29 (27日間) 「干支展 丑」 〃 38,085 12.19～1.17 (26日間) 「地球の時間、ヒトの時間-アト秒から46億年までの35桁の物語-」 〃 78,292 2.20～3.28 (32日間)	「新蔵資料 / 学芸員の研究成果紹介展」 会期中の入館者数 77,902人 4.17～5.23 (33日間) 「第17回自然史博物館自由研究展」 〃 65,152 11.6～11.28 (20日間) 「干支展 寅」 〃 55,461 12.18～1.16 (23日間) 「美しい砂の世界-日本の砂、世界の砂、地層の砂-」 〃 60,447 2.19～3.20 (26日間)

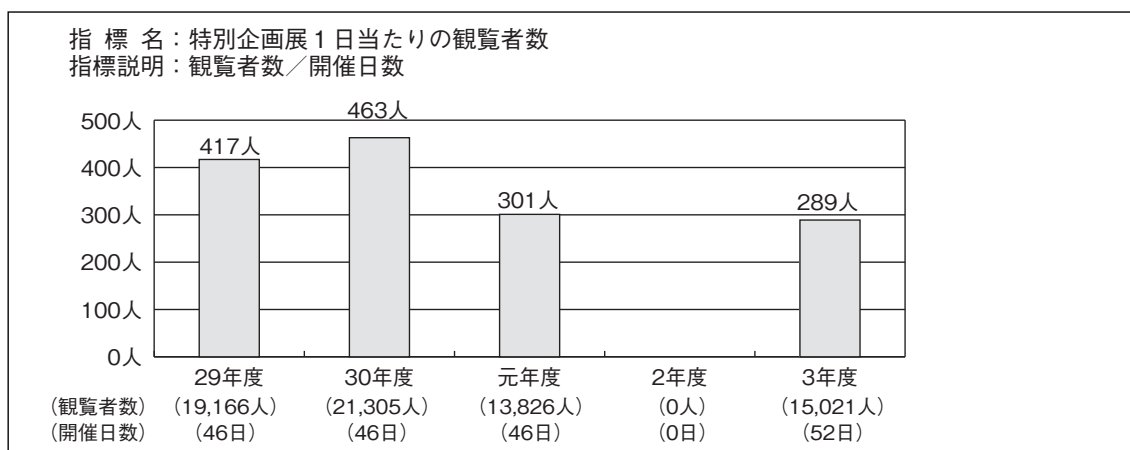
(2) 調査研究活動事業費 7,032,185 円

区 分	令和2年度	令和3年度
博物館資料	製作委託 鳥類等の剥製骨格標本製作 8点	鳥類等の剥製骨格標本製作 13点
	採集・寄贈 1,383点 (総数 554,757点)	30,962点 (総数 585,719点)
	図書等 898冊 (総数 44,907冊)	1,480冊 (総数 46,328冊)
研究発表(調査研究)	35.5件	59.0件

(3) 特別企画展開催事業費 7,092,613 円

区 分	令和2年度	令和3年度
特 別 企 画 展	—	「地球は昆虫であふれている」
	—	7.9～9.5 (52日間)
	—	展示数2,000点 観覧者数15,021人
関 連 行 事	—	1. 記念講演会①「害虫との戦いや虫ケア用品(殺虫剤)の開発」 参加人員 40人
		2. 記念講演会②「希少昆虫の守り方」 〃 28
		3. 記念講演会③「昆虫がヤバイ」 〃 —
		4. ワークショップ「夜の動物園で昆虫を観察しよう」 〃 34

[指 標]



2 自然史博物館施設管理事業費 64,208,044 円 (自然史博物館)

[総 括]

新型コロナウイルス感染症対策事業の一環としてガラパゴス物語展示室などの空調取替修繕を行った。また、標本などを適正に管理・保管するため、取蔵庫の標本棚の増設や滅菌装置の修繕などを行った。今後も入館者サービス向上のため、設備・展示物等の更新を含め適正な施設管理を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 64,208,044 円

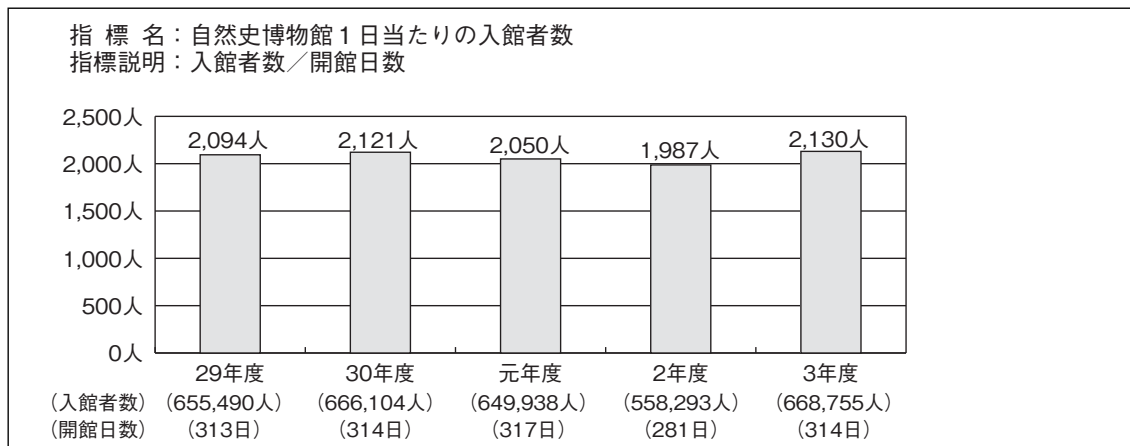
[利用状況]

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数	281日	314日	11.7%
入 館 者 数	延 558,293人	延 668,755人	19.8

〔施設整備〕

内 容	令和2年度	令和3年度
	恐竜劇場プロジェクター、防災設備 修繕	ガラパゴス物語展示室、化石を知る コーナー、講堂前廊下空調取替修繕

〔指 標〕



3 石巻自然科学資料館運営事業費 480,042 円（自然史博物館）

〔総 括〕

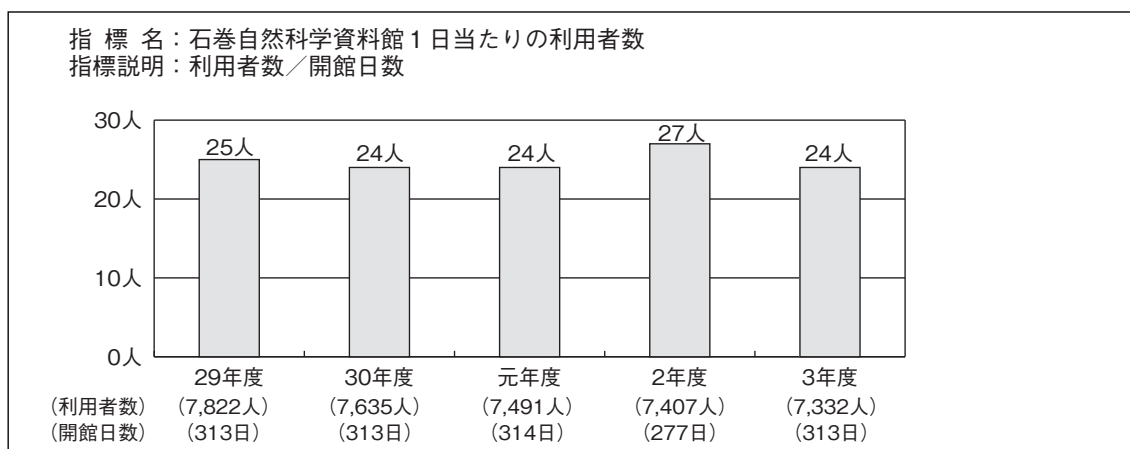
石巻山周辺の自然を観察するためのビジターセンターとして、この地域で観察できる地質と動植物等を紹介している。また、「石巻山自然観察路マップ」を配布し、利用者の利便性の向上を図った。今後も広範囲な利用者の確保と施設のPR活動に努めていく。

〔実績及び成果〕

(1) 石巻自然科学資料館運営事業費 480,042 円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数	277日	313日	13.0%
利 用 者 数	延 7,407人	延 7,332人	△ 1.0

〔指 標〕



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 科学教育センター費 <科学教育センターの充実>	98,762,233	16,654,000	0	3,851,027	78,257,206

1 科学教育センター事業費 61,080,737円 (科学教育センター)

[総括]

視聴覚教育センターでは、小学校4年生を対象とした実験学習、プラネタリウム学習などを感染症対策を徹底して全校を対象として実施したほか、わかば議会の提案事業である「コラボしてラボしよう!」を先輩若者委員と共に実施して理科好きな子どもたちの育成を図った。また、とよはし科学月間(11月)では、目玉企画として開催した「科学捜査展」が好評であった。従来の企画展とは異なる視点・分野をテーマにしたことで、これまで視聴覚教育センター・地下資源館に来たことのない新たな来館者を掘り起こすことができた。今後も新たな生活様式に対応しながら、サイエンス・ボランティア等と協働し、子どもから大人まで楽しめる魅力ある行事を通して、科学を学ぶ機会の充実を図っていく。

(1) 視聴覚教育センター事業費 21,513,377円

[各種活動]

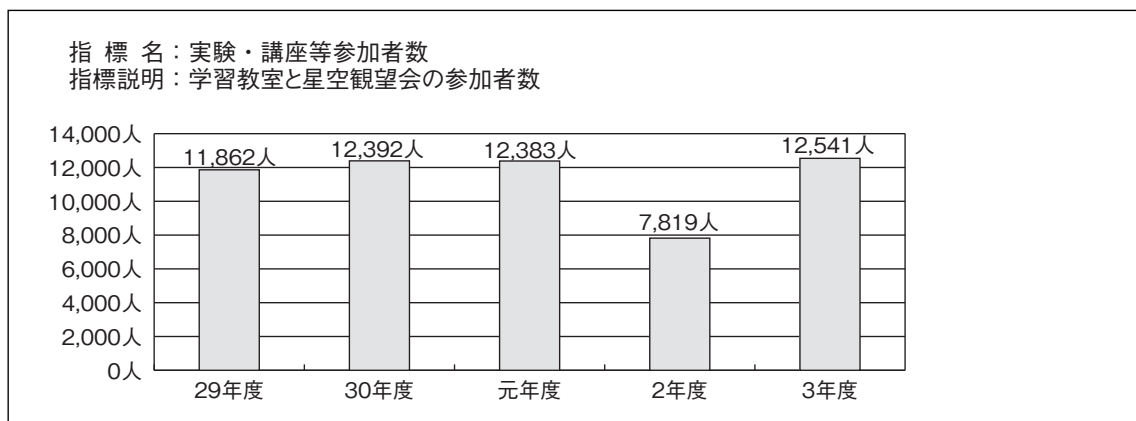
区 分	令和2年度		令和3年度	
わくわく体験活動(小学校4年生)	9月～11月	参加人員 1,853人	6月～10月	参加人員 3,559人
プラネタリウム投映	663回	観覧者数 15,123	821回	観覧者数 22,593
学 習 教 室	6月～2月(30回)	参加人員 706	4月～3月(72回)	参加人員 1,583
星 空 観 望 会	6月～3月(10)	〃 713	5月～3月(8)	〃 273
展 示 会	4月～3月(5)	入場者数139,288	4月～3月(7)	入場者数104,263

(2) 地下資源館事業費 3,356,321円

[各種活動]

区 分	令和2年度		令和3年度	
学 習 教 室	6月～3月(256回)	参加人員 6,400人	4月～3月(461回)	参加人員10,685人
小学生サイエンス アイデア作品展	9.19～11.8(44日間) 展示点数260点 入場者数11,404		10.1～11.30(52日間) 展示点数479点 入場者数17,951	
企 画 展	4月～8月	〃 18,210	10月～11月	〃 12,464
	11月～3月	〃 19,018		
展 示 会	—		10月～3月(1回)	〃 33,841

[指標]



2 科学教育センター施設管理事業費 37,681,496 円（科学教育センター）

〔総括〕

上下水道局や環境部の協力を得て、豊橋市のエネルギー施策を紹介する展示の改修を行ったほか、プラネタリウム室冷暖房設備など老朽化した施設の修繕を行った。今後も教育環境の計画的な整備を行い、視聴覚教育センター・地下資源館の利用促進を図っていく。

〔実績及び成果〕

(1) 視聴覚教育センター施設管理事業費 29,923,908 円

〔利用状況〕

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数	274日	310日	13.1%
入 館 者 数	延 54,759人	延 78,903人	44.1

〔施設整備〕

内 容	令和2年度	令和3年度
	移動式プラネタリウムの導入、展示室出入り口扉修繕、受変電設備機器の修繕	プラネタリウム室冷暖房設備修繕、2階防火シャッター取替修繕、講堂南面サッシ防水修善

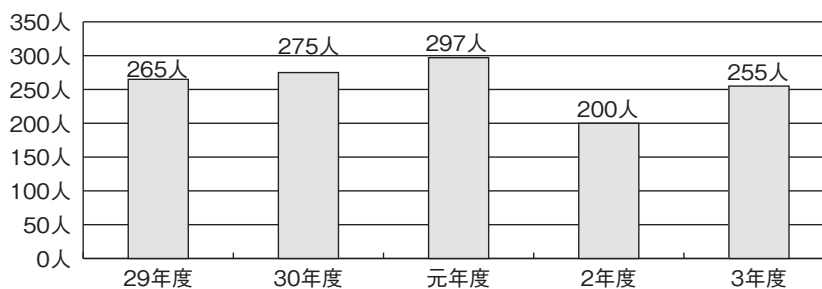
(2) 地下資源館施設管理事業費 7,757,588 円

〔施設整備〕

内 容	令和2年度	令和3年度
	エントランス屋根防水修繕、展示ケース照明器具修繕	展示室他パネル修繕、屋外コンクリート擁壁修繕

〔指 標〕

指 標 名：1日当たりの入館者数
 指標説明：入館者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 小 学 校 費	3,943,131,281	730,496,309	1,502,600,000	175,582,520	1,534,452,452
1目 教育環境整備費 <教育環境の充実>	3,943,131,281	730,496,309	1,502,600,000	175,582,520	1,534,452,452

1 小学校管理事業費 373,952,700 円 (教育政策課)

[総括]

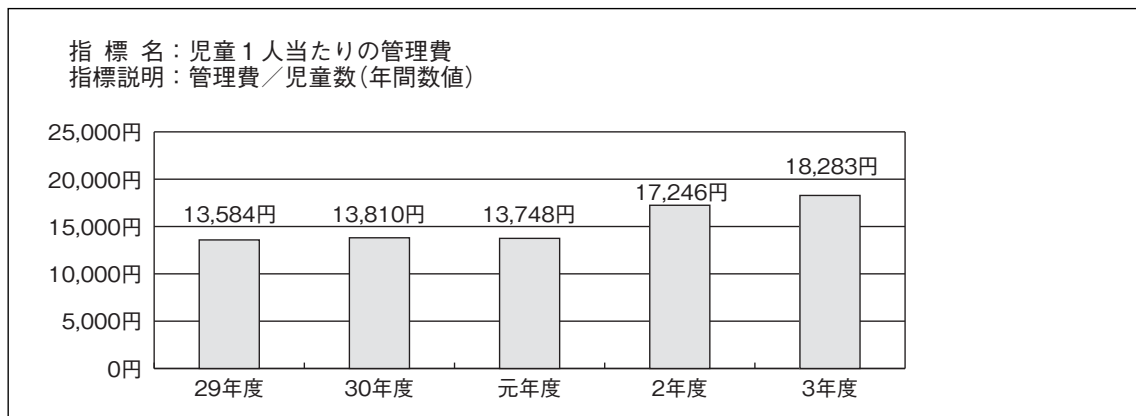
小学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算に導入している総額裁量制予算の効率的な執行など、限られた予算の有効活用を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 373,952,700 円 (5月1日現在)

区 分	令和2年度	令和3年度
学 校 数	52校	52校
学 級 数	851学級	852学級
児 童 数	20,743人	20,454人

[指 標]



2 小学校教育推進事業費 321,757,731 円 (教育政策課・学校教育課)

[総括]

児童の情報資産を高いセキュリティ環境下で一元管理できる校務支援システムの運用を、豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市の4市により共同で実施し、教師が児童と向き合う時間の確保を図った。また、国の補助制度を活用し、感染症対策を徹底しながら学習活動を継続するために必要な備品等を購入した。今後も更なる教育環境の向上に向けて取組みを進めていく。

[実績及び成果]

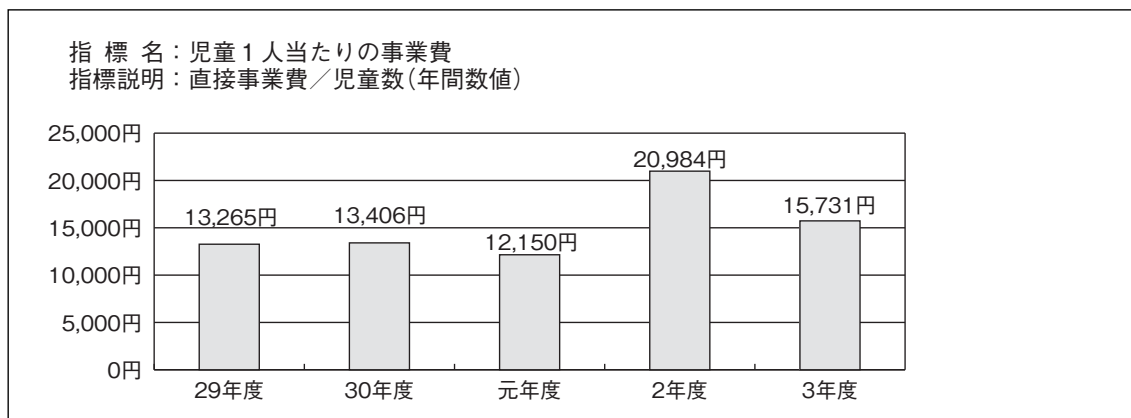
(1) 教育活動事業費 235,655,398 円

区 分	令和2年度	令和3年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	479,422冊	483,967冊
理科教育設備整備事業実施校数	18校	18校

(2) 情報管理システム管理運営事業費 86,102,333 円

区 分	令和 2 年度		令和 3 年度	
校務用コンピュータ費	1,308台	45,485,539円	1,308台	44,791,224円
校務支援システム費	1,308	41,293,609	1,308	41,311,109

[指 標]



3 小学校校舎等増改築事業費 588,840,730 円 (教育政策課)

[総 括]

八町小学校では、イマージョン教育開始に伴う児童数増加による学校施設の狭あい化及び施設老朽化に対応するため、校舎長寿命化改良工事、プール解体工事及び校舎増築工事を行った。

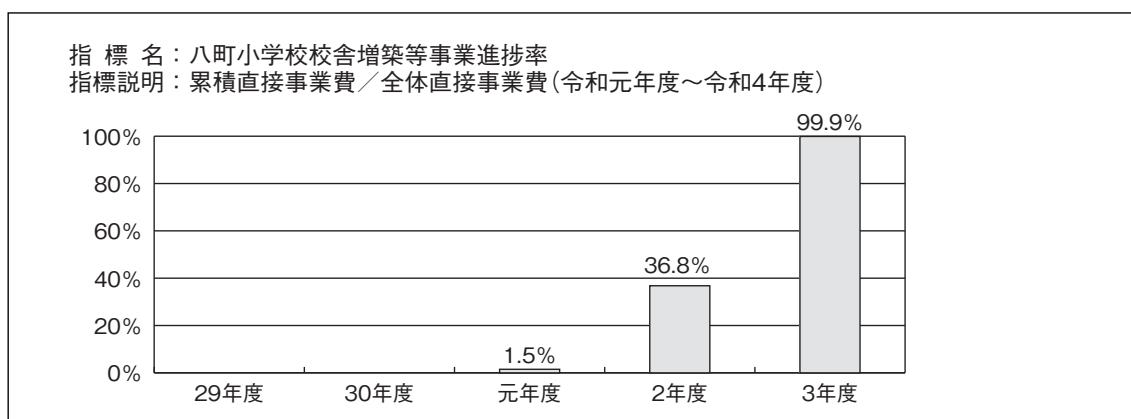
[実績及び成果]

- (1) 八町小学校校舎増築等事業費 588,840,730 円
- (ア) 校舎長寿命化改良工事 372,889,830 円
- 3 年継続事業の最終年度 総事業費 608,839,880 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建	3,201㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借等 33,524,700 円
- (ウ) 校舎増築工事 182,426,200 円

[指 標]



※令和 3 年度の全体事業費にて、元年度から再算定

4 小学校校舎等長寿命化改良事業費 1,877,491,423 円（教育政策課）

[総括]

児童が安心して学習できる環境づくりのため、東田小学校はじめ6校の校舎及び羽根井小学校はじめ2校の屋内運動場で施設の耐久性を高める工事を実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 東田小学校校舎改良事業費 288,970,420 円
 (ア) 北校舎長寿命化改良工事 231,715,420 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 633,300,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	3,373㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借 57,255,000 円
 (2) 幸小学校校舎改良事業費 260,488,740 円
 (ア) 中校舎長寿命化改良工事 179,086,320 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 448,700,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建	2,544㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借等 81,402,420 円
 (3) 芦原小学校校舎改良事業費 269,745,333 円
 (ア) 校舎長寿命化改良工事 218,584,333 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 621,800,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	3,562㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借 51,161,000 円
 (4) 鷹丘小学校校舎改良事業費 263,881,570 円
 (ア) 校舎長寿命化改良工事 213,761,500 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 584,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	3,038㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借 50,120,070 円

- (5) 岩西小学校校舎改良事業費 166,309,000 円
 (ア) 校舎長寿命化改良工事 164,164,000 円
 4 年継続事業の 2 年度 総事業費 1,026,600,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		校舎 鉄筋コンクリート造3階建(北校舎) 鉄筋コンクリート造3階建(中校舎)	2,066㎡ 2,432㎡

- (イ) コンクリート強度等調査委託業務 2,145,000 円
 (6) 向山小学校校舎改良事業費 280,952,650 円
 (ア) 北校舎長寿命化改良工事 237,719,350 円
 3 年継続事業の 2 年度 総事業費 642,500,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		校舎 鉄筋コンクリート造3階建	3,782㎡

- (イ) 仮設校舎の賃借 43,233,300 円
 (7) 羽根井小学校屋内運動場改良事業費 192,756,410 円
 (ア) 屋内運動場長寿命化改良工事 191,753,210 円

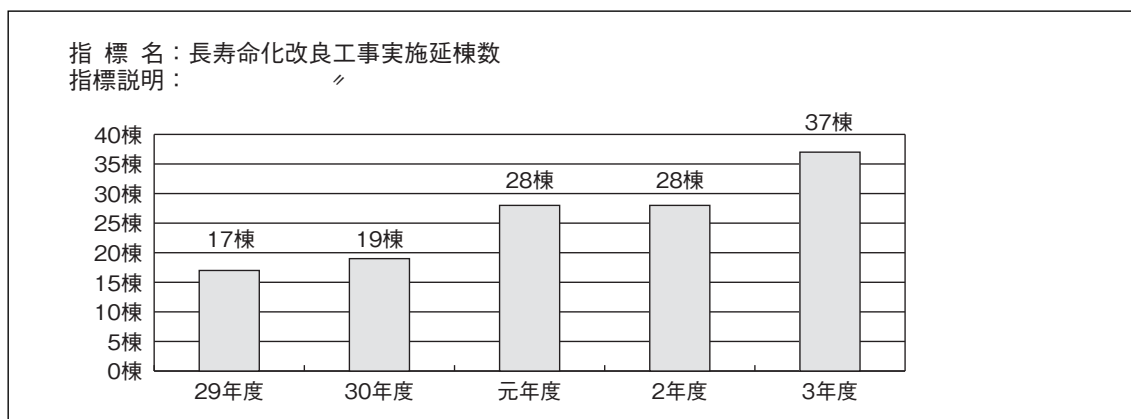
内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	837㎡

- (イ) 物品運搬及び保管委託業務等 1,003,200 円
 (8) 杉山小学校屋内運動場改良事業費 154,387,300 円
 (ア) 屋内運動場長寿命化改良工事 153,334,500 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	641㎡

- (イ) 物品運搬及び保管委託業務等 1,052,800 円

[指 標]



5 小学校環境整備事業費

390,577,370 円（教育政策課）

[総括]

各学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、6校で校舎外壁等改修工事を実施したほか、2校においてトイレ大規模改造工事を行った。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

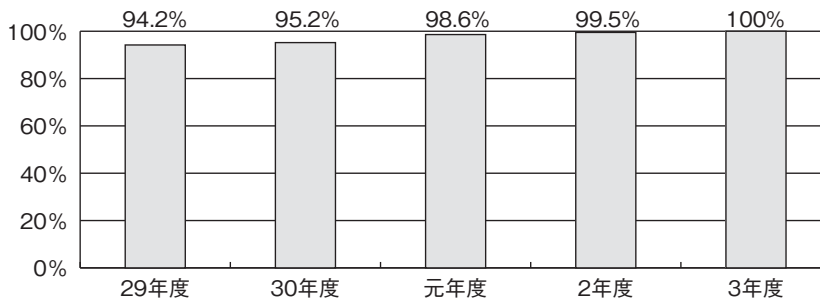
[実績及び成果]

区 分	令和2年度	令 和 3 年 度	
		規模等	学 校 名
(1) 校舎等改修事業費	322,050,867円		
トイレ大規模改造工事	3校	2校	花田、二川
校舎外壁等改修工事	—	6	福岡、多米、栄、前芝、小沢、二川
電気設備改修工事	4	4	老津、賀茂、津田、大清水
校舎内装等改修工事	2	1	二川
校舎等アスベスト調査委託	—	11	羽根井、牟呂、二川、老津、松山、野依つつじが丘、向山、幸、大清水、東田
計	9	24	
(2) 運動場等整備事業費	9,340,658円		
樹木整備工事等	—校	1校	下地
フェンス改修工事	—	1	津田
(3) 一般補修事業費	59,185,845円		
	52校	52校	全校

[指標]

指標名：小学校施設整備事業進捗率

指標説明：(耐震化進捗率+強化ガラス化整備率+校内LAN整備率+トイレ改造整備率) / 4



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 中 学 校 費	4,600,319,791	668,192,144	1,486,100,000	262,938,758	2,183,088,889
1目 教育環境整備費 <教育環境の充実>	4,600,319,791	668,192,144	1,486,100,000	262,938,758	2,183,088,889

1 中学校管理事業費 249,653,679円 (教育政策課)

[総括]

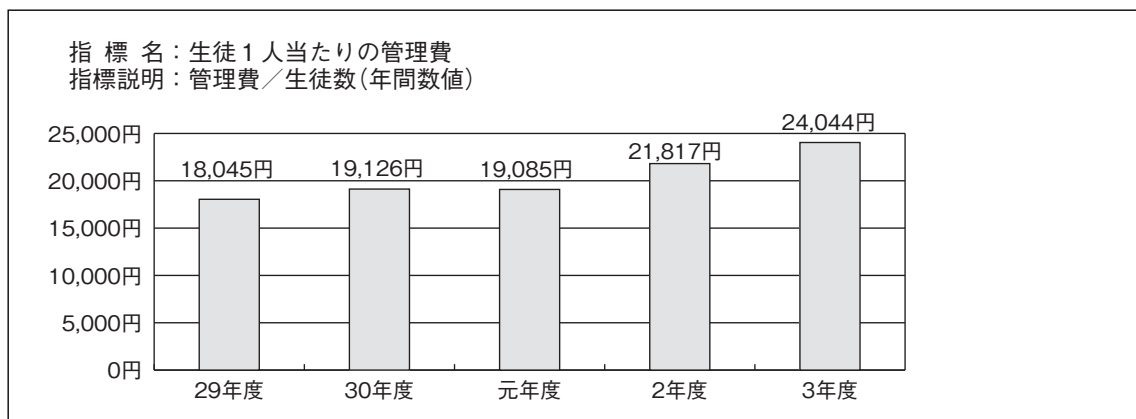
中学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。また、「楽器寄附ふるさと納税」を活用し、全国から家庭等で使用されなくなった楽器の寄附を受け入れることで中学校の音楽活動を支援した。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算に導入している総額裁量制予算の効率的な執行など、限られた予算の有効活用を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 249,653,679円 (5月1日現在)

区 分	令和2年度	令和3年度
学 校 数	22校	22校
学 級 数	356学級	364学級
生 徒 数	10,323人	10,383人

[指標]



2 中学校教育推進事業費 187,565,948円 (教育政策課・学校教育課)

[総括]

生徒の情報資産を高いセキュリティ環境下で一元管理できる校務支援システムの運用を、豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市の4市により共同で実施し、教師が生徒と向き合う時間の確保を図った。また、国の制度を活用し、感染症対策を徹底しながら学習活動を継続するために必要な備品等を整備した。今後も更なる教育環境の向上に努めていく。

[実績及び成果]

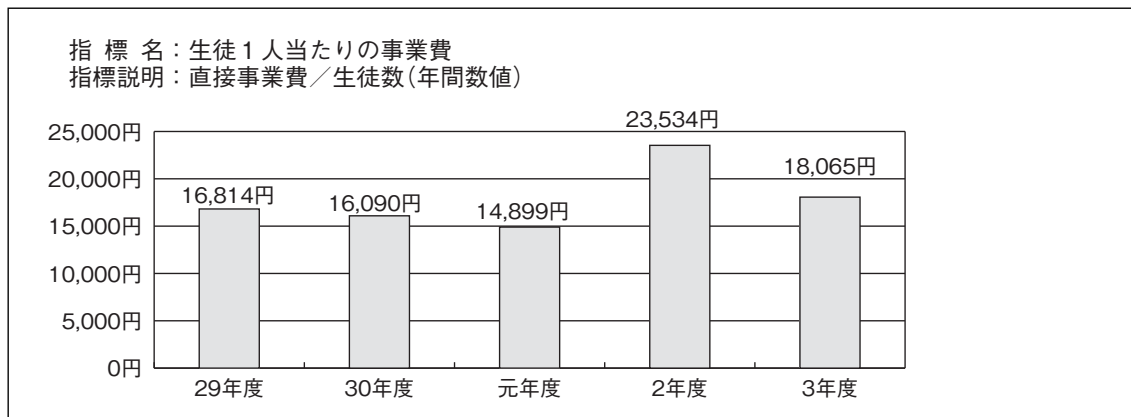
(1) 教育活動事業費 145,428,712円

区 分	令和2年度	令和3年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	332,242冊	321,083冊
理科教育設備整備事業実施校数	11校	11校

(2) 情報管理システム管理運営事業費 42,137,236 円

区 分	令和 2 年度		令和 3 年度	
校務用コンピュータ費	758台	24,235,041円	758台	24,659,856円
校務支援システム費	758	17,470,380	758	17,477,380

[指 標]



3 中学校校舎等長寿命化改良事業費 218,826,018 円 (教育政策課)

[総 括]

生徒が安心して学習できる環境づくりのため、高豊中学校の屋内運動場で施設の耐久性を高める工事を実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

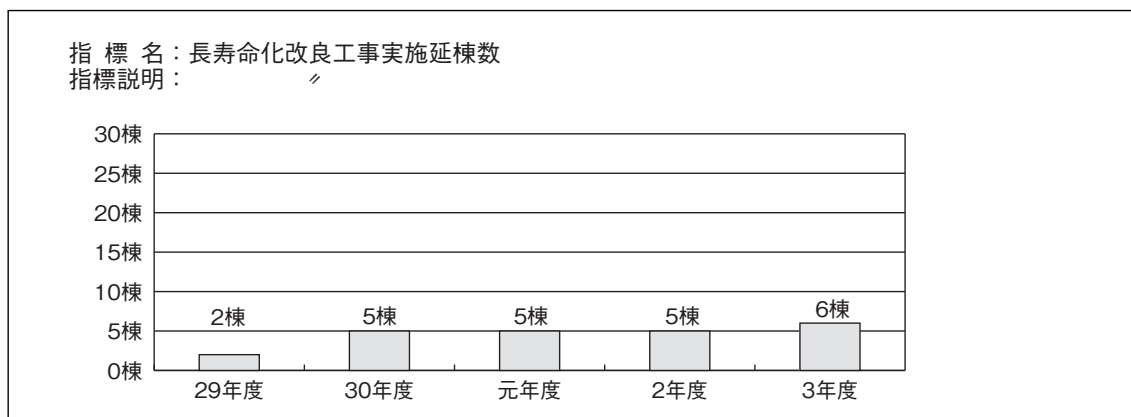
(1) 高豊中学校屋内運動場改良事業費 218,826,018 円

(ア) 屋内運動場長寿命化改良工事 217,413,618 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	1,048㎡	外部・内部改修

(イ) 物品運搬及び保管委託業務等 1,412,400 円

[指 標]



4 中学校校舎等大規模改造事業費 487,415,090 円（教育政策課）

[総括]

生徒が安心して学習できる環境づくりのため、本郷中学校で施設の耐久性を高める工事を実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 本郷中学校校舎改造事業費 486,469,090 円
 - (ア) 中校舎大規模改造工事 256,989,500 円
 - 2 か年継続事業の最終年度 総事業費 426,710,900 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		校舎 鉄筋コンクリート造4階建	2,925㎡

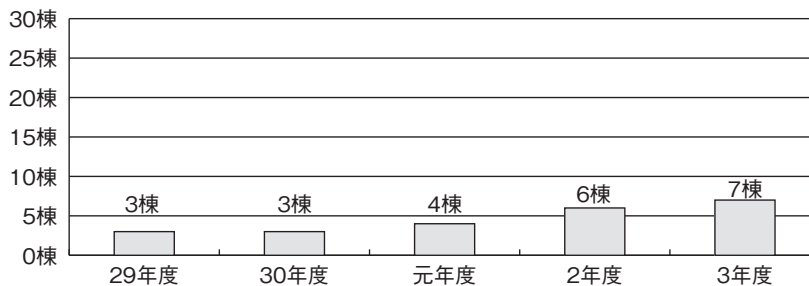
- (イ) 南校舎大規模改造工事 135,864,590 円
- 3 か年継続事業の2年度 総事業費 397,500,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		校舎 鉄筋コンクリート造4階建	1,916㎡

- (ウ) 仮設校舎の賃借等 93,615,000 円
- (2) 南陽中学校校舎改造事業費 946,000 円
 - (ア) 仮設校舎の賃借 946,000 円

[指 標]

指 標 名：大規模改造工事実施延棟数
 指標説明： /



5 中学校環境整備事業費 121,207,961 円（教育政策課）

[総括]

各学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、青陵中学校で校舎屋上防水工事及びトイレ大規模改造工事を実施した。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

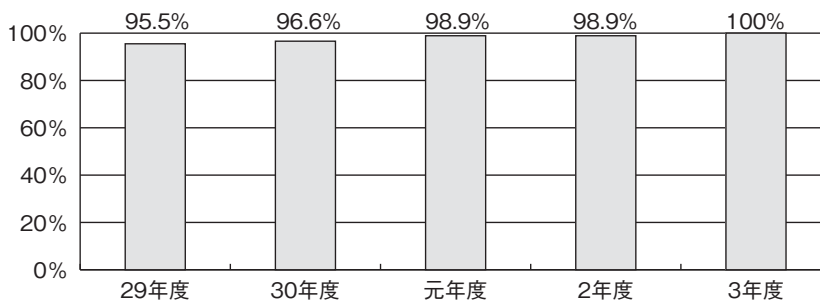
[実績及び成果]

区 分	令和2年度	令和3年度	
		規模等	学 校 名
(1) 校舎等改修事業費	87,962,709円		
長寿命化改良事業 実 施 設 計	1校	1校	南部
校舎屋上防水工事	—	1	青陵
電気設備改修工事	3	3	章南、二川、高師台
校舎等アスベスト 調 査 委 託	—	2	南部、東陵
トイレ大規模改造工事	1	1	青陵
計	5	8	
(2) 一般補修事業費	33,245,252円		
	22校	22校	全校

[指 標]

指 標 名：中学校施設整備事業進捗率

指標説明：(耐震化進捗率+強化ガラス化整備率+校内LAN整備率+トイレ改造整備率)÷4



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 社会教育費	4,600,319,791	668,192,144	1,486,100,000	262,938,758	2,183,088,889
2目 生涯学習機会充実費 <多様な学習環境の充実>	411,412,071	37,370,000	22,600,000	29,089,231	322,352,840

1 生涯学習推進事業費 2,874,848 円 (生涯学習課)

[総括]

多様化する市民の学習ニーズに対応するため、市内3大学や東三河市町と連携した講座を開催するとともに、地域の課題解決に向け、防災などをテーマとした講座を開催した。また、生涯学習情報紙の発行などを通して、生涯学習の普及・啓発を図るとともに、活動者の発表機会を設けるなど、生涯学習活動の振興に努めた。今後も、多様な学習機会の提供に向けた取組みを行っていく。

[実績及び成果]

(1) 生涯学習市民大学事業費 2,484,076 円

区 分	令和2年度			令和3年度			
	事業数	参加者	回数	事業数	参加者	回数	開催場所
一 般 コ ー ス	25	386人	127回	33	894人	148回	地区市民館ほか
専 門 コ ー ス	3	114	8	18	359	22	〃
高 齢 者 コ ー ス	20	762	97	20	728	110	〃
企 業 連 携 講 座	20	355	56	20	390	59	〃

(2) 生涯学習活動事業費 390,772 円

(ア) 生涯学習情報紙等発行事業費 352,000 円

発 行 部 数	令和2年度	令和3年度
		年2回 (公共施設等配布) 延 20,000部

(イ) 大清水まなび交流館活動発表等 0 円

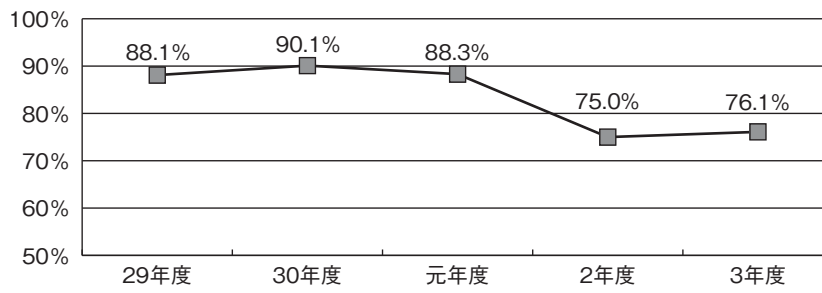
参 加 者	令和2年度	令和3年度
		950人

(ウ) 生涯学習活動推進大会開催事業費 38,772 円

参 加 者	令和2年度	令和3年度
		0人

[指 標]

指 標 名：生涯学習市民大学定員充足率
指標説明：参加者数／募集定員



※令和3年度の対象事業にて、再算定。

2 地区市民館管理運営事業費 299,483,198 円（生涯学習課）

〔総括〕

市民の生涯学習施設として利用されている地区市民館を指定管理者とともに適切に管理・運営し、利用促進に努めた。今後も、市民ニーズを把握しながら施設や設備等の充実を図っていく。

〔実績及び成果〕

(1) 地区市民館管理運営事業費（22 館） 299,483,198 円

〔利用状況〕

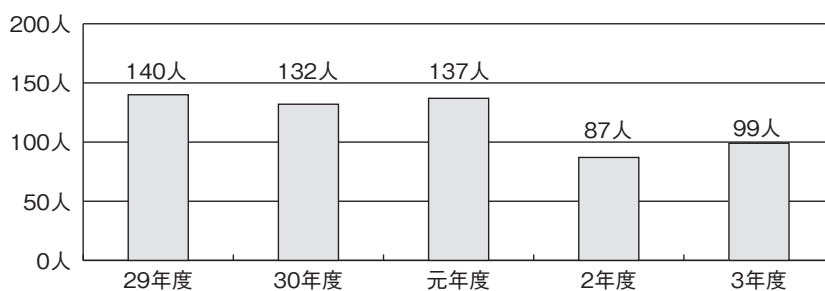
区 分	令和 2 年度			令和 3 年度			比 較 (延利用人員)
	延件数	延利用人員	延図書貸出	延件数	延利用人員	延図書貸出	
二川地区市民館	件 1,307	人 42,551	冊 33,696	件 1,387	人 63,697	冊 39,129	% 49.7
豊岡 〃	830	18,427	1,685	927	20,294	2,281	10.1
東陽 〃	978	19,881	3,439	1,147	22,996	4,634	15.7
南稜 〃	1,945	56,827	—	1,886	44,090	—	△22.4
青陵 〃	1,665	57,529	41,554	1,809	67,183	48,297	16.8
杉山 〃	784	16,712	562	665	16,950	658	1.4
石巻 〃	860	35,947	14,862	995	45,004	21,267	25.2
羽根井 〃	815	16,126	470	886	16,043	442	△ 0.5
吉田方 〃	791	16,606	365	1,050	22,122	750	33.2
五並 〃	346	7,046	902	421	7,842	611	11.3
牟呂 〃	928	29,235	8,824	1,031	37,113	10,156	26.9
高豊 〃	435	11,942	148	421	16,978	138	42.2
北部 〃	725	16,644	8,853	1,013	18,442	8,213	10.8
南部 〃	1,273	51,636	24,854	1,340	61,593	26,581	19.3
豊城 〃	1,401	31,334	1,139	1,637	33,818	1,397	7.9
中部 〃	1,052	19,397	834	1,144	19,806	1,023	2.1
高師台 〃	1,218	22,099	2,313	1,280	22,783	2,263	3.1
東部 〃	672	15,589	571	820	17,225	1,018	10.5
東部地区市民館飯村分館	2,168	37,063	1,744	2,265	43,675	2,092	17.8
南陽地区市民館	987	17,352	478	1,027	18,292	583	5.4
本郷 〃	1,150	22,899	491	1,483	24,839	582	8.5
東陵 〃	1,063	27,156	1,767	1,231	31,104	2,439	14.5
計	23,393	589,998	149,551	25,865	671,889	174,554	13.9

〔施設整備〕

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
		雨漏り修繕（豊岡） 冷暖房機取替（中部・東陵）

[指 標]

指 標 名：地区市民館1館1日当たりの利用者数
指標説明：利用者数／(開館日数×地区市民館数)



3 地区市民館整備事業費 25,576,100 円 (生涯学習課)

[総 括]

施設の長寿命化や安全で快適な施設利用を図るため、北部地区市民館において予防保全工事及び杉山地区市民館の改修に向けた実施設計を行った。今後も計画的に環境整備を行い、施設の維持保全に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 地区市民館整備事業費 25,576,100 円
 - (ア) 大規模改修実施設計(杉山) 8,140,000 円
 - (イ) 改修工事(北部) 17,436,100 円

4 青少年教育施設管理運営事業費 83,477,925 円（生涯学習課）

〔総括〕

青少年センターでは指定管理者による適正な管理運営のもと、青年講座や四季の行事教室、ジュニアチャレンジ講座など自主事業を実施した。また、少年自然の家と野外教育センターでは老朽設備の補修により利用者の安全確保を図るとともに、施設の一体的な管理運営を推進した。引き続き、青少年団体等の活動拠点として、施設の利用促進に努める。

〔実績及び成果〕

(1) 青少年センター管理運営事業費 42,754,026 円

〔利用状況〕

区 分	令和2年度	令和3年度	比較
遊 戯 室	延 370人	0人	皆減
研 修 棟	延 5,091	延 8,068	58.5%
宿 泊 棟	延 58	延 47	△ 19.0
運 動 広 場	延 2,899	延 3,681	27.0
体 育 室	延 10,879	延 14,801	36.1
音 楽 室	延 1,239	延 1,743	40.7
大 研 修 室	延 3,642	延 4,924	35.2
多 目 的 室	延 477	延 1,745	3.7倍
そ の 他	延 5,854	延 6,939	18.5%
計	30,509	41,948	37.5

〔施設整備〕

内 容	令和2年度	令和3年度
	研修棟・宿泊棟空調機取替修繕	中央棟・研修棟高架水槽修繕

(2) 少年自然の家管理運営事業費 13,642,151 円

〔利用状況〕

区 分	令和2年度	令和3年度	比較
管 理 棟（日帰り）	延 2,038人	延 2,968人	45.6%
宿 泊 棟	延 513	延 252	△ 50.9
キ ャ ン プ 場	0	延 13	皆増
計	2,551	3,233	26.7

〔施設整備〕

内 容	令和2年度	令和3年度
	自動火災報知設備修繕	体育館軒天補修等修繕

(3) 野外教育センター管理運営事業費 11,804,230 円

〔利用状況〕

区 分	令和2年度	令和3年度	比較
本 館（日帰り）	延 3,307人	延 4,843人	46.4%
宿 泊 室	延 1,301	延 713	△ 45.2
計	4,608	5,556	20.6

〔施設整備〕

内 容	令和2年度	令和3年度
	本館屋上防水塗装等修繕	

- (4) 神田ふれあいセンター管理運営事業費 3,443,518円

〔利用状況〕

内 容	令和2年度	令和3年度	比 較
利 用 者 数	延 1,053人	延 667人	△36.7%

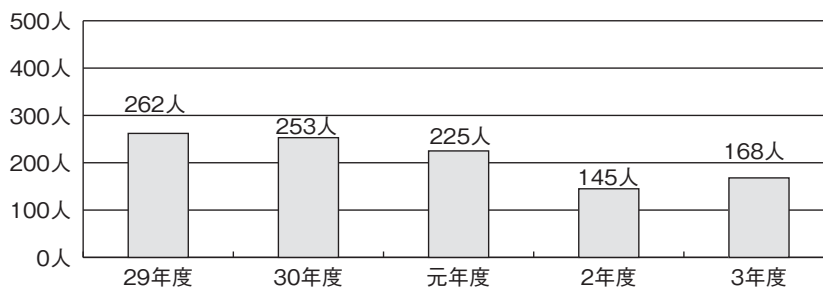
- (5) 江比間野外活動センター管理負担金 11,834,000円

〔利用状況〕

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
宿 泊 利 用	延 299人	延 405人	35.5%
日 帰 研 修	延 3,099	延 2,758	△11.0
キ ャ ン プ 利 用	延 263	延 304	15.6
計	3,661	3,467	△ 0.1
内 豊 橋 市 利 用 人 数	延 512	延 372	△27.3

〔指 標〕

指 標 名：青少年教育施設1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 地域教育・家庭教育等推進費 <地域・学校・家庭の協働の推進>	15,892,682	1,350,000	0	34,750	14,507,932

1 地域教育推進事業費 8,798,860円 (生涯学習課)

[総括]

地域の大人が子どもに対し多様な体験活動等を行う講座を開催するなど、市民が自ら学んだ成果を地域での様々な教育活動に還元する機会を提供した。今後も学校や地域と連携して、新たな講師の発掘を行うとともに、活動内容の充実を図りながら地域教育の推進に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) 地域教育活動事業費 3,561,870円

(ア) 生涯学習推進セミナー事業費 74,000円

内 容	令和2年度		令和3年度		
	延参加者	回数	延参加者	回数	開催場所
生涯学習推進セミナー	127人	5回	160人	5回	校区市民館ほか

(イ) 地域いきいき子育て促進事業費 567,000円

内 容	令和2年度			令和3年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
地域いきいき子育て促進事業	27	2,205人	216回	22	2,001人	131回	校区市民館ほか

(ウ) 地域未来塾ステップ推進事業費 517,870円

内 容	令和2年度			令和3年度			
	会場数	延参加者	回数	会場数	延参加者	回数	開催場所
地域未来塾ステップ推進事業	1	208人	20回	1	194人	22回	青少年センター

(エ) トヨッキースクール推進事業費 2,403,000円

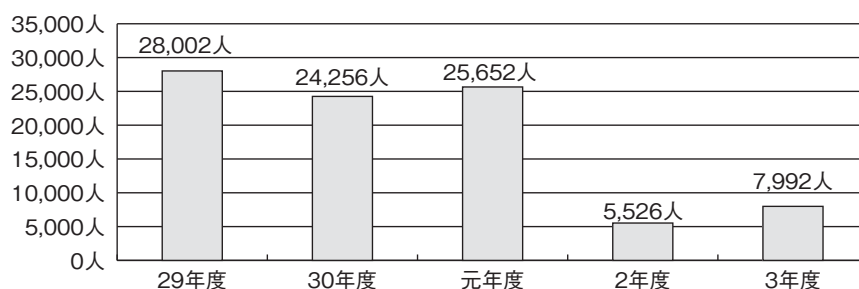
内 容	令和2年度			令和3年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
トヨッキースクール推進事業	25	2,986人	183回	30	5,637人	346回	校区市民館ほか

(2) 成人式開催事業費 5,236,990円

内 容	令和2年度			令和3年度			
	校 区	参加者	開催か所	校 区	参加者	開催か所	開催場所
成 人 式	51	3,636人	46か所	51	3,641人	46か所	小 学 校 ほ か

[指 標]

指 標 名：地域教育活動事業参加者数
 指標説明：



※令和3年度の対象事業にて、再算定。

2 家庭教育事業費 568,424 円（生涯学習課）

[総 括]

家庭教育に関する学習支援を充実させるため、家庭教育セミナー等を実施するとともに、学校、地域と連携した子育て学習講座を開催した。今後も学校や家庭、地域との連携を図り、地域ぐるみで子どもを育てる活動を支援するなど、保護者への効果的な学習機会を提供していく。

[実績及び成果]

(1) 家庭教育講座事業費 568,424 円

内 容	令和2年度			令和3年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
家庭教育セミナー	18	364人	23回	19	325人	19回	地区市民館ほか
子育てお悩み解決塾	9	224	9	10	243	10	地区市民館ほか
子育て学習講座	31	1,612	31	28	1,575	28	小 学 校
思春期家庭教育講座	0	0	0	0	0	0	中 学 校

3 青少年交流活動促進事業費 278,998 円（生涯学習課）

[総括]

親子や家族の交流、自然体験活動の充実を図るため「自然体験プログラム」や「くろしおチャレンジプログラム」を実施した。今後も青少年の体験活動機会を充実し、交流活動の促進を図っていく。

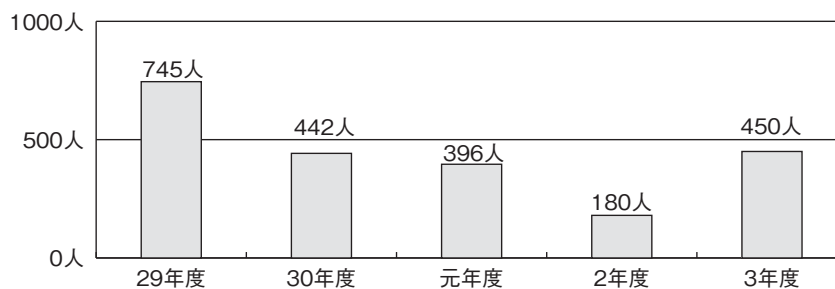
[実績及び成果]

(1) 青少年交流活動促進事業費 278,998 円

内 容	令和2年度		令和3年度		
	回数	参加者	回数	参加者	開催場所
自然体験プログラム遊びイベント21	7回	163人	12回	377人	少年自然の家 野外教育センター
くろしおチャレンジプログラム	1	17	4	73	少年自然の家
野外活動指導者養成講座	1	5	2	11	少年自然の家
出張講座	0	0	0	0	こども未来館ほか

[指標]

指標名：青少年交流活動促進事業への参加者数
 指標説明：
 /



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 放課後児童対策費 <放課後の学びと交流機会の充実>	924,334,816	496,310,144	0	137,547,000	290,477,672

1 放課後児童対策事業費 924,334,816円 (生涯学習課)

[総括]

放課後児童クラブの利用者ニーズに応えるため、公営児童クラブを新たに2か所開設したほか、民営児童クラブ2か所の施設整備に対する助成を行うとともに、夏休み期間の利用に限定した児童クラブを6か所開設した。また、放課後の新たな学びの場として、多彩な学びや交流機会を提供する「のびるん de スクール」を小学校12校で開設した。今後も学校や地域が連携して、新たな講師やスタッフ人材の発掘を行うとともに、活動内容の充実を図りながら地域教育の推進に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) 公営児童クラブ運営事業費 416,376,771円

区 分	令和2年度		令和3年度	
事業費	55クラブ	397,804,924円	55クラブ	416,376,771円
年間利用者数	延 18,916人		延 19,391人	

(2) 民営児童クラブ運営事業費 404,980,434円

区 分	令和2年度		令和3年度	
民営児童クラブ運営費補助金等	42クラブ	420,347,600円	41クラブ	388,912,314円
民営事業クラブ施設整備費補助金	1	100,000	2	3,639,000
民営事業クラブ利用料助成費	延 657人	10,256,688	延 709人	12,429,120

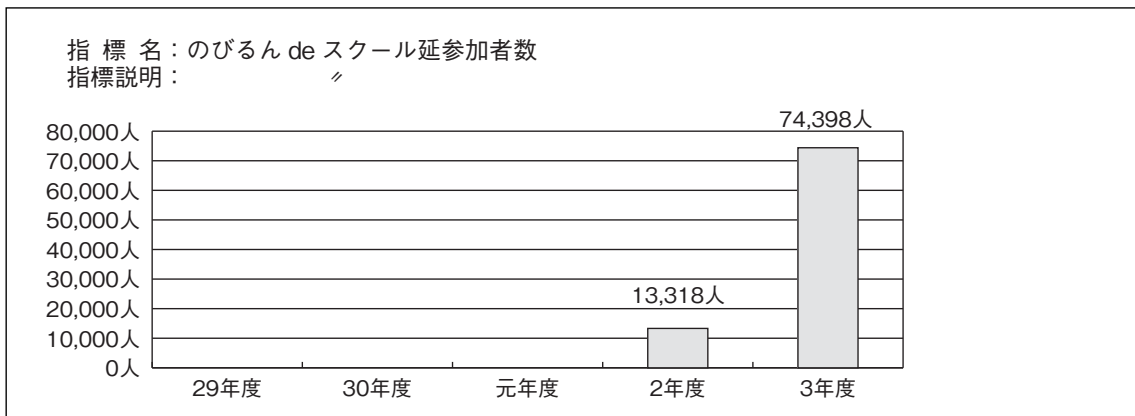
(3) 放課後子ども教室運営事業費 10,191,885円

内 容	令和2年度	令和3年度
	6教室の開設	6教室の開設

(4) のびるん de スクール運営事業費 92,785,726円

内 容	令和2年度			令和3年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
のびるん de スクール	2	13,318人	186回	12	74,398人	2,385回	小学校ほか

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 図書館費 < 図書館の充実 >	1,994,197,159	97,628,000	929,600,000	2,278,095	964,691,064

1 中央図書館事業費 391,331,169円 (図書館)

[総括]

図書館システムの更新に伴い、より手軽に図書の貸出や返却手続きが行えるよう、令和3年7月から自動貸出機・返却機を導入し、利用者の利便性の向上を図った。令和元年度に公開した「とよはしアーカイブ」では、デジタル化した資料をインターネットから検索・閲覧でき、3年度は美術博物館及び文化財センター所蔵の資料を追加することで公開資料の充実を図り、市民の地域学習などを支える環境を整えた。また、自身の持つ「知識」や「情報」の発信を通じて地域貢献をしたいと考える個人や団体等を「知の伝道師」として登録を開始し、登録者が講師として講座やワークショップを行うことにより、活きた情報を利用者へ提供することができた。今後も「知の拠点」として、多様化・高度化する図書館へのニーズに対応するため、適切なサービスの提供や環境の整備に努める。

[実績及び成果]

- | | |
|------------------|-------------|
| (1) 児童図書業務費 | 10,374,827円 |
| (2) 一般図書業務費 | 31,323,388円 |
| (3) レファレンス業務費 | 1,971,695円 |
| (4) 郷土・司文庫等図書業務費 | 5,171,033円 |
| (5) AV・CD電子図書業務費 | 2,003,895円 |

[利用状況等]

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数	251日	286日	13.9%
入 館 者 数	延 240,417人	延 276,960人	15.2
館 外 貸 出 人 数	延 134,889	延 270,894	2.0倍
館 外 貸 出 冊 数	延 680,214冊	延 863,585冊	27.0%
館外貸出人数(CD)	延 6,834人	延 7,224人	5.7
館外貸出点数(CD)	延 12,272点	延 12,898点	5.1
蔵 書 冊 数	686,263冊	695,029冊	1.3
()内は司文庫で再掲	(35,377)	(35,440)	(0.2)
視聴覚資料所蔵数	6,723点	6,571点	△ 2.3

※ Web から貸出延長した人数と冊数に関しては、全て中央図書館に計上した。

[資料購入状況]

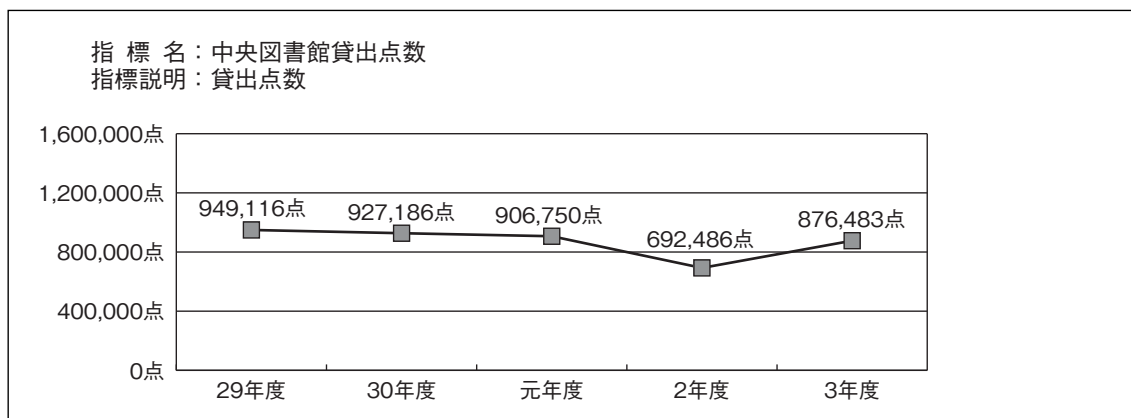
区 分	内 容	令和2年度	令和3年度	比 較
図 書	一 般	6,365冊	6,175冊	△ 3.0%
	児 童	2,482	2,484	0.1
	参 考	226	205	△ 9.3
	郷 土	92	94	2.2
	司 文 庫	233	63	△73.0
	計	9,398	9,021	△ 4.0
逐次刊行物	雑 誌 等	242種	237種	△ 2.1
	新 聞	24	24	0.0
	追 録	8	8	0.0
視聴覚資料	C D、 D V D 等	84点	67点	△20.2

(6) 行事開催業務費

8,767,577 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
資 料 展 (司文庫展、「平和を求めて」展等)	7回	延 23,652人	7回	延 28,614人
資 料 展 関 連 行 事	1	延 14	5	延 231
市 民 向 け 講 座	1講座	延 29	11講座	延 225
ボランティア等育成講座、研修	3	延 181	5	延 154
講 演 会 、 コ ン サ ー ト	—		—	
映 画 上 映 会	—		—	
図 書 館 子 ども フェスタ	—		4~5月	延 697
夏休み子どもフェスティバル	—		—	
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート)	47回	配布人数 2,736人 (絵本等)	44回	配布人数 2,516人 (絵本等)
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート) 赤ちゃん広場	6	延 181	20	延 1,054
お は な し の へ や	61	延 813	117	延 1,393
調 べ 学 習 コ ン ク ー ル	—		36校	409
本 の リ サ イ ク ル フ ェ ア	—		—	
情 報 発 信 コ ー ナ ー 展 示	12		14回	
外 部 連 携	4		5	

[指 標]



2 向山図書館事業費

38,166,500 円（図書館）

[総括]

市民からの読書相談等に迅速に対応するとともに、インターネットによる検索や予約の周知を行い、図書館サービスの充実を図った。また、分室利用者のニーズに応じた配本業務に取り組むとともに、ネットワーク館（図書館システム設置分室）に特設コーナーを設置するなど、図書室の利用促進を図った。今後も配本機能の充実を図り、広範な市域の利用者に充実した図書館サービスを提供するように努める。

[実績及び成果]

(1) 配本業務費

33,625,749 円

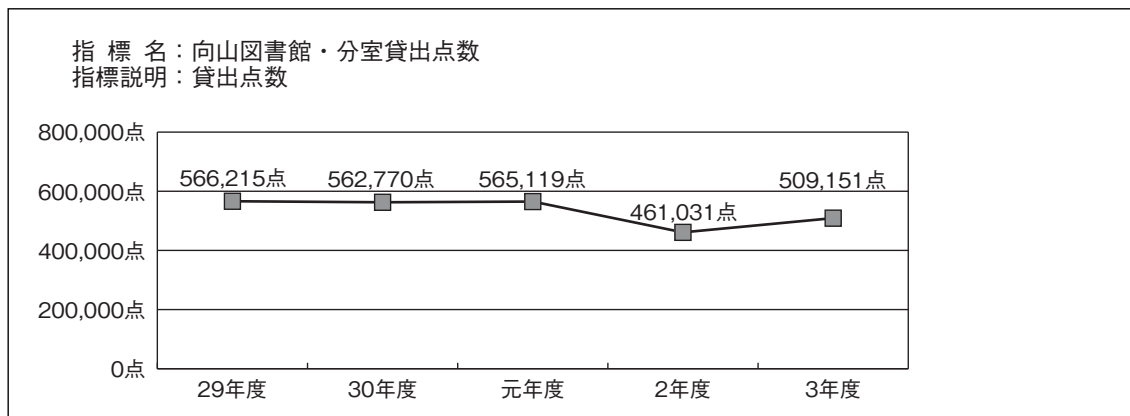
[利用状況等]

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数		251日	286日	13.9%
入 館 者 数		延 106,614人	延 113,804人	6.7
館外貸出人数	向 山 図 書 館	延 60,238	延 74,436	23.6
	分 室	延 64,689	延 80,780	24.9
	計	延 124,927	延 155,216	24.2
館外貸出冊数	向 山 図 書 館	延 249,569冊	延 259,814冊	4.1
	分 室	延 211,462	延 249,337	17.9
	計	延 461,031	延 509,151	10.4
蔵 書 冊 数		257,475	255,041	△ 0.9

[資料購入状況]

区 分	内 容	令和2年度	令和3年度	比 較
図 書	一 般	3,948冊	3,685冊	△ 6.7%
	児 童	3,117	3,113	△ 0.1
	参 考	1	1	0.0
	郷 土	15	5	△66.7
	計	7,081	6,804	△ 3.9
逐次刊行物	雑 誌	47種	47種	0.0
	新 聞	10	10	0.0

[指 標]



3 大清水図書館事業費

34,996,929 円（図書館）

〔総括〕

市民の読書への関心を高めるため、読み聞かせや本に触れるきっかけとなるような講座を行うとともに、豊橋などで高校生をモデルにプロの写真家が撮影した写真の展示や、高校の部活動を紹介する企画展等を開催することにより、若年層の図書館利用の促進を図った。今後も、利用者ニーズに沿った図書資料を提供し、図書館サービスの充実に努める。

〔実績及び成果〕

(1) 図書業務費

9,095,948 円

〔利用状況等〕

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数	251日	286日	13.9%
入 館 者 数	延 225,246人	延 216,770人	△ 3.8
館 外 貸 出 人 数	延 45,385	延 52,166	14.9
館 外 貸 出 冊 数	延 224,556冊	延 243,315冊	8.4
館 外 貸 出 人 数 (C D)	延 643人	延 881人	37.0
館 外 貸 出 点 数 (C D)	延 1,051点	延 1,433点	36.3
蔵 書 冊 数	74,187冊	77,466冊	4.4
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	717点	784点	9.3

〔資料購入状況〕

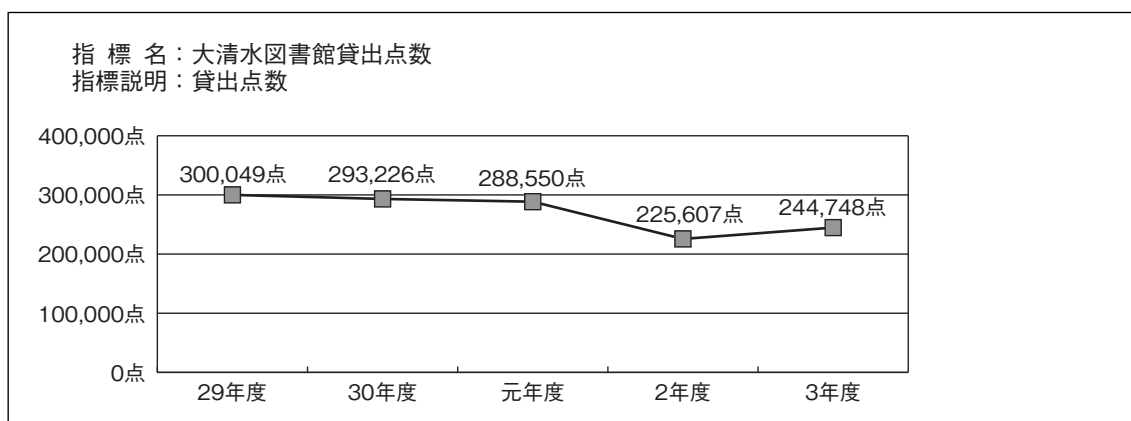
区 分	内 容	令和2年度	令和3年度	比 較
図 書	一 般	1,908冊	2,387冊	25.1%
	児 童	1,199	1,562	30.3
	参 考	0	0	—
	郷 土	9	10	11.1
	計	3,116	3,959	27.1
逐次刊行物	雑 誌 等	126種	122種	△ 3.2
	新 聞	11	11	0.0
視聴覚資料	C D、D V D 等	80点	66点	△17.5

(2) 行事開催業務費

34,836 円

区 分	令和2年度	令和3年度
市 民 向 け 講 座	—	1回 延 21人
ミ ナ ク ル ま つ り	11月(1日間) 延 155人	11月(1日間) 延 144
お は な し の へ や	22回 延 367	42回 延 358
図 書 館 を 知 ろ う	2校 延 81	1校 延 24
外 部 連 携 展 示 等	3回	4回

[指標]



4 まちなか図書館事業費 116,575,845 円（図書館）

[総括]

本市にとって3館目の分館となる「まちなか図書館」が令和3年11月27日に開館した。基本的な図書館機能に加え、人と人との交流によって生み出される知識や情報、体験などを共有・発信できる新しいカタチの図書館として、図書館主催のイベントや講座だけでなく、外部との連携によるワークショップや企画展示などを開催することで、「ひとつつながり、まちとつながる」図書館サービスを提供した。今後も、知識や情報の発信・交流の場としての機能の充実に努める。

[実績及び成果]

(1) 図書業務費 3,351,659 円

[利用状況等]

区 分	令和2年度	令和3年度
開館日数	—	115日
入館者数	—	延 218,149人
館外貸出人数	—	延 46,100
館外貸出冊数	—	延 161,235冊
蔵書冊数	33,324冊	65,041
視聴覚資料所蔵数	—	90点

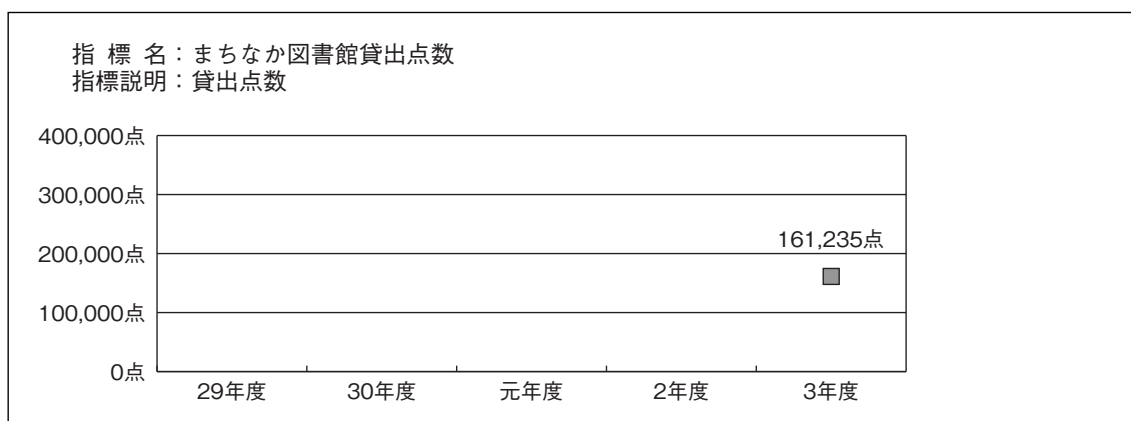
[資料購入状況]

区 分	内 容	令和2年度	令和3年度
逐次刊行物	雑誌等	—	304種
	新聞	—	16

(2) 行事開催業務費 451,297 円

区 分	令和2年度	令和3年度
資料展	—	9回
資料展関連行事	—	3 延 122人
映画上映会	—	4 延 92
おはなしのへや	—	38 延 921
まちなか図書館主催イベント	—	38 延 1,314
外部連携	—	75 延 1,627

[指 標]



5 まちなか図書館整備事業費 1,313,821,551 円（図書館）

[総 括]

世界を広げ、まちづくりに繋げる“知と交流の創造拠点”として、まちなか図書館を整備した。中央ステップをはじめとした、館内の様々なスペースにおいてイベントを開催し、中心市街地の諸機能等と連携してにぎわいの創出を図った。

[実績及び成果]

- (1) まちなか図書館整備事業費 1,313,821,551 円
 - (ア) まちなか図書館整備工事等 1,135,339,471 円
 - 2 年継続事業の最終年度 総事業費 1,332,239,471 円

構 造	内 容	延床面積
鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下1階、地上24階建、 塔屋2階付のうち2階及び3階	図書館機能 一般開架、児童開架、事務・作業スペース その他機能 ワークショップスペース、カフェ等	4,130㎡

- (イ) 保留床取得 98,767,000 円
- (ウ) オープニングイベントの開催 269,800 円
- (エ) 図書購入費等 79,445,280 円

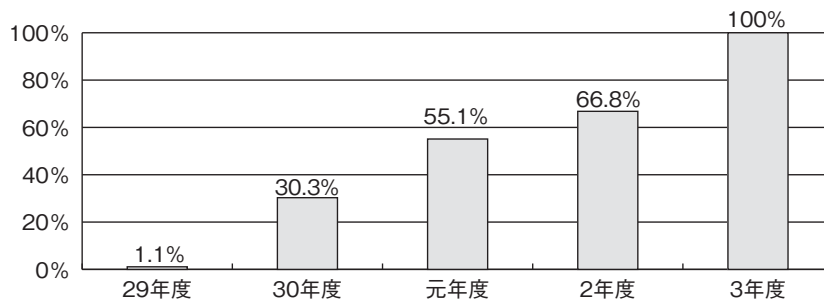
[資料購入状況]

区 分	内 容	令和2年度	令和3年度
図 書	一 般	25,753冊	24,835冊
	児 童	7,571	5,942
	計	33,324	30,777
視聴覚資料	C D、 D V D 等	—	90点

[指 標]

指 標 名：まちなか図書館整備事業進捗率

指標説明：累積事業費／全体事業費(平成28年度～令和3年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 美術博物館費 <美術博物館の充実>	846,429,159	0	528,400,000	37,625,469	280,403,690

1 美術博物館事業費 230,078,674 円 (美術博物館)

[総括]

現代日本を代表する彫刻家・三沢厚彦の代表作を紹介する「三沢厚彦 ANIMALS 2021 in TOYOHASHI」を開催し、青少年から中高年まで幅広い世代に好評であった。また、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響により中止した「芳年」、「第8回トリエンナーレ豊橋 星野眞吾賞展」を令和3年度に開催した。

そのほか、二人の郷土史家のコレクションによる「橋良文庫と草間文庫」や、これまでの資料収集活動をたどる「プレイバック！絵画コレクション名品展」を開催し、地域の歴史と美術に関する研究成果を提示した。

教育普及活動においては、新たに「びはく講座」を開講したほか、アーティスト・トーク、ベビーカー・ツアー、ナイト・ミュージアム、創作ワークショップなど多彩な事業を実施した。

今後も地域の歴史や美術に関する資料を中心として、収集、調査研究、展示、教育普及等を行い芸術文化振興に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 42,636,175 円

[利用状況]

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数	273日	300日	9.9%
企 画 展	8件 延 66,007人	7件 延 67,014人	1.5
共 催 展	5 延 4,646	5 延 4,665	0.4
一 般 展	36 延 29,790	45 延 36,646	23.0
テ ー マ 展 示	2 延 7,295	4 延 9,767	33.9
公 開 講 座 等	19 延 1,910	19 延 1,103	△42.3
計	109,648	119,195	8.7

(2) 展覧会事業費 49,253,557 円

(ア) 展覧会開催事業費 49,109,557 円

令和2年度		令和3年度		入場者数 比較
展覧会名	延入場者数	展覧会名	延入場者数	
第42回豊橋美術展	2,770人	第43回豊橋美術展	2,768人	△ 0.1%
第70回豊橋市民展	2,369	第71回豊橋市民展	2,716	14.6
美術博物館コレクション展 「暮らし・アート」	3,516 (2回26人)	プレイバック!絵画コレク ション名品展	2,249 (2回246人)	—
「手塚治虫展」	18,991 (12回1,583人)	三沢厚彦 ANIMALS 2021 in TOYOHASHI	10,806 (6回470人)	—
日本画を拓く作家たち ～トリエンナーレ豊橋受賞 作品展～	1,549	第8回トリエンナーレ豊橋 星野真吾賞展 ～明日の日本画を求めて～	1,983 (1回103人)	—
美術博物館コレクション展 「ゆったり、美術館散歩」	2,208	郷土史家のコレクション ～橋良文庫と草間文庫～	3,403 (1回22人)	—
吉田城と三河吉田藩	3,587 (4回247人)	芳年 激動の時代を生きる 鬼才浮世絵師	5,171 (3回148人)	—
常設展	26,665	常設展	37,918	42.2
延564日	61,655 (18回1,856人)	延650日	67,014 (13回989人)	8.7

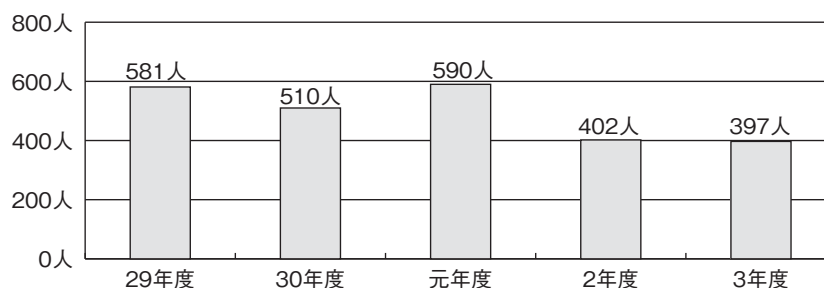
※ () は記念講演会等の開催回数及び参加人数で外書き

(3) 資料収集事業費 921,420 円

区分	令和2年度	令和3年度
歴史資料	稲田文笠「雉子芍薬図・ 孔雀牡丹図」等 18件	「三河掌果図」等 9件

[指標]

指標名：美術博物館1日当たりの利用者数
指標説明：利用者数／開館日数



2 民俗資料収蔵室運営事業費 3,742,588 円（美術博物館）

〔総括〕

民俗資料収蔵室として活用する旧多米小学校は、昭和 19 年に木造校舎として建てられ、当時のたたずまいを思い起こさせる歴史的な価値を備えており、平成 28 年には収蔵室本棟、西棟が国登録有形文化財に登録された。建設当時の趣を残す市内に唯一の木造校舎として魅力の発信、建物の有効活用に努めており、民俗資料を活用した小学生の体験教室にも利用されている。令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により減少した団体利用者が令和元年度と同数程度に増加し、ロケーションや特色を生かした宣伝活動等により、個人利用も引き続き広がりを見せている。今後も、将来に向けての保存及び活用方法を検討し、利用者の拡大を図る。

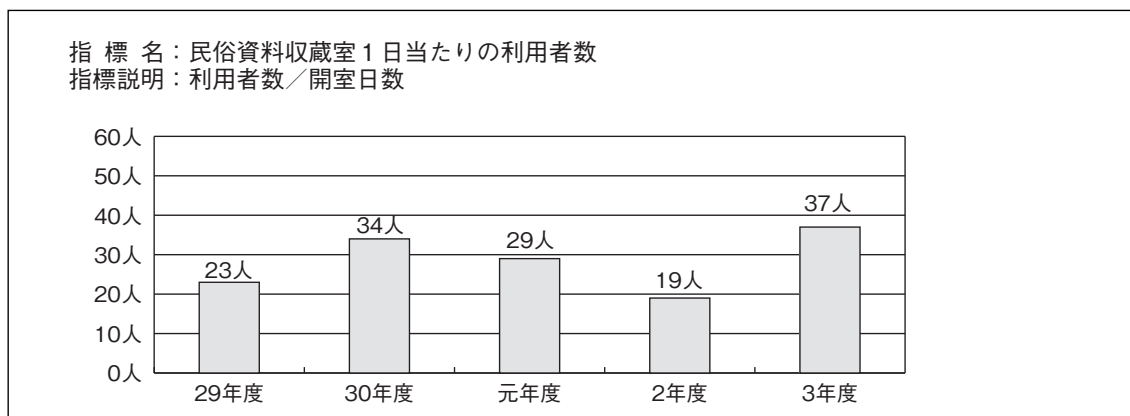
〔実績及び成果〕

(1) 民俗資料収蔵室運営事業費 3,742,588 円

〔利用状況〕

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
開 室 日 数	118日	146日	23.7%
延 入 室 者 数	2,264人	5,391人	2.4倍

〔指 標〕



3 美術博物館整備事業費 608,317,480 円（美術博物館）

〔総括〕

施設の長寿命化を図り、美術館・博物館資料の展示・保管に最適な施設として利用者が快適に施設利用できるよう、設計施工一括発注方式を採用した大規模改修整備工事に取りかかった。今後は、改修工事を計画的に進め、資料の保存環境、来館者の鑑賞環境及び利便性の向上に努める。

〔実績及び成果〕

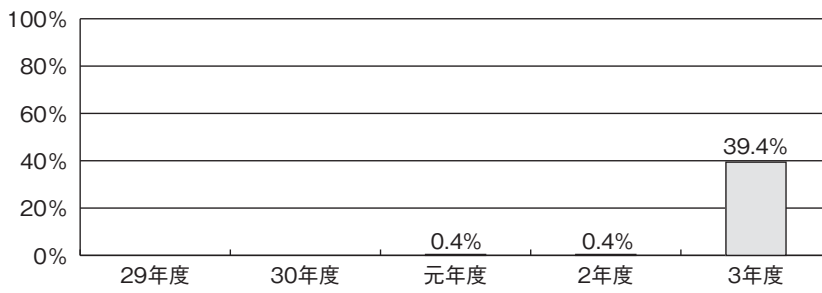
(1) 美術博物館整備事業費 608,317,480 円

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
	改修事業者選定支援業務委託	改修事業者選定支援業務委託 改修整備工事（詳細設計付）

[指 標]

指 標 名：美術博物館整備事業進捗率

指標説明：実施事業費／総事業費(令和元年度～令和4年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 歴史資源保存活用費 <文化財の保護と次世代への継承>	90,664,372	0	0	6,504,440	84,159,932

1 二川宿本陣資料館事業費 69,563,485 円 (美術博物館)

[総括]

東海道を中心とした江戸時代の交通、地域の歴史や文化を紹介するため、常設展示をはじめ、開館 30 周年記念「竹久夢二展」、軍都豊橋を代表する陸軍十五師団の演習場を紹介する「高師原・天白原演習場とその時代」、知られざる名画を展示した鳥田市博物館所蔵「海野光弘展」などの企画展、毎年恒例の「ひなまつり」などを開催したほか、展示資料収集、調査研究活動に取り組んだ。

今後、新型コロナウイルス感染対策を講じながら、集客を見込める魅力的かつ画期的な企画展の開催に努めるとともに、イベント等開催にあたって地域住民との更なる連携に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 24,957,680 円

[利用状況]

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
開 館 日 数	274日	310日	13.1%
延 入 館 者 数	14,000人	21,417人	53.0

(2) 展覧会事業費 8,018,265 円

(ア) 展覧会開催事業費 6,570,364 円

令 和 2 年 度		令 和 3 年 度	
区 分	延入館者数	区 分	延入館者数
竹久夢二展	—	開館30周年記念「竹久夢二展」	4,854人
街の移ろい～地図と絵葉書に みる豊橋の明治・大正・昭和～	2,154人	高師原・天白原演習場とその 時代	1,665
十二支と新春の風景展	1,456	鳥田市博物館所蔵「海野光弘展」	2,514
常設企画展 2回 (旅人は伊勢をめざす～お伊勢 まいるの歴史～ 1回)	3,138	常設企画展 2回	3,095
記念講演会等 0回	—	記念講演会等 2回	45
計	6,748	計	12,173

(イ) 五節句行事開催等事業費 900,744 円

令和2年度		令和3年度	
区 分	延入館者数等	区 分	延入館者数等
五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 186人	五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 1,415人
琴のしらべ・本陣茶会	—	琴 の し ら べ	参加者 11
ほんじん講座	—	ほんじん講座	受講者 6
七夕の節句	会期中入館者 372	七夕の節句	会期中入館者 770
夏休み本陣体験 「本陣のお化け屋敷」	参加者 44	夏休み本陣体験 「本陣のお化け屋敷」	参加者 81
本陣体験講座 「和本を作ろう」	12	本陣体験講座 「和本を作ろう」	9
菊の節句－重陽－	会期中入館者 342	菊の節句－重陽－	会期中入館者 482
本陣古文書講座	参加者 53	本陣古文書講座 (初級・中級)	参加者 138
本陣体験講座 「つるし飾り作り講座」	—	本陣体験講座 「つるし飾り作り講座」	10
本陣体験講座 「春の七草の寄せ植えをしよう」	—	本陣体験講座 「風呂敷ラッピング講座」	20
春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 407	春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 725
ひなまつり	5,337	ひなまつり	6,025
本陣句会	応募者 57	本陣句会	応募者 56

(3) 資料収集事業費 836,130 円

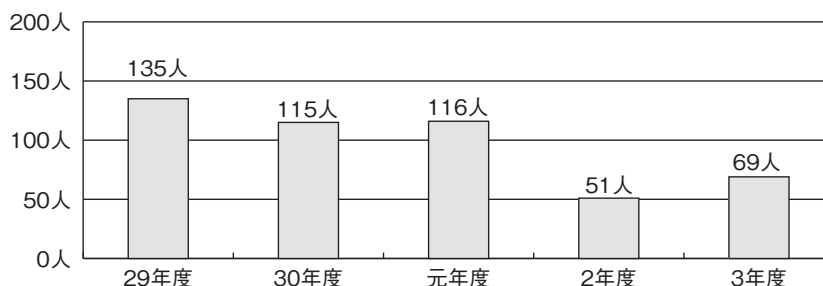
内 容	令和2年度	令和3年度
	日本三景之内紀州和歌之浦之勝景等20点	

(4) 二川宿本陣まつり(大名行列)開催事業補助金 0円

補 助 金	令和2年度	令和3年度
	0円	0円

[指 標]

指 標 名：二川宿本陣資料館1日当たりの入館者数
 指標説明：入館者数／開館日数



2 商家「駒屋」事業費

21,100,887 円（美術博物館）

〔総括〕

地域の交流、生涯学習、観光の拠点となる体験型施設として、駒屋横丁「駒屋であそびん」や和創作、二川宿本陣資料館と連携した五節句などの各種イベントを定期的に開催した。また、カフェでの飲食提供や、ショップでの手作り小物や駄菓子、土産物などの物品販売を行い、地域住民や観光客の集客に努めた。

今後も、地域資源を活用し、住民と行政が協働して魅力ある施設として入館者増に努める。

〔実績及び成果〕

(1) 施設管理事業費 21,100,887 円

〔利用状況〕

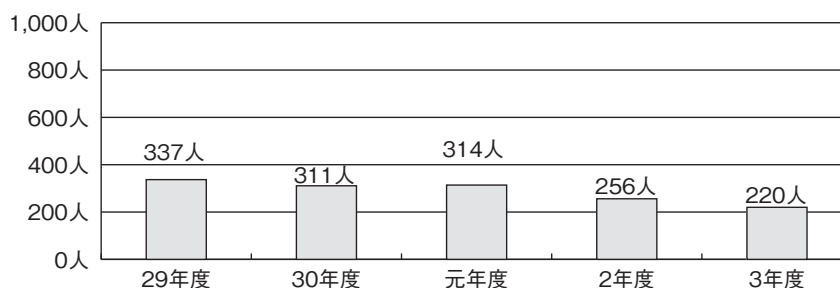
区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数	274日	310日	13.1%
延 入 館 者 数	70,162人	68,343人	△ 2.6

〔主なイベント開催状況〕

令和2年度		令和3年度	
区 分	延入館者数等	区 分	延入館者数等
こまやふえす	—	オーディオで遊ぼう	500人
お盆でナイト	—	駒屋横丁	2,837
ひなまつり	会期中入館者 17,259人	ひなまつり	会期中入館者 14,095

〔指 標〕

指 標 名：商家「駒屋」1日当たりの入館者数
 指標説明：入館者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 文化財保護活動費 <文化財の保護と次世代への継承>	156,022,448	35,534,000	5,500,000	49,859,773	65,128,675
1 文化財保護事業費		156,022,448 円 (美術博物館)			
[総括]					
<p>市内に所在する埋蔵文化財の発掘調査や、指定文化財の修理費等に対する助成や普及・活用のための事業を行った。また、指定・登録文化財に関する各種調査や保護活動を行い、このうち県指定天然記念物葦毛湿原については国指定に昇格した。そのほか、文化財を活用した展示や講座の開催、国史跡・馬越長火塚古墳群の活用整備に向けた確認調査、国史跡・瓜郷遺跡の用地購入を行った。</p> <p>今後も、発掘調査事業や指定文化財の修理等に適切に対応し、文化財保護活動を推進していく。</p>					
[実績及び成果]					
(1) 文化財調査事業費		143,874,098 円			
(ア) 市内遺跡発掘調査					
内 容	令和2年度		令和3年度		
	牛川焼窯址の確認調査および大西遺跡・飽海遺跡の発掘調査		三ツ山古墳の確認調査		
(イ) 牛川西部地区緊急発掘調査					
内 容	令和2年度		令和3年度		
	東側遺跡・西側古墓・西側北遺跡の発掘調査		西側古墓・西側北遺跡の発掘調査		
(ウ) 牟呂坂津地区緊急発掘調査					
内 容	令和2年度		令和3年度		
	境松遺跡の発掘調査		境松遺跡の発掘調査		
(エ) 吉田城址確認緊急調査					
内 容	令和2年度		令和3年度		
	吉田城址の確認緊急調査および石垣測量調査		吉田城址の確認緊急調査		
(オ) 馬越長火塚古墳群確認調査					
内 容	令和2年度		令和3年度		
	馬越長火塚古墳・大塚南古墳の確認調査		口明塚南古墳の確認調査		
(カ) 報告書作成業務					
内 容	令和2年度		令和3年度		
	埋蔵文化財調査報告書第155集の作成		埋蔵文化財調査報告書第156・157集の作成		
(キ) 埋蔵文化財緊急発掘調査					
内 容	令和2年度		令和3年度		
	西上遺跡・大西遺跡ほかの試掘確認調査		大蚊里貝塚・吉田城址ほかの試掘確認調査		

(ク) 指定天然記念物植生調査

内 容	令和2年度	令和3年度
	葦毛湿原・ナガバノイシモチソウ自 生地の植生調査や回復作業	葦毛湿原・ナガバノイシモチソウ自 生地の植生調査や回復作業

(ケ) 史跡瓜郷遺跡公園整備用地購入費

内 容	令和2年度	令和3年度
	史跡瓜郷遺跡の指定地内の用地の購 入に係る事業	史跡瓜郷遺跡の指定地内の用地の購 入

(2) 文化財保存事業補助金 3,738,000 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	お葉付公孫樹環境整備 正圓寺木造 地藏菩薩立像および普門寺釈迦如来 坐像の修理	豊橋ハリストス正教会聖堂保存修理 赤岩寺重要文化財等防災施設整備 正圓寺木造地藏菩薩立像の修理

(3) 文化財活用事業費 8,410,350 円

(ア) 文化財展示公開等事業費

内 容	令和2年度	令和3年度
	「飽海遺跡展」を開催	「渡来人の墓・積石塚展」を開催

(イ) とよはし歴史探訪等開催事業費

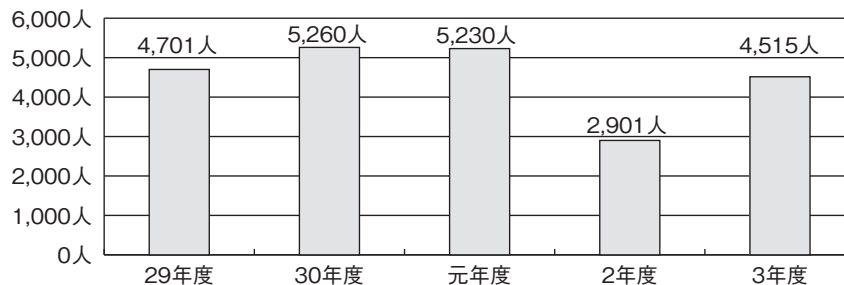
内 容	令和2年度	令和3年度
	現地見学（歴史的建造物めぐり・戦 争遺跡めぐり）、勾玉づくりなど体 験講座を開催	現地見学（戦争遺跡めぐり・文化財 めぐり）、勾玉づくりなど体験講座 を開催

(ウ) 埋蔵文化財活用事業費

内 容	令和2年度	令和3年度
	企画展「歴史を守れ!丸地古城の挑戦」 を開催 埋蔵文化財説明看板の設置	とよはしシンポジウム「縄文時代の 魅力を探る」を開催 埋蔵文化財説 明看板の設置

[指 標]

指 標 名：文化財保護事業参加者数
 指標説明：文化財調査事業（発掘調査現地説明会等）参加者＋文化財保存活用事業
 （とよはし歴史探訪・講座・シンポジウム等）参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5 項 保 健 給 食 費	7,612,788,395	1,006,025,500	3,187,900,000	1,560,549,382	1,858,313,513
2 目 子 ども の 心 と ち から だ の 育 成 費 < 健 や か な 心 と ち から だ の 育 成 >	7,515,446,959	1,006,025,500	3,187,900,000	1,560,549,382	1,760,972,077

1 学校保健事業費 179,842,459 円 (保健給食課)

[総括]

児童生徒及び教職員の健康状態を把握し、疾病の早期発見に努めるとともに、児童生徒が安全かつ健康的な学校生活を送れるよう学校環境の衛生管理を行った。今後も各学校や関係機関と連携し、効率的・効果的な健康診断の実施や、学校環境衛生検査の基準超過校への事後措置の徹底を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 学校健康診断事業費 142,544,106 円

(ア) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師報酬 101,443,682 円

区 分		人 員	
		令和2年度	令和3年度
学 校 医	内 科	81人	81人
	耳 鼻 科	13	12
	眼 科	13	13
学 校 歯 科 医		84	84
学 校 薬 剤 師		39	39
計		230	229

(イ) 健康診断費 41,100,424 円

区 分	対 象	令和2年度	令和3年度	比 較
検 尿	児 童 生 徒	33,105人	33,144人	0.1%
心 電 図 検 査	小中高各1年・小4年・その他	7,101	10,398	46.4
就 学 時 健 診	入 学 予 定 児	3,211	3,180	△ 1.0
教 職 員 健 診	全 員	5,476	6,063	10.7

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は小学4年生の心電図検査を中止した。

(2) 学校保健推進事業費 4,190,268 円

(ア) 学校保健会補助金 779,279 円

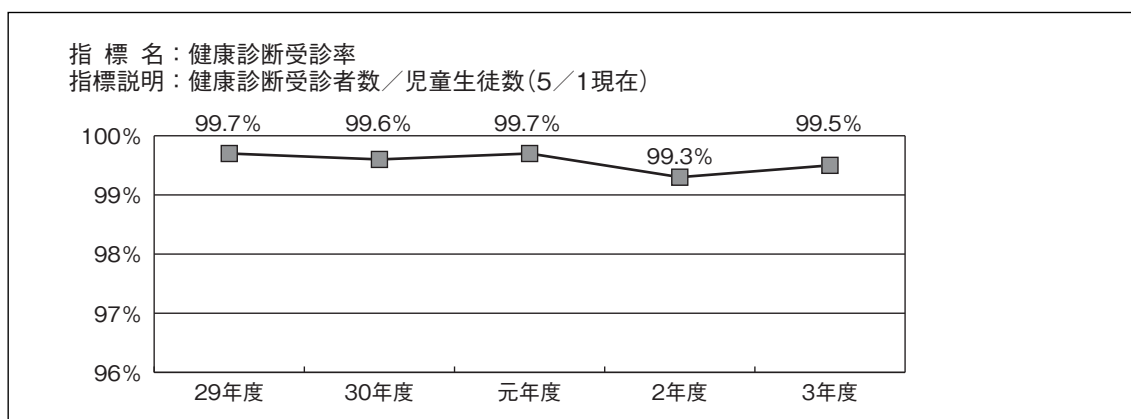
(3) 学校事故災害給付金等請求事業費 30,749,465 円

(ア) 日本スポーツ振興センター共済掛金負担金 30,027,370 円

(4) 学校結核予防事業費 2,358,620 円

区 分	児 童 生 徒			教 職 員		
	令和2年度	令和3年度	比 較	令和2年度	令和3年度	比 較
胸部エックス線撮影	428人	367人	△14.3%	1,926人	1,927人	0.1%
事 後 措 置	0	1	皆増	0	0	—

[指標]



2 共同調理場運営事業費 1,358,814,405 円（保健給食課）

[総括]

小学校 52 校、中学校 22 校、特別支援学校 1 校の児童生徒に安全な給食を提供するため、衛生管理に十分配慮した調理を行うとともに、施設設備の充実改善に努めた。今後も給食物資について、生産者の顔が見える安全・安心で新鮮な地場産物の活用を推進するとともに、栄養価を考慮しながらおいしい給食を提供するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 共同調理場運営事業費（南部） 306,079,013 円

令和 2 年 度				令和 3 年 度				食数比較
小学校	13校	5,280人	延1,457,451食	小学校	13校	5,116人	延1,485,957食	
中学校	5	2,858		中学校	5	2,841		
特別支援学校	1	401		特別支援学校	1	401		

(2) 共同調理場運営事業費（北部） 520,510,128 円

令和 2 年 度				令和 3 年 度				食数比較
小学校	13校	5,090人	延1,346,992食	小学校	13校	5,050人	延1,393,904食	
中学校	6	2,801		中学校	6	2,830		

(3) 共同調理場運営事業費（西部） 139,858,940 円

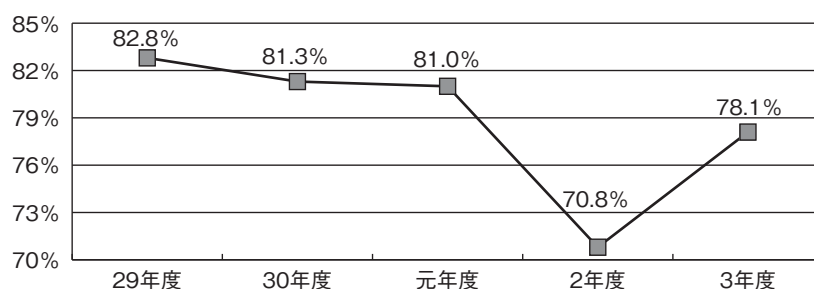
令和 2 年 度				令和 3 年 度				食数比較
小学校	11校	5,533人	延1,340,171食	小学校	11校	5,472人	延1,374,948食	
中学校	5	2,220		中学校	5	2,244		

(4) 共同調理場運営事業費（東部） 223,325,284 円

令和 2 年 度				令和 3 年 度				食数比較
小学校	15校	6,367人	延1,630,806食	小学校	15校	6,372人	延1,714,353食	
中学校	6	3,181		中学校	6	3,215		

[指 標]

指 標 名：学校給食の豊橋産食材使用率
 指標説明：豊橋産食材使用日数／給食実施日数



3 共同調理場再整備事業費 4,157,246,111 円（保健給食課）

[総 括]

PFI手法により曙学校給食センターを建設し、令和4年4月より供用を開始する。今後も引き続き、児童生徒に安全で安心な給食を提供できるよう運営・維持管理の充実を図っていく。

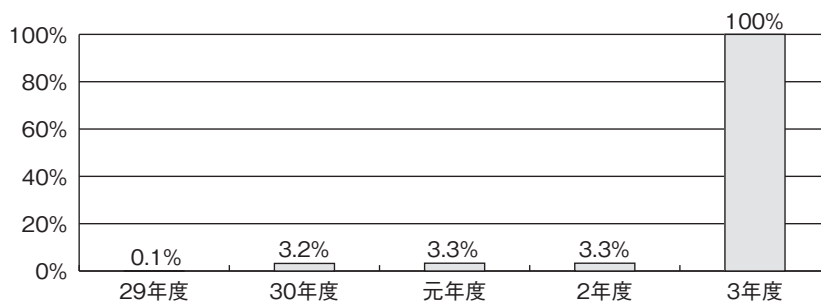
[実績及び成果]

(1) 共同調理場再整備事業費 4,157,246,111 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	金融機関との直接協定締結支援業務	建設工事完了

[指 標]

指 標 名：共同調理場再整備事業進捗率(供用開始まで)
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成29年度～令和3年度)



科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11款	災 害 復 旧 費	6,776,000	0	0	0	6,776,000
1 項	土 木 施 設 災 害 復 旧 費	6,380,000	0	0	0	6,380,000
1 目	道 路 橋 梁 災 害 復 旧 費	6,380,000	0	0	0	6,380,000

1 道路橋梁災害応急復旧費 6,380,000 円 (道路維持課)

[総括]

令和3年7月の大雨により、細谷町において道路法面崩れが発生したため、迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 道路橋梁災害応急復旧費 6,380,000 円

内 容	令和2年度		令和3年度	
		—		道路損壊復旧

科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3 項	そ の 他 施 設 災 害 復 旧 費	396,000	0	0	0	396,000
1 目	そ の 他 施 設 災 害 復 旧 費	396,000	0	0	0	396,000

1 諸施設災害応急復旧費 396,000 円 (教育政策課)

[総括]

令和3年7月の大雨により、学校の施設に多大な被害を受けたため、迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 諸施設災害応急復旧費 396,000 円

内 容	令和2年度			令和3年度		
		「スポーツのまち」づくり課 教育政策課	公共施設等復旧	万場調整池庭球場 大崎小学校ほか	教育政策課	公共施設等復旧

Ⅲ 特 別 会 計

競輪事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
競 輪 事 業	23,471,068,740	0	0	36,113,464	23,434,955,276

1 競輪開催事業費 4,939,371,232 円 (競輪事務所)

[総括]

昭和24年からスタートした競輪事業は、市民の身近な娯楽として親しまれているほか、公益財団法人JKAへの交付金等を通じて、機械工業の振興、体育事業をはじめとした公益の増進に寄与している。

令和3年度は、年間を通して新型コロナウイルス感染症対策を実施しての開催であったが、売上金は開催日数の増加に加え、コロナ禍における社会構造の変化などによるインターネット投票の増加や令和2年度に施設閉鎖などの影響を受けた場外発売の売上が増加したことから、前年度比で約39億円の増となった。

単年度収支についても、収益性の高い記念競輪やミッドナイト競輪の売上が好調であったこと等により、約11億8千万円を確保することができ、2億8千万円を一般会計に繰り出した。

競輪業界では、中期基本方針に沿って競輪の持続的発展による社会還元(①機械振興、②公益増進、③地方財政の健全化)の最大化を図るための取組を進めている。豊橋競輪場においても、来場者や全国の競輪ファンにとって魅力ある競輪場となるよう施設整備を推進するとともに、新たな顧客層を獲得するための多様な開催形態の導入や場外発売場数の増加等の施策に取り組み、本場開催や場外発売を公正、安全に実施し、収益の確保に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 市営競輪開催成績

区 分		令和2年度			令和3年度			比 較		
開催回数 日数	普通競輪	11回	17節	50日	12回	19節	57日	9.1%	11.8%	14.0%
	記念競輪	1	1	4	1	1	4	0.0	0.0	0.0
	計	12	18	54	13	20	61	8.3	11.1	13.0
入場者数	区分	有料	無料		有料	無料		有料	無料	
	普通競輪	5,880人	8,977人		—	29,452人		皆減	3.3倍	
	記念競輪	—	5,875		—	5,795		—	△1.4%	
	計	5,880	14,852		—	35,247		皆減	2.4倍	
売上高	普通競輪	14,276,762,100円			17,584,915,600円			23.2%		
	記念競輪	5,004,827,400			5,587,284,200			11.6		
	計	19,281,589,500			23,172,199,800			20.2		

(2) 施設整備費 62,413,978 円

区 分	令和2年度	令和3年度
主 な 内 容	メインスタンド空気調和機修繕 高圧設備取替修繕	メインスタンド空気調和機修繕 照明塔等改修基本及び実施設計 非常用発電機部品取替修繕

競輪事業施設等整備基金残高

単位：千円

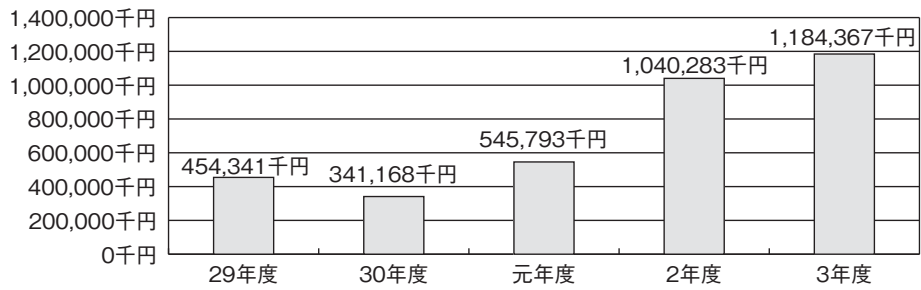
令和3年度当初	積立額	取崩し額	令和3年度末残高
1,107,981	850,670	35,000	1,923,651

[指 標]

指 標 名：単年度収支

指標説明：(歳入総額－歳出総額)－前年度実質収支

※利子以外の財政調整基金収入は歳入に含まず、一般会計繰出金及び利子以外の基金積立金は歳出に含まない



国民健康保険事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
国民健康保険事業	32,620,651,809	22,478,205,142	0	379,335	10,142,067,332

1 国民健康保険給付事業費 21,989,432,230 円 (国保年金課) < 公的医療保険制度の円滑な運営 >

[総括]

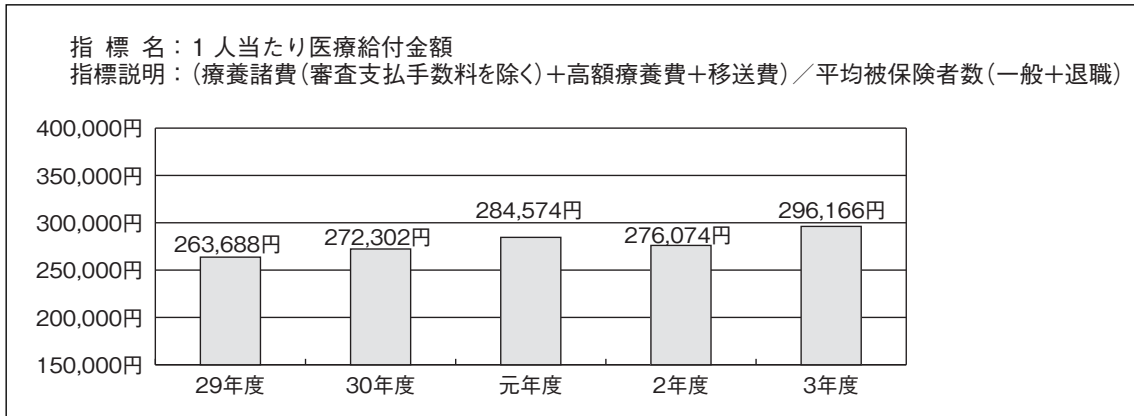
少子化や後期高齢者医療制度への移行等により被保険者数は減少した一方、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響により減少した1人当たり医療給付金額は、高齢化の進展、医療の高度化等により増加した。新型コロナウイルス感染症対策として、新型コロナウイルスに感染した被保険者に対し傷病手当金を支給した。今後も医療費の適正化に努めるとともに、国、県、国民健康保険団体連合会等関係機関と協力し、適切な保険給付事業の推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 保険給付費 21,989,432,230 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額
医 療 給 付	1,204,638件	20,862,373,426円	1,253,832件	21,813,192,488円
出産育児一時金給付	253	105,913,230	225	94,185,990
葬 祭 費 給 付	440	22,000,000	424	21,200,000
傷 病 手 当 金	31	995,179	64	2,549,992
審 査 支 払 手 数 料 等	—	56,360,395	—	58,303,760
平均被保険者数	75,568人		73,652人	

[指 標]



2 国保税納税事務費 479,885 円 (納税課) < 公的医療保険制度の円滑な運営 >

[総括]

納期内納付の徹底と滞納者及び滞納金額の減少を目的として、効果的な啓発事業及び口座振替加入促進、的確迅速な収納整理、法に基づいた厳正な滞納整理に努めた。また、新型コロナウイルス感染症対策として、収入が大幅に減少した被保険者に対し、保険税の減免を行った。

[実績及び成果]

(1) 国保税収納整理事務費 402,620 円

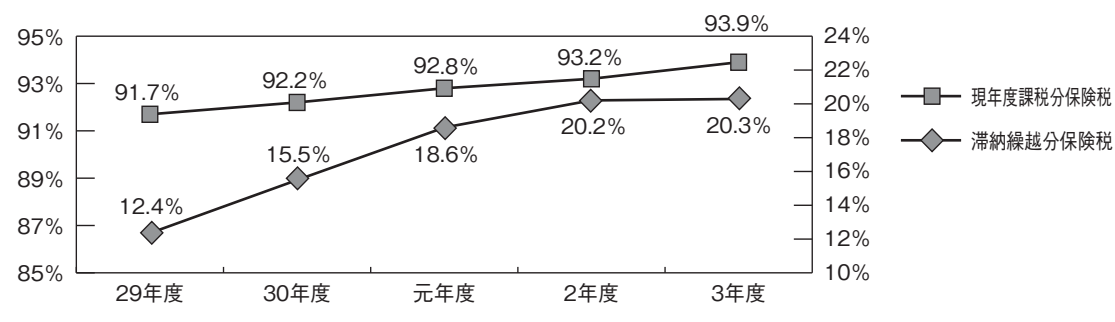
現年度課税分保険税	令和2年度		令和3年度	
	調 定 額	収 入 額	調 定 額	収 入 額
	7,534,278,000円	7,024,770,291円	7,261,788,700円	6,820,041,955円

(2) 国保税滞納整理事務費 77,265 円

滞納繰越分保険税	令和2年度		令和3年度	
	調定額	収入額	調定額	収入額
	2,935,341,542円	593,522,566円	2,433,093,350円	493,961,399円

[指標]

指標名：保険税収入率(現年度課税分、滞納繰越分)
 指標説明：収入額／調定額



3 特定健康診査等事業費 236,527,019 円 (健康増進課) < 疾病の予防対策の推進 >

[総括]

特定健康診査では、受診率の向上に向け、AIを活用した対象者別のはがきによる未受診者勧奨をこれまでの2回から1回増やし3回実施した。特定保健指導では、遠隔面接による保健指導を開始し、コロナ禍でも安心して受講できる体制づくりに努めた。今後も引き続き特定健康診査受診率及び特定保健指導初回面接利用者数の増加等に努め、糖尿病等の生活習慣病予防に向けた保健事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 特定健康診査事業費 233,340,123 円

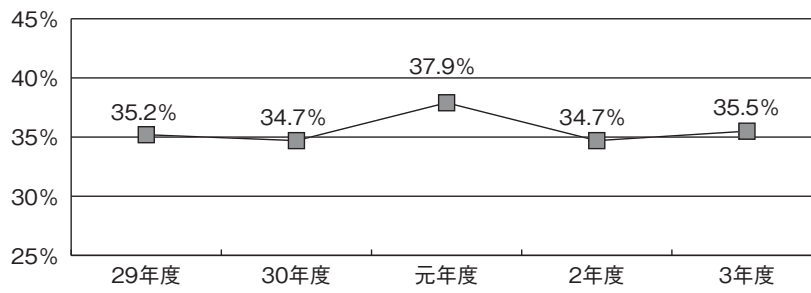
特定健康診査	令和2年度		令和3年度	
	受診券発送者数	受診者数	受診券発送者数	受診者数
	56,349人	19,534人	56,860人	20,159人

(2) 特定保健指導事業費 3,186,896 円

区分		令和2年度	令和3年度
初回面接利用者数	動機付け支援	274人	256人
	積極的支援	44	46

[指 標]

指 標 名：特定健康診査受診率
指 標 説 明：受診者数／受診券発送者数



総合動植物公園事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
総合動植物公園事業 <のんほいパークの魅力向上>	1,607,496,268	2,564,000	33,500,000	18,367,415	1,553,064,853

1 総合動植物公園管理運営事業費 972,620,032 円 (動植物園)

[総 括]

総合動植物公園の魅力向上のため、ガバメントクラウドファンディングを活用したチンパンジー舎の改修及びエンリッチメント施設の更新に取り組んだ。また、インド共和国・マイソール動物園よりアジアゾウ 3 頭の寄贈を受けた。

通常開園は感染症対策を徹底しながら開園できたことで、入園者数は増加したが、ナイトZOOは新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発出により、一部開催中止を余儀なくされ、入園者数が前年度の半分程度にまで落ち込んだ。今後も感染症対策を徹底しながら効果的なプロモーション活動の展開や園の魅力向上に取り組んでいく。

[実績及び成果]

[動植物公園入園状況]

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
開 園 日 数	289日	314日	8.7%
入 園 者 数	延 804,922人	延 960,167人	19.3
動 物 の 展 示	131種	138種	5.3
	749点	805点	7.5
植 物 の 展 示	2,634種	2,685種	1.9
遊 具 設 置 数	14機	14機	0.0
遊 具 利 用 者 数	延 609,211人	延 1,155,125人	89.6

[施設整備]

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
	西第二・西第三駐車場整備工事 園内サイン整備工事	チンパンジー舎改修工事 エンリッチメント施設更新

(1) イベント企画運営事業費 47,947,444 円

(ア) ナイト ZOO の開催

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
	開催日 (7.5、7.12、7.18、7.19、7.23～7.25、8.1、 8.2、8.8～8.16、8.22、8.23、8.29、8.30、 9.5、9.6、9.12、9.13、9.19～9.21、9.26、 9.27、10.3、10.18、10.24、10.31)	開催日 (7.22～7.25、7.30、7.31、8.1、8.6～8.11、 8.15、8.20、8.22)

(イ) 四季イベント等の開催

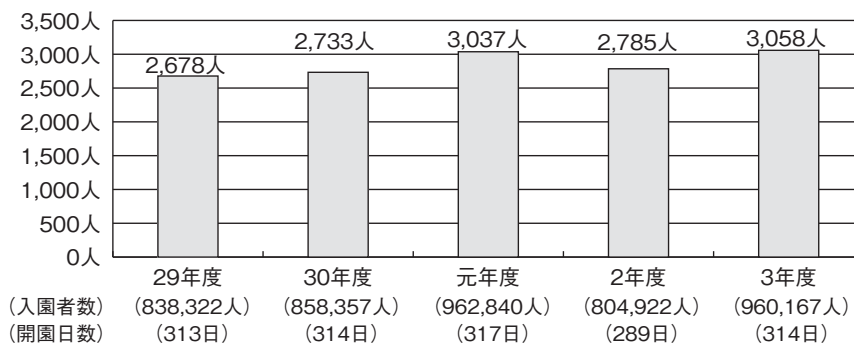
内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
	○季節のイベント ・秋のイベント (10.10～11.23) ・クリスマス、新春イベント (12.12～12.30、1.2～1.17) ・春のイベント (3.13～3.31) ○企業コラボイベント ・地元企業とのイベント (10.18、12.20、2.14)	○季節のイベント ・ゴールデンウィークイベント (4.29～5.9) ・秋のイベント (10.9～11.23) ・クリスマス、新春イベント (12.11～1.16) ・春のイベント (3.12～3.31) ○企業、団体コラボイベント ・地元企業とのイベント (11.3、11.6、12.25)

(ウ) シティプロモーションの推進

	令和2年度	令和3年度
内 容	○ 鉄道を利用した広域に向けたPR ・ JR東海道本線中吊広告 (8.7～8.14) 東海道本線(米原～熱海)の普通、 快速全車両への中吊ポスター(B3 ワイド版)掲出	○ 中日新聞(東三河版・静岡版・長野 版)PR広告 (4.29、7.23、8.28、2.25、2.26)
	・ JR飯田線中吊広告(8.7～8.14) 飯田線全車両への中吊ポスター (B3ワイド版)掲出	○ 豊橋商工会議所 会報誌「ニューボ イス」への広告掲載 (8.1)
	○ 中日新聞(東三河版・静岡版・長野 版)PR広告 (7.24、8.29、2.27、3.27)	○ 新聞折込チラシ(東三河、西三河一 部、浜松) (8.5)
	○ 豊橋商工会議所 会報誌「ニューボ イス」への広告掲載 (8.1)	○ 豊橋駅東西自由連絡通路でのPRフ ラッグ設置 (7.22～8.22)
	○ 新聞折込チラシ(東三河、西三河一 部、浜松) (8.7)	○ 三重テレビCM(三重県内) (7.25)
	○ 豊橋駅東西自由連絡通路でのPRフ ラッグ設置 (7.22～9.11)	○ インターネット広告 (7.15～8.22)
		○ 書籍「まるごとぜんぶ豊橋の本」掲 載 (2.17)

[指 標]

指 標 名：総合動植物公園1日当たりの入園者数
 指標説明：入園者数／開園日数



公共駐車場事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
公共駐車場事業 <交通環境の保全>	133,279,150	0	0	234,145	133,045,005

1 公共駐車場管理運営事業費 133,045,005 円 (土木管理課)

[総括]

中心市街地における駐車環境を整えることで、路上駐車解消や歩行者の交通安全確保を図っている。令和3年度は施設長寿命化計画に沿って、松葉公園地下駐車場の泡消火設備の取替などを行ったほか、利用者の利便性向上のために駅前大通公共駐車場(第1)、(第2)に車番認識システムを導入した。今後も安全で快適な駐車場をめざし、質の高いサービスの提供と効率的な管理運営を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 公共駐車場管理運営事業費 133,045,005 円

区 分	令和2年度	令和3年度
施設管理費	34,796,093円	27,932,005円
指定管理料	73,450,868	74,335,000
施設整備費	131,786,670	30,778,000

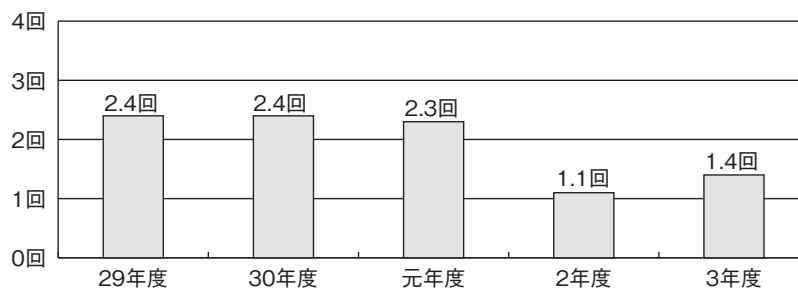
[利用状況]

区 分	令和2年度			令和3年度		
	年間 利用総台数	1日平均 利用台数	1台あたり平均 普通駐車時間	年間 利用総台数	1日平均 利用台数	1台あたり平均 普通駐車時間
駅前第1公共駐車場	45,102台	124台	72分	43,728台	120台	60分
駅前第2公共駐車場	98,058	269	80	156,429	429	83
松葉公園地下駐車場	54,040	148	109	49,040	134	115

※普通駐車は夜間駐車、打切り料金及び定期利用を除く

[指標]

指標名：公共駐車場1日平均回転率
 指標説明：1日平均利用台数/駐車場収容台数



母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
母子父子寡婦福祉資金貸付事業 <ひとり親家庭等の自立支援>	23,347,907	0	0	2,700,000	20,647,907

1 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費 23,347,907 円 (子育て支援課)

[総括]

母子父子寡婦福祉資金貸付制度は、母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づき、ひとり親家庭等の福祉増進を目的として、「現に20歳未満の児童を扶養している、配偶者のない女子または男子」及び「かつて配偶者のない女子として児童を扶養していたことのある、配偶者のない女子」に対して貸付を行うものであり、貸付金の種類としては修学資金、就学支度資金、修業資金等がある。

今後も、ひとり親家庭等の経済的自立や生活の向上を図るため、貸付制度の周知を図り、活用を促していく。

[実績及び成果]

(1) 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費 23,347,907 円

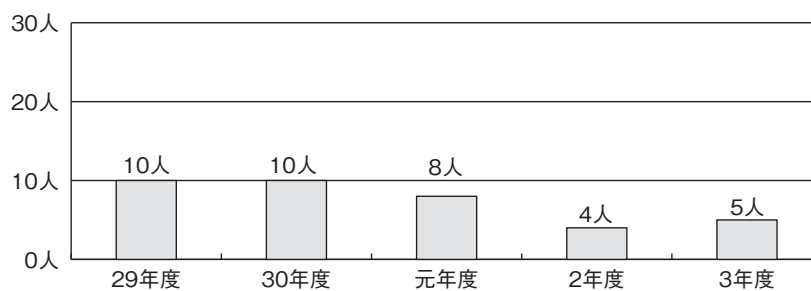
[貸付状況]

区 分	令和2年度	令和3年度
母子福祉資金貸付件数	4件	5件
父子福祉資金貸付件数	0	0
寡婦福祉資金貸付件数	0	0
計	4	5
母子福祉資金貸付金額	1,246,500円	2,700,000円
父子福祉資金貸付金額	0	0
寡婦福祉資金貸付金額	0	0
計	1,246,500	2,700,000

[指標]

指標名：母子父子寡婦福祉資金貸付事業借入者数

指標説明：〃



後期高齢者医療特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
後 期 高 齢 者 医 療 <公的医療保険制度の円滑な運営>	8,971,082,083	0	0	245,864,481	8,725,217,602

1 後期高齢者医療事務費 78,194,444 円 (国保年金課)

[総括]

愛知県後期高齢者医療広域連合とともに、適正な資格管理、保険給付を行った。また、保険料未納者へ催告や臨戸訪問を行うとともに、必要に応じ滞納処分を行い、収入率の向上につなげた。今後も後期高齢者医療制度の安定運営に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 窓口事務費 65,582,675 円

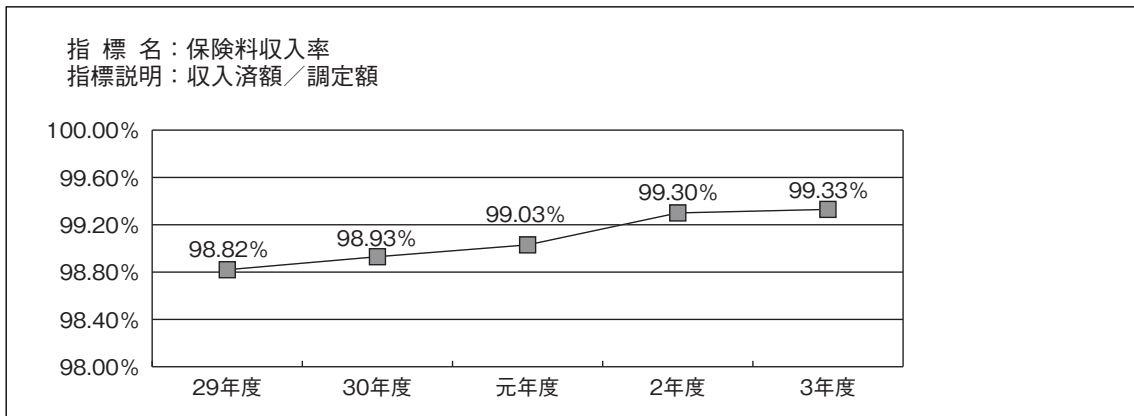
被 保 険 者 数	令和2年度	令和3年度	比 較
		49,527人	50,718人

※豊橋市が後期高齢者医療被保険者証の引き渡しをしている数

(2) 徴収事務費 12,611,769 円

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
保険料徴収対象 年間実員	特別徴収	38,116人	38,661人	1.4%
	普通徴収	11,411	12,057	5.7
督促状発付件数		4,231件	4,069件	△ 3.8
口座振替利用者数 (普通徴収)		7,210人	7,192人	△ 0.2

[指 標]



2 保健事業費

167,825,849 円（国保年金課・長寿介護課・健康増進課）

<疾病の予防対策の推進・高齢者の生活支援サービスの充実>

[総括]

病気の予防及び早期発見のため、健康診査を実施するとともに、集団健診会場において、野菜摂取量についての講座など生活習慣病予防のための健康教育を行った。また、新たに高齢者の健康づくりや介護予防を一体的に実施する保健介護一体事業を立ち上げ、コーディネーター保健師を中心に健康講座の開催や個別支援によりフレイル対策等に取り組んだ。今後も、後期高齢者の健康寿命の延伸のため保健事業の充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 健康診査事業費 164,548,323 円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
受 診 者 数	14,793人	14,790人	0.0%

(2) 保健介護一体事業費 601,348 円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
実 施 圏 域 数	—	3圏域	皆増
通いの場等における支援	—	延 120人	皆増
個 別 的 支 援	—	延 227	皆増

※圏域とは日常生活圏域の概ね中学校区の区域

[指 標]

